

現場説明事項

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）

担当部署 総務部 営繕課

「説明事項」

1. 工事目的

本工事は、勝瀬中学校屋内運動場の長寿命化のための建築工事を行う。

2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

3. 工事範囲

本工書の目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 3) 仮設については、学校・学校関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、学校と協議し設置し、電気設備工事、機械設備工事を含めた全体定例会議を開催できるスペースを含むこと。
- 4) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。
- 5) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 6) 勝瀬中学校の学校環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、生徒の授業等に支障となる騒音、振動、異臭等が伴う工事は、原則、学校休業日に行うこと。
- 7) 現場施工期間は関連工事（電気設備工事、機械設備工事）を含め令和6年6月1日から令和6年11月30日とする。また、下記①～⑤の事項に留意し、工事を進めること。
 - ①施工にあたっての調査・準備は学校、監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。
 - ②石綿撤去工事は夏季休業期間で完了すること。（令和6年7月20日から令和6年8月25日）
 - ③足場設置は、給食搬入路を確保した後に施工すること。
 - ④階段室西側の施工期間は令和6年7月20日から令和6年9月30日までとする。
 - ⑤上記の各施工期間内に現場使用前検査（室内濃度測定含む）を受け、関連工事とともに引き渡すこと。
- 8) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 9) ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。

- 1 0) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CAD データから作成すること。
- 1 1) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。
- 1 2) 同施設において、「市立勝瀬中学校長寿命化電気設備工事（第 1 期工事）（ゼロ債務）」
「市立勝瀬中学校長寿命化機械設備工事（第 1 期工事）（ゼロ債務）」を予定している
ため、当該工事受注者と十分協議し、工事を進めること。

工 程 表 (建築)

工事名 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)

工 種	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1 仮設工事	[Yellow bar with vertical lines]						
2 屋上防水	[Yellow bar]					足場鉄板撤去	
3 石綿撤去工事	石綿撤去開始		[Yellow bar]				
4 外壁改修工事	[Yellow bar]					[Yellow bar with vertical lines]	
5 内部改修工事	[Yellow bar with vertical lines]						
6 階段室西側	[Yellow bar]						
7	石綿撤去開始		仕上工事				
8							
9							
10							
11 検査	[Red vertical bars]						
12	検査 検査 検査 完了検査						
13	夏休み期間						
14							
備考	※現場施工期間は6月1日から11月30日までとする。 ※騒音、振動、異臭等、その他児童の授業等に支障があると思われる工事は、原則、学校休業日に行うこと。 ※上記工程表のとおり現場使用前検査(室内濃度測定等含む)を受け引渡すこと。(関連工事共) ※全ての工事(現場)を令和6年11月30日までに現場使用前検査を受け、引き渡すこと。(関連工事共) ※石綿撤去工事は夏休み開始に合わせて行うこと。						

設 計 仕 様 書

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)

工事場所 富士見市大字勝瀬地内

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)																		
請負工事費																		
工事概要 市立勝瀬中学校体育館の長寿命化建築工事 防水改修工事 石綿除去工事 内部改修工事 外壁改修工事 外構工事																		
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総括表</td> <td>上段</td> <td>設計変更</td> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>摘要</td> <td>数量</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>金額</td> <td>備考</td> </tr> </table>					総括表		上段	設計変更	名称	摘要	数量	単位			金額	備考	下段	原設計
					総括表		上段	設計変更										
名称	摘要	数量	単位															
		金額	備考															
		備	考															
直接工事費		1	式															
計		1	式															
共通仮設費		1	式															
純工事費		1	式															
現場経費		1	式															
工事原価		1	式															
一般管理費		1	式															
工事価格	スクラップ控除後				スクラップ控除前 スクラップ控除													
改め																		
消費税相当額		1	式		10%													
請負工事費																		

積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
仮設建物費	現場事務所、倉庫、下小屋、 作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に 要する費用	1.0	式			
環境安全費	安全標識、消火設備等の施設の設置 隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事中電気設備及び工事中給排水設備 とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率)+ (積上げ)
屋外整理清掃費	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の 整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
その他	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

(P.共通 - 2 -)

()

()

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)						
	共通仮設積上げ分	1	式			
	A建築工事 体育館	1	式			
	校舎	1	式			

()
()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
Ⅱ	共通仮設積み上げ分						
	【体育館】						
	ガードフェンス	設置 撤去 損料 基本料 運搬 H=2.0m	130.0	m			
	キャスターゲート	掛払い 損料 基本料 運搬 W3600	2.0	ヶ所			
	キャスターゲート	掛払い 損料 基本料 運搬 W6000	1.0	ヶ所			
	内部仮設間仕切り	B種	6.5	m ²			
	【仮設駐車場】						
	敷き鉄板	整備含む t22	770	m ²			
	ガードフェンス	設置 撤去 損料 基本料 運搬 H=2.0m	115.0	m			
	区画マーキングテープ	1～31	1.0	式			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	樹脂製敷板	整備含む					
		t20	440.0	m ²			
	防球ネット一部改修						
			1.0	箇所			別紙明細1
	植栽土工機械運転						
			1.0	式			
	交通警備員						
		180人程度	1.0	式			
	アスベスト粉塵測定						
			1.0	式			代価K001
	VOC濃度測定						
		施工前後 5ヶ所	1.0	式			
	合 計						

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I	建築工事 体育館						
1	直接仮設工事		1	式			
2	外部改修工事		1	式			
3	内部改修工事		1	式			
4	建具改修工事		1	式			
5	雑工事		1	式			
6	外構工事		1	式			
7	撤去工事		1	式			
8	発生材処分		1	式			
9	スクラップ控除	21.9kg	1	式			
	合 計						

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し(外壁改修)		1,459.0	m2			
	墨出し(防水改修)		319	m2			
	墨出し(内部改修)	複合改修	1,110.0	m2			
	養生(外壁改修)		297.0	m2			
	養生(防水改修)	アスファルト防水	319.0	m2			
	養生(内部改修)	複合改修	1,110.0	m2			
	整理清掃後片付け(外壁改修)		297.0	m2			
	整理清掃後片付け(防水改修)	アスファルト防水	319.0	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	1,110.0	m2			
	施工数量調査		1,459.00	m2			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	くさび緊結式足場(手摺り先行方式)	掛払い 損料 基本料 運搬					
		W900 20m未満	1,459.00	m ²			
	養生シート	掛払い 損料 基本料 運搬					
		防災Ⅰ類	1,459.0	m ²			
	内部仕上足場	掛払い 損料 基本料 運搬					
		脚立足場 4m以下	319.0	m ²			
	内部仕上足場	掛払い 損料 基本料 運搬					
		枠組棚足場 4m超5m未満	106.0	m ²			
	内部仕上足場	掛払い 損料 基本料 運搬					
		枠組棚足場 7.4m超9.1m未満	675.0	m ²			
	計						

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	外部改修工事						
	屋根	高反射保護塗料					
	超速硬化ウレタン塗膜防水スプレー工法	全面高圧水洗浄 目荒し共	919.0	m ²			
	上記下地補修		91.9	m ²			
	ウレタン系シール処理	ジョイント及び段差部	1,166.0	m			
	軒樋	高耐久性ウレタン防水用保護塗料					
	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法	全面高圧水洗浄 ポリマーセメント塗布共	133.0	m ²			
	上記下地補修		6.7	m ²			
	笠木	高耐久性ウレタン防水用保護塗料					
	高靱性ウレタン塗膜防水密着工法	全面高圧水洗浄 ポリマーセメント塗布共	18.6	m ²			
	上記下地補修		0.9	m ²			
	縦引き改修用ドレン新設		8.0	ヶ所			
	ドレン廻り研り・モルタル補修		8.0	ヶ所			

)
 ()
)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
平場・側溝 加熱型改質アスファルト塗膜防水絶縁工法	高耐久高反射性厚膜塗料FRAT仕上					
	全面高圧水洗浄	307.0	m ²			
アスファルト系シーリング材充填						
	既存目地撤去部	209.0	m			
脱気筒						
		5.0	ヶ所			
立上り 加熱型改質アスファルト塗膜防水絶縁工法	高耐久高反射性厚膜塗料FRAT仕上					
	全面高圧水洗浄 ケレン清掃し仮防水	32.2	m ²			
側溝部モルタル勾配調整						
		14.7	m ²			
笠木 高靱性ウレタン塗膜防水密着工法	高耐久性ウレタン防水用保護塗料					
	全面高圧水洗浄 ポリマーセメント塗布共	33.0	m ²			
水切りテープ設置						
		65.5	m			
横引き改修用ドレン新設						
		6.0	ヶ所			
ドレン廻り研り・モルタル補修						
		6.0	ヶ所			
庇 平場 ウレタン塗膜防水密着工法X-2	高耐久性ウレタン防水用保護塗料					
	全面高圧水洗浄 ポリマーセメント塗布共	8.0	m ²			
庇 立上り ウレタン塗膜防水密着工法X-2	高耐久性ウレタン防水用保護塗料					
	全面高圧水洗浄 ポリマーセメント塗布共	1.3	m ²			

)
()
)

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
庇 笠木 ウレタン塗膜防水密着工法X-2	高耐久性ウレタン防水用保護塗料					
	全面高圧水洗浄 ポリマーセメント塗布共	1.7	m ²			
上記下地補修(平場 立上り 笠木)						
		0.5	m ²			
トップライト落下防止フラットバー 下地処理の上DP塗替						
		13.2	m			
アルミ製EXP.J新設	W880					
	屋根－屋根	2.5	m			
同上溶接小口フタ						
		1.0	ヶ所			
アルミ製EXP.J新設	W485					
	外壁－屋根	7.3	m			
同上溶接小口フタ						
		1.0	ヶ所			
外壁 防水型複層塗材E	超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料					
	全面高圧水洗浄 下地調整材C-2塗	873.0	m ²			
外壁 中性化・塩害対策 表面被覆工法						
	亜硝酸リチウム併用	873.0	m ²			
外壁 仕上用プライマー						
		873.0	m ²			

)
()
)

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	上裏						
	水性アクリルシリコン系軒天用仕上塗材	下地調整材C-1塗	13.3	m ²			
	上裏						
	中性化・塩害対策 表面被覆工法	亜硝酸リチウム併用	13.3	m ²			
	上裏						
	仕上用プライマー		13.3	m ²			
	基礎巾木	水性アクリルシリコン系					
	基礎巾木専用塗料	全面高圧水洗浄 下地調整材C-2塗	119.0	m ²			
	亀裂処理	Uカットシーリング材充填	569.0	m			
	欠損補修	亜硝酸リチウム併用・断面修復工法	15.0	ヶ所			
	爆裂補修	亜硝酸リチウム併用・断面修復工法	28.0	ヶ所			
	軽天						
	ケイ酸カルシウム板目透し張 EP塗	t=5.0	53.7	m ²			
	堅樋						
	硬質カラー塩ビ管	100φ SUS支持金物共	74.7	m			
	養生管(SGP)DP塗	125φ	21.6	m			
	塩ビ製飾り柵		6.0	ヶ所			

)
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	外階段 床 樹脂モルタルノ口引き	清掃 水洗い共	40.4	m ²			
	段鼻ノンスリップタイル		36.3	m			
	アルミ製EXP.J新設	W160 外壁ー外壁	4.6	m			
	アルミ製EXP.J新設	W160 外壁コーナー	4.6	m			
	DP塗替	鉄部 下地処理共	4.0	m ²			
	床下換気口	150×900	10.0	ヶ所			
	計						

)
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	内部改修工事						
	床						
	150角磁器質タイル張り	モルタル下地共	16.1	m ²			
	段鼻ノンスリップタイル		6.4	m			
	複層ビニル床シート貼	下地調整共 t=2.0	154.0	m ²			
	複層ビニル床シート貼(多機能)	下地調整共 t=2.0	27.6	m ²			
	サンダー掛けの上ポリウレタン塗		150.0	m ²			
	鋼製床組	サンダー掛け(目地払い) 下地合板t=15+15共	675.0	m ²			
	鋼製床組	サンダー掛け(目地払い) 下地合板t=15+15共	96.0	m ²			
	床点検口	アルミ600×600 鍵付き	6.0	ヶ所			
	床換気口	アルミ200×1000 自動開閉式	14.0	ヶ所			
	既存木製階段						
	サンダー掛けの上オイルペイント塗		2.0	ヶ所			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	法定福利費(鋼製床組)		1.0	式			
	長尺弾性塩ビシートt=7.5貼	国際公認品	675.0	m ²			
	コートライン引き	メインバスケットボールコート	1.0	面			
		サブバスケットボールコート	2.0	面			
		メインバレーボールコート 6人制	1.0	面			
		サブバレーボールコート 6人制	2.0	面			
		バドミントンコート	4.0	面			
	エキスパンションゴム	8×20	105.0	m			
	長尺弾性塩ビシートt=2.1貼		96.0	m ²			
	エキスパンションゴム	18×20	40.0	m			
	法定福利費(床仕上げ材)		1.0	式			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	軽量コンクリート	Fc21	1.9	m ³			
	打設手間	人力	1.9	m ³			
	溶接金網敷	100×100 6φ	21.5	m ²			
	コンクリート金ごて押え	張り物下	21.5	m ²			
	汚垂れ石		1.8	m ²			
	エポキシ樹脂系塗床	モルタル下地 下地処理共	60.2	m ²			
	2液型ウレタン床用塗料	鉄部 下地処理共	21.8	m ²			
	既存木製框ポリウレタン塗替	サンダー掛け共	13.1	m			
	巾木 既存木製巾木SOP塗替	H=80 下地処理共	154.0	m			
	木製巾木SOP塗新設	H=80	5.2	m			
	木製巾木OSCL塗新設	H=80	45.9	m			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	木製巾木OSCL塗新設	H=150	85.6	m			
	床材巻き上げ	H=100	38.8	m			
	壁 EP-G塗替	モルタル下地 下地処理共	700.0	m ²			
	GB-R t12.5+12.5 EP-G塗	LGS下地	20.1	m ²			
	壁取合いシーリング	PU-2 15×10	16.5	m			
	軽量鉄骨壁下地	W100	54.9	m ²			
	軽量鉄骨壁下地	W65	47.7	m ²			
	軽量鉄骨壁開口補強		1.0	式			代価K002
	天然木化粧合板張	埼玉県産材 杉 UV塗装 t=15	360.0	m ²			
	有孔ラワン合板張OSCL塗	t=5.5	133.0	m ²			
	ラワン合板張OSCL塗	t=5.5	84.8	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	枠 ポリウレタン塗						
		下地処理共	19.3	m			
	グラスウール充填						
		t=50 32kg/m3	42.9	m ²			
	化粧ケイ酸カルシウム板t=6	UVコート					
		GB-S t=12.5 GL工法共	59.7	m ²			
	化粧ケイ酸カルシウム板t=6	UVコート					
		GB-S t=12.5 LGS下地	27.0	m ²			
	天井 GB-D t=9.5						
		LGS下地共	290.0	m ²			
	塩ビ廻り縁						
			374.0	m			
	EP-G塗替	モルタル下地					
		下地処理共	33.7	m ²			
	SOP塗替	センチュリーボード下地					
		下地処理共	726.0	m ²			
	SOP塗替	鉄部					
		下地処理共	499.0	m ²			
	SOP塗替	鉄部 細物					
		下地処理共	1,520.0	m			
	岩綿吸音板張 t=12.0	GB-R t=9.5捨張り					
		LGS下地共	6.6	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ケイ酸カルシウム板目透し張 t=5.0	EP-G塗					
		LGS下地共	32.7	m ²			
	軽量鉄骨天井開口補強						
		450×450程度	3.0	ヶ所			
	椅子収納台車床樹脂モルタル調整						
			44.0	m ²			
	アルミ製EXP.J金物	W160					
		床	2.5	m			
	アルミ製EXP.J金物	W160					
		壁	5.2	m			
	アルミ製EXP.J金物	W160					
		天井	2.5	m			
	床合板下地						
		t15+15	6.6	m ²			
	天井点検口						
		アルミ製 450×450	3.0	ヶ所			
	床下点検口						
		アルミ製 600×600 鍵付き	2.0	ヶ所			
	壁グラスウールボード充填						
		t25	164.0	m ²			
	壁シ合板OSCL塗						
		t=5.5	96.5	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(トイレスラブ)						
	砂利地業	県南					
		再生砕石	1.7	m ³			
	床下防湿層敷き						
		ポリエチレンフィルム t0.8	17.3	m ²			
	生コンクリート						
		Fc18	0.9	m ³			
	生コンクリート						
		Fc24+6	2.6	m ³			
	打設手間						
		捨てコン	0.9	m ³			
	打設手間						
		躯体	2.6	m ³			
	ポンプ圧送						
			3.5	m ³			
	ポンプ圧送基本料金						
			2.0	回			
	コンクリート金コテ押え						
			17.3	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	異形棒鋼	D10	50.9	kg			
	異形棒鋼	D13	90.4	kg			
	鉄筋加工組立		0.1	t			
	鉄筋運搬費		0.1	t			
	鉄筋溶接費	D10-D10 片側10d以上	6.0	箇所			
	鉄筋溶接費	D13-D13 片側10d以上	6.0	箇所			
	計						

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	建具改修工事						
	(アルミ製建具)						
	AW-1		1.0	ヶ所			
	AW-2		2.0	ヶ所			
	AW-3		1.0	ヶ所			
	AW-4		10.0	ヶ所			
	AW-5		1.0	ヶ所			
	AW-6		8.0	ヶ所			
	AW-7		2.0	ヶ所			
	AW-8		1.0	ヶ所			
	AW-9		3.0	ヶ所			
	AW-10		2.0	ヶ所			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	AG-1		1.0	ヶ所			
	AD-1		1.0	ヶ所			
	法定福利費		1.0	式			
	(鋼製建具) SD-1		1.0	ヶ所			
	SD-2		1.0	ヶ所			
	SD-3		3.0	ヶ所			
	SD-4		1.0	ヶ所			
	SD-5		2.0	ヶ所			
	SD-6		1.0	ヶ所			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	SD-7		1.0	ヶ所			
	SD-8		1.0	ヶ所			
	法定福利費		1.0	式			
	(軽量鋼製建具) LSD-1		1.0	ヶ所			
	LSD-2		1.0	ヶ所			
	LSD-3		2.0	ヶ所			
	LSD-4		2.0	ヶ所			
	LSD-5		1.0	ヶ所			
	LSD-6		1.0	ヶ所			

()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	(トイレブース)						
	TB-1	5,805 × 2,000	1.0	か所			
	TB-2	4,740 × 2,000	1.0	か所			
	(木製建具)						
	WD-1		1.0	ヶ所			
	WD-2		1.0	ヶ所			
	姿見鏡用両開き扉	2300 × 1800	1.0	ヶ所			
	ガラス	シーリング 清掃共 合わせ FL3+FL3	196.0	m ²			
	ガラス	シーリング 清掃共 強化透明 t=5.0	16.2	m ²			
	ガラス	シーリング 清掃共 強化透明 t=8.0	7.9	m ²			
	ガラス	シーリング共 強化型 t=4.0	0.2	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ガラス清掃		0.2	m ²			
	建具廻り防水モルタル充填	外部	50.2	m			
	建具廻りモルタル充填	内部	61.4	m			
	建具廻りシーリング(外部)	MS-2 20×10	525.0	m			
	建具廻りシーリング(内部)	カバー工法既存取合部 MS-2 15×10	368.0	m			
	既存額縁SOP塗替	下地処理共	368.0	m			
	木製額縁新設	25×100 OSCL塗	13.9	m			
	木製三方枠新設	25×250 OSCL塗	37.2	m			
	計						

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	雑工事						
	アルミ枠掲示板	1800×900	1.0	ヶ所			
	ホワイトボード	1800×900	2.0	ヶ所			
	SUS製靴拭きマット	700×1700	2.0	ヶ所			
	傘立て		1.0	ヶ所			
	木製下足入れ		1.0	ヶ所			
	SUS製流し台		1.0	ヶ所			
	木製ロッカー	W3600	6.0	ヶ所			
	木製ロッカー	W1800	2.0	ヶ所			
	木製掃除用具入れ		2.0	ヶ所			
	卒業記念撤去再取付		2.0	ヶ所			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	校歌板撤去再取付		1.0	ヶ所			
	バスケットゴール	固定式	2.0	対			
	バスケットゴール	電動吊り下げ式	1.0	対			
	美術バトン	手動昇降装置 L=8000	1.0	ヶ所			
	バック幕固定吊り手動開閉装置	ロープ引き	1.0	列			
	バック幕幕地	難燃起毛5800×5400	2.0	枚			
	ステージ前防球ネットロープ操作		1.0	張			
	中央仕切防球ネットロープ操作		1.0	張			
	対ステージ防球ネット手引操作		1.0	張			
	側面ギャラリー上防球ネット手引操作		2.0	張			
	出入り口防球ネット		4.0	張			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ステージ下収納台車		9.0	列			
	バレーボール用支柱床金具		3.0	組			
	バレーボール用支柱	ネット その他備品共	2.0	セット			
	バドミントン用支柱床金具		4.0	組			
	バドミントン用支柱	ネット その他備品共	4.0	セット			
	高鉄棒移動式支柱		1.0	セット			
	高鉄棒移動式支柱床金具		1.0	セット			
	低鉄棒調節式 4欄		1.0	セット			
	低鉄棒支柱床金具		5.0	ヶ所			
	サージャントジャンプ台	測定範囲0～890mm	2.0	台			
	搬入取付費等	体育器具 収納台車 舞台吊物	1.0	式			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	法定福利費	体育器具 収納台車 舞台吊物	1.0	式			
	ベビーチェア		1.0	ヶ所			
	ベビーシート		1.0	ヶ所			
	L型樹脂被覆手摺り		2.0	ヶ所			
	小便器用樹脂被覆手摺り		1.0	ヶ所			
	SUS製モップ掛け		2.0	ヶ所			
	スチール製手摺り	縦格子					
		H=1340 SOP塗	3.4	m			
	スチール製手摺り	縦格子					
		H=1130 SOP塗	4.5	m			
	既存スチール製手摺りSOP塗替	細物	1,028.0	m			
	既存タラップSOP塗替	細物	27.0	m			
	木製幕板OSCL塗						
		75×30	24.0	m			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既存木製棚塗替	サンダー掛けの上ポリウレタン塗り	18.0	m ²			
	スチール製キャットウォーク床		1.0	式			代価K004
	控室1階段新設		1.0	式			代価K007
	和便器撤去後床塞ぎ	コンクリート	1.0	ヶ所			代価K005
	体育器具支柱用基礎		23.0	ヶ所			代価K006
	木製カーテンボックス	120×150 EP-G塗	65.7	m			
	室名札	平付け	7.0	ヶ所			
	室名札	ピクトサイン	3.0	ヶ所			
	紅白幕取付用収納フック	@1500	55.0	ヶ			
	吊りカーテンレール	4m コーナー加算 2ヶ所	1.0	式			

()

()

名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ピクチャーレール		5.3	m			
メラミンポストフォーム	下地合板t=15共					
	t=20 D150	13.3	m			
計						

()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	外構工事						
	砂利地業	県南					
		再生砕石	9.9	m3			
	生コンクリート						
		Fc24	9.9	m3			
	打設手間						
			9.9	m3			
	ポンプ圧送						
			9.9	m3			
	ポンプ圧送基本料金						
			1.0	回			
	コンクリート金コテ押え						
			66.3	m ²			
	異形棒鋼						
		D10	0.3	t			
	鉄筋加工組立						
			0.3	t			
	鉄筋運搬費						
			0.3	t			
	接着系アンカー						
		D13	64.00	本			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	速硬化・高耐候型合成樹脂系塗床	防滑仕上 モルタル下地共	83.0	m ²			
	U字溝鋼製グレーチング蓋	耐荷重T-6	9.9	m			
	既存コンクリート雨水柵嵩上げ		1.0	ヶ所			
	スロープ床亀裂補修		1.5	m			
	空調屋外機・バルクタンクコンクリート基礎		1.0	式			代価K003
	メッシュフェンス	H=1800 基礎共	13.5	m			
	同上用片開き門扉	H=1800 W=1200 基礎共	2.0	ヶ所			
	配膳室前コンクリート撤去	小口：鉄筋防錆処理、モルタル補修	1.0	式			
	計						

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	撤去工事						
	(屋上) ドレン上皿撤去	縦引き	8.0	ヶ所			
	ドレン上皿撤去	横引き	6.0	ヶ所			
	立上りモルタル撤去		32.2	m ²			
	側溝モルタル撤去		14.7	m ²			
	伸縮目地撤去		209.0	m			
	EXP.J金物撤去	W870	2.5	m			
	EXP.J金物撤去	W370	7.3	m			
	水切り金物撤去		7.3	m			

()

()

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(外壁) 複層塗材E吹付撤去	ウォータークリーン工法					
	下地調整材アスベスト含有	873.00	m ²			
上裏 複層塗材E吹付撤去	ウォータークリーン工法					
	下地調整材アスベスト含有	13.3	m ²			
(校舎) 階段室内壁 吹付材撤去	ウォータークリーン工法					
	下地調整材アスベスト含有	430.0	m ²			
プラスチックシート	養生					
	t=0.15 二重	716.0	m ²			
機械損料		1,316.0	m ²			
同時吸引廃材・廃水分別費		1,316.0	m ²			
フレキシブルボード撤去	t=4.0 アスベスト含有建材	57.9	m ²			
壁タイル・モルタル研り	下地調整材アスベスト含有					
	タイル下地モルタルも含む	24.1	m ²			
粉塵飛散抑制剤散布		82.0	m ²			
床養生		1.0	式			
廃棄物袋詰め	t=0.15 二重梱包	1,398.0	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	安全衛生設備機器		1,398.0	m ²			
	安全衛生備品		1,398.0	m ²			
	石綿作業主任者		1.0	式			
	試験施工費	ウォータークリーン工法					
		隔離養生 粉塵濃度測定	1.0	式			
	石綿除去関係諸経費						
		法定福利費含む	1.0	式			
	塩ビ縦樋撤去						
		100φ	74.7	m			
	ノンスリップタイル撤去						
			36.3	m			
	EXP.J金物撤去						
		W200	9.1	m			
	(内部) 合成樹脂系長尺床材撤去						
			162.0	m ²			
	人研床撤去						
			9.3	m ²			
	フローリング張り撤去						
			772.0	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	鋼製床下地撤去		771.0	m ²			
	木床組撤去		5.6	m ²			
	木製上り框撤去		2.0	m			
	床木枠撤去		4.4	m			
	磁器質25角モザイクタイル張撤去	下地モルタル共	21.7	m ²			
	タイル張り撤去	下地モルタル共	6.8	m ²			
	木製巾木撤去		136.0	m			
	コンクリート撤去		5.0	m ³			
	コンクリートカッター入れ		35.8	m			
	モルタル撤去		8.5	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ラミン板張り撤去		290.0	m ²			
	有孔ラワン合板撤去		137.0	m ²			
	ラワン合板撤去		84.8	m ²			
	シナ合板撤去		121.0	m ²			
	木胴縁撤去		63.0	m ²			
	岩綿吸音材撤去		22.8	m ²			
	コンクリートブロック撤去		1.5	m ³			
	地業撤去		2.6	m ³			
	化粧石膏ボード撤去		218.0	m ²			
	LGS下地撤去		225.0	m ²			
	繊維板系吸音テックス撤去		6.6	m ²			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	吸音インサルマット撤去		6.6	m ²			
	ガラス撤去		240.0	m ²			
	木製戸撤去		40.9	m ²			
	鋼製戸撤去	扉のみ	261.0	m ²			
	鋼製戸撤去	枠共	34.5	m ²			
	建具周囲ハツリ		62.5	m			
	床点検口撤去	600角	4.0	ヶ所			
	天井点検口撤去	450角	3.0	ヶ所			
	掲示板撤去	1800×900	1.0	ヶ所			
	掲示板撤去	750×900	1.0	ヶ所			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	傘立て撤去		1.0	ヶ所			
	木製カウンター撤去	L1800×D200	2.0	ヶ所			
	靴拭きマット撤去	700×1700	2.0	ヶ所			
	SUS流し台撤去	4000×1100×600	1.0	ヶ所			
	スチール製掃除具入れ撤去		3.0	ヶ所			
	テラゾ三方枠撤去		5.8	m			
	EXP.J金物撤去	W150	10.2	m			
	木製下足入れ撤去	W2700H1600×D400	1.0	ヶ所			
	行事用黒板撤去	1200×900	1.0	ヶ所			
	行事用黒板撤去	1800×900	2.0	ヶ所			
	バスケットゴール撤去	固定式	4.0	ヶ所			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	スチールタラップ撤去		2.0	ヶ所			
	木製カーテンボックス撤去		65.7	m			
	防球ネット撤去		581.0	m ²			
	コンクリート基礎撤去		2.1	m ³			
	木製モップ掛け撤去	L1600	2.0	ヶ所			
	幕板撤去		26.3	m			
	木製三方枠撤去		7.8	m			
	木製ロッカー撤去	W5440 × H1900 × D400	2.0	ヶ所			
	木製ロッカー撤去	W7280 × H1900 × D400	2.0	ヶ所			
	ステージ下収納台車撤去	W1230 × D4000 × H800	9.0	台			

()

()

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(外構) コンクリートカッター入れ		11.8	m			
コンクリート撤去		9.5	m ³			
碎石撤去		9.5	m ³			
床 タイル張り撤去	下地モルタル共	83.0	m ²			
U字溝コンクリート蓋撤去	W400	9.9	m			
ツリーサークル撤去		1.0	ヶ所			
樹木伐採伐根	機械併用	1.0	本			
アスファルト舗装切断		16.7	m			
アスファルト舗装撤去		0.7	m ³			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材積込み	機械					
		コンクリート類	36.8	m3			
	発生材積込み	人力					
		ボード・木材類	54.4	m3			
	とりこわし機械運搬						
			1.0	往復			
	とりこわし機械運転						
			1.0	式			

()
()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	発生材処分						
	発生材運搬	8t車					
		アスベスト含有材	5.0	台			
		DID区間有り 10.5km以下					
		コンクリート類(有筋)	16.5	m3			
		DID区間有り 10.5km以下					
		コンクリート類(無筋)	9.3	m3			
		DID区間有り 10.5km以下					
		アスファルト塊	0.7	m3			
		DID区間有り 10.5km以下					
		石膏ボード類	2.0	m3			
		DID区間有り 10.5km以下					
		金属くず	8.1	m3			
		DID区間有り 10.5km以下					
		木くず	41.2	m3			
		DID区間有り 10.5km以下					
		廃プラ	1.1	m3			
		DID区間有り 10.5km以下					
		ガレキ類	10.2	m3			
		DID区間有り 10.5km以下					
		混合廃棄物	1.1	m3			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
		DID区間有り 10.5km以下					
		ガラスくず	0.8	m3			
	発生材処分	アスベスト含有材	30.0	m3			
		コンクリート類(有筋)	38.0	t			
		コンクリート類(無筋)	21.3	t			
		アスファルト塊	1.7	t			
		石膏ボード類	2.0	m3			
		金属くず	8.1	m3			
		木くず	41.2	m3			
		廃プラ	1.1	m3			
		ガレキ類	10.2	m3			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材処分						
		混合廃棄物	1.1	m3			
		ガラスくず	0.8	m3			
	発生材運搬						
		汚泥(アスファルト廃材)	0.04	m3			
	発生材処分						
		濁水処理	0.04	m3			
	計						

()
()
()

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
I	建築工事 校舎	階段室A					
1	直接仮設工事		1	式			
2	内部改修工事		1	式			
3	建具改修		1	式			
4	撤去工事		1	式			
5	発生材処分		1	式			
	合 計						

()
()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	複合改修	146.0	m ²			
	内部養生	複合改修	146.0	m ²			
	整理清掃（内部）	複合改修	146.0	m ²			
	小計						

()
()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	内部改修工事						
	床 ビニル床シート 新設	t2.0 NO WAX仕様	34.9	m ²			
	踊場 ビニル床シート 新設	t2.0 耐摩耗性・全層模様仕様	32.8	m ²			
	踏面・蹴込 ビニル床シート 新設	t2.0 耐摩耗性・全層模様仕様	80.9	m ²			
	壁 EP-G 塗替え	モルタル面 下地調整(C-2)共	430.0	m ²			
	木製壁付手摺 新設	35φ	72.3	m			
	階段 点字ブロック 新設	ゴムタイル 薄型t3.8	5.8	m ²			
	床 階数表示 新設		6.0	か所			
	小計						

()
()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	建具改修工事						
	SD1 鋼製両開き戸・戸袋付 新設	特定防火設備(遮音性能・煙感連動)防錆・焼付塗装 W3400xH2000	4.0	か所			
	SS1 鋼製シャッター 新設	特定防火設備(遮音性能・煙感連動)防錆・焼付塗装 W3280xH2590	1.0	か所			
	上記運搬・取付費	シャッター工事	1.0	式			
	(撤去・建具関連)						
	鋼製建具撤去	枠共 両開き	27.2	m ²			
	鋼製建具(シャッター)撤去	BOX、レール共	8.5	m ²			
	枠廻り はつり	RC t120	48.4	m			
	枠廻り モルタル詰め		48.4	m			

()

()

	名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	(改修・建具関連)						
	建具 SOP塗替え	鉄部 下地調整共	6.5	m ²			
	小計						

()
()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	撤去工事						
	内壁面アスベスト除去	※体育館項にて計上					
	床 長尺床材 撤去		34.9	m ²			
	踊場 長尺床材 撤去	t2.5	32.8	m ²			
	踏面、蹴込 長尺床材 撤去	t2.5	80.9	m ²			

()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材処分						
	積込み	ボート・木類 人力	0.5	m3			
	運搬費	廃プラスチック 10.5km以下 DID区間有り	0.5	m3			
	処分費	廃プラスチック	0.5	m3			
	有価物売却	鉄屑 ヘビーク H4	-1.4	t			
	小計						

()
()
()

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙明細1 防球ネット加工	開口部H-3mからH-4mに変更 L6m					
自在バンド	HE23	4.0	個			
雑金具材	支柱金具	1.0	式			
カーテンネット	PE440T/44本37.5mm目	54.0	m ²			
小リング加工費		26.0	箇所			
雑用チェーン加工費		12.0	m			
取付ロープ材		1.0	式			
ワイヤー金具材		1.0	式			
滑車	φ50S	4.0	個			
滑車	φ50W	1.0	個			
シャックル	φ12	5.0	個			

()
()
()

	名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	開閉ロープ	φ8	30.0	m			
	材料運賃		1.0	式			
	設置手間賃	撤去共	1.0	式			
	高所作業車機材損料		1.0	式			
	発生材処分		1.0	式			
	諸経費		1.0	式			
	合計						

()
()
()

代価表		建築工事							
	名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	経費	備 考
	アスベスト粉塵測定		式	1.00					代価表 K001
01	基本技術料		回	7.00					
02	作業前		点	4.00					
03	作業中		点	30.00					
04	作業後		点	4.00					
05	放流水分析		回	1.00					
06	報告書作成費		回	1.00					
07	現場派遣費		回	7.00					
	計								

代価表		建築工事							
	名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	経費	備 考
	軽量鉄骨壁開口補強		式	1.00					代価表 K002
01	開口補強	W65 900×2000程度	ヶ所	2.00					
02	開口補強	W100 900×2000程度	ヶ所	2.00					
03	開口補強	W65 450×900程度	ヶ所	1.00					
	計								

代価表		建築工事							
	名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	経費	備 考
	空調屋外機・バルクタンクコンクリート基礎		か所						代価表 K003
01	生コンクリート	Fc24	m3	3.43					
02	打設手間	ポンプ	m3	3.43					
03	コンクリートポンプ圧送		m3	3.43					
04	コンクリートポンプ圧送基本料		回	1.00					
05	普通型枠		m ²	5.85					
06	型枠運搬		m ²	5.85					
07	異形鉄筋	D13	t	0.28					
08	鉄筋加工組立		t	0.28					
09	鉄筋運搬		t	0.28					
10	金属拡張アンカー	D13 下向き	本	48.00					

代価表		建築工事							
	名 称	摘 要	単位	数 量	乗 率	単 価	金 額	経費	備 考
11	コンクリート金ごて仕上		m ²	14.40					
	計								

代価表		建築工事							
	名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	経費	備 考
	キャットウォーク床		ヶ所	1.00					代価表 K004
01	鋼材費	C-200×90×8×13.5	kg	8.00					
02	鋼材費	CPL-4.5	kg	1.71					
03	工場組立費		人工	2.00					
04	錆止め塗装(工場)		kg	305.62					
05	現地組立費	ボルト締込み等	人工	2.00					
06	HTB	M16	本	12.00					
07	あと施工アンカー	D16	本	6.00					
	計								

代価表		建築工事							
	名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	経費	備 考
	和便器撤去後床塞ぎ		ヶ所	1.00					代価表 K005
01	生コンクリート	Fc24+6	m3	0.02					
02	打設手間	人力	m3	0.02					
03	普通型枠		m ²	0.38					
04	型枠運搬		m ²	0.38					
05	異形鉄筋	D13	kg	2.97					
06	鉄筋加工組立		kg	2.97					
07	鉄筋運搬		kg	2.97					
08	樹脂系アンカー	D13	本	4.00					
	計								

代価表		建築工事							
	名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	経費	備 考
	体育器具用支柱基礎		ヶ所	1.00					代価表 K006
01	生コンクリート	Fc24+6	m ³	0.13					
02	打設手間	人力	m ³	0.13					
03	普通型枠		m ²	1.60					
04	型枠運搬		m ²	1.60					
05	異形鉄筋	D10	kg	2.82					
06	異形鉄筋	D13	kg	4.50					
07	鉄筋加工組立		kg	7.32					
08	鉄筋運搬		kg	7.32					
09	樹脂系アンカー	D13	本	8.00					
	計								

代価表		建築工事							
	名 称	摘 要	単 位	数 量	乗 率	単 価	金 額	経費	備 考
	鉄骨階段		ヶ所	1.00					代価表 K007
01	鉄骨階段		ヶ所	1.00					
02	鋼材費	C-250×90×11	kg	128.64					
03	鋼材費	PL-9	kg	33.91					
04	接着系アンカー	D16	本	8.00					
05	現地組立費		人工	2.00					
06	HTB	M16	本	4.00					
07									
08									
09									
	計								

市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）

設 計 図

（有）桑子建築設計事務所

図面番号	建築図面名称	縮尺	図面番号	設備図面名称	縮尺	図面番号	設備図面名称	縮尺
(建築)			(電気設備)			(機械設備)		
A-01	表紙							
A-02	図面リスト	—						
A-03	特記仕様書(改修その1)	—						
A-04	特記仕様書(改修その2)	—						
A-05	特記仕様書(改修その3)	—						
A-06	特記仕様書(改修その4)	—						
A-07	特記仕様書(改修その5)	—						
A-08	特記仕様書(改修その6)	—						
A-09	特記仕様書(改修その7)	—						
A-10	特記仕様書(改修その8)	—						
A-11	特記仕様書(アスベスト除去)	—						
A-12	案内図、配置図	S=1/400						
A-13	改修前後 仕上表	—						
A-14	改修前 1階平面図	S=1/20、100						
A-15	改修前 2階平面図	S=1/100						
A-16	改修前 屋根平面図	S=1/100						
A-17	改修後 1階平面図	S=1/20、100						
A-18	改修後 2階平面図	S=1/100						
A-19	改修後 屋根平面図	S=1/100						
A-20	改修前 西・北面立面図	S=1/100						
A-21	改修前 東・南面立面図	S=1/100						
A-22	改修後 西・北面立面図	S=1/100						
A-23	改修後 東・南面立面図	S=1/100						
A-24	改修前 矩計図	S=1/30						
A-25	改修後 矩計図	S=1/30						
A-26	改修前 ステージ廻り詳細図	S=1/30、50						
A-27	改修後 ステージ廻り詳細図	S=1/30、50						
A-28	改修前 アリーナ展開図	S=1/100						
A-29	改修後 アリーナ展開図	S=1/100						
A-30	改修前 玄関 事務室 器具庫 平面詳細図・展開図	S=1/50						
A-31	改修後 玄関 事務室 器具庫 平面詳細図・展開図	S=1/50						
A-32	改修前 便所 更衣室 平面詳細図・展開図	S=1/50						
A-33	改修後 便所 更衣室 平面詳細図・展開図	S=1/50						
A-34	改修前後 卓球場 平面詳細図・展開図	S=1/50						
A-35	改修前 1、2階天井伏図	S=1/100						
A-36	改修後 1、2階天井伏図	S=1/100						
A-37	改修前 建具キープラン	S=1/200						
A-38	改修後 建具キープラン	S=1/200						
A-39	撤去建具表	S=1/100						
A-40	新設建具表	S=1/100						
A-41	家具詳細図・1	S=1/20						
A-42	家具詳細図・2	S=1/2、5、15、20						
A-43	雑詳細図・1	S=1/10、20、30						
A-44	雑詳細図・2	S=1/20、30						
A-45	床伏図 鋼製床組詳細図(参考図)	S=1/2、10、100						
A-46	コートライン 体育器具・基礎配置図(参考図)	S=1/10、20、40、60、100						
A-47	防球ネット 固定式バスケットゴール サージャントジャンプ台詳細図(参考図)	S=1/30、50						
A-48	吊上げ式バスケットゴール改修詳細図(参考図)	S=1/50、150						
A-49	椅子収納台車詳細図(参考図)	S=1/3 5 10 20 100						
A-50	EX P. J金物詳細図(参考図)	S=1/5、10、100						
A-51	仮設計画図(参考図)	S=1/300						
A-52	工事区分表	—						

Table with columns for waterproofing specifications, including sections for roof waterproofing, exterior wall waterproofing, and floor waterproofing. It details materials like asphalt and concrete, and methods for application and inspection.

Table detailing the use of high-reflectance waterproofing and the application of various waterproofing materials like bitumen and acrylics. It includes specific instructions for application and inspection procedures.

Table covering repair and maintenance work, such as concrete surface repair, tile replacement, and wall waterproofing. It provides detailed guidelines for material selection and execution methods.

Table detailing the installation and inspection of waterproofing materials, including tile replacement, wall waterproofing, and floor waterproofing. It includes specific requirements for materials and workmanship.

⑧ 合板等
・「合板の日本農林規格」による普通合板
・「合板の日本農林規格」による構造用合板
・「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板
・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
・パーティクルボード
・JAS 0360 に基づく構造用パネル
・MDF
9 接合具等
10 接着剤
11 防蟻・防蟻処理
12 内部間仕切軸組及び床組み
13 窓、出入口その他
14 軽量鉄骨天井下地

15 軽量鉄骨壁下地
16 ビニル床シート
17 ビニル床タイル
18 特殊機能床材
19 ビニル幅木
20 ゴム床タイル
21 カーペット敷き
22 合成樹脂塗床
23 フローリング張り
24 畳敷き
25 せっこうボード
その他のボード張り

26 壁紙張り
27 モルタル塗り
28 タイル張り
29 セルフレベリング材塗り
30 フリーアクセスフロア
31 可動間仕切
32 移動間仕切
33 トイレブース
34 手すり

モルタル
現場調査材料
既調査材料
目地目
目地割り
伸縮調整目地の位置
伸縮調整目地のシーリング材
目地寸法は改特記仕様書第3章による試験張り
見本焼き
セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状・寸法等
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調査モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調査目地材
壁タイル張りの工法
内装タイル
内装タイル以外のユニットタイル
有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り
タイルの形状・寸法等
フリーアクセスフロアフロアの試験方法
寸法精度
パネルの長さの寸法精度
パネルの平面形状(角度)
フリーアクセスフロアの長さの寸法精度
常電防止性能
評価値(U) ≥ 0.6以上
評価値(U) ≥ 1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗(R) ≥ 1×10^9 Ω
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
構造形式
構成基材の種類
パネル表面仕上げ
遮音性
防火性能
パネル内に取付ける建具
あり(※図示)
なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に
対して、耐力及び変形量及使用上支障のないもの
パネル材料のホルムアルデヒド放射量
※F☆☆☆☆
表面材の種類
脚部種類
ドアエッジの材質
ドアエッジの形状
メラミン樹脂系化粧板
※製造所の標準仕様
標準
ポリエステル樹脂系化粧板
アルミニウム製
ステンレス製
表面材と同材
Rタイプ
材料の種類及び仕上げ
SUS304 表面処理
※HL程度
鋼製
表面処理
溶接溶めつき(※標準仕様書 表14.2.2による種別(種))
アルミニウム 表面処理(※標準仕様書 表14.2.1による種別(種))
色合等
標準色(種)
特注色(種)
手すりの握り部分
材種
表面仕上げ
直径(mm)
取付箇所
備考
集成材(材種)
ガラス
30程度・35程度・45程度
E-1製鋼ドレール
30程度・35程度・45程度
樹脂被覆付
34φ

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 35 階段滑り止め, 36 黒板及びホワイトボード, 37 表示, 38 タラップ, 39 ブラインド, 40 ロールスクリーン, 41 カーテン, 42 カーテンレール, 43 ブラインドボックス及びカーテンボックス, 44 天井点検口, 45 床点検口, 46 くつふきマット, 47 流し台ユニット, 48 鋼製書架及び物品棚.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 49 屋内掲示板, 50 洗面カウンター, 51 防煙垂れ壁, 52 収納家具, 7 塗装改修工事, 28 耐震改修工事, 29 環境配慮改修工事, 28 断熱・防露改修工事, 29 屋上緑化改修工事, 30 透水性アスファルト舗装改修工事.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 30 石粉じん濃度測定, 31 石綿含有吹付け材の除去, 32 石綿含有保温材等の除去, 33 石綿含有成形板の除去, 34 石綿含有建築用仕上塗材等の除去, 35 石綿含有建築用仕上塗材等の除去, 36 PCB含有シーリング材処分, 37 外断熱改修工事.

Table with 2 columns: Item No. and Description. Items include 38 断熱・防露改修工事, 39 屋上緑化改修工事, 40 透水性アスファルト舗装改修工事, 41 植栽基盤及び材料, 42 建築基準法に基づき定まる風圧力の, 43 建築基準法に基づき定まる風圧力の, 44 建築基準法に基づき定まる風圧力の.

10 鉄筋工事	① 鉄筋 鉄筋の種類 (5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・SD295	※D16以下		・SD345	※D19以上		・			・			施工完了後の溶接部の試験 ・外観試験 ・試験対象 ※全数 ・試験項目 ・評定等の評価内容による ・試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 ・試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度とする ・試験の箇所数 ・1ロットに対して()箇所 ・全数 ・試験項目 ※内部欠陥の検出 ・試験方法 ※JIS Z 3063 (鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準)による ・不合格となった場合の措置	11 寒中コンクリート 適用期間 (月 日～月 日) (6.11.1、2) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による()、S=() 12 暑中コンクリート 適用期間 (月 日～月 日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※Q/m ² ・図示による()、S=() 13 マスコンクリート 適用箇所 (6.13.1、2) ・図示による() セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中庸熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(標準仕様書6.13.2(2)(7)による) ・標準仕様書6.13.2(2)(7)による スランプ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書表6.13.1による																											
	種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																										
	・SD295	※D16以下																																											
	・SD345	※D19以上																																											
	・																																												
	・																																												
	2 溶接金網 形状等 (5.2.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子					14 無筋コンクリート コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による() 15 コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1)単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び落下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込み前に持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を画面(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、ITM法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。																													
	種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																									
	・溶接金網																																												
	・鉄筋格子																																												
③ 鉄筋の継手 鉄筋の継手方法等 (5.3.4) <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・溶接継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>・重ね継手 ・ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> 継手位置 ・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) ・基礎梁主筋の継手位置 ・図5.2 ・図5.3 ・図5.4 ・図示による() 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による() 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(7)) ・図示による() 柱及び梁の主筋で隣り合う継手を同一箇所には設ける部分の位置及び施工方法等 ・図示による()	部位	継手方法	呼び径 (mm)	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上			・溶接継手		耐力壁の鉄筋	・重ね継手		基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接		その他の鉄筋()	・重ね継手		① ② ① コンクリートの種類等 (6.2.1) ② セメント (6.3.1)	普通コンクリート (6.2.1～6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スランプ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>2.3程度</td> <td>・15又は18・18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 構造体強度補正值(S) (6.3.2) ※標準仕様書表6.3.2による 補正值S=3 (月 日～月 日、月 日～月 日) S=6 (月 日～月 日、月 日～月 日) ③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 ・混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランプ	適用箇所	・24	2.3程度	・15又は18・18		・				・				・				・				③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 ・混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による() 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)
部位	継手方法	呼び径 (mm)																																											
柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上																																												
	・溶接継手																																												
耐力壁の鉄筋	・重ね継手																																												
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手 ・ガス圧接																																												
その他の鉄筋()	・重ね継手																																												
設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スランプ	適用箇所																																										
・24	2.3程度	・15又は18・18																																											
・																																													
・																																													
・																																													
・																																													
④ 鉄筋の定着 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ・図示による() 機械式定着工法 運用場所 ・図示による() 種類 ・摩擦圧接結合 ・蝶合グラウト固定 ・板合グラウト固定 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強防形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による	③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 ・混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)	③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 ・混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による() 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による() 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)																																										
⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む) 最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による() 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所() 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ ()mm	③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 ・混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)																																										
⑥ 各部配筋 ※図示による (5.3.7) 7 ガス圧接 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(4)(a)による) ・引張試験 ・試験方法 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による 8 機械式継手 適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による() H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 ・試験対象 ※全数 ・試験項目 ・評定等の評価内容による ・試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 ・試験対象 ・抜取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする ・試験の箇所数 ・1ロットに対して()箇所 ・全数 ・試験項目 ※挿入長さ ・試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による ・不合格となった場合の措置	③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 ・混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)																																										
9 溶接継手 適用箇所 (5.5.3、5) ・図示による() H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による() 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による()	③ 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下) ④ 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 ・混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) ・図示による() 6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ()日 ⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)																																										

Main content table containing technical specifications and standards for seismic renovation work, organized in a grid format with multiple columns for different project aspects.

	<p>〈免震改修工事〉</p> <p>・別添の免震工事特記仕様書による</p> <hr/> <p>〈制振改修工事〉</p> <p>・別添の制振工事特記仕様書による</p> <hr/> <p>〈土工事及び地業工事〉</p> <p>既存杭の撤去等</p> <p>撤去範囲及び撤去方法 図示による () - [8.28.2]</p> <p>杭頭部等の処理 図示による () -</p> <p>既存杭の補強 図示による () -</p> <p>健全性の確認試験 図示による () -</p> <p>2 土工事</p> <p>埋戻し及び盛土の種類 [8.28.3]</p> <p>・A種 適用場所 ()</p> <p>・B種 適用場所 ()</p> <p>・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 ()</p> <p>・D種 適用場所 ()</p> <p>品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。</p> <p>六価クロム溶出試験 ・行う</p> <p>建設発生土の処理 ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷均し</p> <p>鋼矢板等の抜き跡の処理 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる ()</p> <p>山留め壁等の存置 ・行う (存置範囲 ※図示)</p> <p>3 地業工事</p> <p>・杭地業 [8.2.15][8.28.4]</p> <p>支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端の位置含む)</p> <p>図示による ()</p> <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等</p> <p>図示による ()</p> <p>試験杭の位置、本数、寸法、施工方法</p> <p>図示による ()</p> <p>杭の載荷試験 ・適用 (鉛直 ・水平)</p> <p>試験杭 (位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示)</p> <p>地盤の載荷試験 ・適用 (※平板)</p> <p>試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示</p> <p>杭の溶接継手 ・あり (継手の箇所数、材料、工法等 ※図示)</p> <p>技能資格者の技量及び溶接部の確認 ※図示</p> <p>杭頭の処理等 ・する (処理方法(切断にともなう補強方法含む) ※図示)</p> <p>記録する施工状況等 ・図示による ()</p> <p>・砂利地業 [8.2.15][8.28.4]</p> <p>材料 ・再生クラッシュラン () ・切込砂利又は切込砕石</p> <p>施工範囲 ・図示による ()</p> <p>厚さ ※60mm</p> <p>・砂地業 [8.2.15][8.28.4]</p> <p>材料 ・シルト ・有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂</p> <p>施工範囲 ・図示による ()</p> <p>厚さ ※60mm</p> <p>・捨コンクリート地業 [8.11.1~3][8.28.4]</p> <p>材料 ※普通コンクリート</p> <p>設計基準強度 ※18N/mm²</p> <p>スランブ ※15cm又は18cm</p> <p>施工範囲 ・図示による ()</p> <p>厚さ ※90mm (※平たん仕上げ)</p>													
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

特記事項

【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】

- 令和3年3月 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」(以下マニュアル)により、下記工法の併用工法とする。
 [一般部] (7) 集塵装置付き超高压水洗工法(100MPa以上)・同時吸引式(ウォータークリーン工法)
 [狭あい部] (4) (湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式(ウォータークリーンSG工法)
 (9) (湿式) 集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法
- 石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明(財)日本建築センター)により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。
- 本施工前に試験施工(隔離養生(負担不要)の作業場を設置する)を行い、(1)の(4)の工法の作業場内の気中濃度測定結果が10本/L以下を満たすことを確認すること。基準値を満たし隔離措置同等工法と認められた場合は簡易養生で<本施工>を行う(環境省・東京労基署確認済)。基準値を満たさない場合は作業場内をプラスチックシート等にて隔離養生(負担不要)を行うこと(※)。
 ※ただし、下記条件を満たす場合は、「隔離養生(負担不要)と同等以上の効果を有する措置」と判断する(マニュアルp.207)
 (7) 除去面への散水等の措置を講じながら作業を行うことにより、「常時湿潤な状態に保つ」ことができること
 (除去作業を行う前に表面に対する散水等では、切断に伴う石綿等の粉じん発生抑制措置としては不十分)
 (4) 集塵装置を備えたカバー付きの工具にて、同時吸引状況下での施工を行うこと
 (9) 当該集塵装置付き工具の集じん装置として、作業中の作業場所における総繊維濃度が10本/Lを下回ること
- 本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

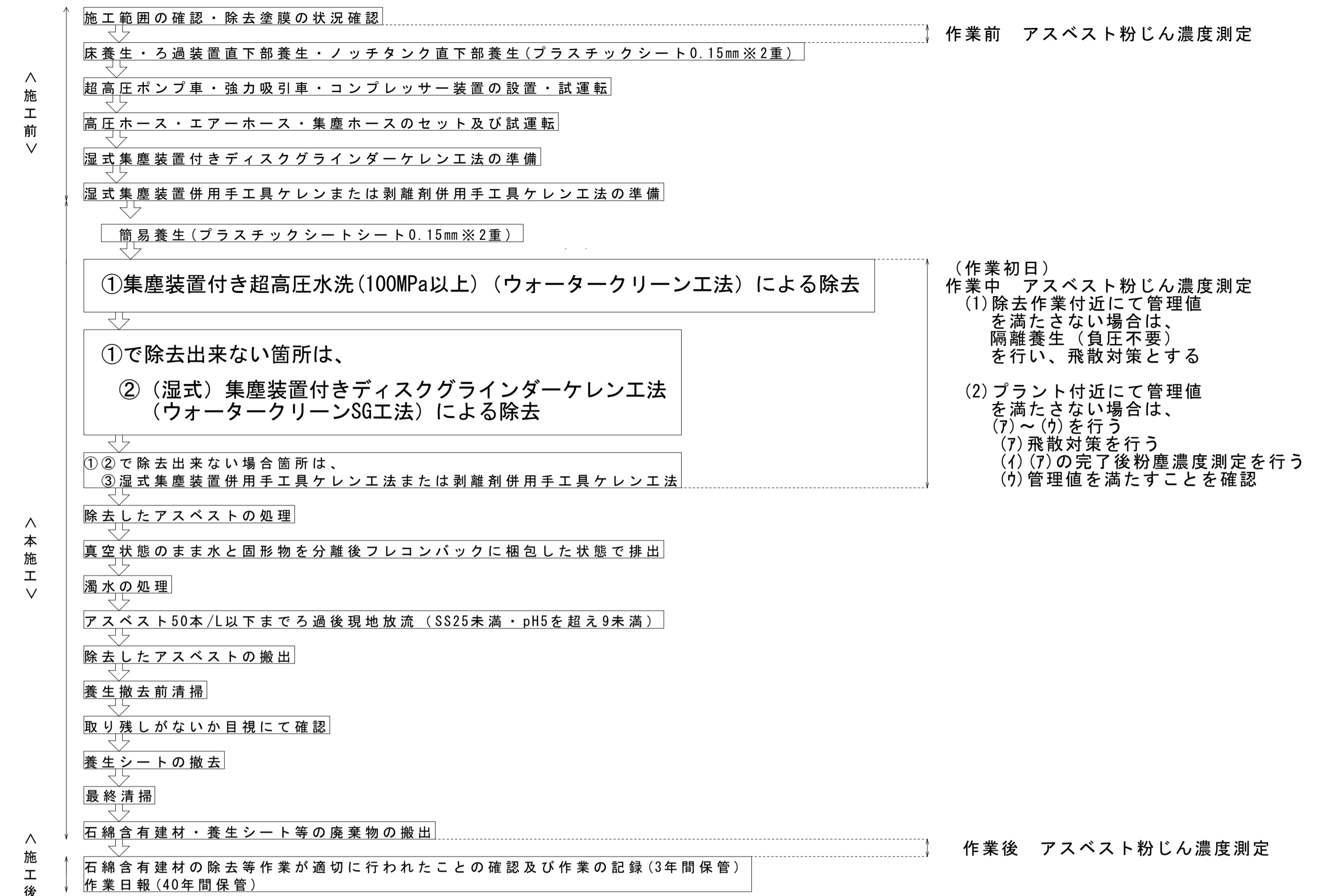
項目	特記仕様	管理方法
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。	
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60~-90kPa 風量 30~40m ³ /分	撮影 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	撮影
水処理(濁水処理内容)	上澄み水は最終0.2μmフィルターを透過させ以下の値を遵守する。 ・アスベスト含有量 50本/L以下(検出限界値) ・pH pH5を超え9未満 ・浮遊物質量(SS) 25mg/L未満	(放流前)pH調整器にて確認・撮影 (放流前)簡易透視度計にて確認・撮影 第三者機関にて測定
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値(10本/L以下)を満たしていることを確認する。 (7) 試験施工の場合 測定時期 測定箇所 作業中 プラント付近 1点 作業場内付近 1点 合計2点 (4) 本施工の場合 測定時期 測定箇所 測定時間 作業前 敷地境界 4方向各1点 計4点 240分 作業中 敷地境界 4方向各1点 240分 プラント設置付近 1点 120分 除去作業付近 1点 計6点 120分 作業後 敷地境界 4方向各1点 計4点 240分 合計14点	第三者機関にて測定
廃材処理	(1) 強力吸引車を使用した同時吸引式工法により撤去した塗膜と廃水を外気に触れることなく密閉状態で安全に集積・分別をする。 (2) 分別した塗膜はフレコンバックに集めたのちプラスチック袋(0.15mm以上)で2重梱包する。	撮影
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 除去したアスベスト含有材等を撤去するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (2) 一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (3) アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (4) 運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (5) 除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。	撮影

(4) 特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。

項目	特記仕様	報告方法
吸引時の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 -60~-90kPa 風量 30~40m ³ /分	写真 臨機に仕様書提出
吸引時の排気濾過	ジェットスクラバ方式及びHEPAフィルター	写真
水処理(濁水処理内容)	アスベスト含有量 50本/L以下 pH pH5を超え9未満 浮遊物質量(SS) 25mg/L未満	第三者機関の報告書 写真および第三者機関の報告書 写真および第三者機関の報告書
アスベスト粉じん濃度測定	管理値(10本/L)以下	第三者機関の報告書
廃材処理	(1) 飛散防止状況 (2) 二重梱包状況	写真 写真
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(1) 一時保管庫での保管状況 (2) 一時保管庫および看板設置状況 (3) 石綿含有産業廃棄物搬出状況 (4) 石綿含有産業廃棄物シート掛け状況 (5) 石綿含有産業廃棄物最終処分場	写真 写真 写真 写真 写真

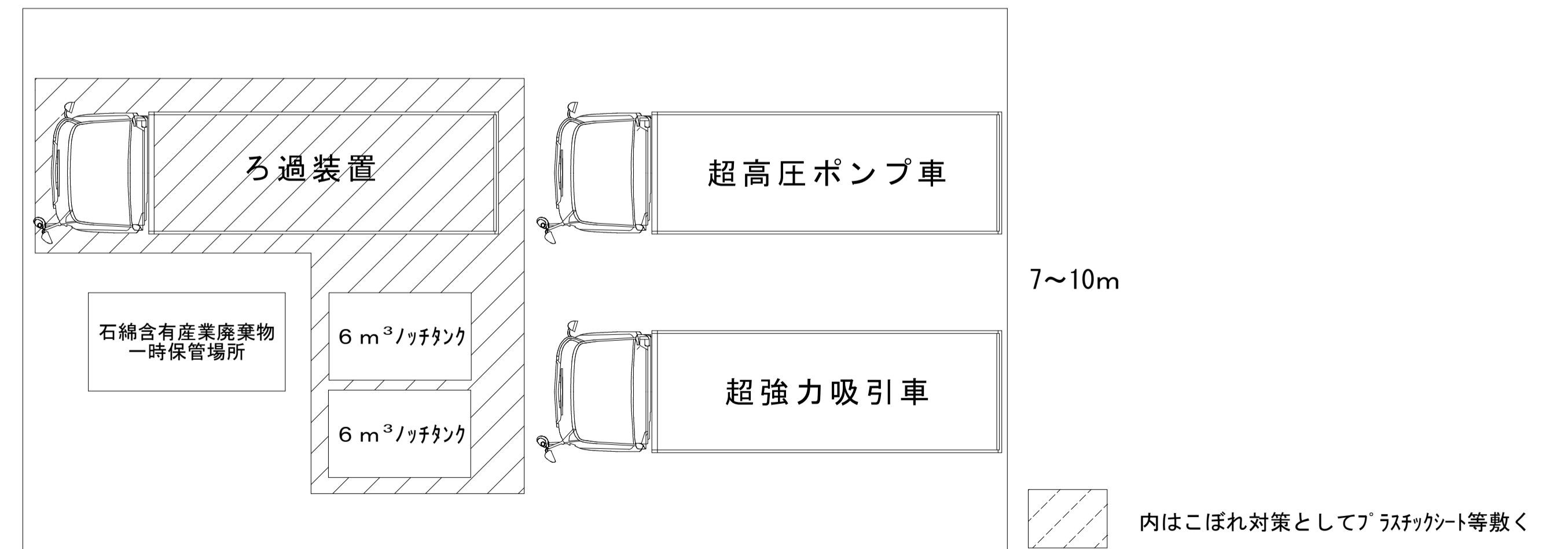
- 石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録
 石綿の取り残しがないこと等の確認 記録の手順として、マニュアルの4.15(p.225)に従って行う。
 ・4.15.1 作業が適切に行われたことの確認の流れ
 ・4.15.2 作業の記録、確認及び記録の保存
 ・4.15.3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法
 ・4.15.5 発注者への報告

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】



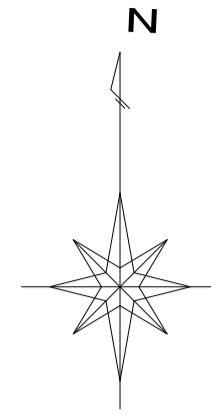
【同時吸引式プラント設置図(平面図)】

- 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
- 機材設置位置は縦に1列縦列も可能。

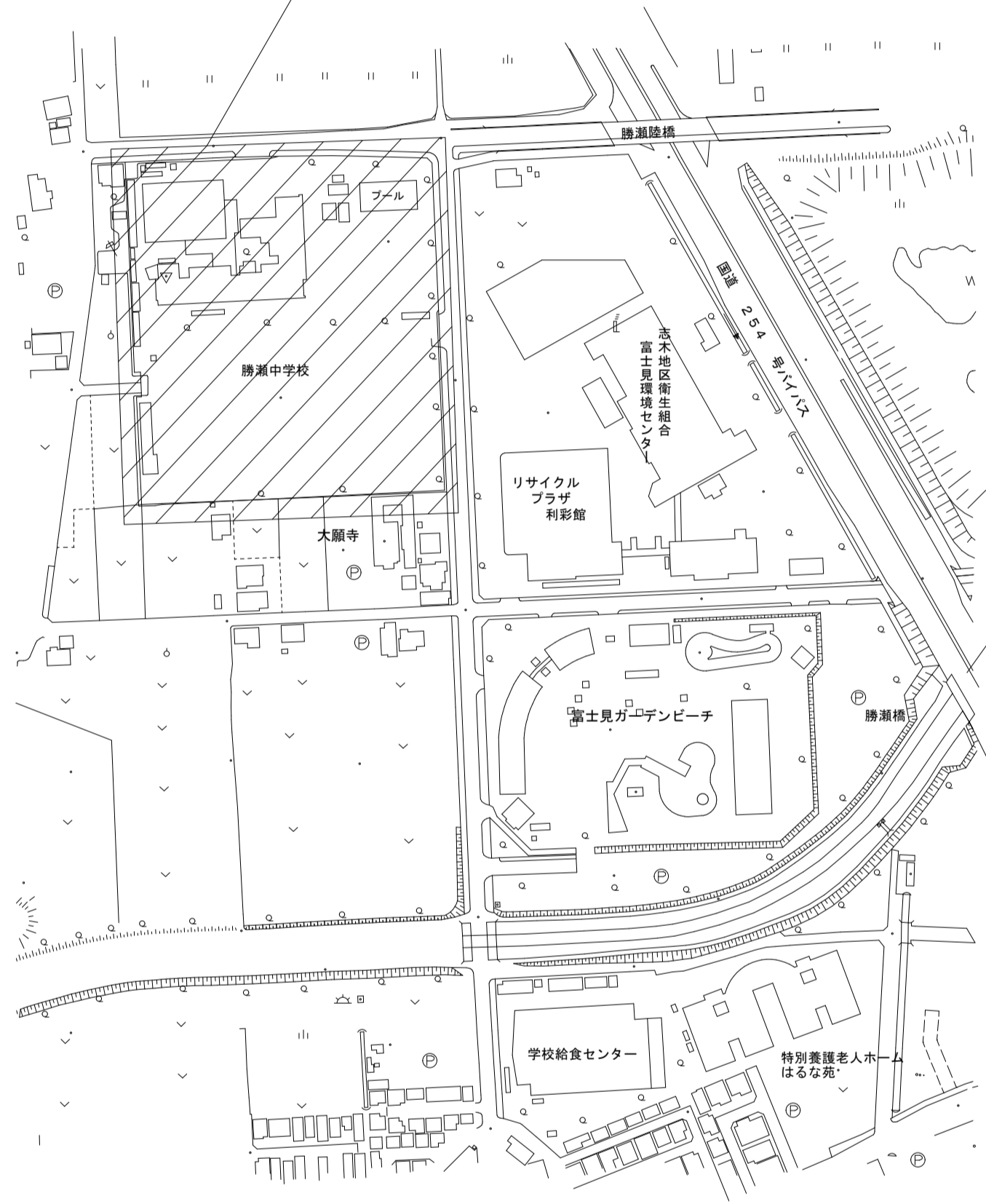


12~15m

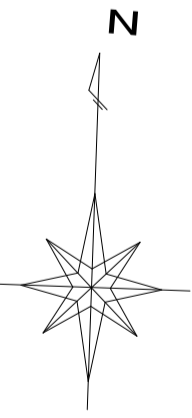
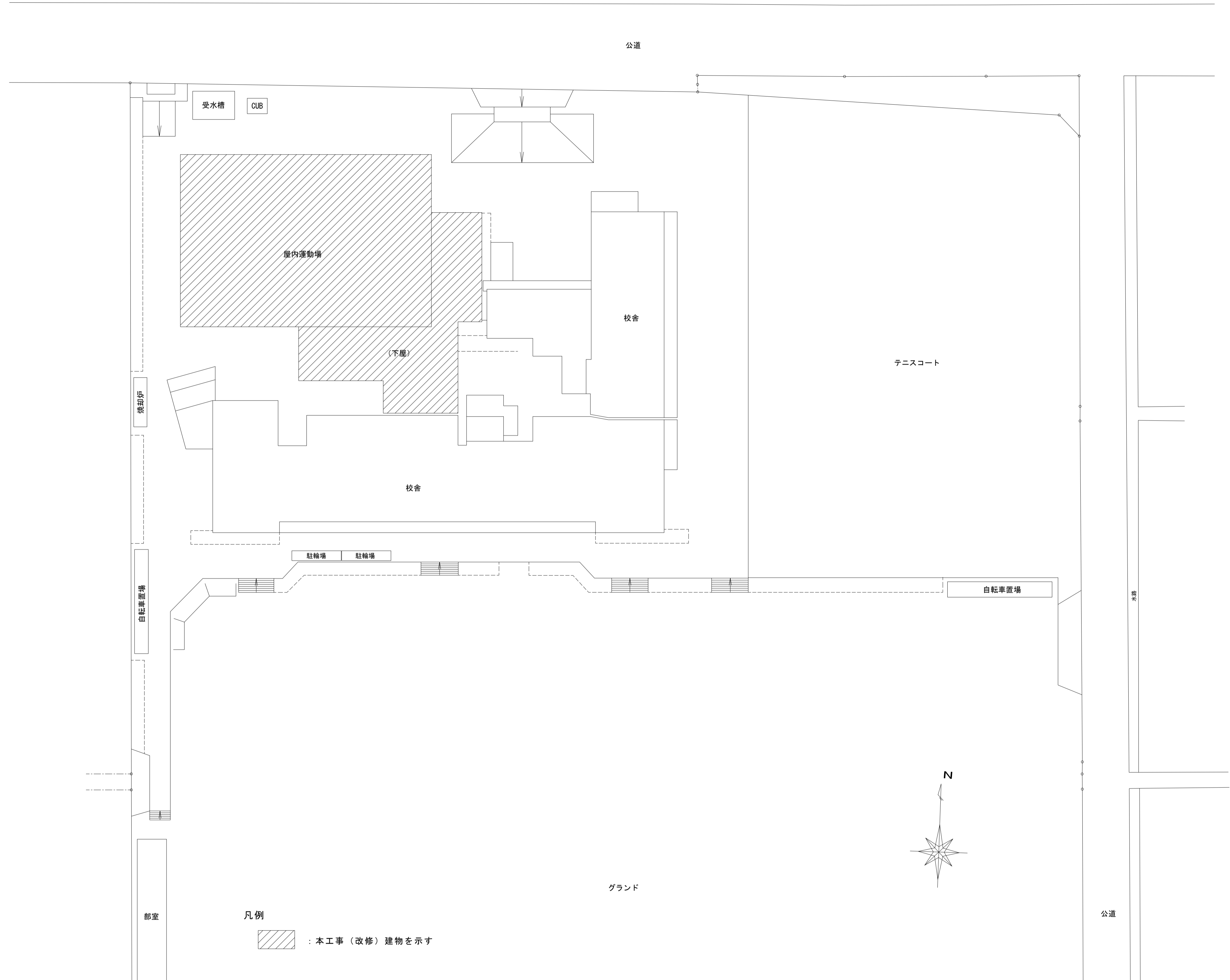
(ろ過装置直下部・ノッチタンク直下部など)



工事場所：富士見市 大字勝瀬 地内
市立勝瀬中学校



案内図 NOSCALE



凡例
: 本工事（改修）建物を示す

配置図 S=1/400

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榎引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当

縮尺 A1: 1/400
A3: 1/800
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）

図面名称 案内図 配置図

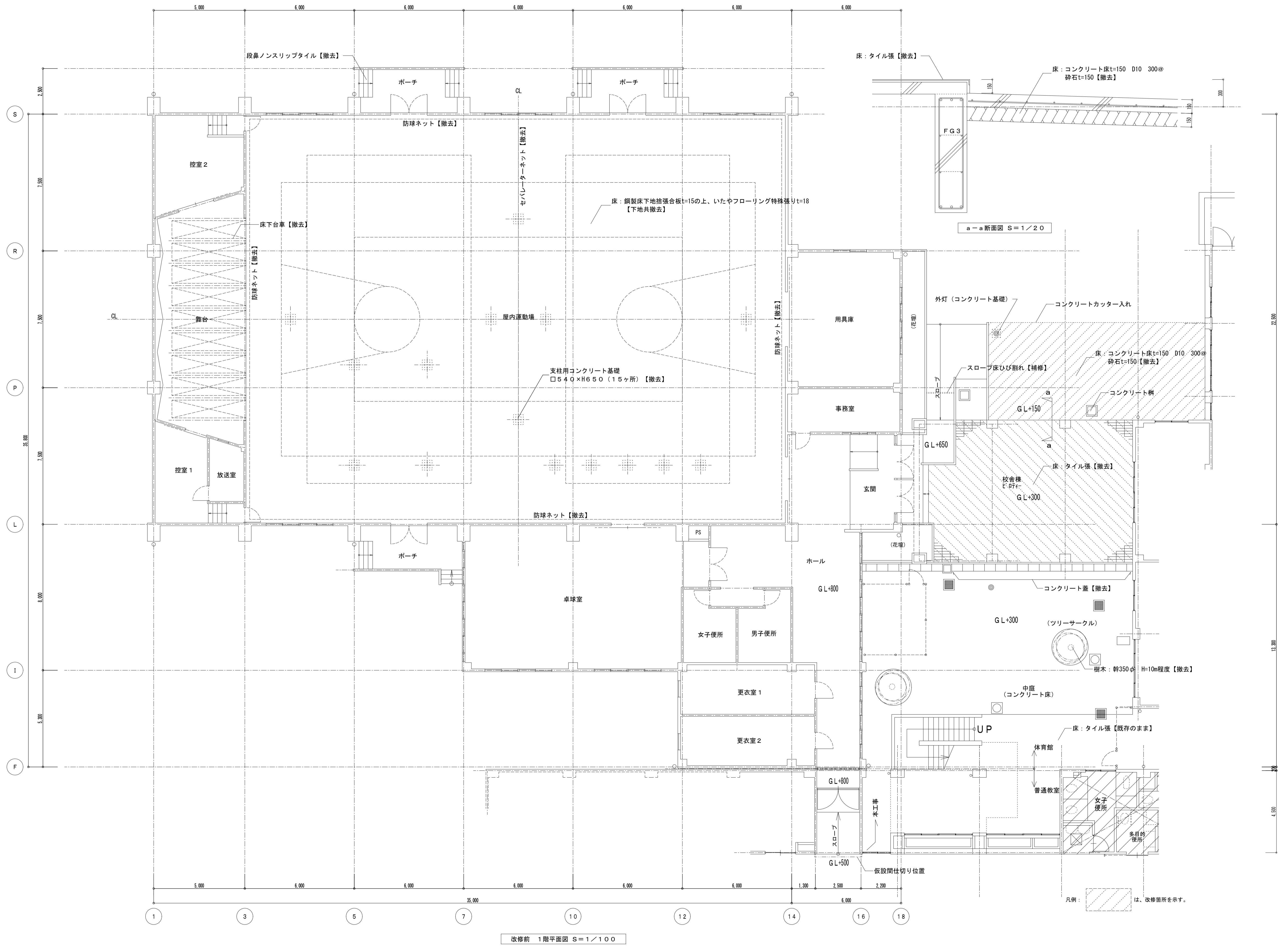
仕上表
外観・梁底共
修正前
修正後
修正前
修正後
修正前
修正後
修正前
修正後
修正前
修正後

内部仕上表
階 室名 床 巾木 壁 天井 廻り縁 天井高 室名札 備考
1階 アリーナ
ステージ
控室
放送室
用具庫
事務室
玄関
ホール
卓球場
更衣室
男子・女子便所
多目的便所
2階 キャットウォーク

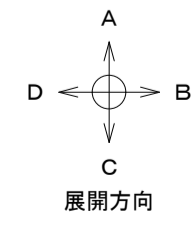
特記事項
改修仕様の詳細は、「特記仕様書」「埼玉県建築工事特別共通仕様書」「国土交通省仕様」に準ずる。
既存アスベスト含有は、吹付タイル(下地調整材に含有)。
新規建築材料は、F☆☆☆☆規格品・ゼロアスベスト製品とする。
鋼製床組 参考型番:三洋工業 スリーブス101型 同等品以上とする。
床フローリングは、ウレタン塗装(3回塗)とする。また、周囲エキパンシヨム入り(20×20)【新設】とする。

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区錦町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 貴
承認 設計 担当
縮尺 -
工事名称 市立瀨瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロバブル)
設計年月日 2023.3.15
図面名称 改修前後 仕上表
No. A-13

改修前



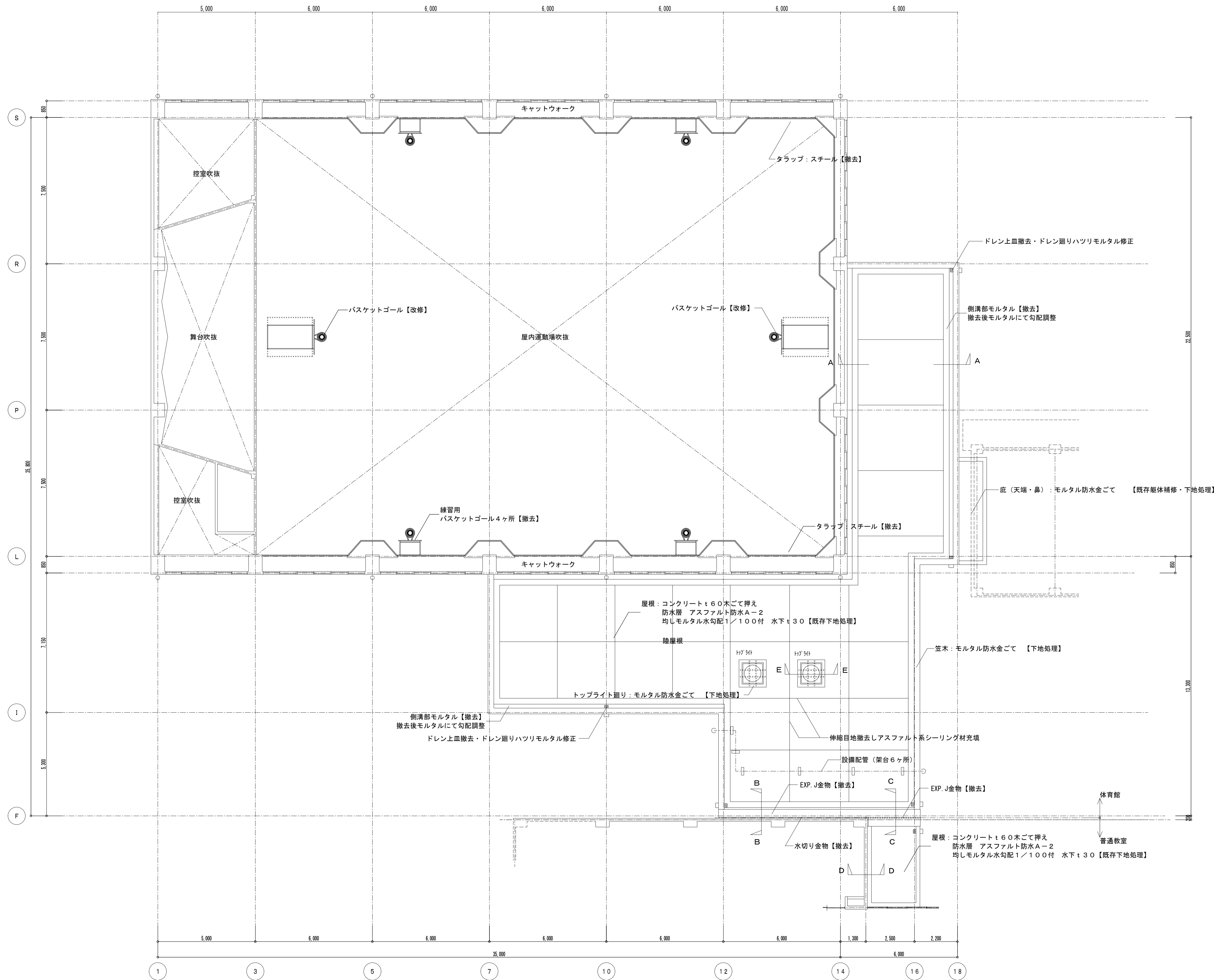
改修前 1階平面図 S=1/100



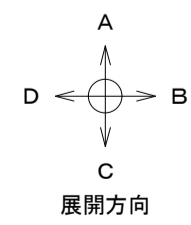
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区御引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/20 100
 A3:1/40 200
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前 1階平面図



改修前 2階平面図 S=1/100



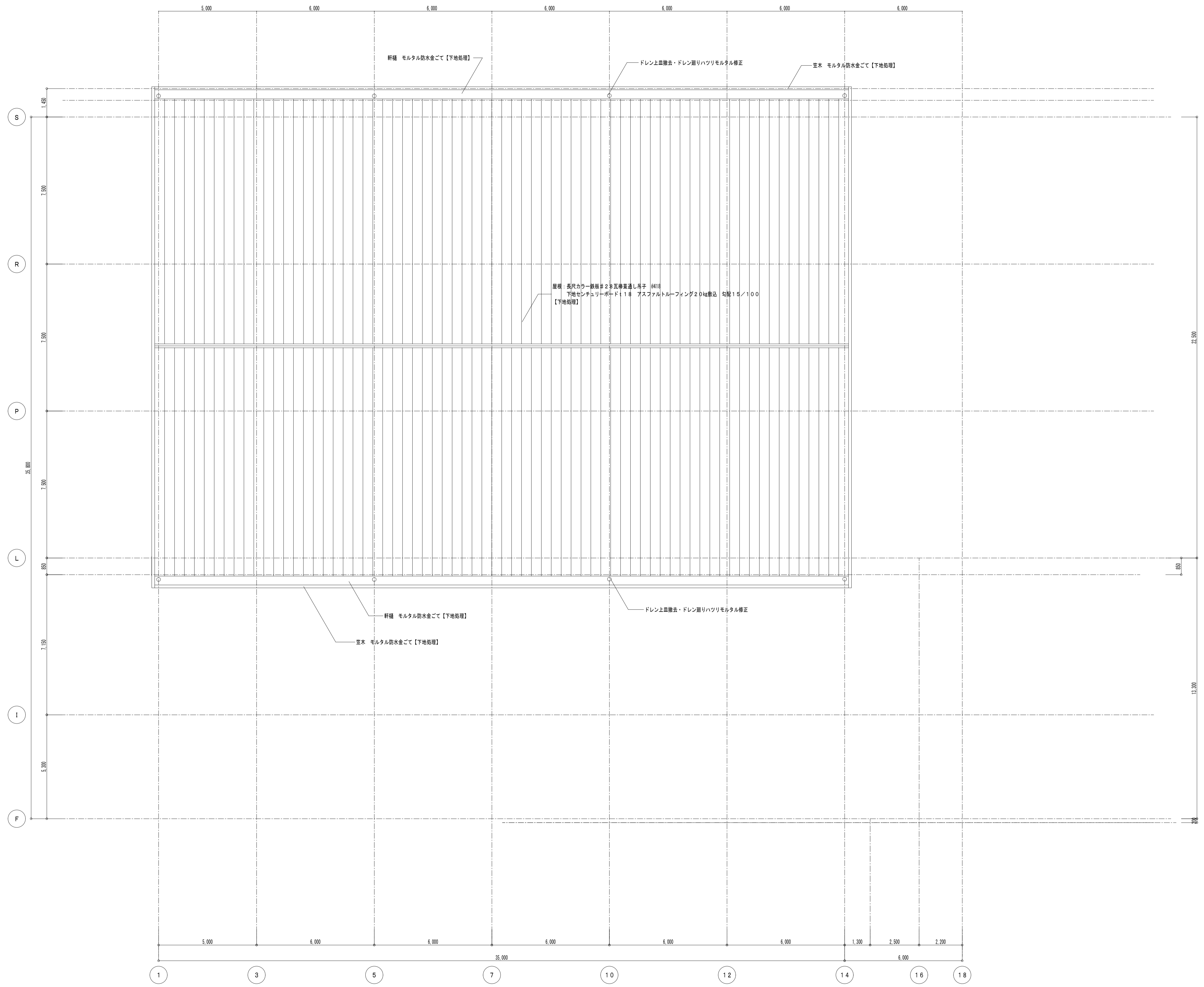
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区船引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認	設計	担当

縮尺 A1:1/100
 A3:1/200
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前 2階平面図

改修前



改修前 屋根伏図 S=1/100

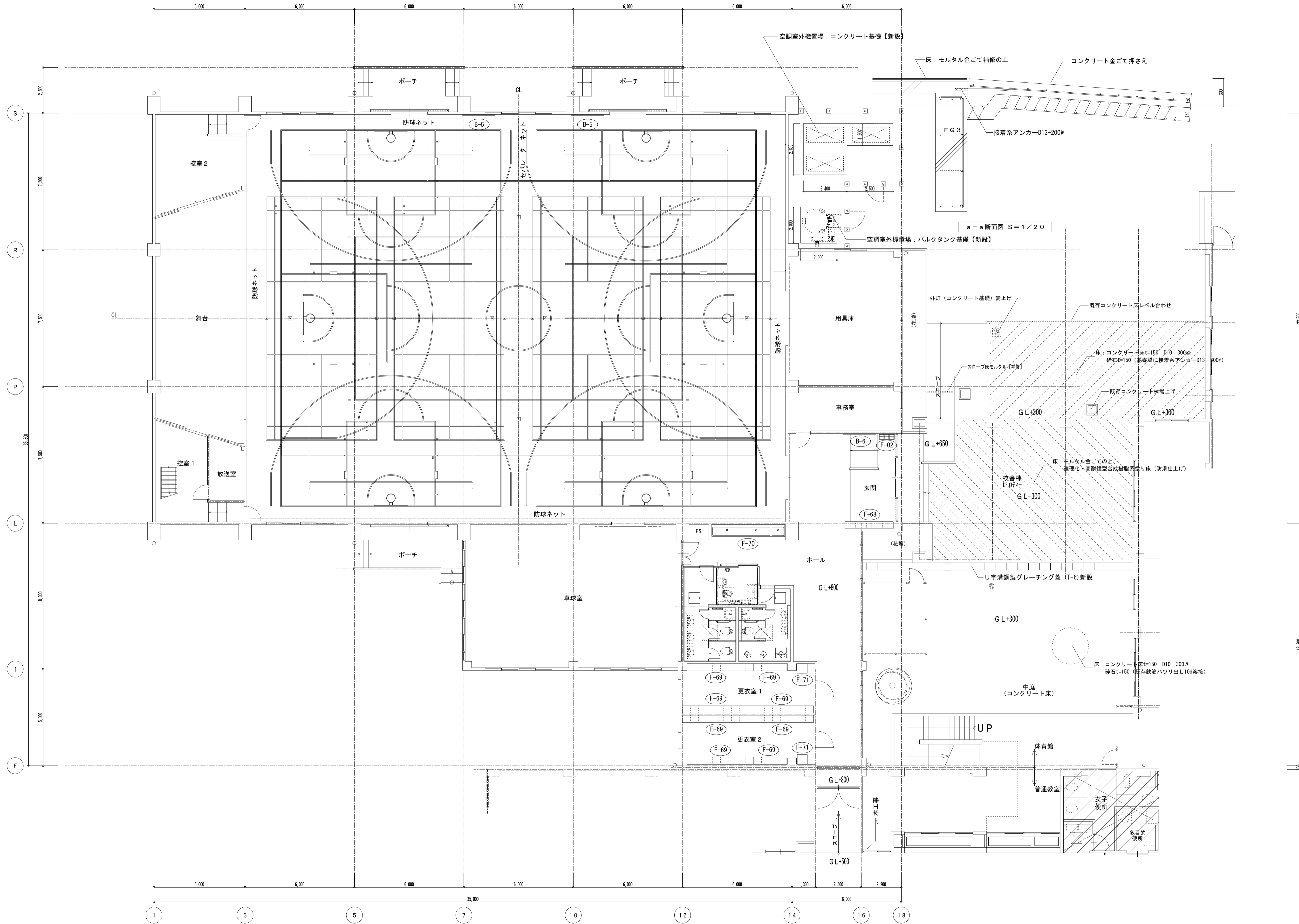
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区扇引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認	設計	担当

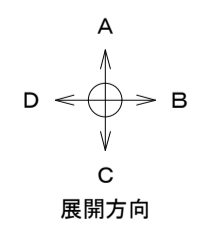
縮尺 A1:1/100
 A3:1/200
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前 屋根伏図

改修後



改修後 1階平面図 S=1/100

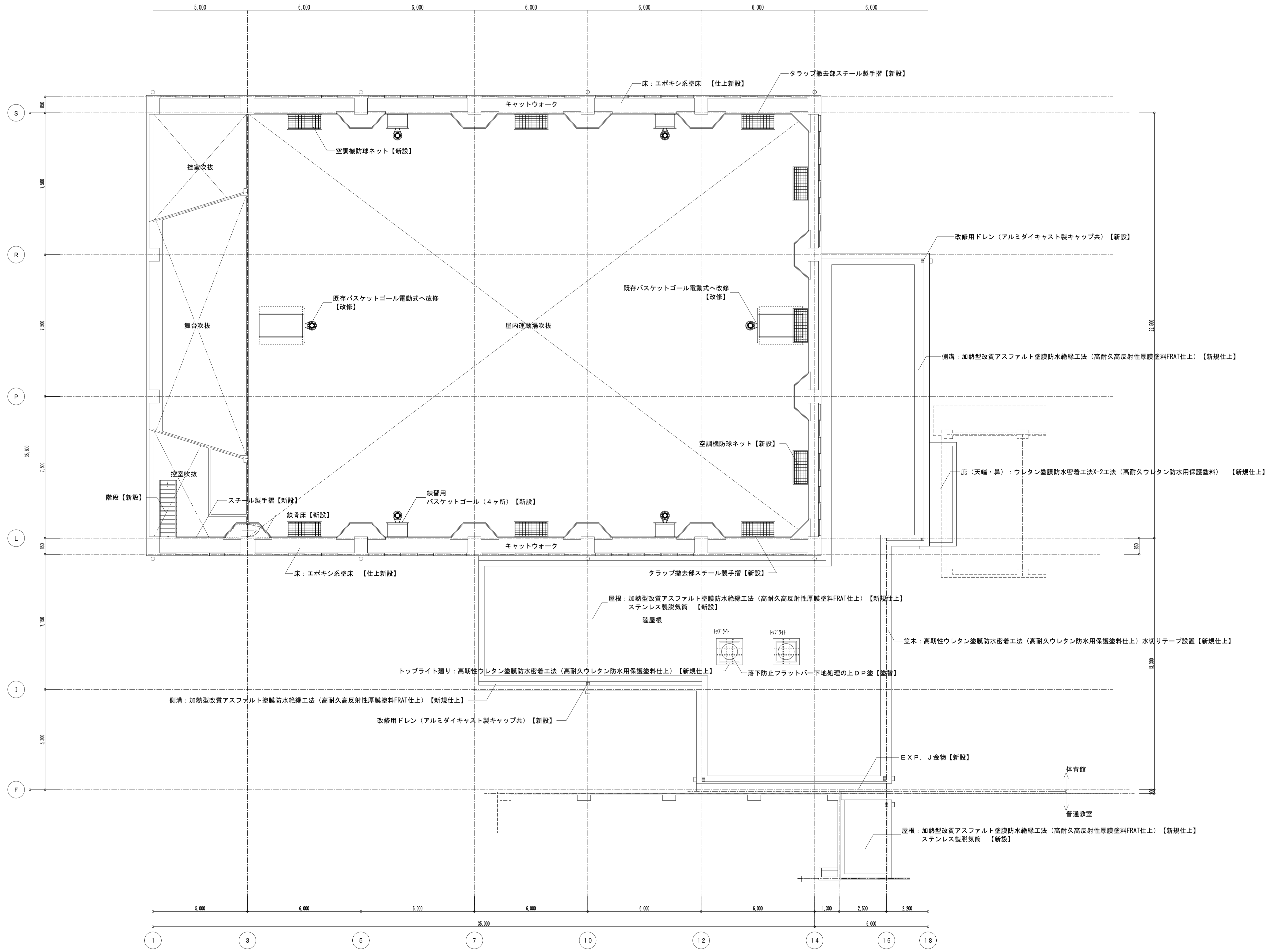


(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区船引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/100
 A3:1/200
 設計年月日 2023.2.26

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修後 1階平面図

改修前



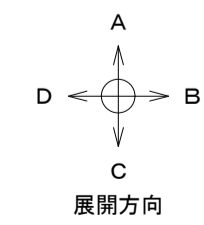
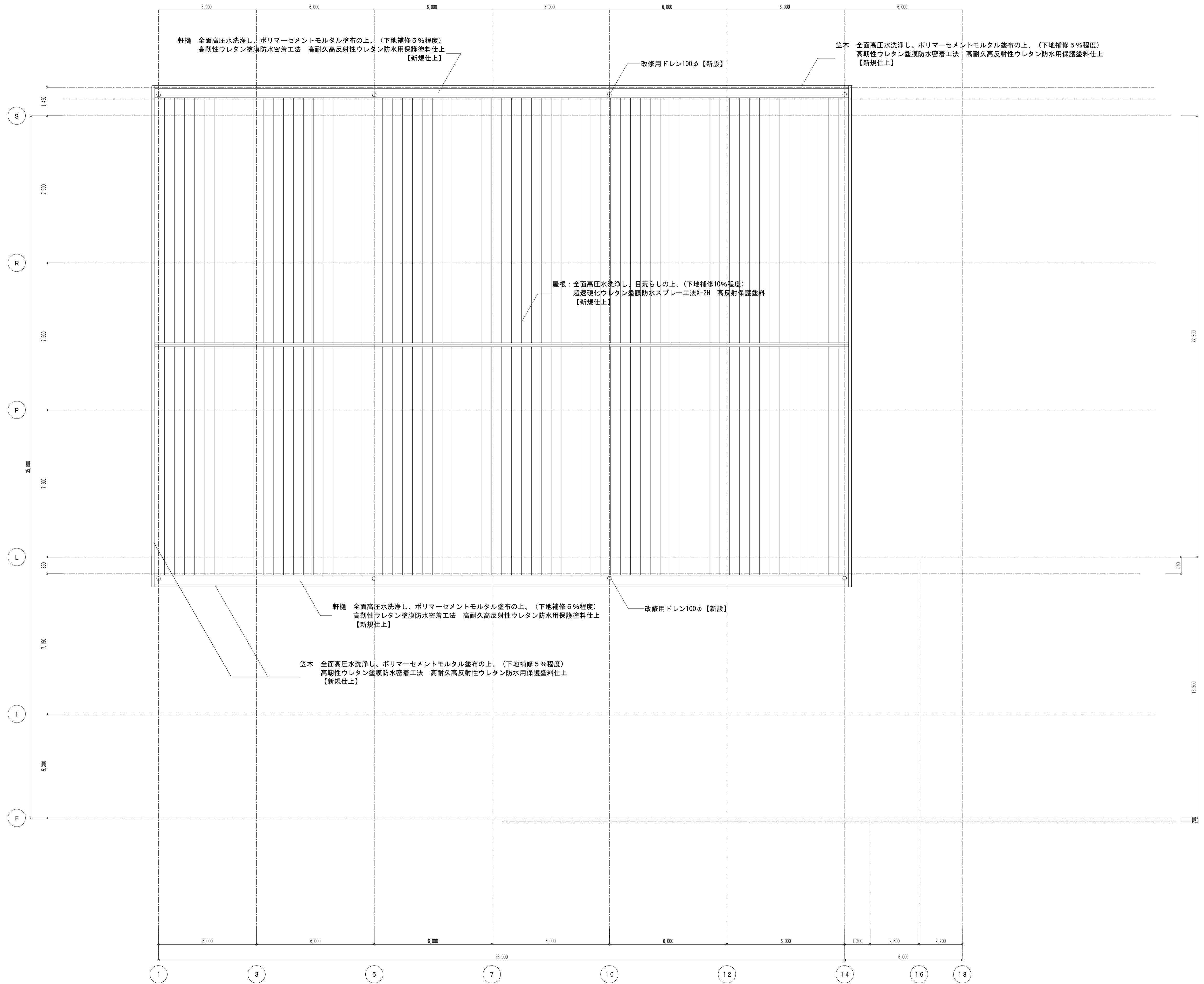
改修後 2階平面図 S=1/100

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区勝町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認	設計	担当	縮尺
			A1:1/100 A3:1/200
設計年月日			2023.3.15

工事名称	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
図面名称	改修後 2階平面図

改修前



改修後 屋根伏図 S=1/100

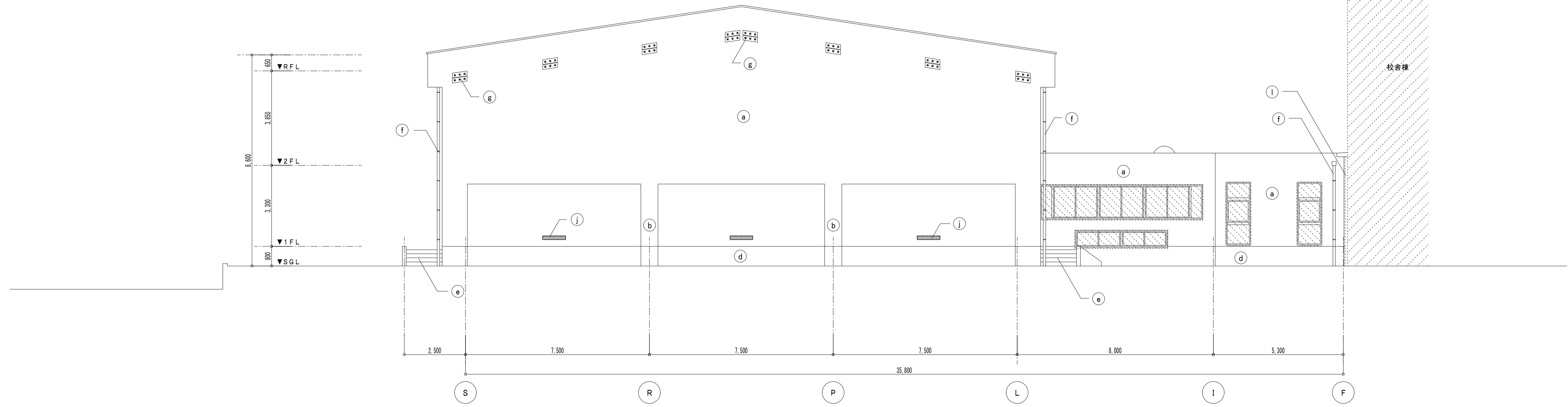
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区船引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認	設計	担当

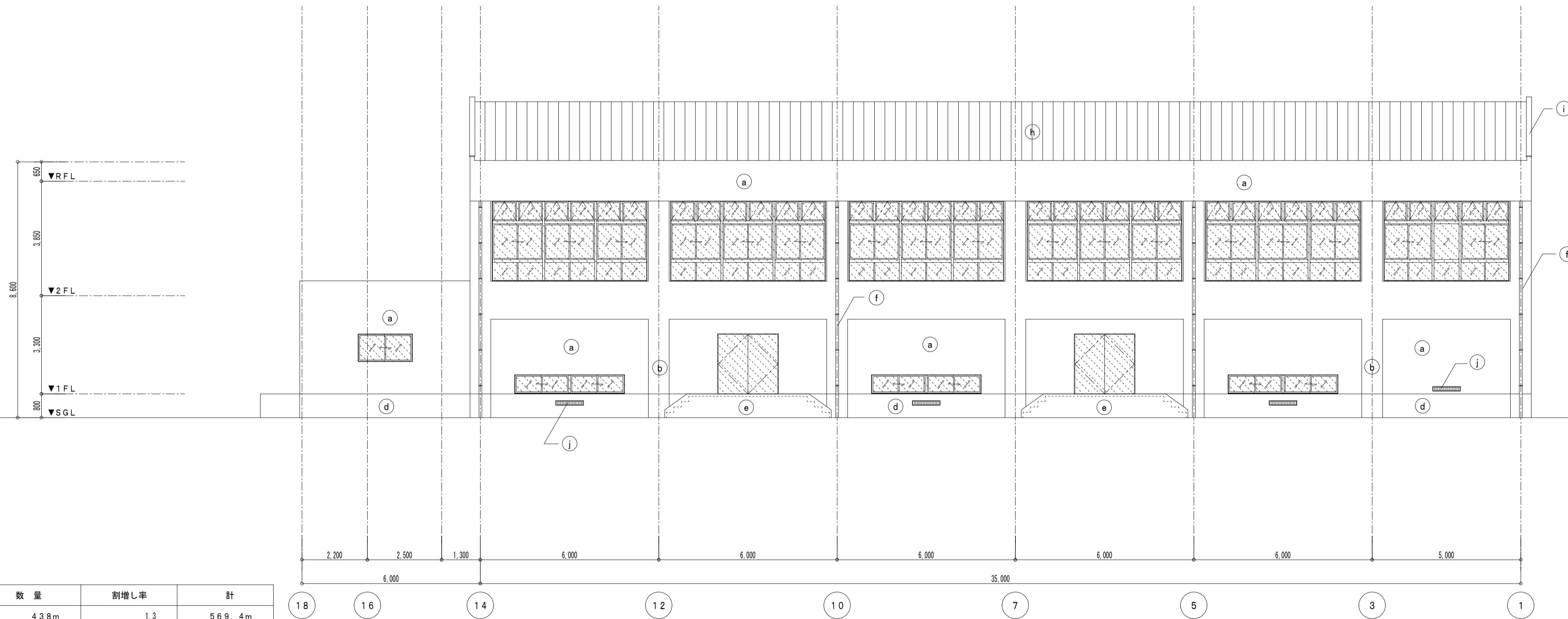
縮尺 A1:1/100
 A3:1/200
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修後 屋根伏図

改修前



改修前 西側立面図 S=1/100



改修前 北側立面図 S=1/100

外壁（各面合計）劣化調査数量表（参考）

	数量	割合	計
クラック	438m	1.3	569.4m
欠損	11ヶ所	1.3	14.3ヶ所
爆裂	21ヶ所	1.3	27.3ヶ所

この数量は、設計時における足場が無い状態の調査結果である。工事における詳細調査の結果、数量増加の懸念が生じる事を考慮すること。その調査結果は、図面化した上で監督員に説明・提出し、承認を得た後、施工すること。調査の際は、数量の比較調整を行える様、劣化の程度に合わせて軽微なものも区別すること。

凡例：

(a)	外壁：コンクリート打放し、撥水塗材E（アクリルタイル）吹付 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
(b)	外壁（柱間・梁間・地）：コンクリート打放し、撥水塗材E（アクリルタイル）吹付 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
(c)	外壁（軒裏）：フレキシブルボードt=4.0（909×1818）目隠し張 アクリル系リシン吹付 【撤去】
(d)	基礎巾木：モルタル金ゴテ 【既存躯体補修・下地処理】
(e)	外階段：モルタル金ゴテ、段鼻：磁器質ノンスリップタイル 【既存躯体補修・下地処理】、段鼻ノンスリップタイル【撤去】
(f)	壁筋：硬質塩ビ管 100φ 【撤去】
(g)	鉄部：SOP塗 珪藻 【既存下地調整】
(h)	屋根：長尺カラー鉄板φ28瓦棟葺き通し吊子 8418 下地センターボードt18 アスファルトルーフィング20mm敷込 勾配15/100 【下地処理・補修】
(i)	庇・笠木：防水モルタル金ゴテ 【既存躯体補修・下地処理】
(j)	床下換気口（縦格子、900×150） 【撤去】
(k)	玄関ポーチ：レンガタイル張（段鼻：磁器質ノンスリップタイル張） 【撤去】
(l)	E X P、J金物 【撤去】

※外部サッシは、【全て撤去（カバー工法、一部撤去工法改修）】とする。（詳しくは建具表による）
は、撤去箇所を示す。（スチール製縦格子を含む）

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区船引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 貴

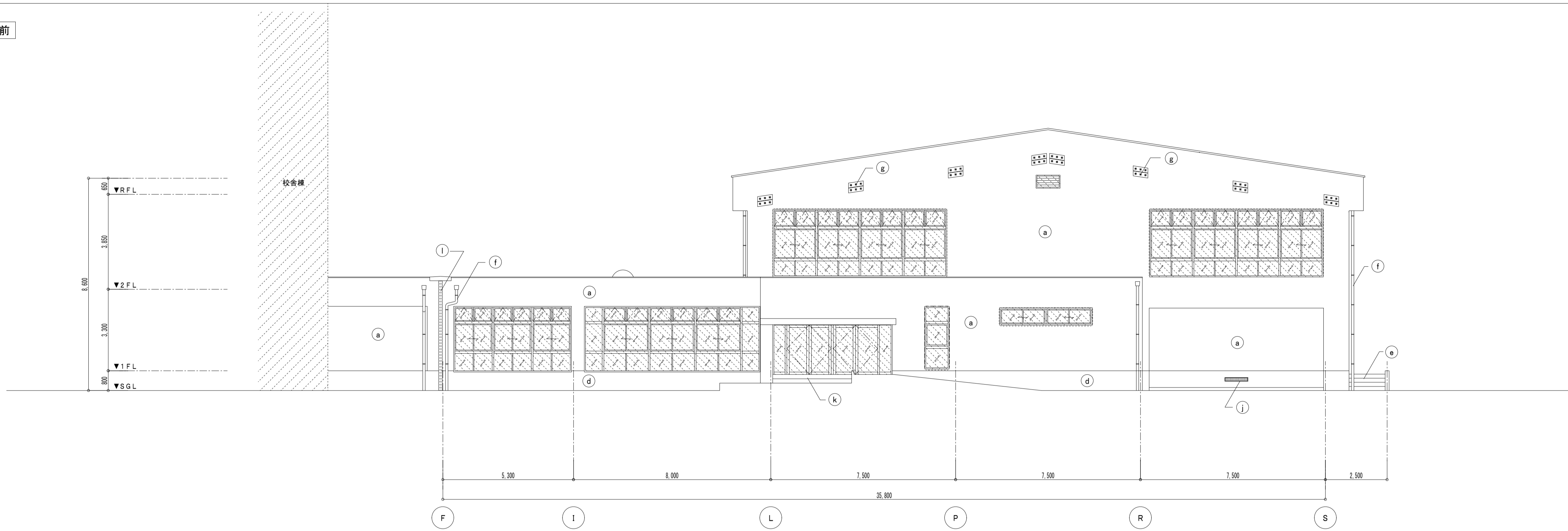
承認 設計 担当

縮尺 A1:1/100
A3:1/200
設計年月日 2023.3.15

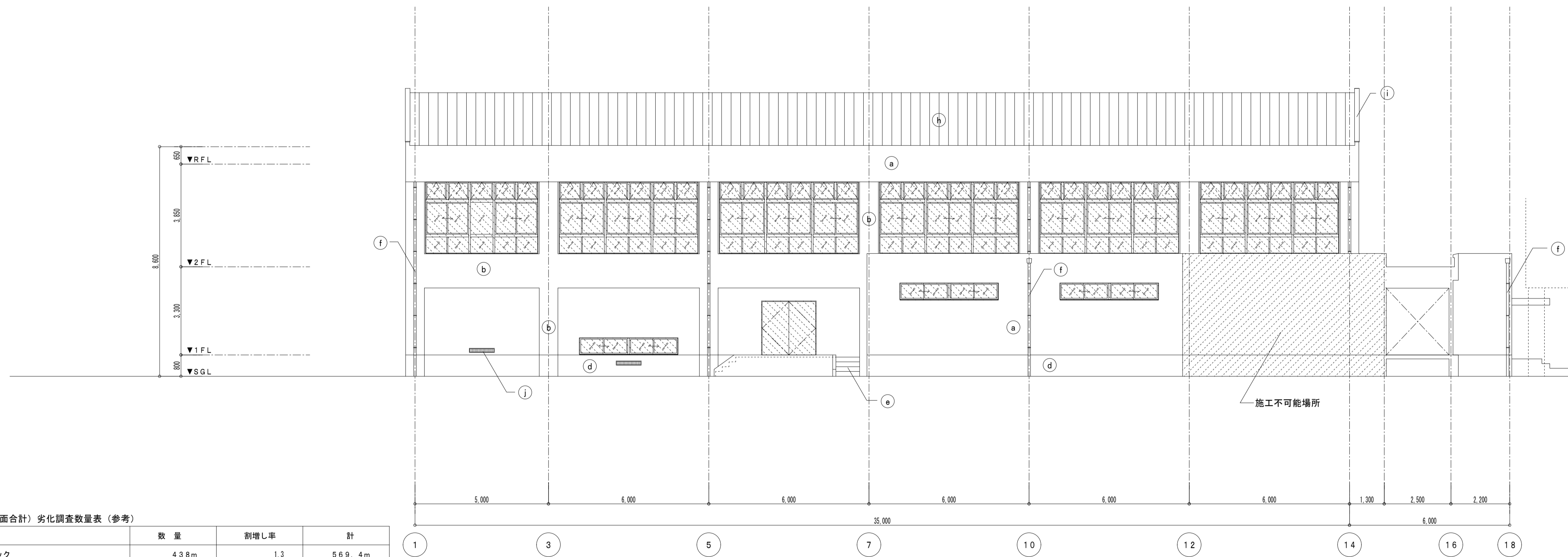
工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）
図面名称 改修前 西・北面立面図

No. A-20

改修前



改修前 東側立面図 S=1/100



改修前 南側立面図 S=1/100

外壁（各面合計）劣化調査数量表（参考）

	数量	割増し率	計
クラック	438m	1.3	569.4m
欠損	11ヶ所	1.3	14.3ヶ所
爆裂	21ヶ所	1.3	27.3ヶ所

この数量は、設計時における足場が無い状態の調査結果である。工事における詳細調査の結果、数量増加の調査が生じる事を考慮すること。その調査結果は、図面化した上で監督員に説明・提出し、承認を得た後、施工すること。調査の際は、数量の比較調整を行える様、劣化の程度に合わせて軽微なものと区別すること。

凡例：

a	外壁：コンクリート打放し、複層塗材E（アクリルタイル）吹付 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
b	外壁（柱型・梁型・他）：コンクリート打放し、複層塗材E（アクリルタイル）吹付 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
c	外壁（軒裏）：フレキシブルボードt=4.0（900×1818）目隠し張 アクリル系リシン吹付 【撤去】
d	基礎市木：モルタル金ゴテ 【既存躯体補修・下地処理】
e	外階段：モルタル金ゴテ、段鼻：磁器質ノンスリップタイル 【既存躯体補修・下地処理】、段鼻ノンスリップタイル【撤去】
f	壁柱：硬質塩ビ管 100φ 【撤去】
g	鉄部：SOP差 F差 【既存下地調整】
h	屋根：長尺カラー鉄板#29互換基準用子 #418 下地セケンチューボードt18 アスファルトフーイング20kg敷込 勾配1.5/100 【下地処理・補修】
i	庇・窓木：防水モルタル金ゴテ 【既存躯体補修・下地処理】
j	床下換気口（縦格子、900×150） 【撤去】
k	玄関ポーチ：レンガタイル張（段鼻：磁器質ノンスリップタイル張） 【撤去】
l	EXP、J金物 【撤去】

※外部サッシは、【全て撤去（カバー工法、一部撤去工法改修）】とする。（詳しくは建具表による）
は、撤去箇所を示す。（スチール製縦格子を含む）

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区御引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 貴

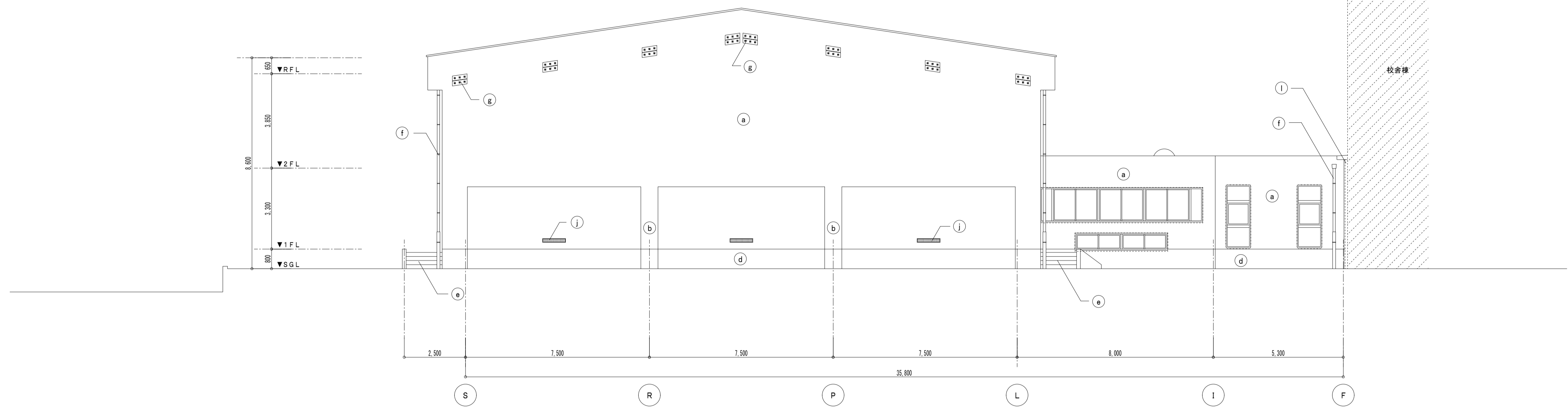
承認 設計 担当

縮尺 A1:1/100
A3:1/200
設計年月日
2023.3.15

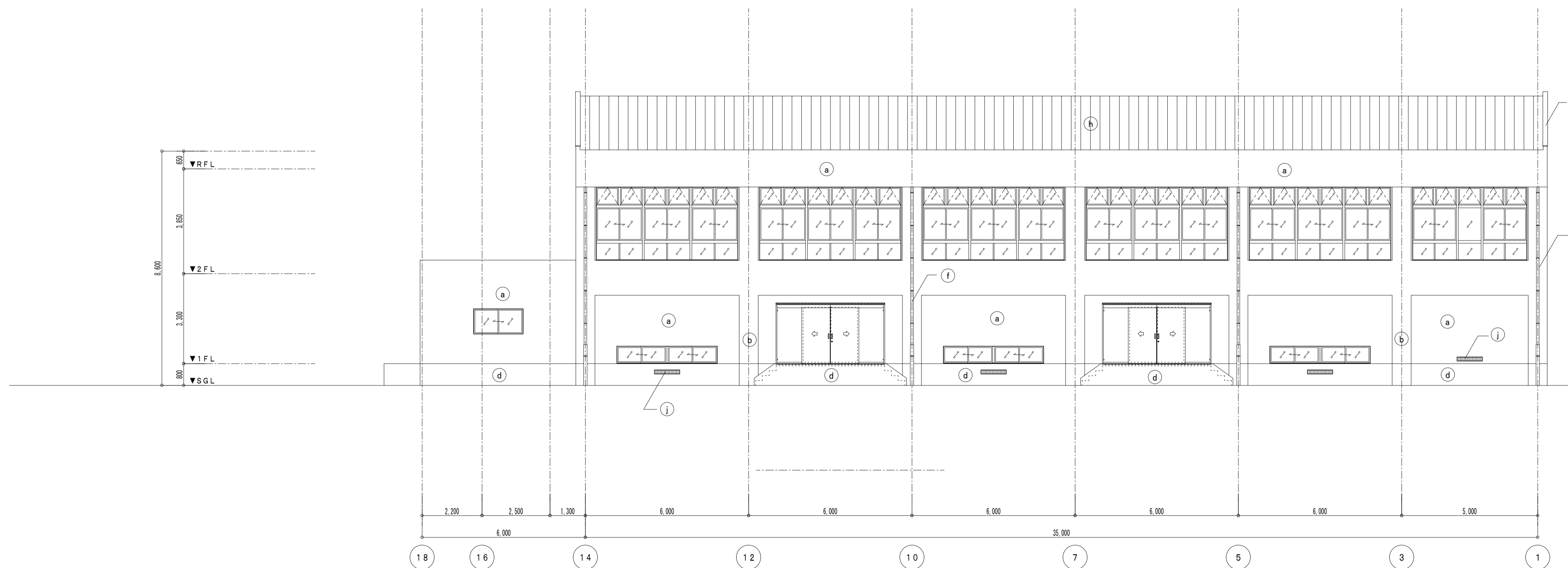
工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）
図面名称 改修前 東・南面立面図

No. A-21

改修後



改修後 西側立面図 S=1/100



改修後 北側立面図 S=1/100

凡例:

a	外壁: アスベスト除去、既存躯体補修・下地処理の上、 (一浸水性多機能型カチオンシーラー) 防水形複層塗材 E 超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 (凸凹状・水系・つや有り) 【新規仕上】
b	外壁 (柱型・梁型・地): アスベスト除去、既存躯体補修・下地処理の上、 (一浸水性多機能型カチオンシーラー) 防水形複層塗材 E 超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 (凸凹状・水系・つや有り) 【新規仕上】
c	軒表: ケイ酸カルシウム板 t=4、0目透し張り EP塗 (1種・つや消し、反応硬化形低VOC水性塗料) 【新規仕上】
d	基礎巾木: 躯体補修・下地処理の上、(一浸水性多機能型カチオンシーラー) 基礎巾木専用塗料 (水性アクリルシリコン系) 【新規仕上】
e	外階段: 床 樹脂モルタル薄塗り 【新規仕上げ】 段鼻: 磁器質ノンスリップタイル 【新設】
f	屋根: 硬質カラー塩ビ管 100φ 飾り鋼共 下部養生管 (SGP) 125φ SUS支持金物 H=1,800P塗 【新設】
g	鉄部: 下地処理の上 DP塗 【塗替】
h	金属屋根: 超速硬化ウレタン塗膜防水スプレー工法X-2H 【新規仕上】
i	庇・窓木: ウレタン塗膜防水密着工法X-2工法 (高耐久ウレタン防水用保護塗料) 【新規仕上】
j	床下換気口 (スチール製縦格子、900×150、DP塗 周囲型金物)、裏面: 防砂用ステンレス平織金網張り 【新設】
k	玄関ポーチ: モルタル下地150角磁器質タイル張り (段鼻: 磁器質ノンスリップタイル) 【新設】
l	アルミ製EX.P. J金物 【新設】

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区船引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認 設計 担当

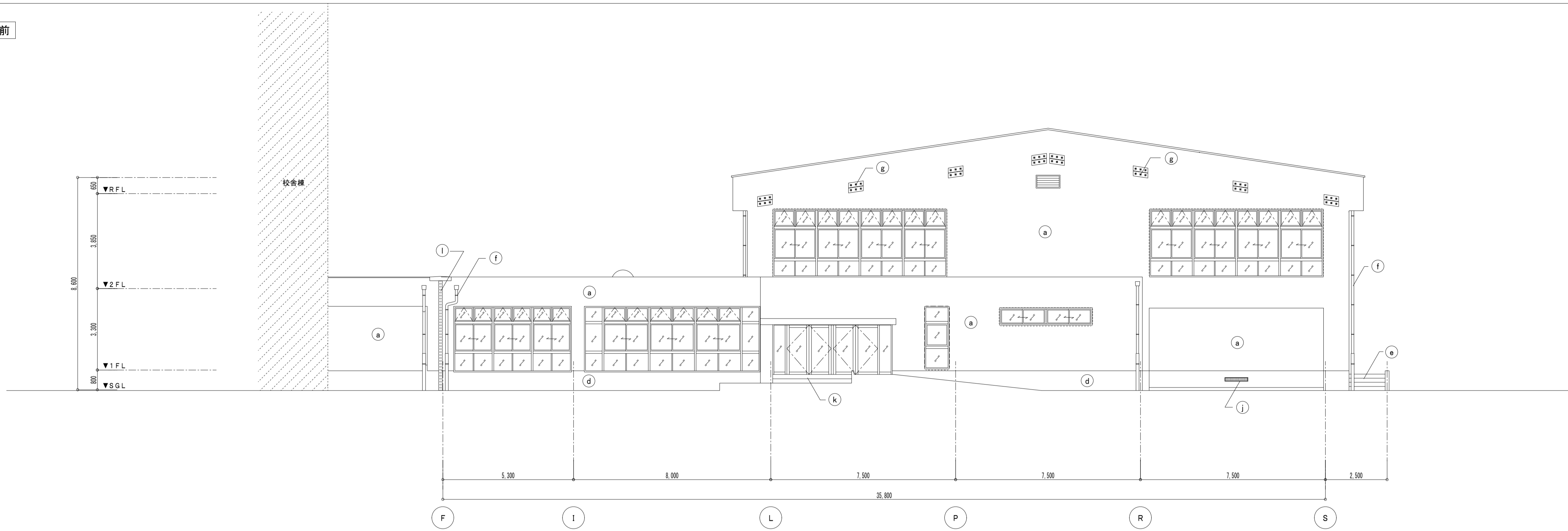
縮尺 A1: 1/100
A3: 1/200
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事 (第1期工事) (ゼロ債務)

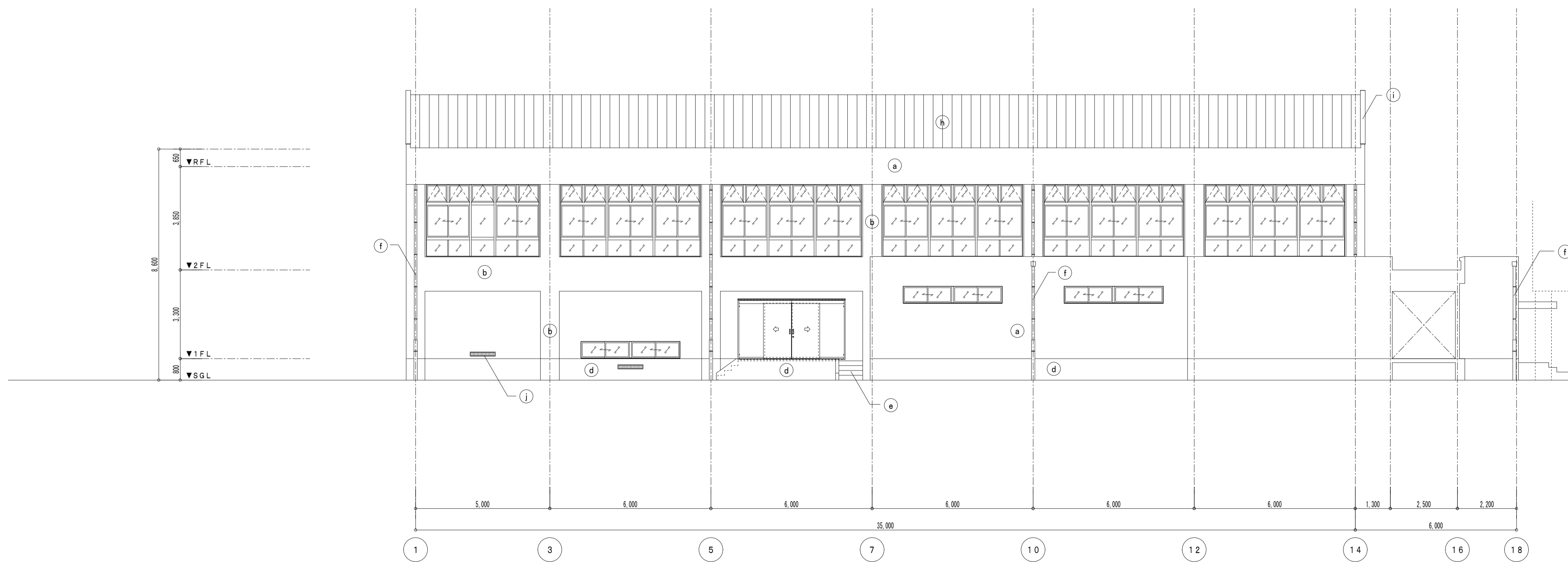
図面名称 改修後 西・北面立面図

No. A-22

改修前



改修後 東側立面図 S=1/100



改修後 南側立面図 S=1/100

凡例:

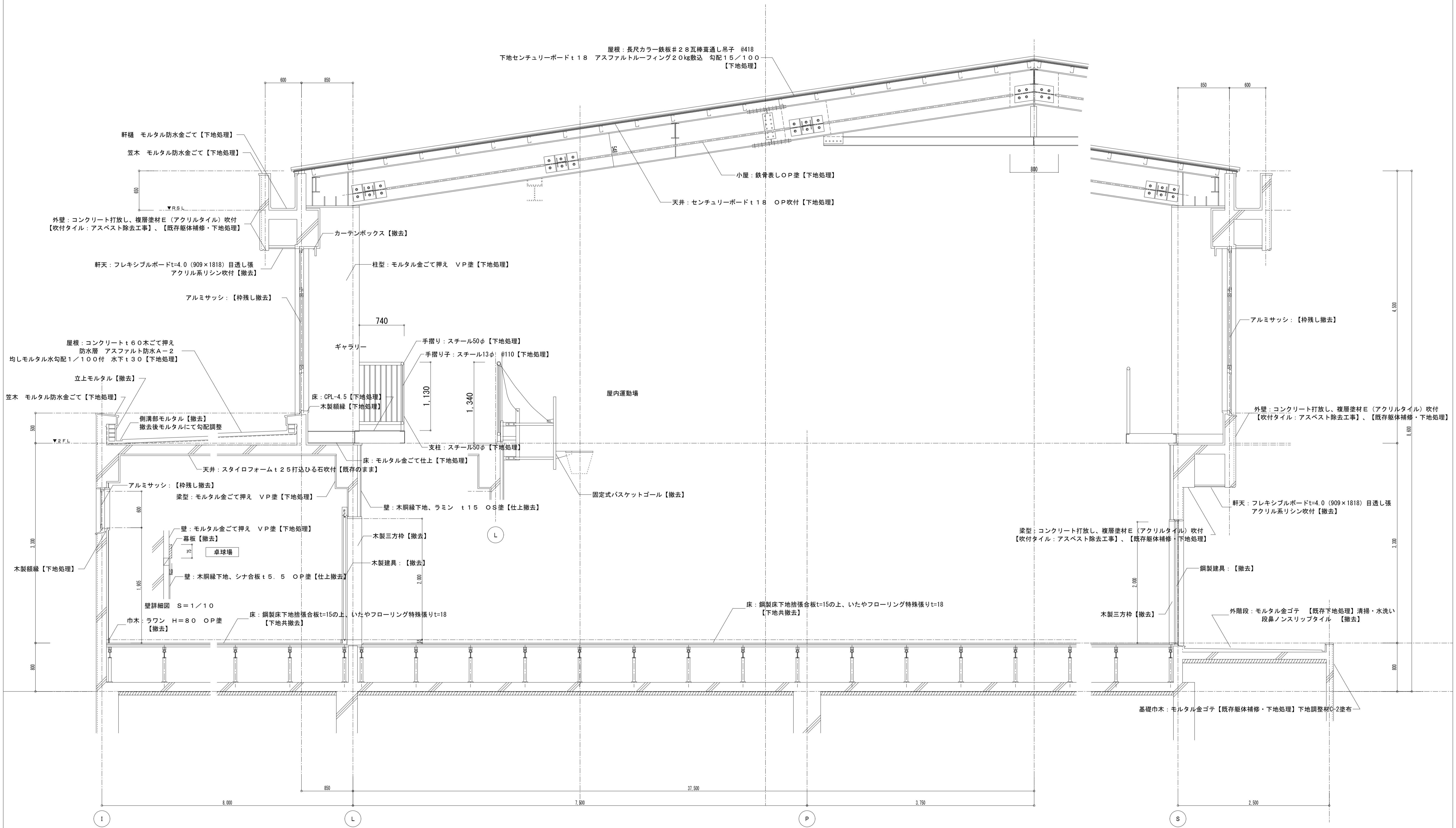
a	外壁: アスベスト除去、既存躯体補修・下地処理の上、 (一液水性多機能型カチオンシーラー) 防水防霉塗料 E 超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 (凸凹状・水系・つや有り) 【新規仕上】
b	外壁(柱型・梁型・他): アスベスト除去、既存躯体補修・下地処理の上、 (一液水性多機能型カチオンシーラー) 防水防霉塗料 E 超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 (凸凹状・水系・つや有り) 【新規仕上】
c	軒表: ケイ酸カルシウム板 t=4、0目透し張り EP塗 (1種・つや消し、反応硬化形低VOC水性塗料) 【新規仕上】
d	基礎巾木: 躯体補修・下地処理の上、(一液水性多機能型カチオンシーラー) 基礎巾木専用塗料 (水性アクリルシリコン系) 【新規仕上】
e	外階段: 床 樹脂モルタル薄塗り 【新規仕上げ】 段鼻: 磁器質ノンスリップタイル 【新設】
f	壁柱: 硬質カラー塩ビ管 100φ 鏡り鋼共 下部養生管 (SPP) 125φ SUS支持金物 H=1,800P塗 【新設】
g	鉄部: 下地処理の上DP塗 【塗替】
h	金属屋根: 超速硬化ウレタン塗膜防水スプレー工法X-2H 【新規仕上】
i	庇・窓木: ウレタン塗膜防水密着工法X-2工法 (高耐久ウレタン防水用保護塗料) 【新規仕上】
j	床下換気口 (スチール製縦格子、900×150、DP塗 周囲(型金物)、表面: 防砂用ステンレス平織金網張り) 【新設】
k	玄関ポーチ: モルタル下地150角磁器質タイル張り (段鼻: 磁器質ノンスリップタイル張) 【新設】
l	アルミ製EX.P. J金物 【新設】

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区船引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 貴

承認 設計 担当

縮尺 A1:1/100
 A3:1/200
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修後 東・南側立面図



改修前 矩計図 S=1/30

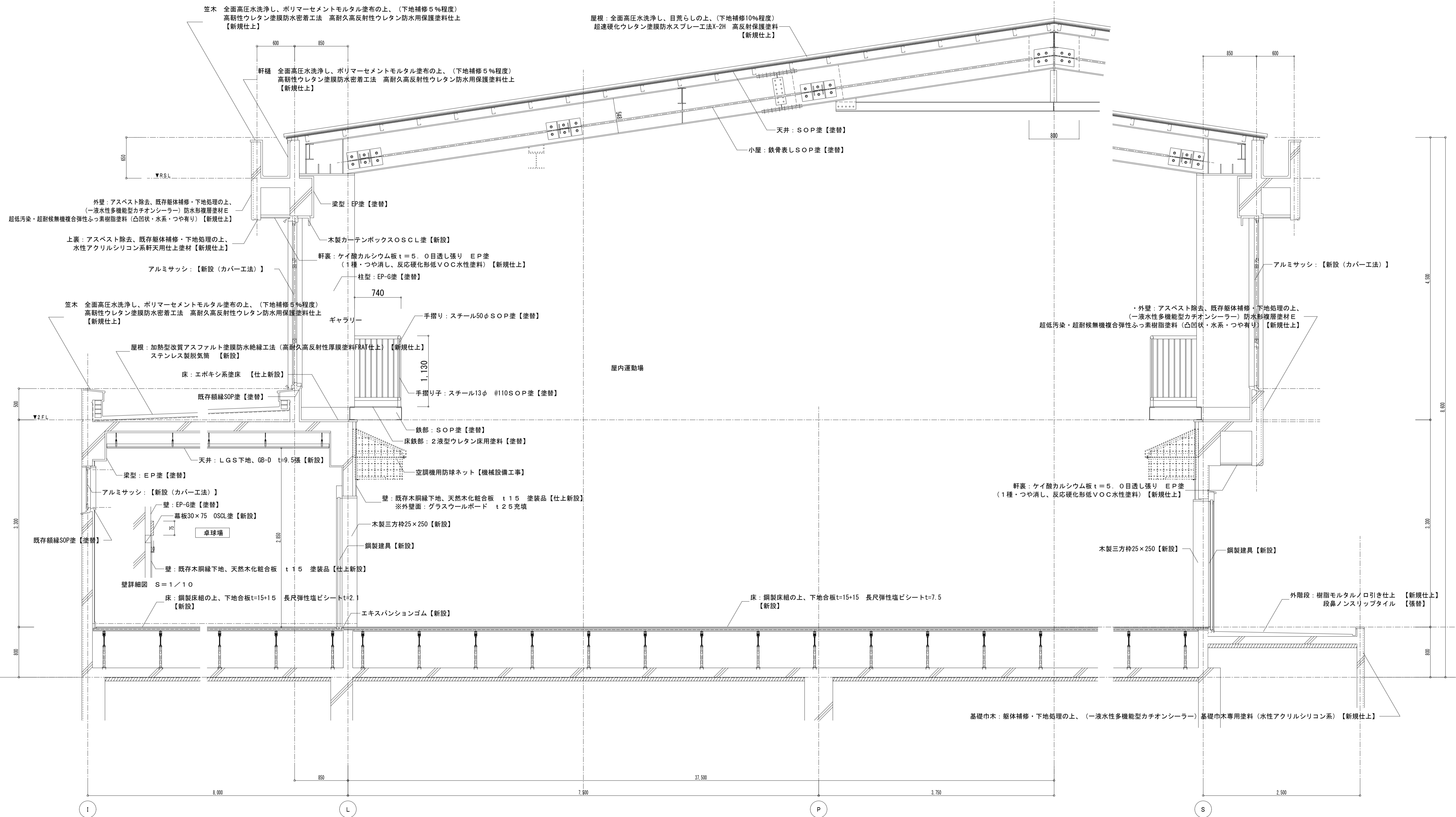
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区錦町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当

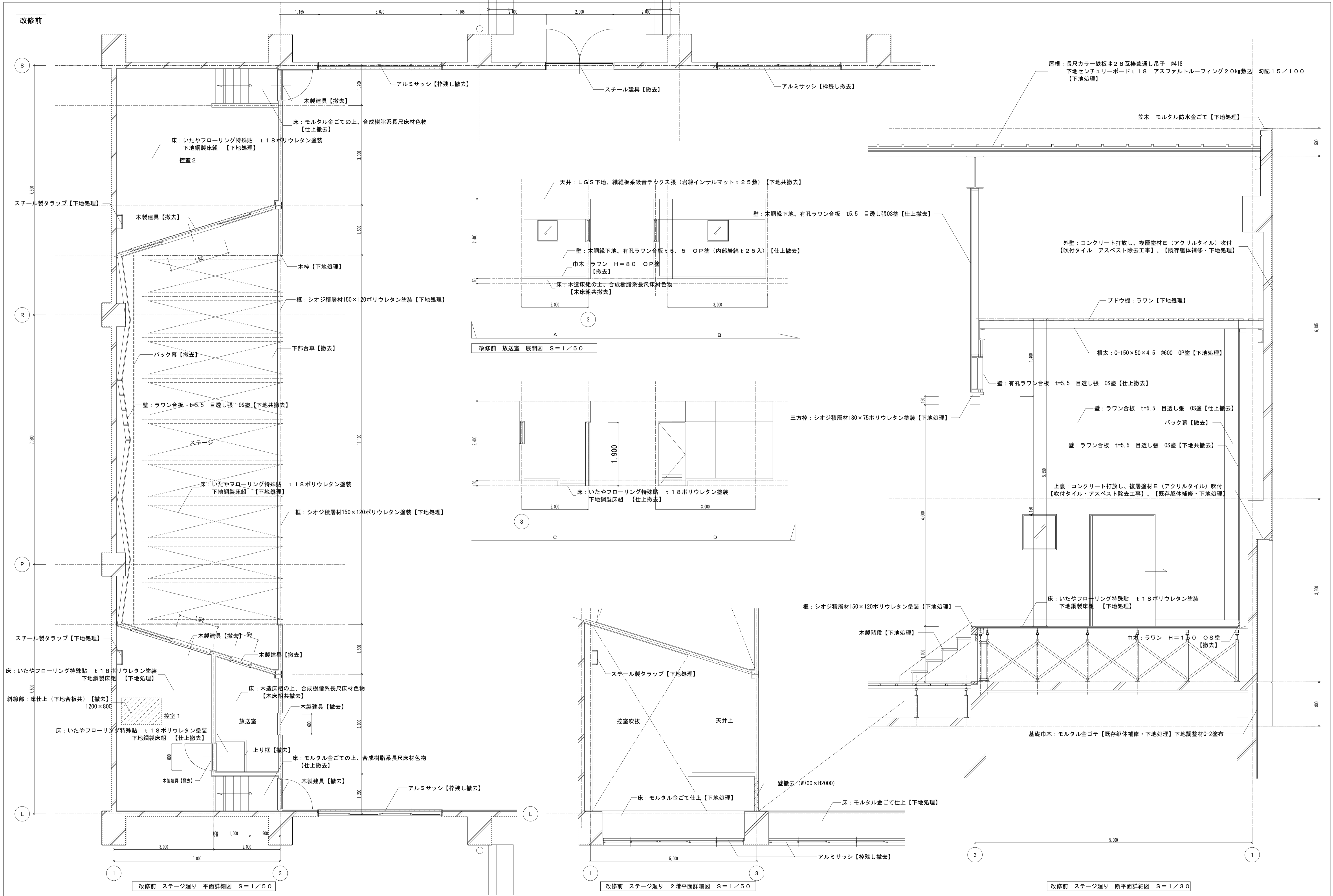
縮尺 A1:1/30
 A3:1/60
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)

図面名称 改修前 矩計図



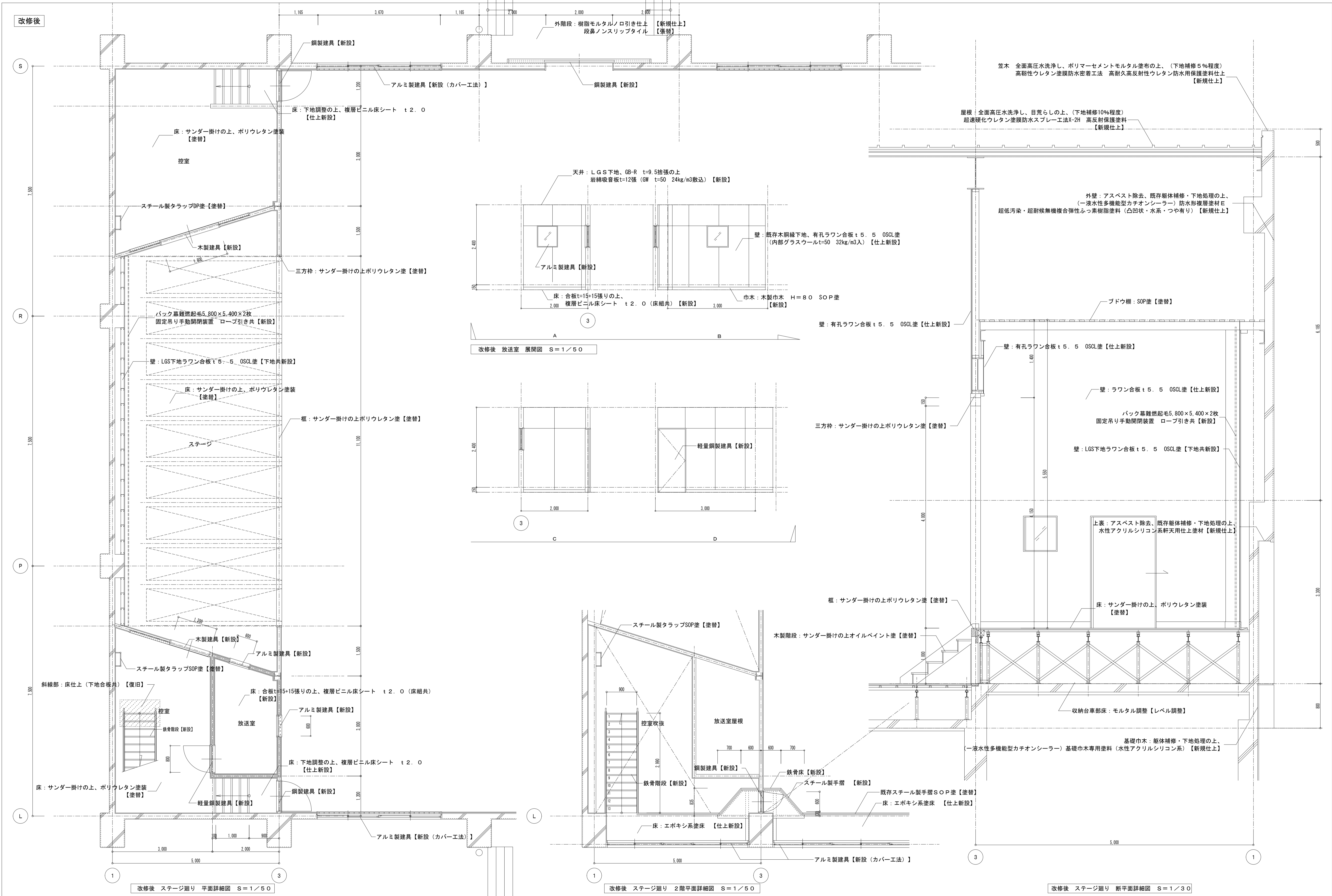
改修後 矩計図 S=1/30



改修前 ステージ廻り 平面詳細図 S=1/50

改修前 ステージ廻り 2階平面詳細図 S=1/50

改修前 ステージ廻り 断面詳細図 S=1/30

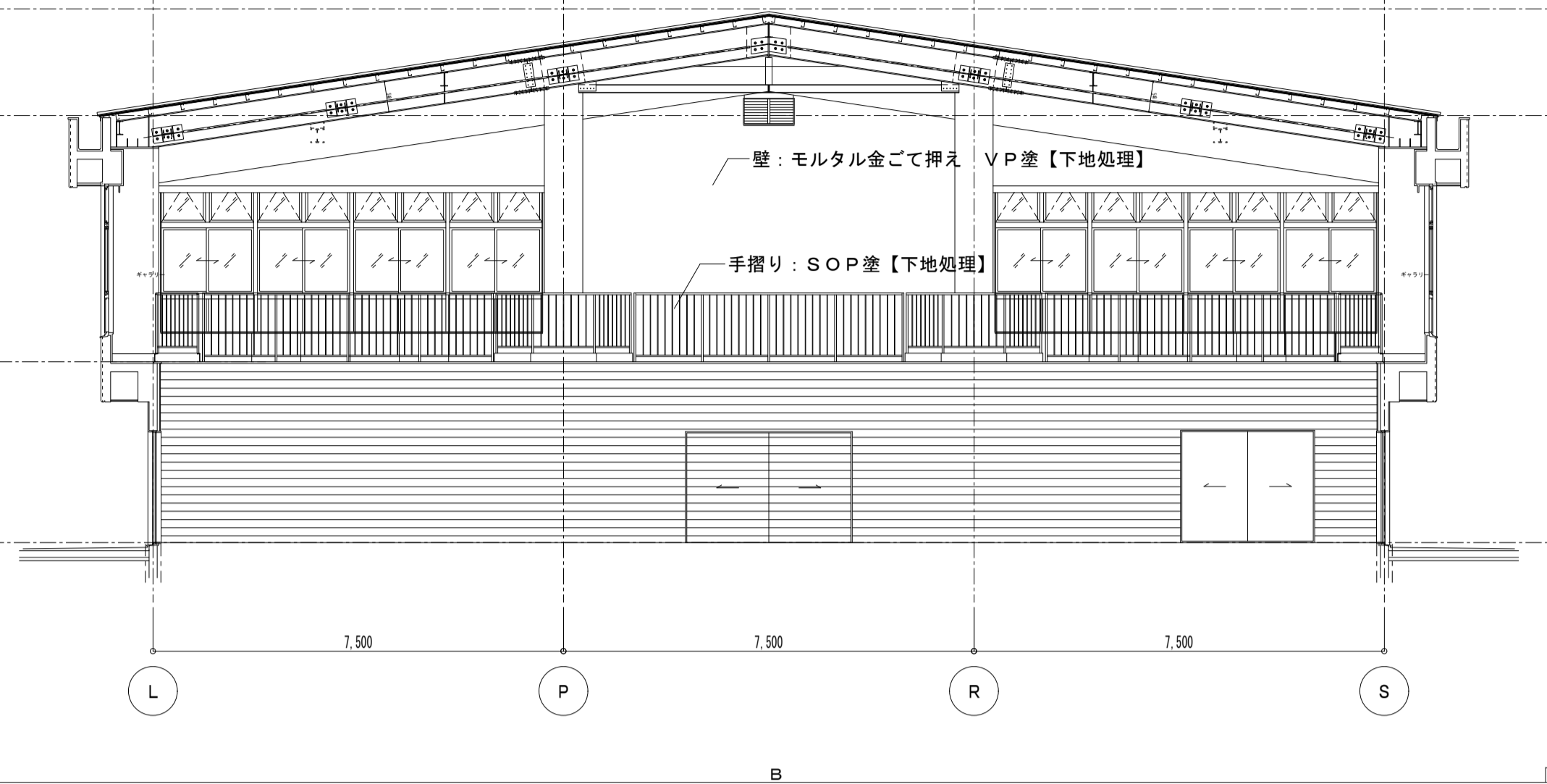
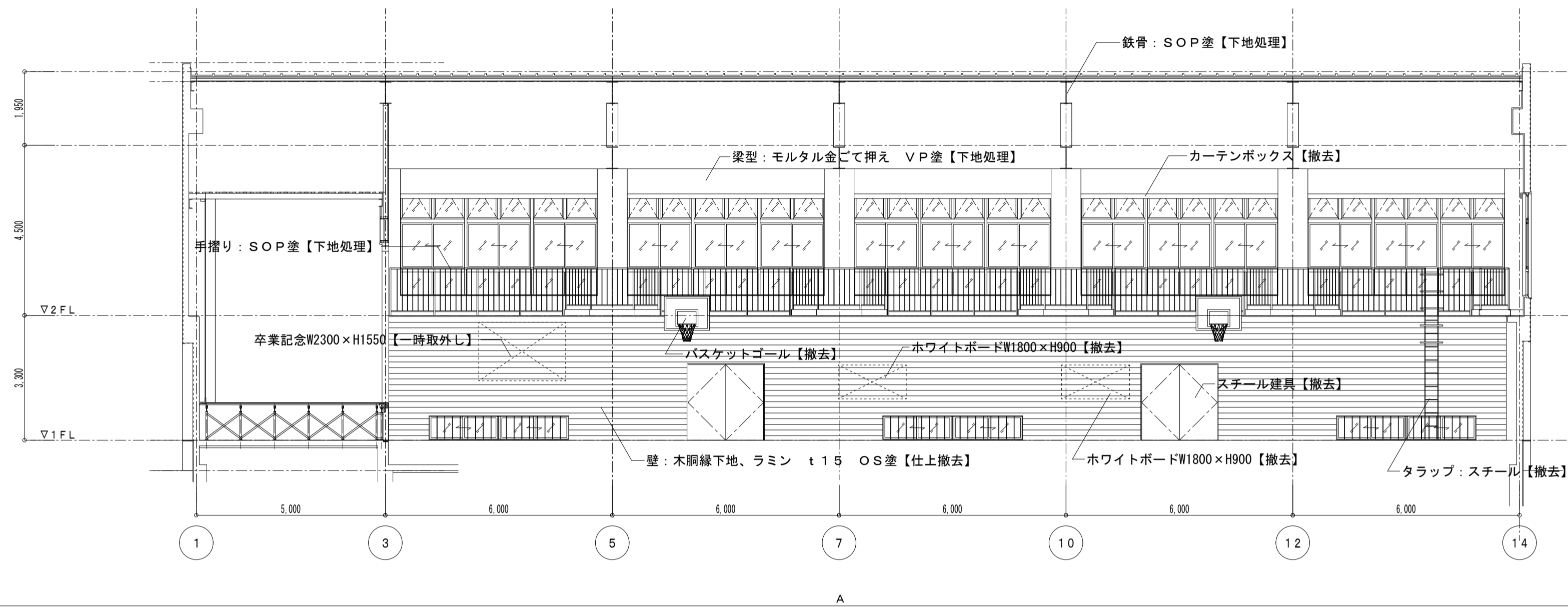


(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区御引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

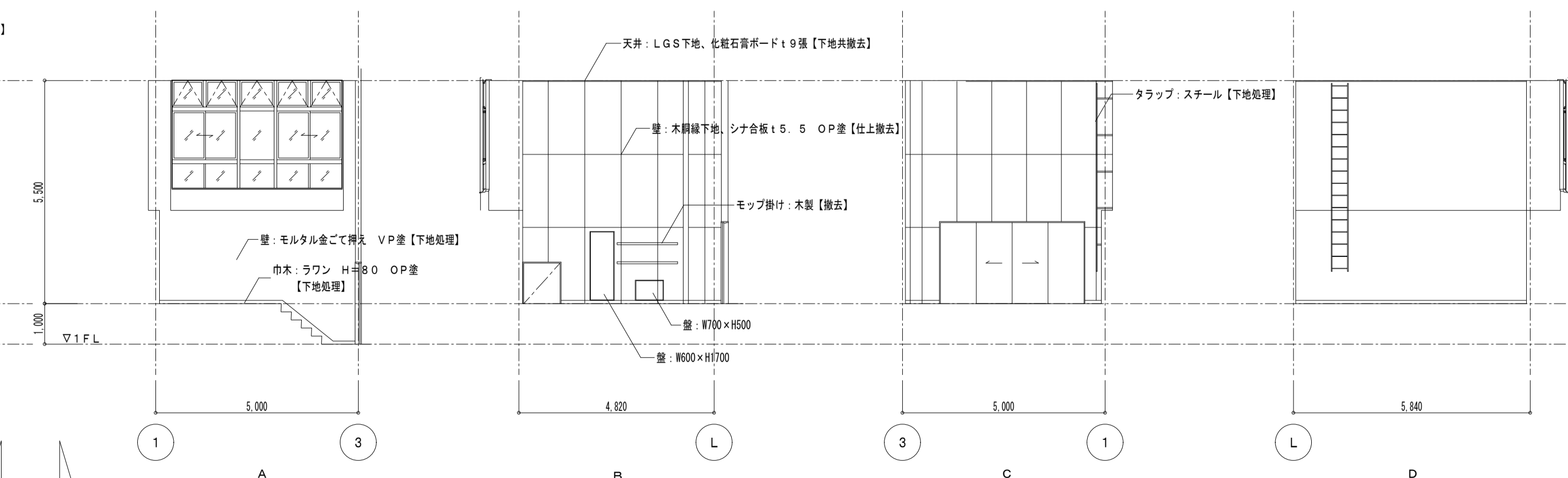
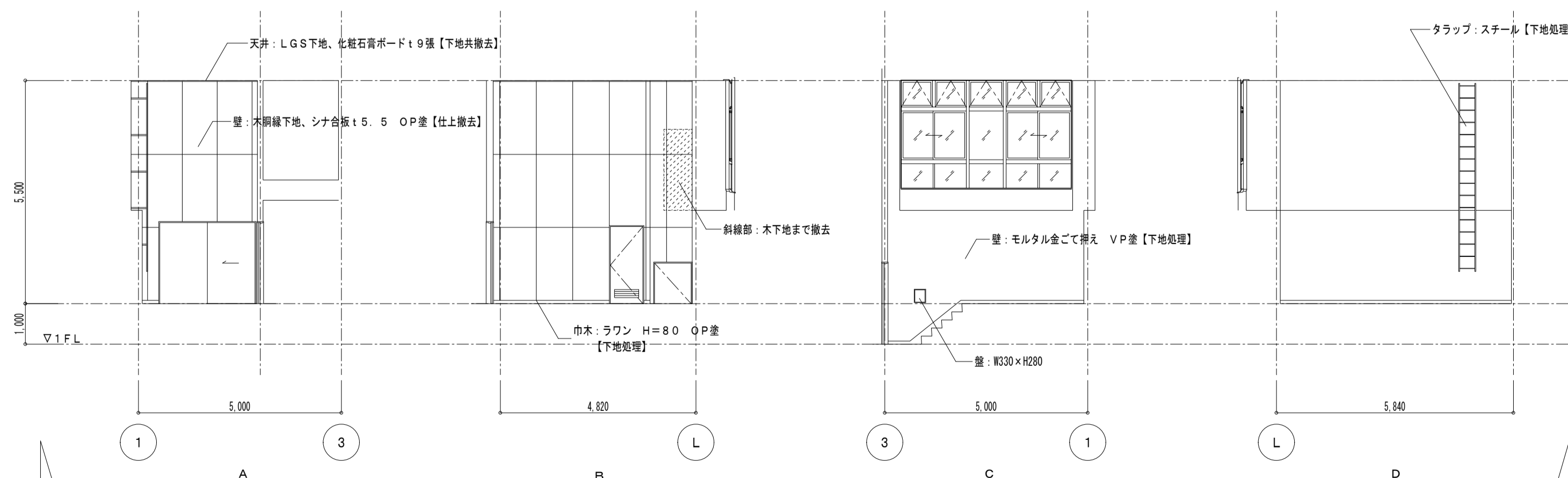
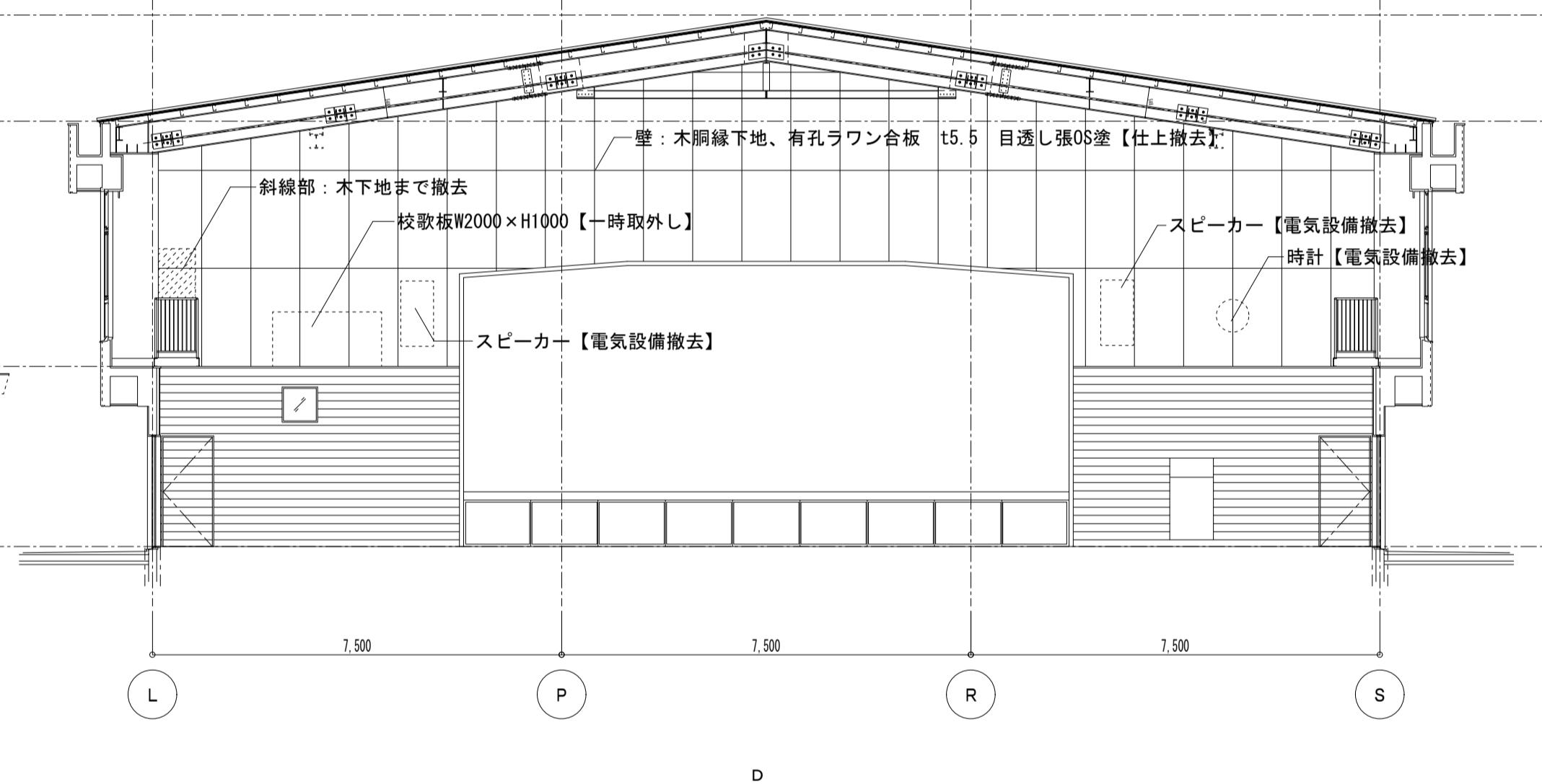
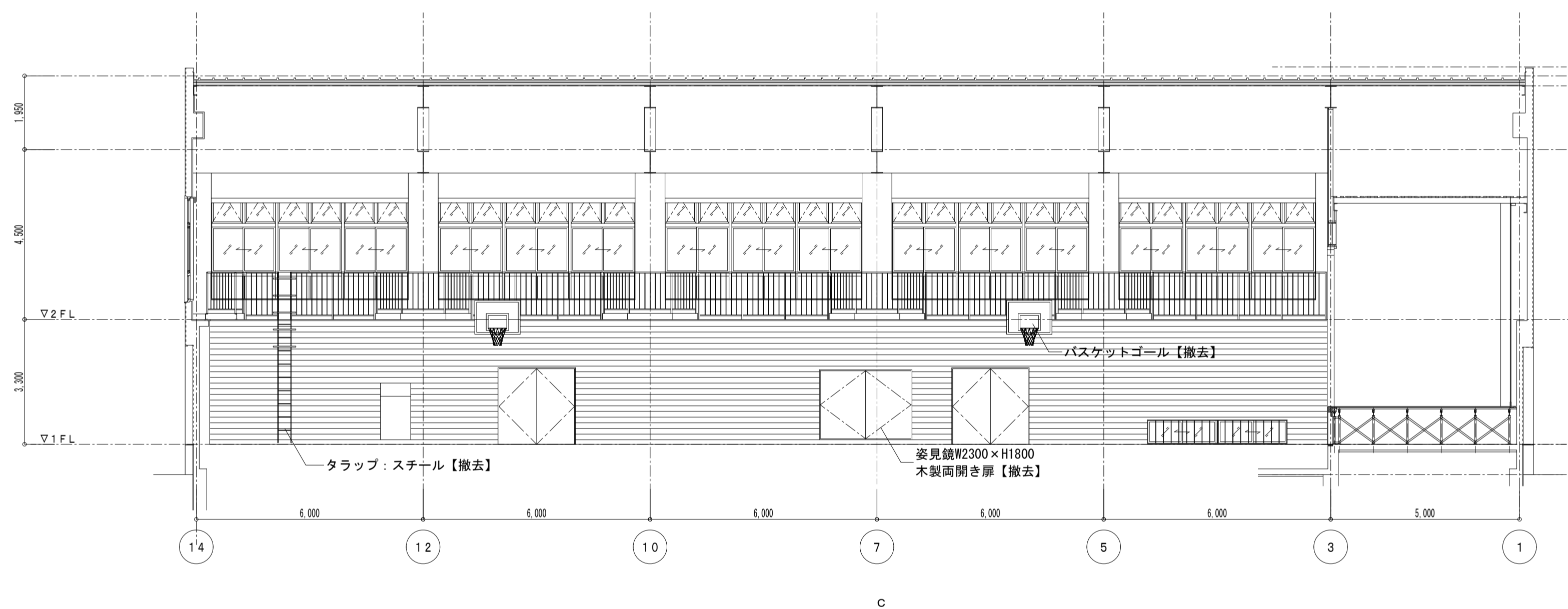
承認	設計	担当	細尺 A1:1/30 50 A3:1/60 100
			設計年月日 2023.3.15

工事名称	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）
図面名称	改修後 ステージ廻り詳細図

改修前



改修前 アリーナ 展開図 S=1/100



改修前 控室1 展開図 S=1/100

改修前 控室2 展開図 S=1/100

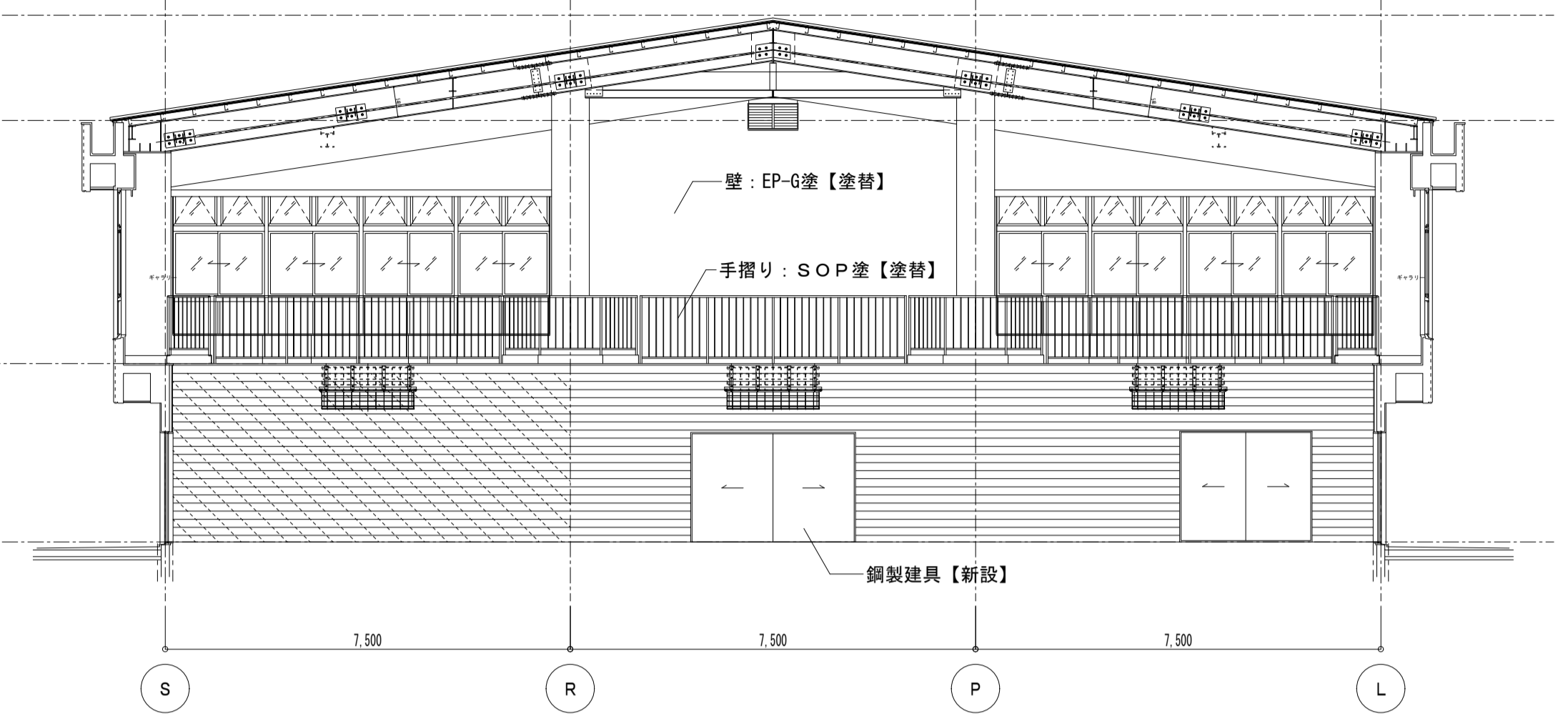
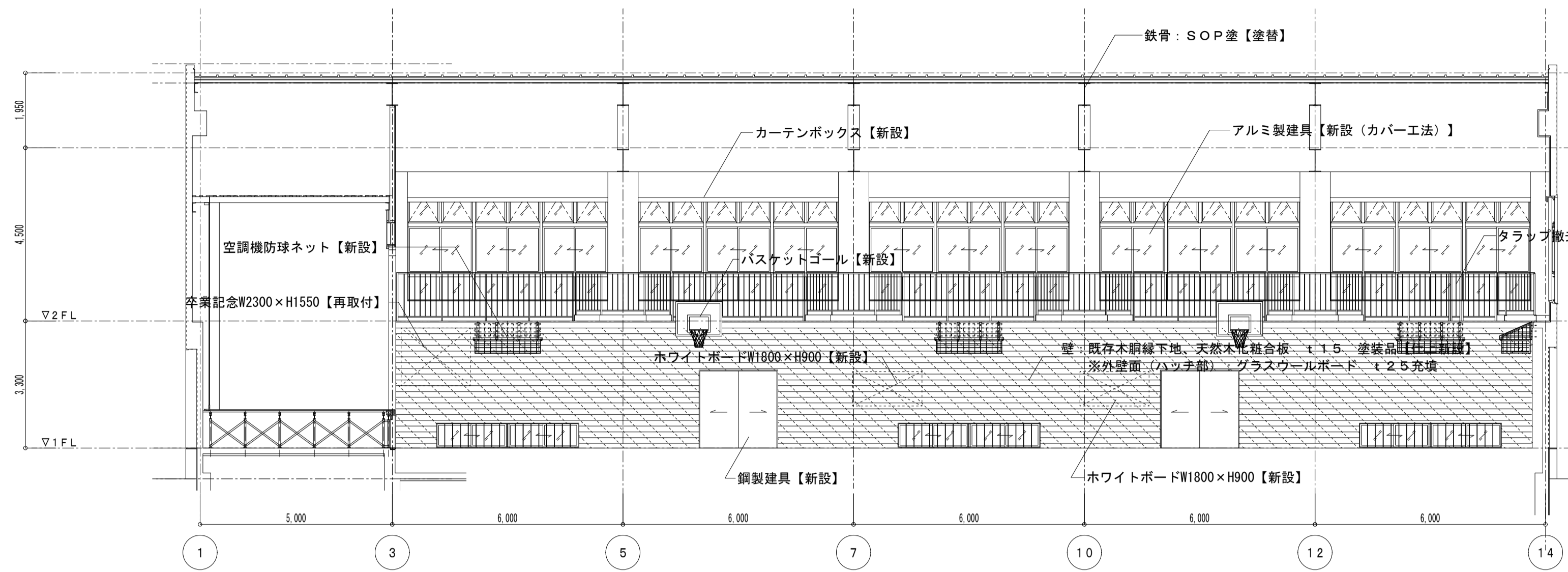
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区柳町1-390-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当

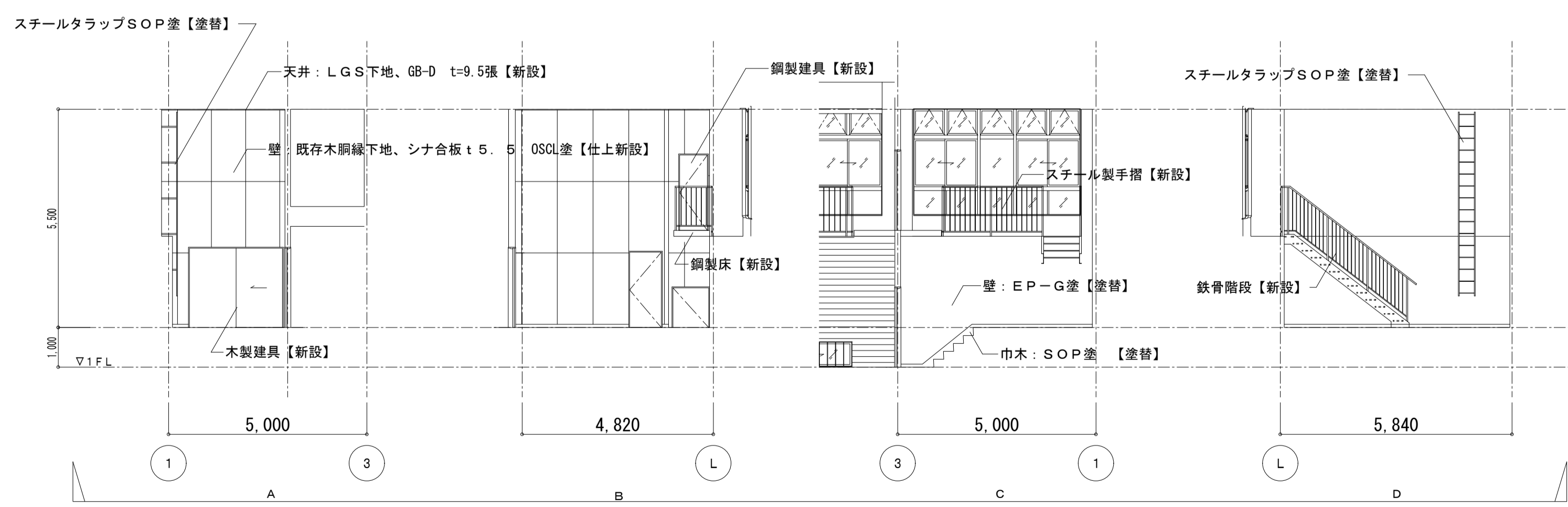
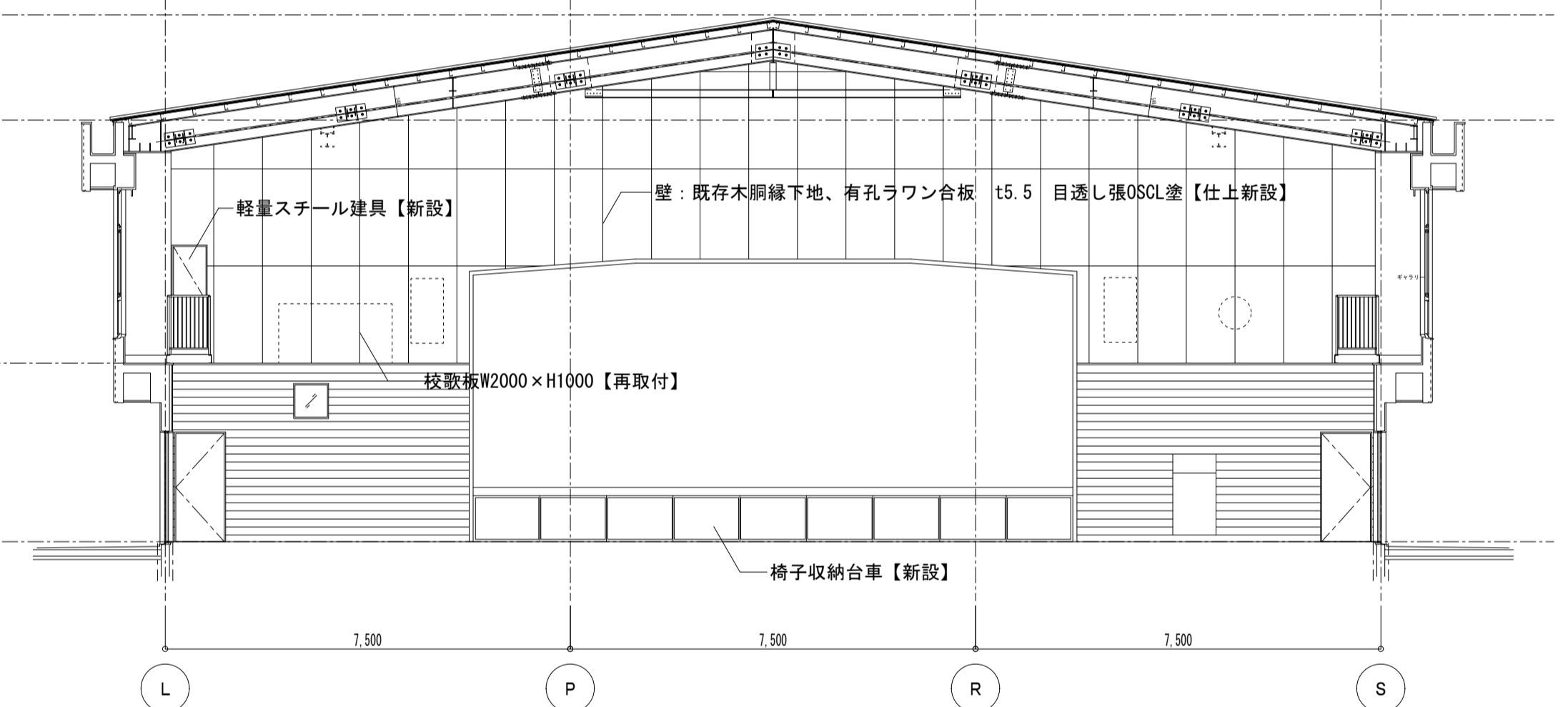
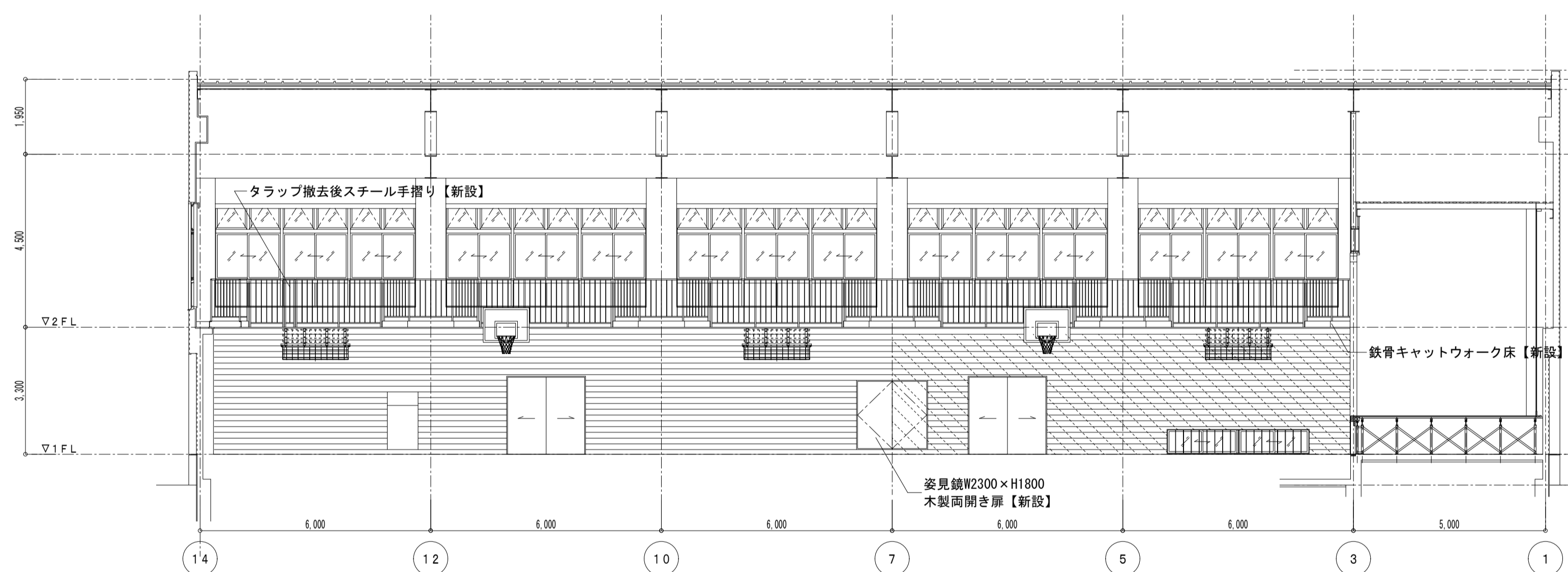
縮尺 A1: 1/100
 A3: 1/200
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前 アリーナ展開図

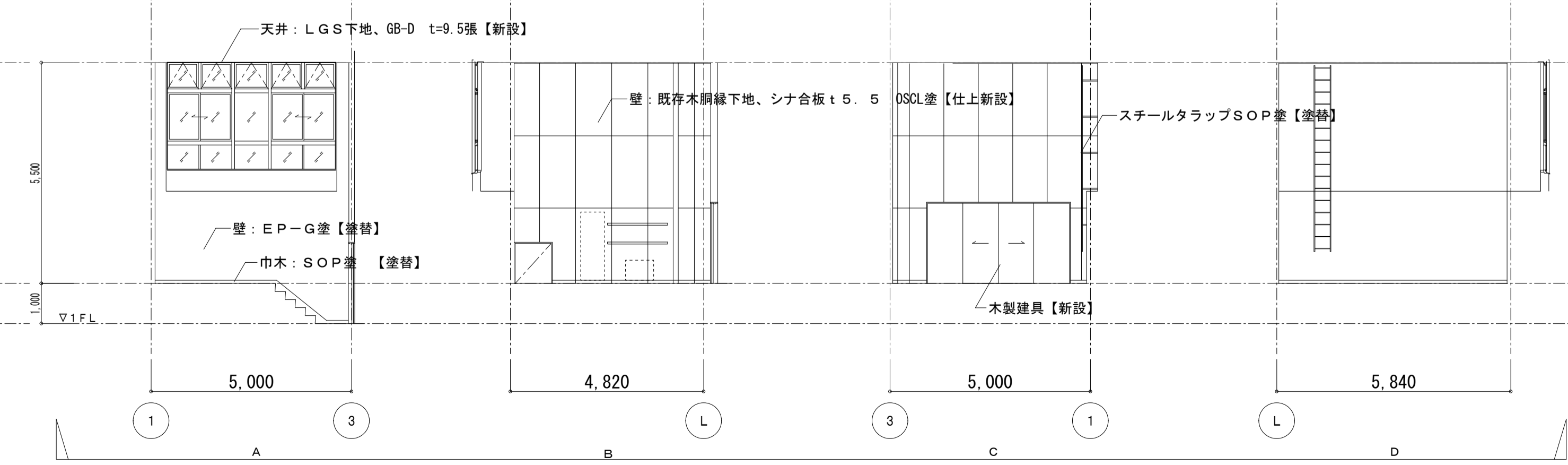
改修後



改修後 アリーナ 展開図 S=1/100



改修後 控室1 展開図 S=1/100



改修後 控室2 展開図 S=1/100

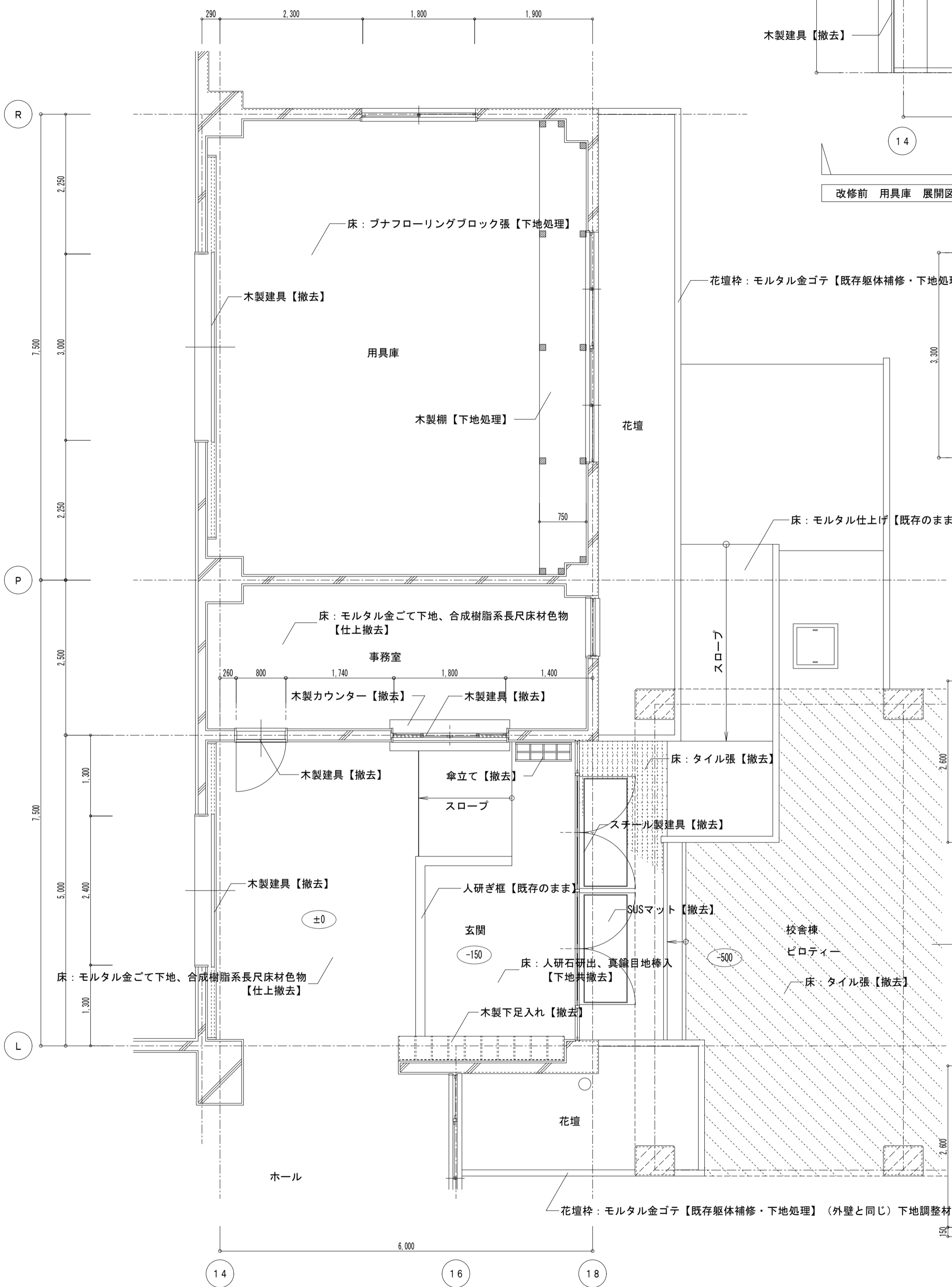
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区御引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当

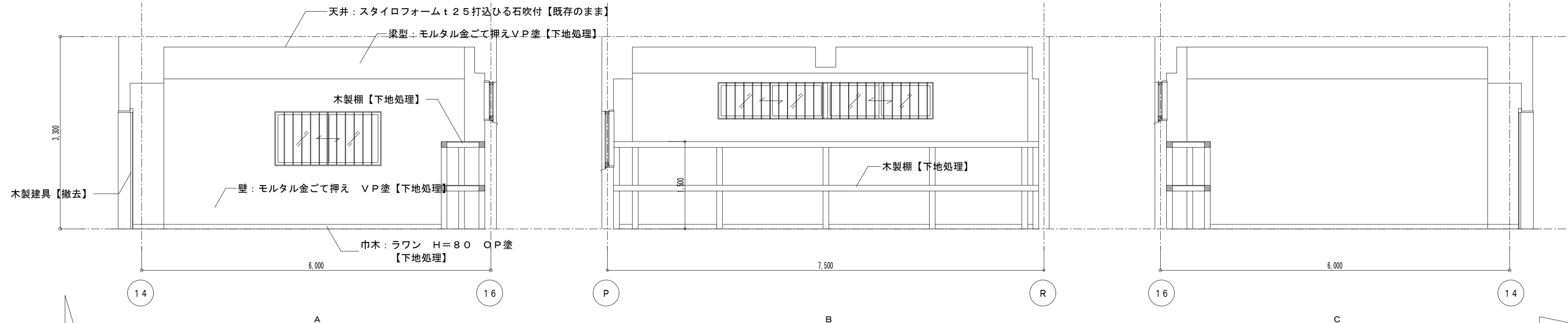
縮尺 A1: 1/100
 A3: 1/200
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修後 アリーナ展開図

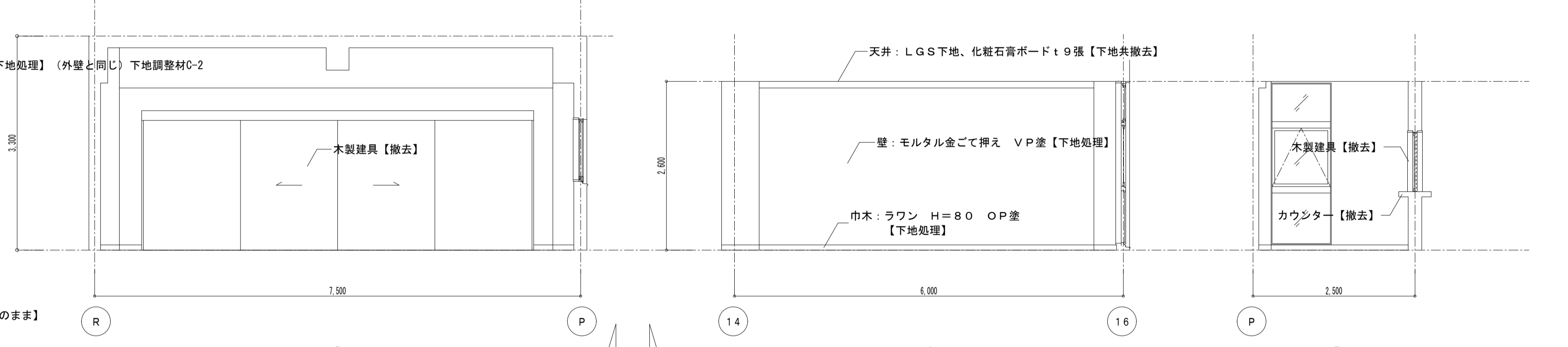
改修前



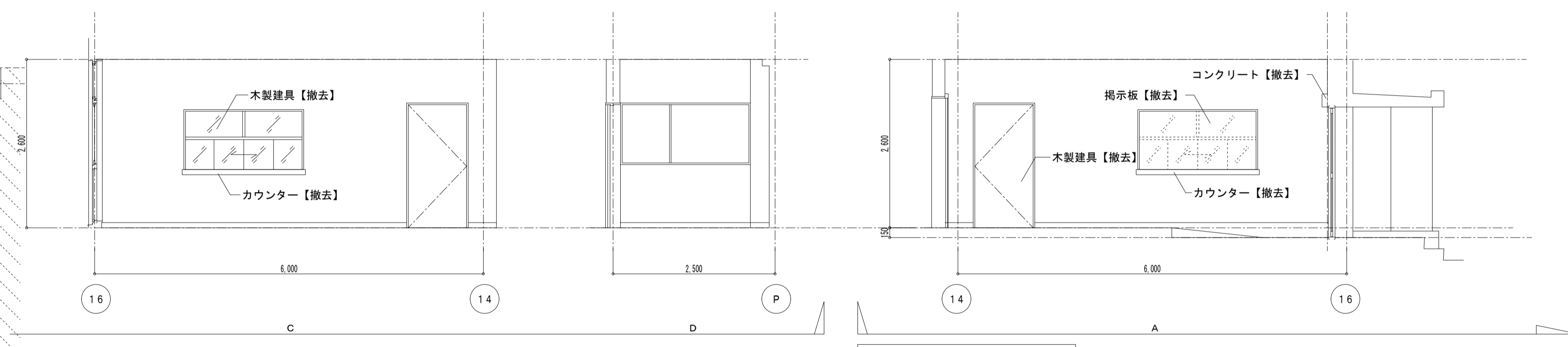
改修前 玄関・事務室・用具庫平面詳細図 S=1/50



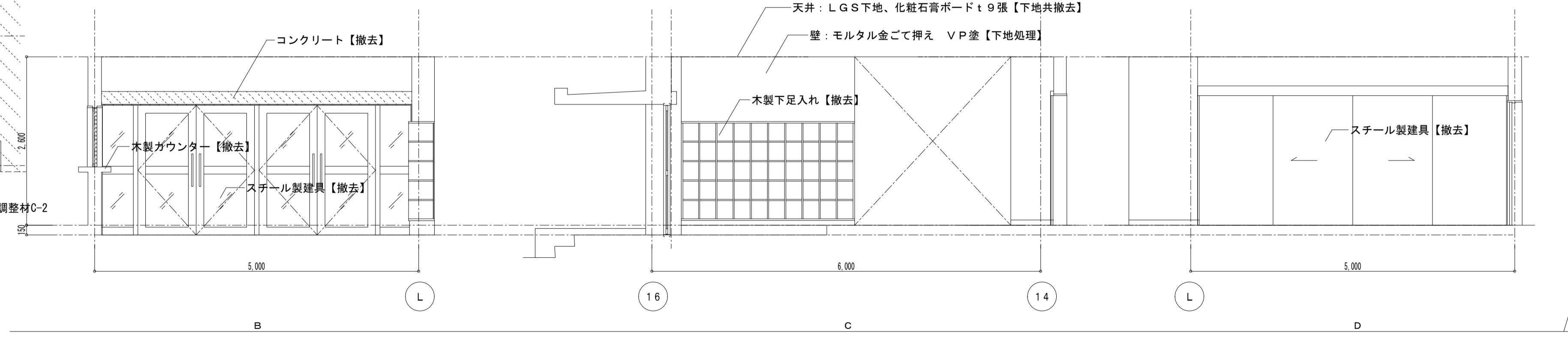
改修前 用具庫 展開図 S=1/50



改修前 事務室 展開図 S=1/50



改修前 玄関 展開図 S=1/50

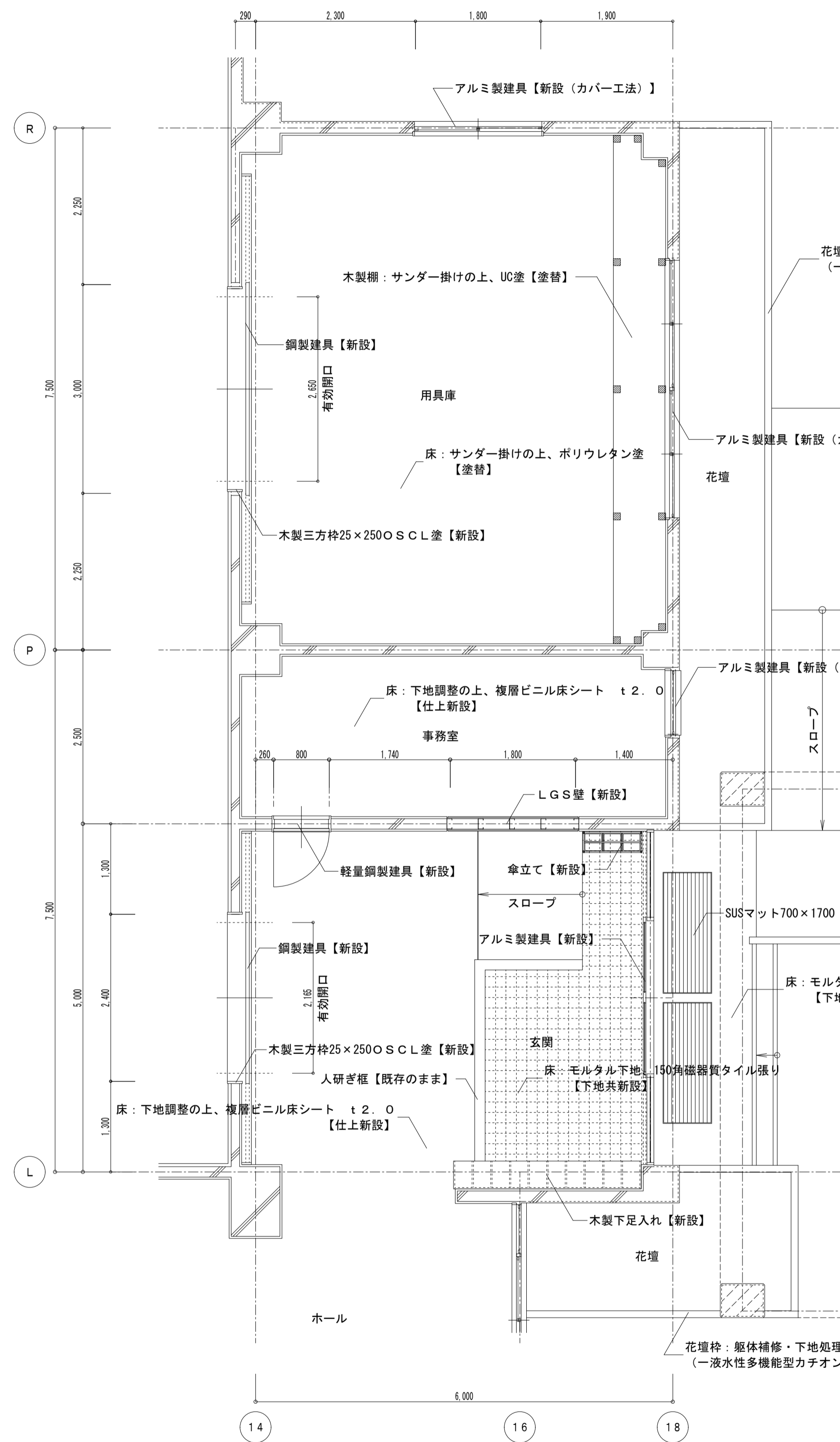


B

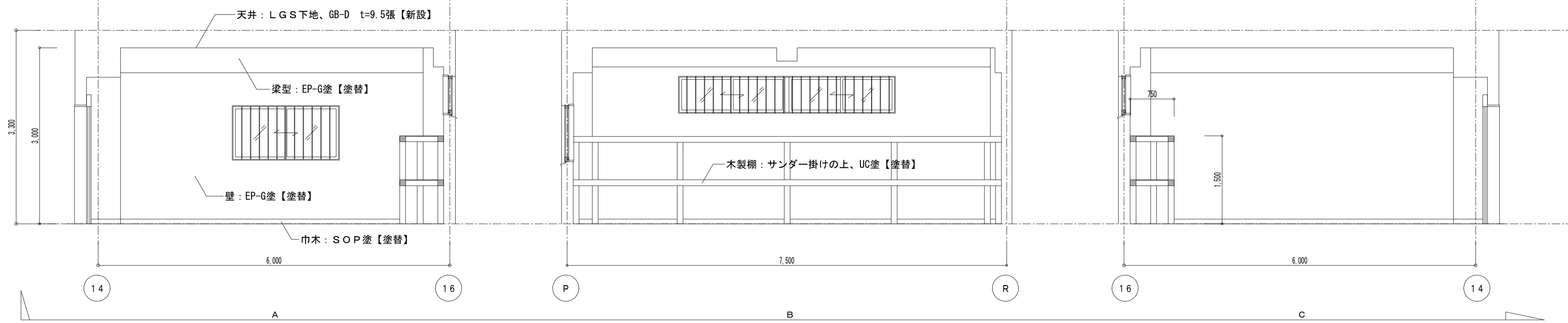
C

D

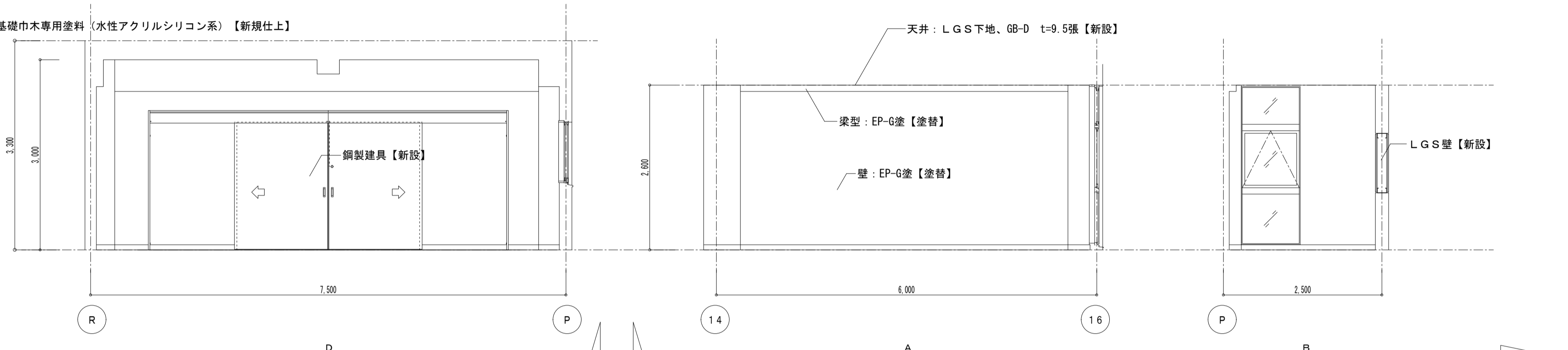
改修後



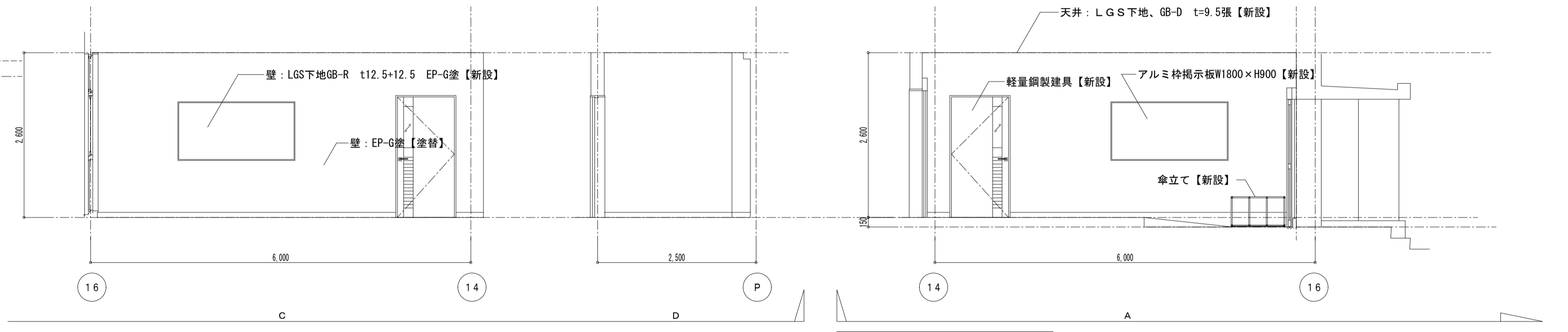
改修後 玄関・事務室・用具庫平面詳細図 S=1/50



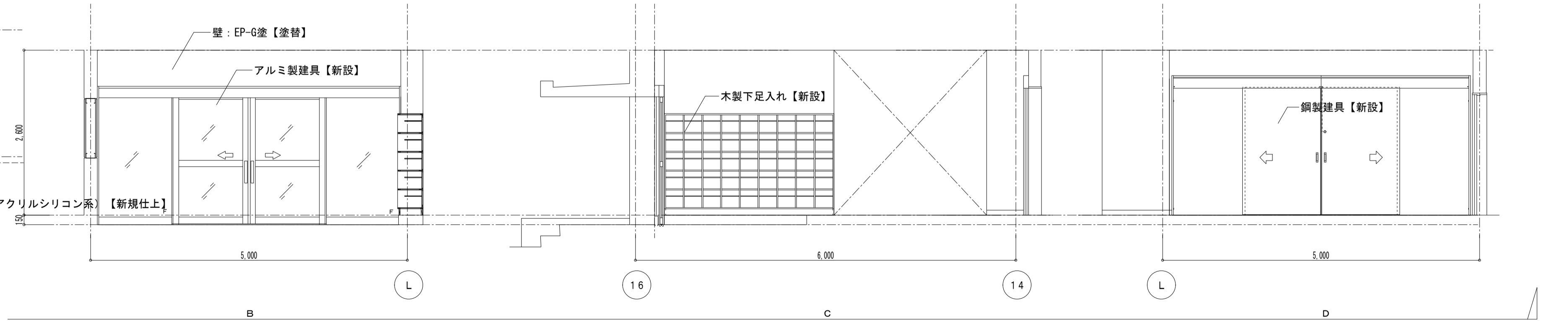
改修後 用具庫 展開図 S=1/50



改修後 事務室 展開図 S=1/50



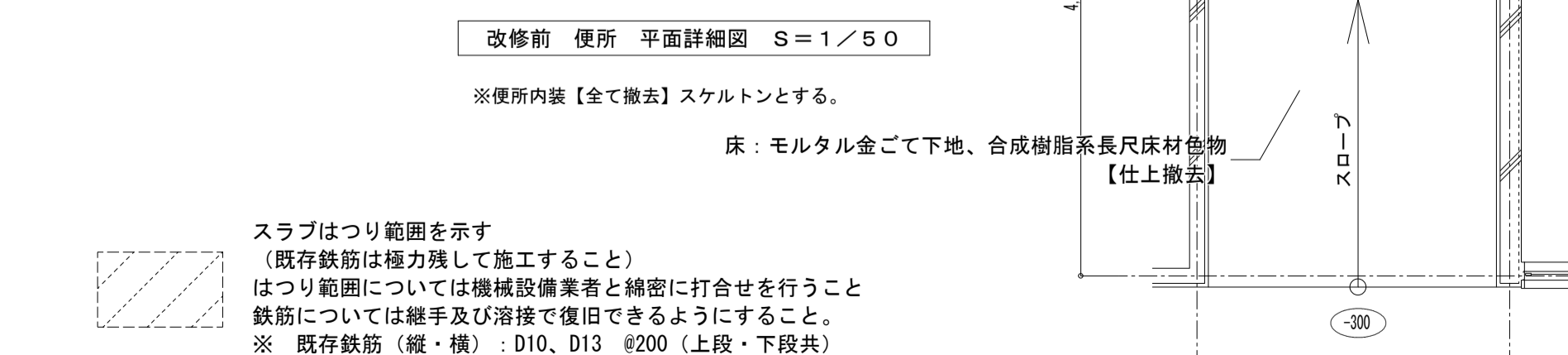
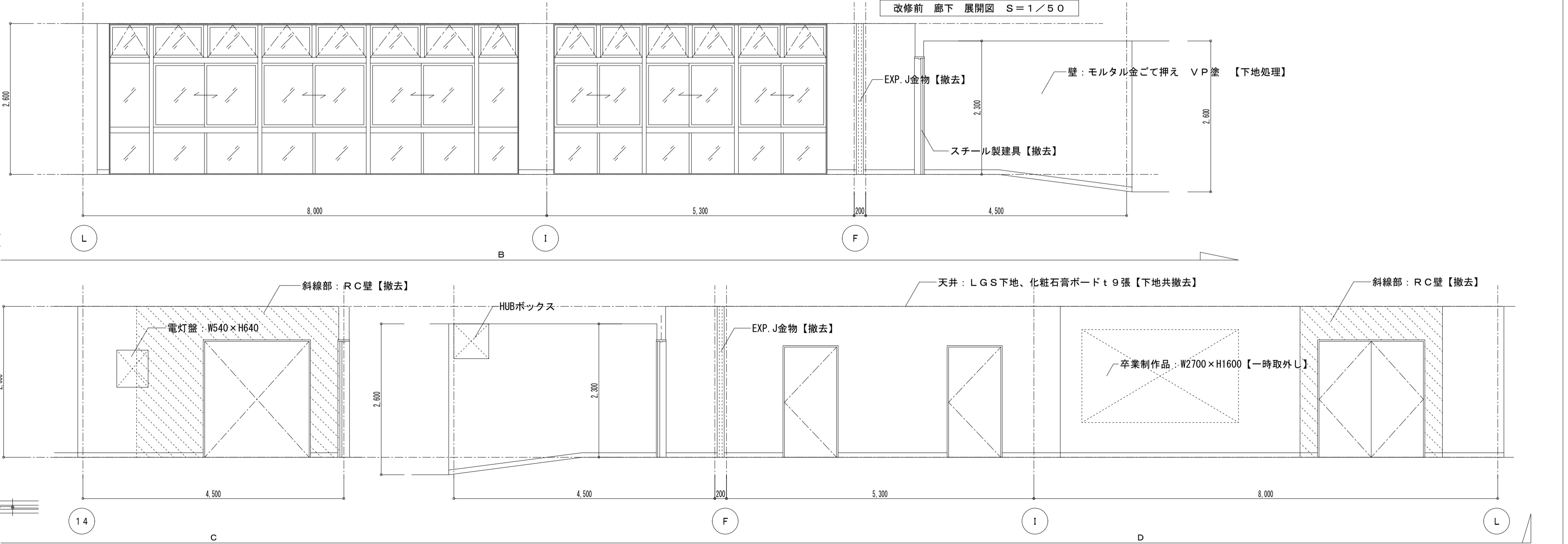
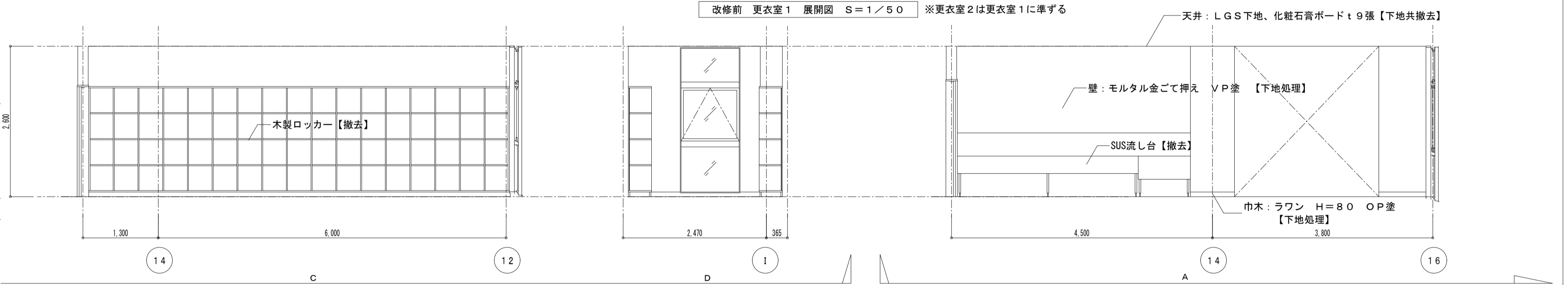
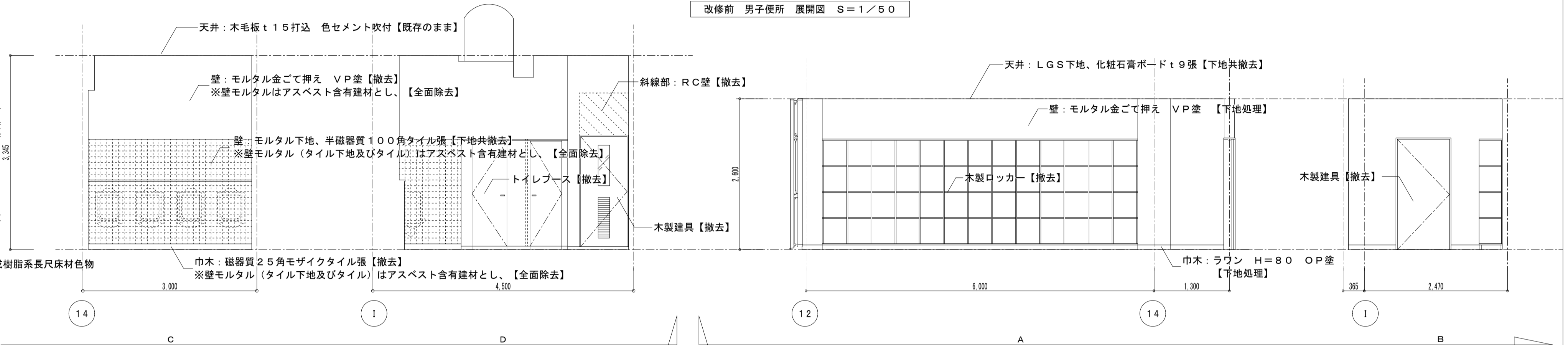
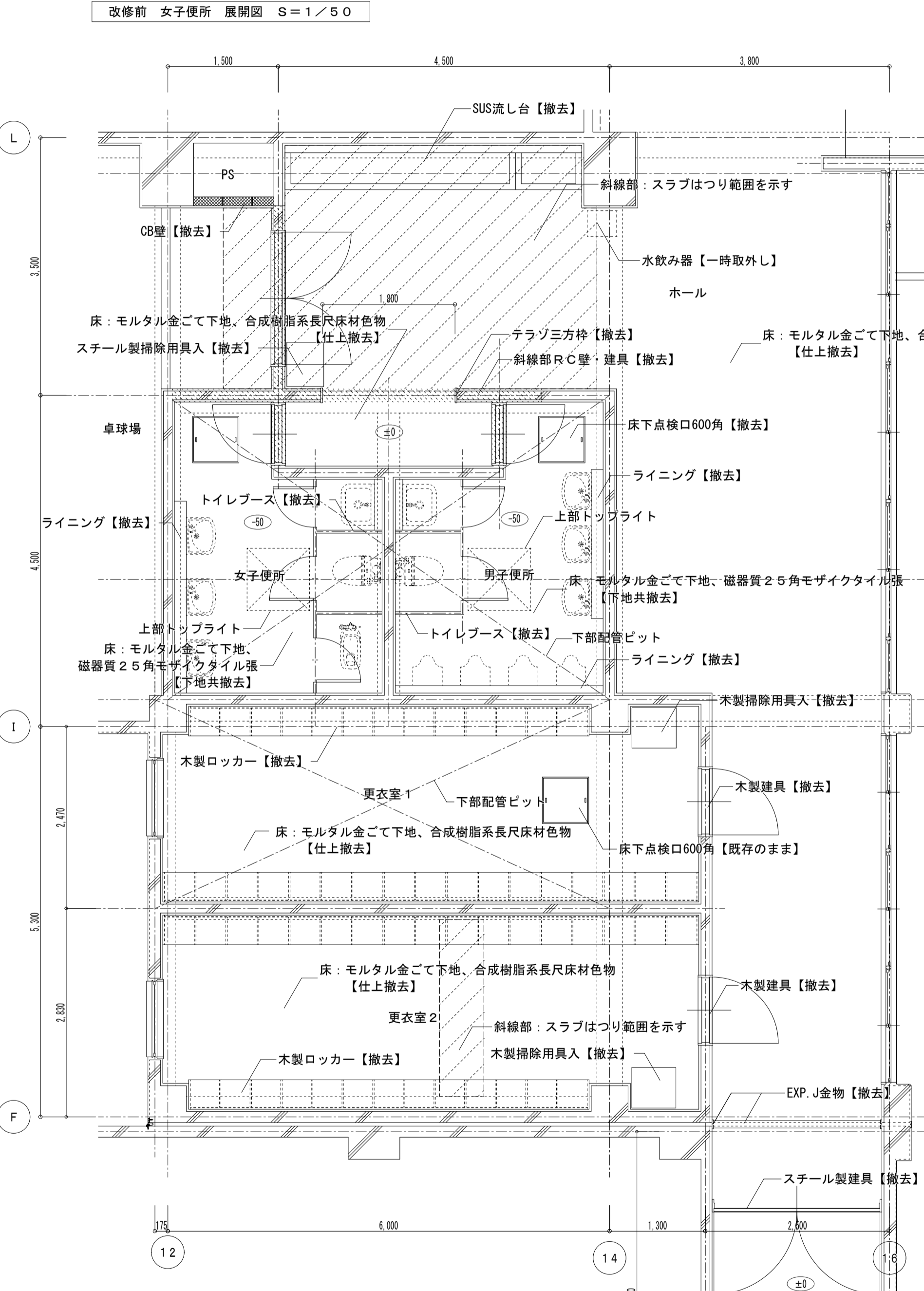
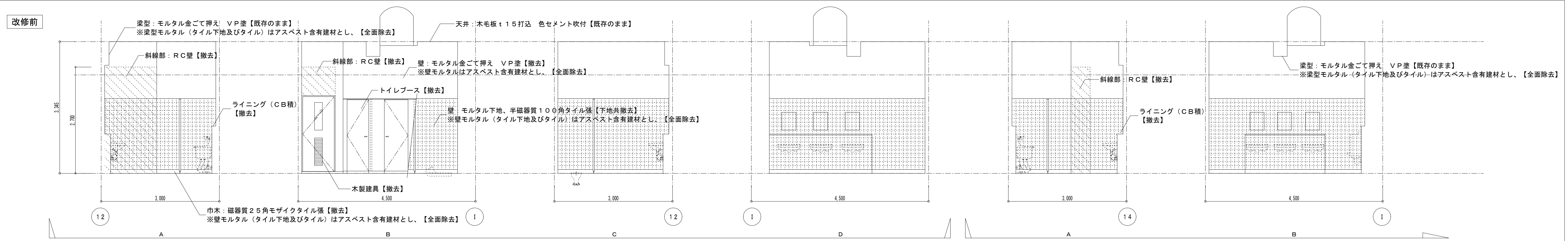
改修後 玄関 展開図 S=1/50



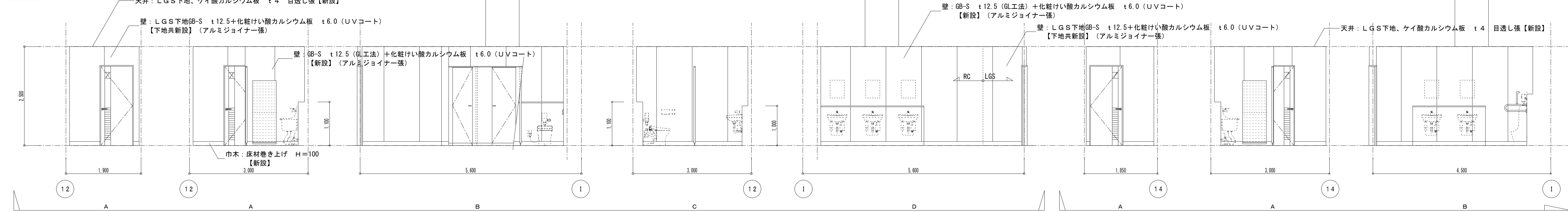
B

C

D

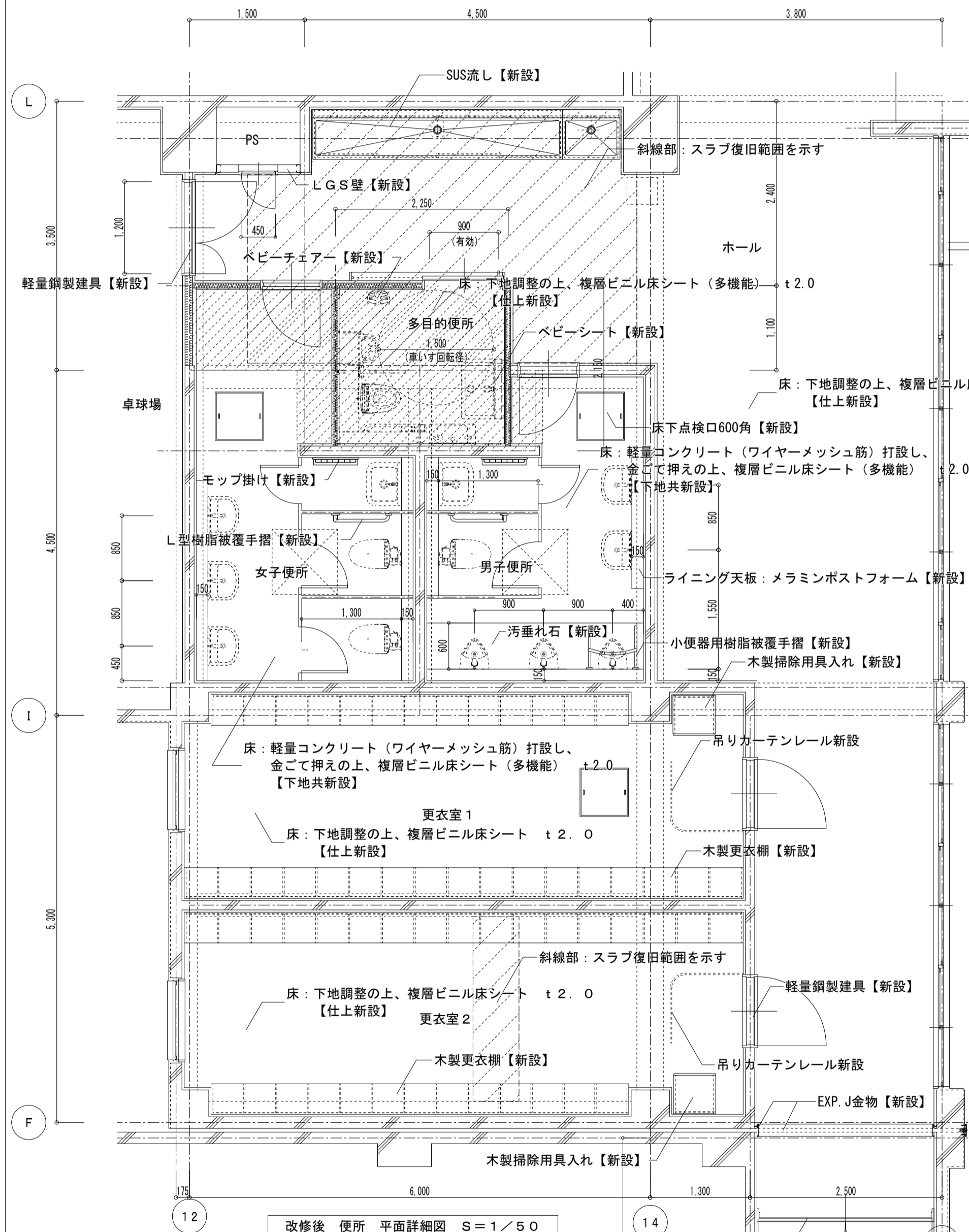


改修後

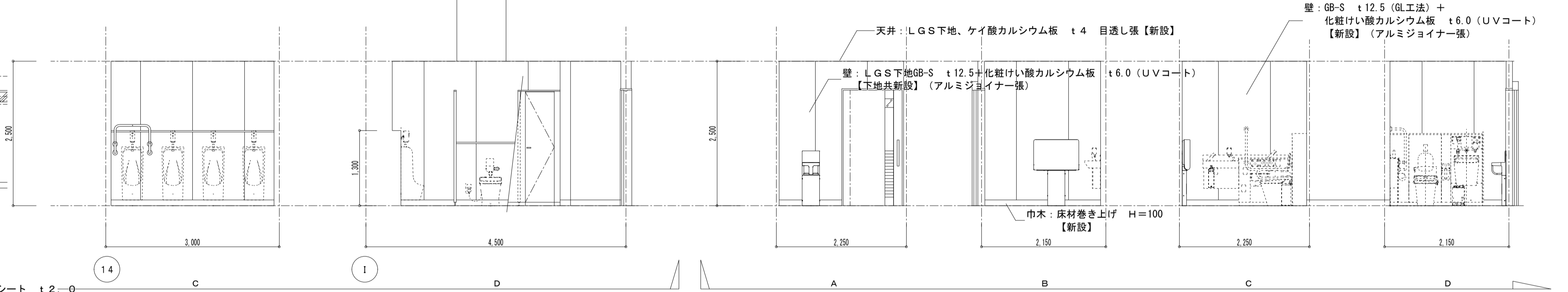


改修後 女子便所 展開図 S=1/50

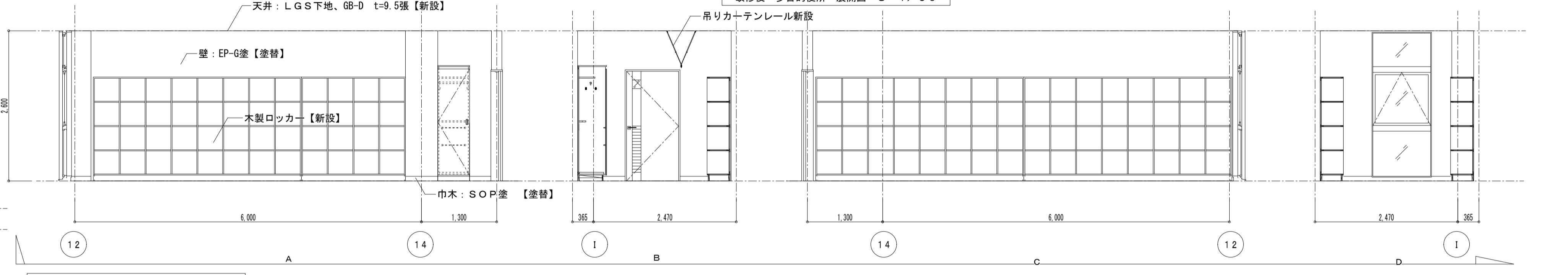
改修後 男子便所 展開図 S=1/50



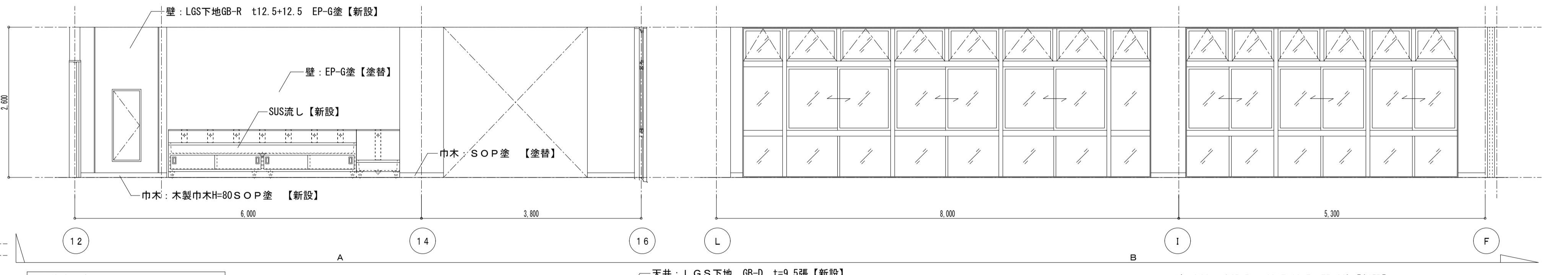
改修後 便所 平面詳細図 S=1/50



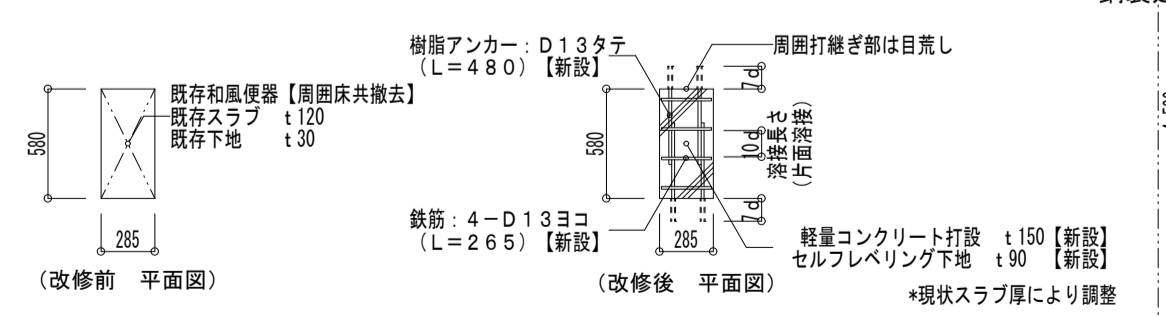
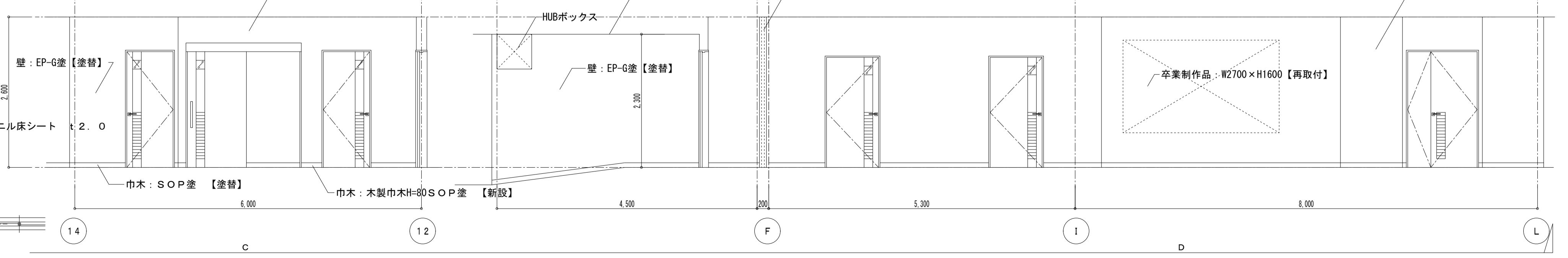
改修後 多目的便所 展開図 S=1/50



改修後 更衣室1 展開図 S=1/50 ※更衣室2は更衣室1に準ずる

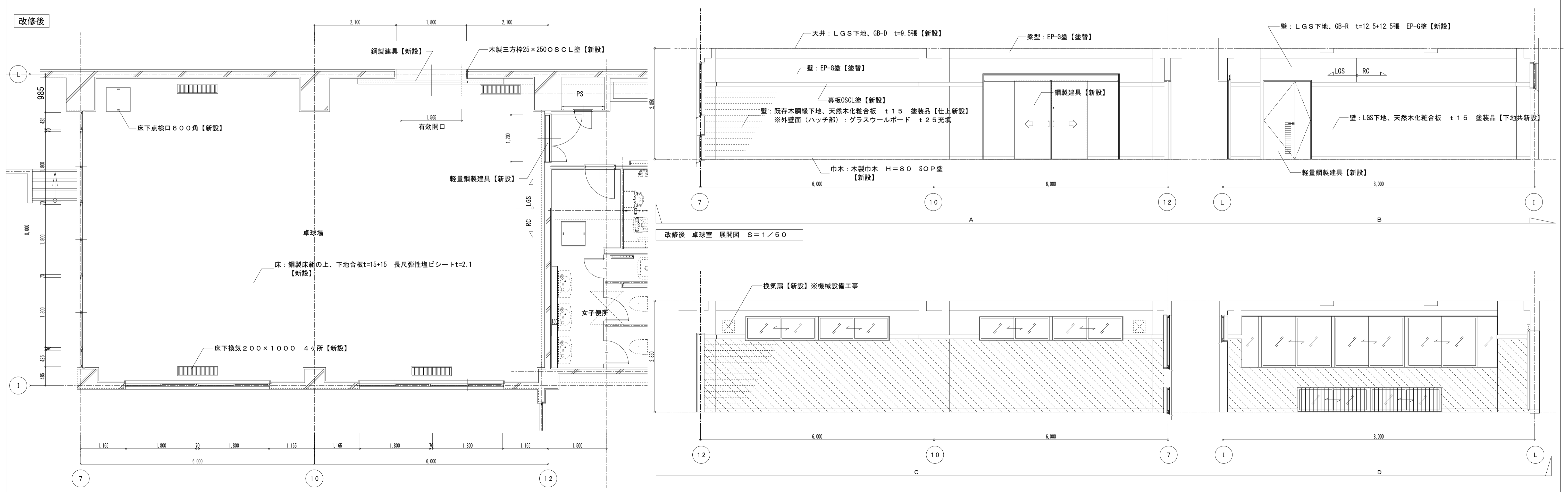
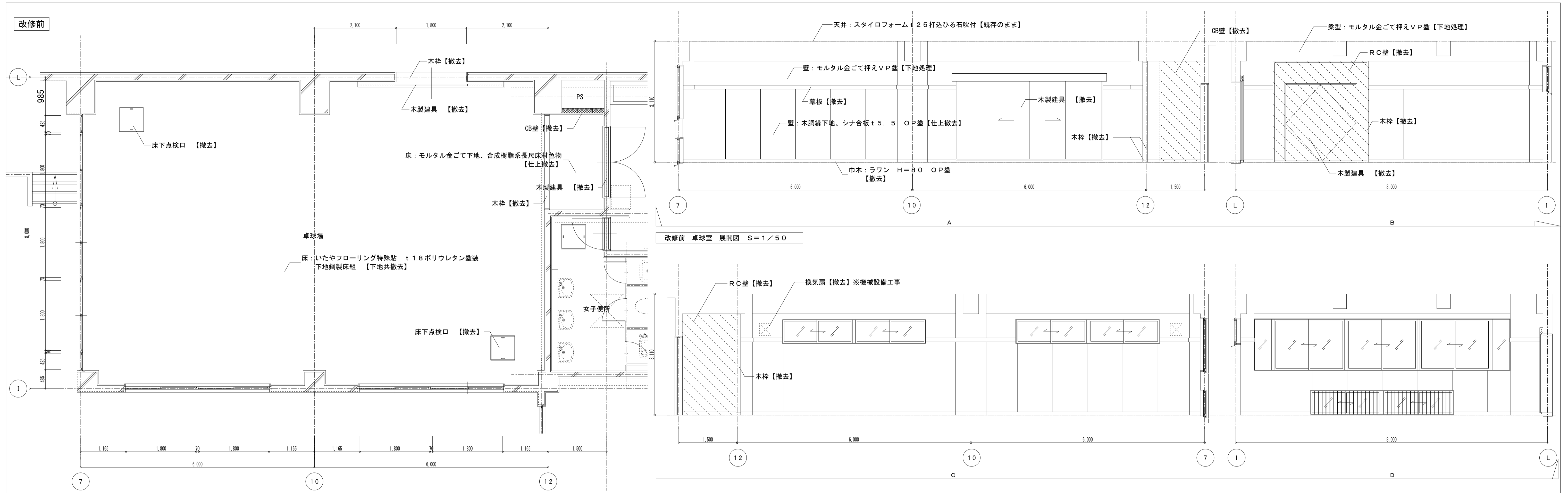


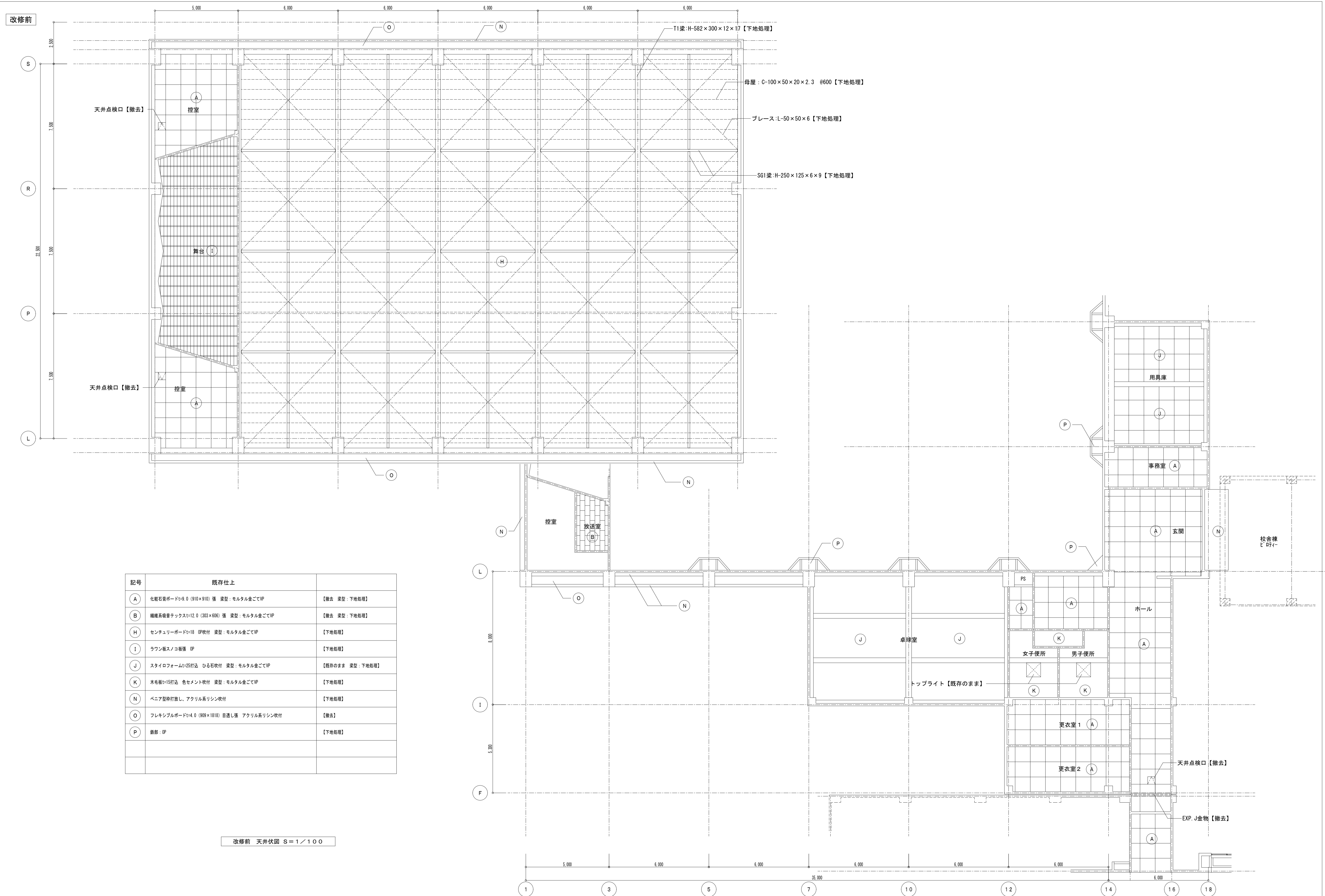
改修後 廊下 展開図 S=1/50



既存和風便器貫通部補修詳細図 S=1/40

スラブ復旧範囲を示す (F24-18)
 (既存鉄筋切断部分は添え筋等により定着を確保すること)
 ※ 既存鉄筋 (縦・横) : D10、D13 @200 (上段・下段共)





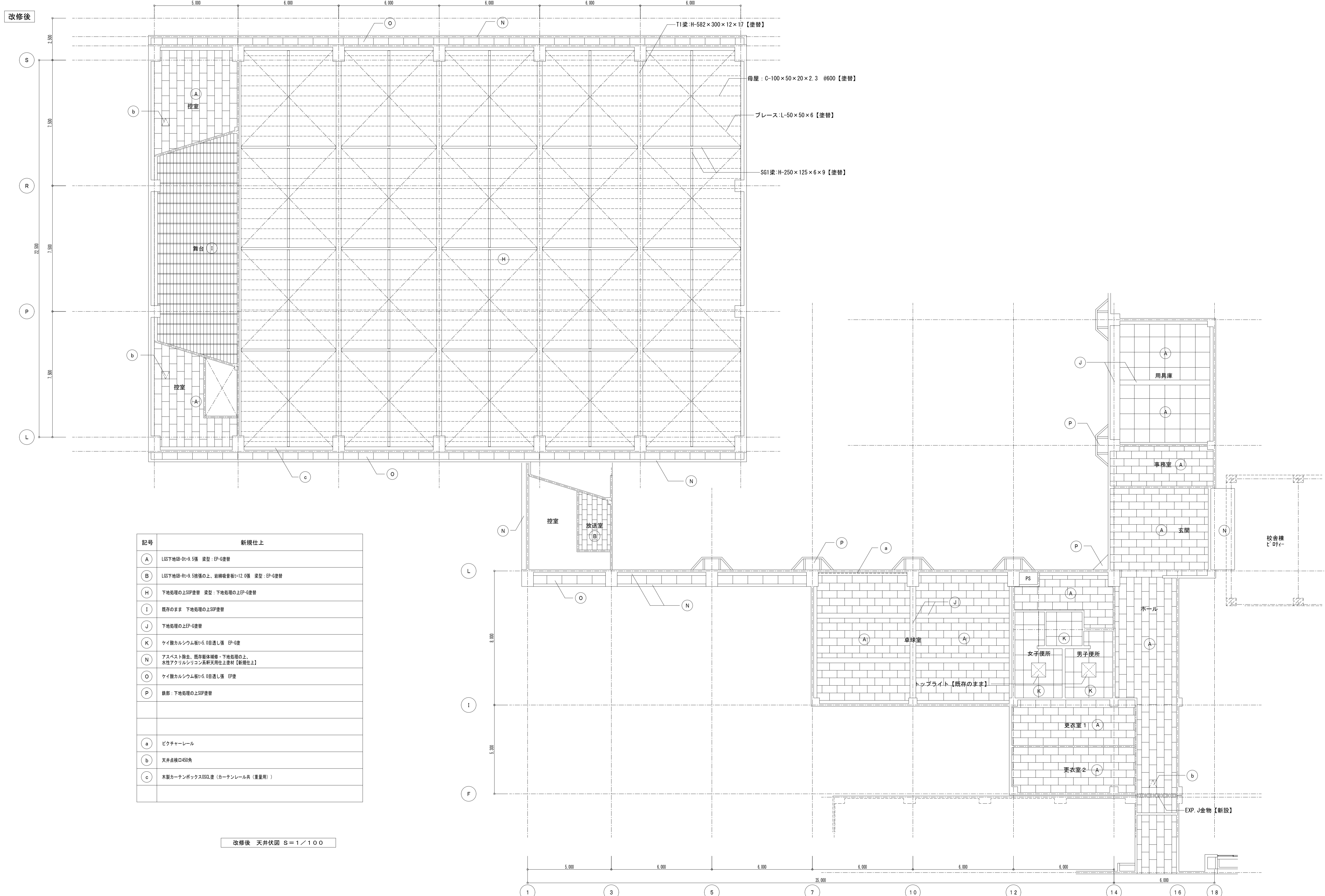
記号	既存仕上	
A	化粧石膏ボードt=9.0 (910×910) 種 梁型: モルタル金ごてVP	【撤去 梁型: 下地処理】
B	繊維系吸音テックスt=12.0 (303×606) 種 梁型: モルタル金ごてVP	【撤去 梁型: 下地処理】
H	センチュリーボードt=18 OP吹付 梁型: モルタル金ごてVP	【下地処理】
I	ラワン板スノコ板種 OP	【下地処理】
J	スタイロフォームt=25打込 ひる石吹付 梁型: モルタル金ごてVP	【既存のまま 梁型: 下地処理】
K	木毛板t=15打込 色セメント吹付 梁型: モルタル金ごてVP	【下地処理】
N	ベニア型枠打放し、アクリル系シン吹付	【下地処理】
O	フレキシブルボードt=4.0 (909×1818) 目隠し種 アクリル系シン吹付	【撤去】
P	鉄部: OP	【下地処理】

改修前 天井伏図 S=1/100

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榑引町1-330-4
 TEL 048-793-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
 縮尺 A1: 1/100
 A3: 1/200
 設計年月日 2023.3.15

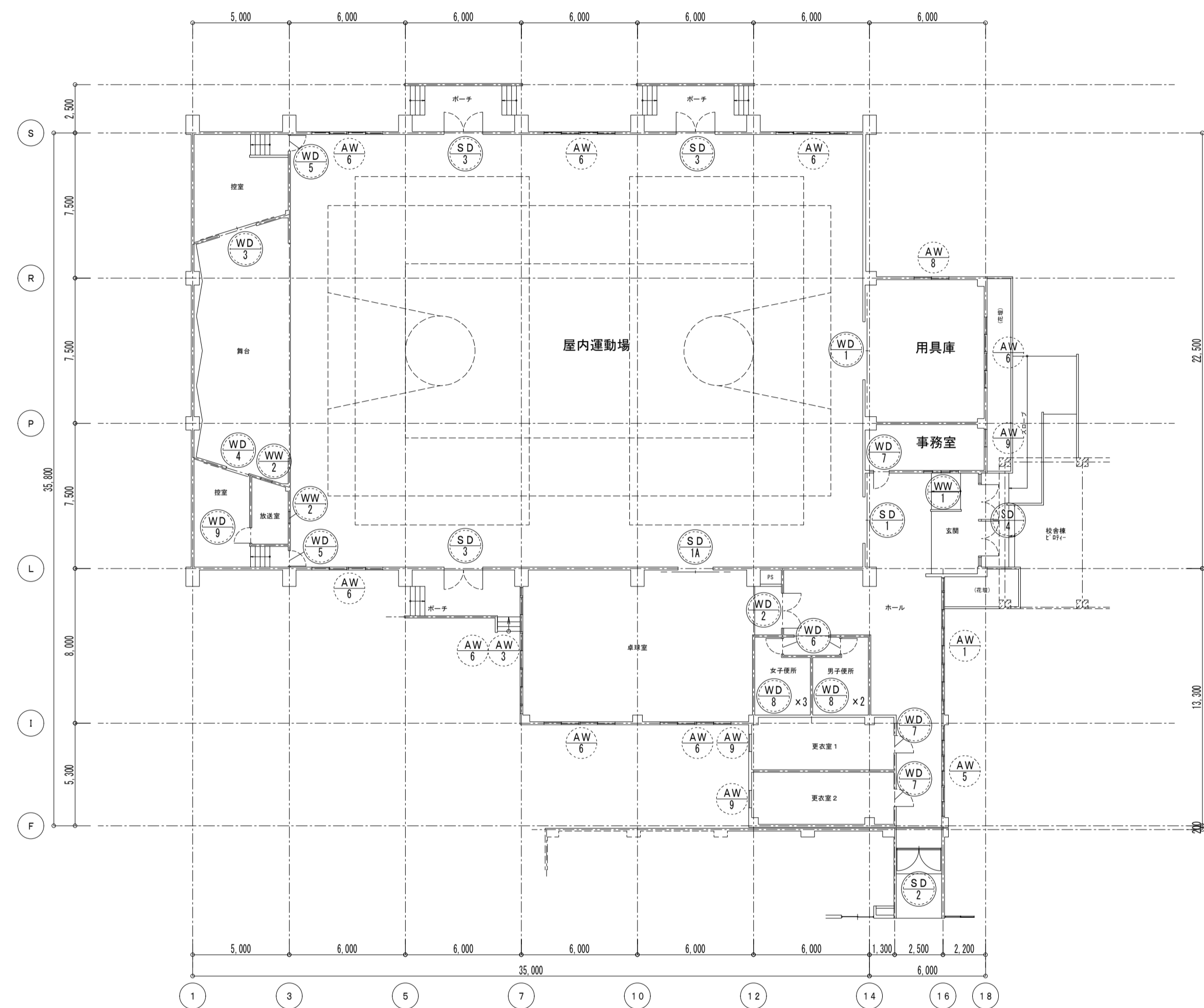
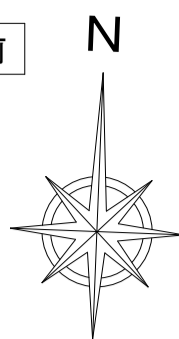
工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前 天井伏図



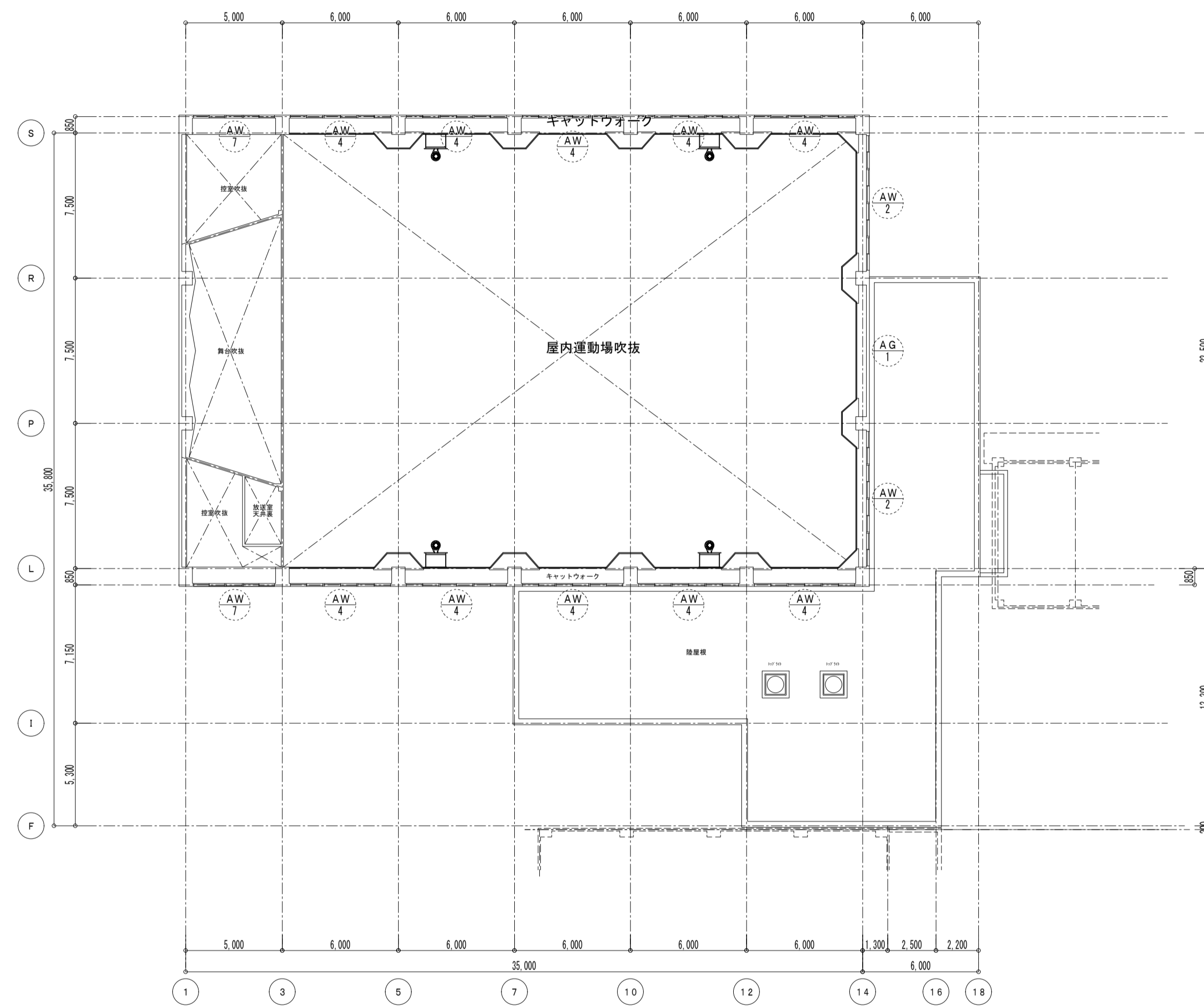
記号	新規仕上
(A)	LGS下地09-Dt=9.5張 梁型: EP-6塗替
(B)	LGS下地09-Rt=9.5捨張の上、岩綿吸音板t=12.0張 梁型: EP-6塗替
(H)	下地処理の上SOP塗替 梁型: 下地処理の上EP-6塗替
(I)	既存のまま 下地処理の上SOP塗替
(J)	下地処理の上EP-6塗替
(K)	ケイ酸カルシウム板t=5.0目透し張 EP-6塗
(N)	アスベスト除去、既存躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン系軒天用仕上塗材【新規仕上】
(O)	ケイ酸カルシウム板t=5.0目透し張 EP塗
(P)	鉄部: 下地処理の上SOP塗替
(a)	ピクチャーレール
(b)	天井点検口450角
(c)	木製カーテンボックスOSQ塗 (カーテンレール共 (重量用))

改修後 天井伏図 S=1/100

改修前



改修前 1階建具表キープラン S=1/200



改修前 2階建具表キープラン S=1/200

- は、既存建具を示す。
- は、既存撤去建具（カバー工法 枠残し）を示す。
- は、既存撤去建具を示す。

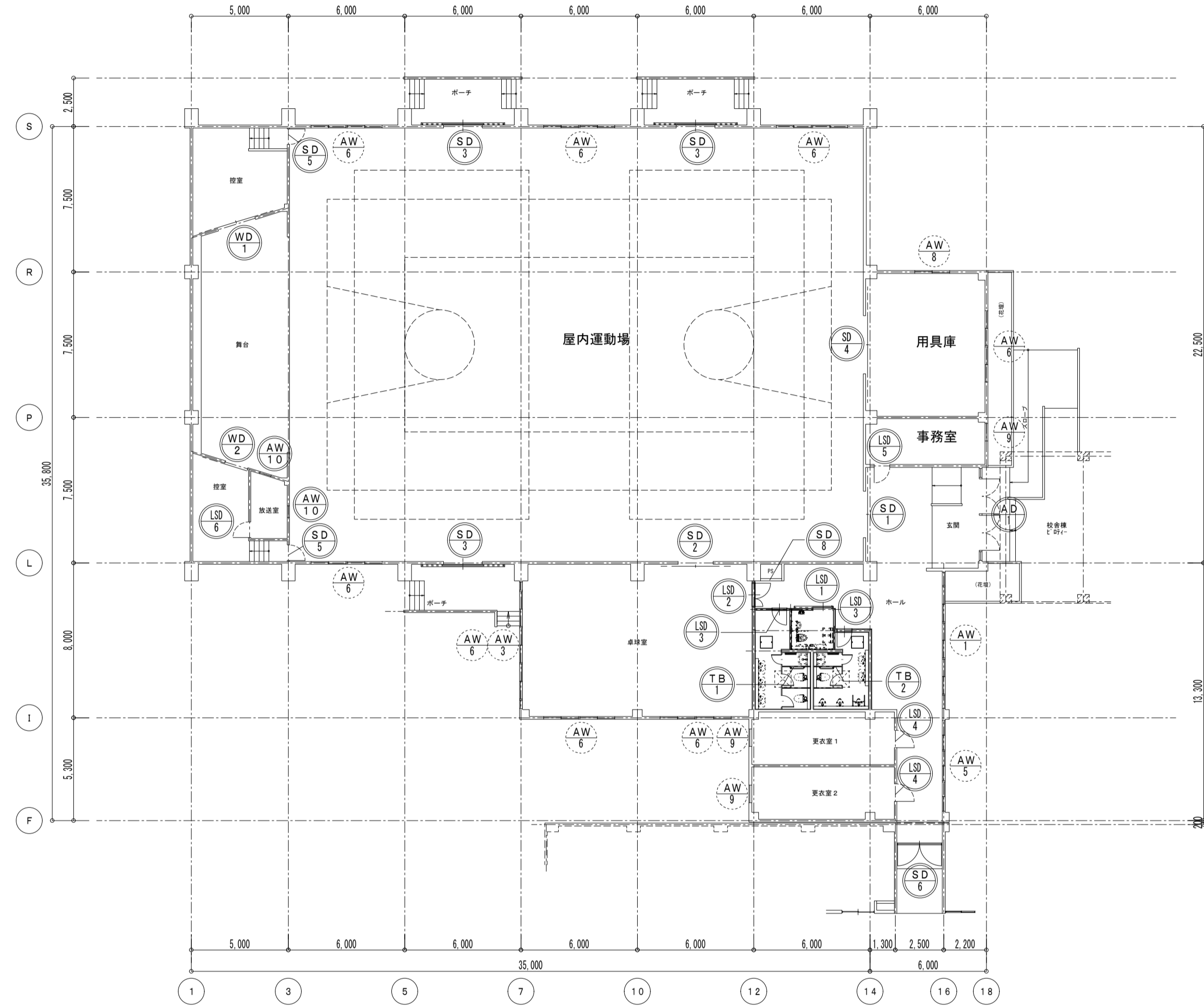
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当

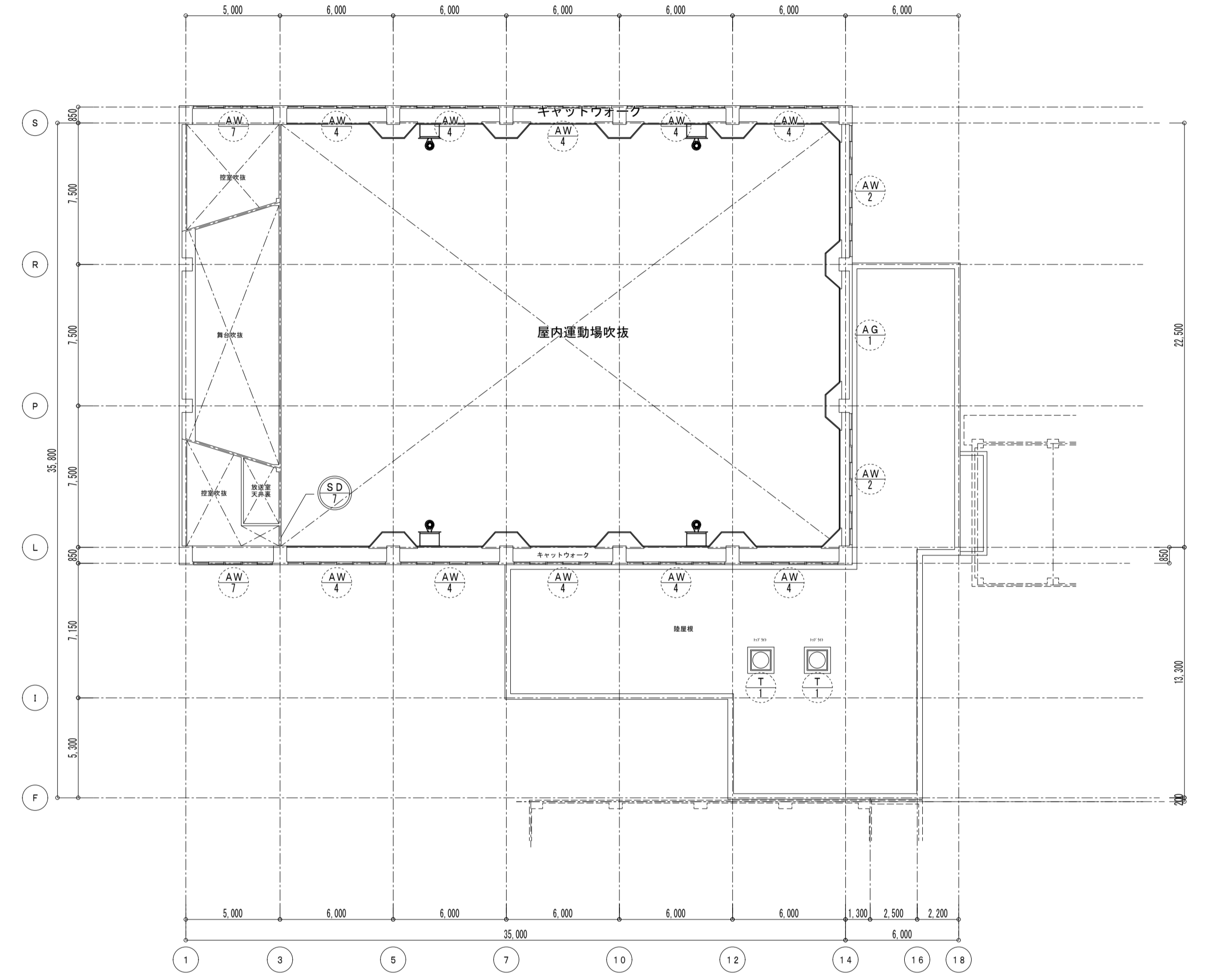
縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前 建具表キープラン




改修後



改修後 1階建具表キープラン S=1/200



改修後 2階建具表キープラン S=1/200

-  は、既存建具を示す。
-  は、新設建具（カバー工法）を示す。
-  は、新設建具を示す。

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当

縮尺 A1: 1/200
 A3: 1/400
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）

図面名称 改修後 建具表キープラン

改修前・後 建具表 1 S=1/100 凡例：○は、既存改修建具を示す。○は、撤去建具（カバー工法特注）を示す。○は、撤去建具を示す。

記号・型式	SD 1 スチール製開け分けフラッシュハンガー戸	SD 2 スチール製開きフラッシュ戸・戸袋付（特定防火設備）	SD 3 スチール製開きフラッシュ戸									
姿 図												
場所・数量	SD 1 体育館出入口 1箇所 SD 1 A 卓球室 1箇所	廊下 1箇所	体育館 3箇所									
仕上・見込	スチール SOP差 戸厚40mm	スチール SOP差 100mm	スチール SOP差 100mm									
ガラス	-	-	-									
金物	トラックレール、ガイドレール、ドアハンガー、引手、シリンダー錠錠、中央ストッパー、戸当り枠、他標準金物一式	DC（ストッパーなし）、ケースハンドル、フランスポリ、シリンダー錠、他標準金物一式	DC、フランスポリ、縦玉付シリンダー錠、他標準金物一式									
改修内容	【撤去（特共）】	【撤去（特共）】	【撤去（特共）】									
記号・型式	SD 4 アルミ製開き戸・FIX窓											
姿 図												
場所・数量	玄関 1箇所											
仕上・見込	アルミシルバー 100mm											
ガラス	網入型 t6.8											
金物	フランスポリ、シリンダー錠、フロアヒンジ、ステンレス押棒、他標準金物一式											
改修内容	【撤去（特共）】											
記号・型式	WD 1 木製開け分けフラッシュ戸	WD 2 木製開きフラッシュ戸	WD 3 木製開け分けフラッシュ戸	WD 4 木製引きフラッシュ戸	WD 5 木製片開きフラッシュ戸	WD 6 木製片開きフラッシュ戸	WD 7 木製片開きフラッシュ戸	WD 8 木製片開きフラッシュ戸（トイレブース）				
姿 図												
場所・数量	用具室 1箇所	卓球室 1箇所	（ステージ）控室 1箇所	（ステージ）控室 1箇所	体育館（控室出入口） 2箇所	便所 2箇所	教員室、更衣室 3箇所	便所 5箇所				
仕上・見込	ラミネ相決り板 OS差 戸厚45mm	シナ合板 SOP差 戸厚40mm	シナ合板 SOP差 戸厚36mm	シナ合板 SOP差 戸厚40mm	（片面）ラミネ相決り板 OS差（片面）シナ合板 SOP差 戸厚40mm	シナ合板 SOP差 戸厚40mm	シナ合板 SOP差 戸厚40mm	メラミン化粧合板 戸厚36mm				
ガラス	-	-	-	-	-	型 t4.0	-	-				
金物	トラックレール、ガイドレール、ドアハンガー、引手、中央ストッパー、戸当り枠、他標準金物一式	DC、フランスポリ、縦玉、サムターン付シリンダー錠、他標準金物一式	SUS滑型レール、底車、引手、中央ストッパー、戸当り枠、他標準金物一式	SUS滑型レール、底車、引手、戸当り枠、他標準金物一式	縦玉付錠、他標準金物一式	DC、縦玉付錠、ガラリ、他標準金物一式	DC、縦玉、サムターン付シリンダー錠、他標準金物一式	標準金物一式				
改修内容	【撤去】	【撤去】	【撤去】	【撤去】	【撤去】	【撤去】	【撤去】	【撤去】				
記号・型式	WD 9 木製片開きフラッシュ戸	WW 1 木製引違い・FIXガラス窓	WW 2 木製FIX窓									
姿 図												
場所・数量	放送室 1箇所	教員室 1箇所	放送室 2箇所									
仕上・見込	シナ合板 SOP差 戸厚40mm	樺 SOP差	樺 SOP差									
ガラス	-	透明 t3.0、（引違い窓）透明 t5.0	型 t5.0									
金物	DC、縦玉付錠、ガラリ、他標準金物一式	山型レール、他標準金物一式	標準金物一式									
改修内容	【撤去】	【撤去】	【撤去】									
記号・型式												
姿 図												
場所・数量												
仕上・見込												
ガラス												
金物												
改修内容												

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/100
A3:1/200
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）
図面名称 撤去 建具表

改修前・後 建具表 1 S=1/100 凡例：○は、既存改修建具を示す。○は、撤去建具（カバー工法特例）を示す。○は、撤去建具を示す。○は、新設建具を示す。

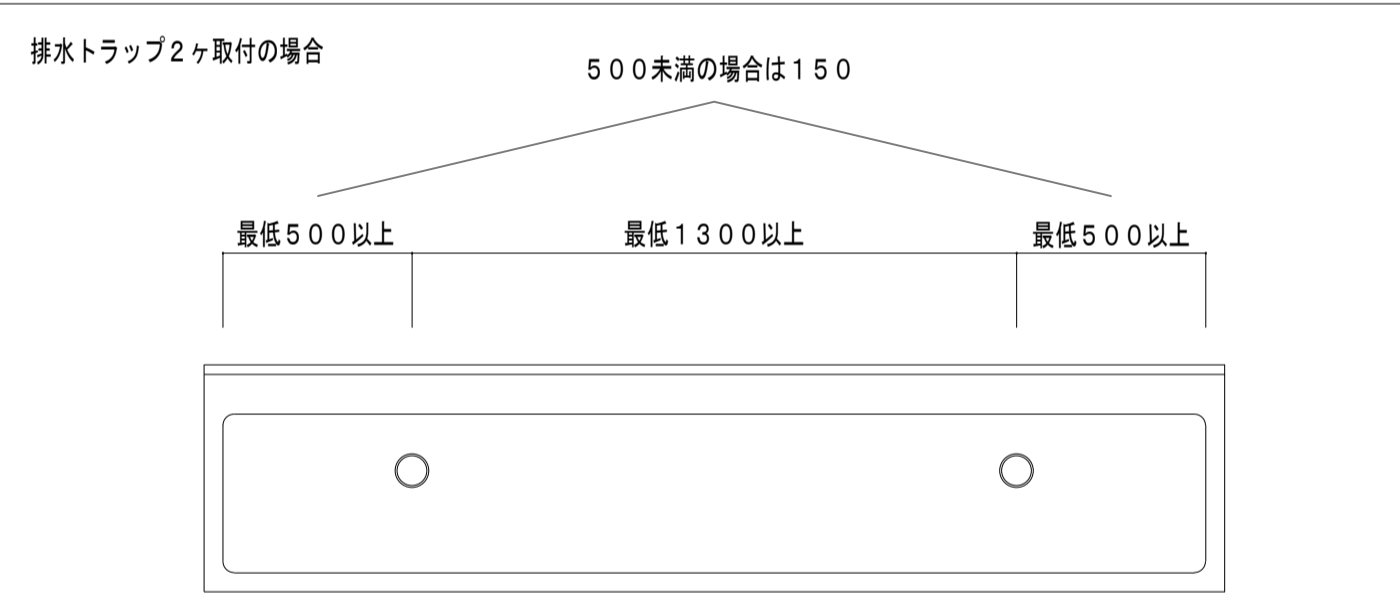
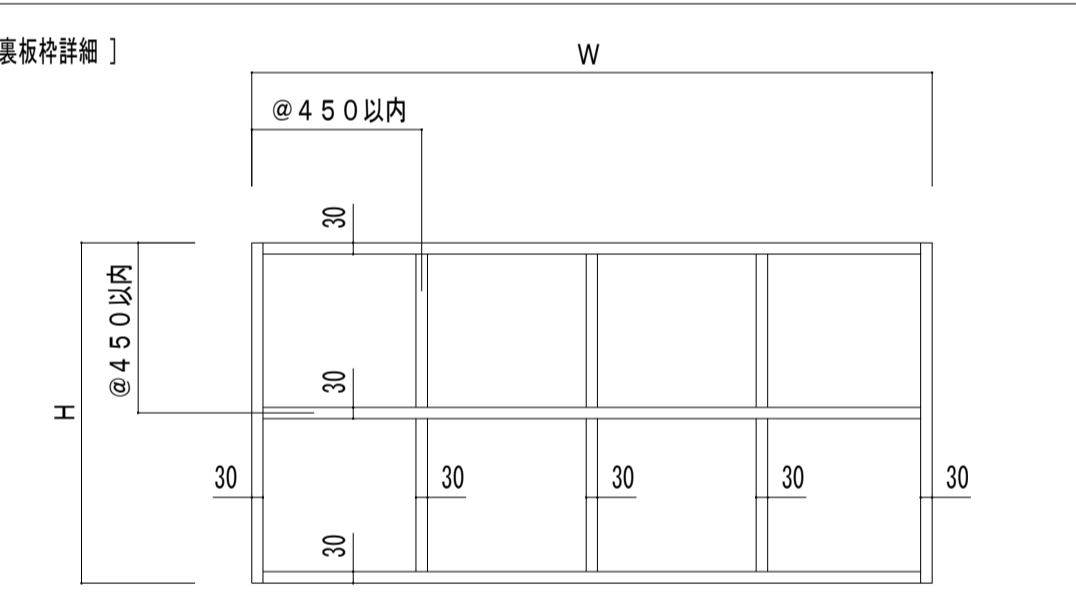
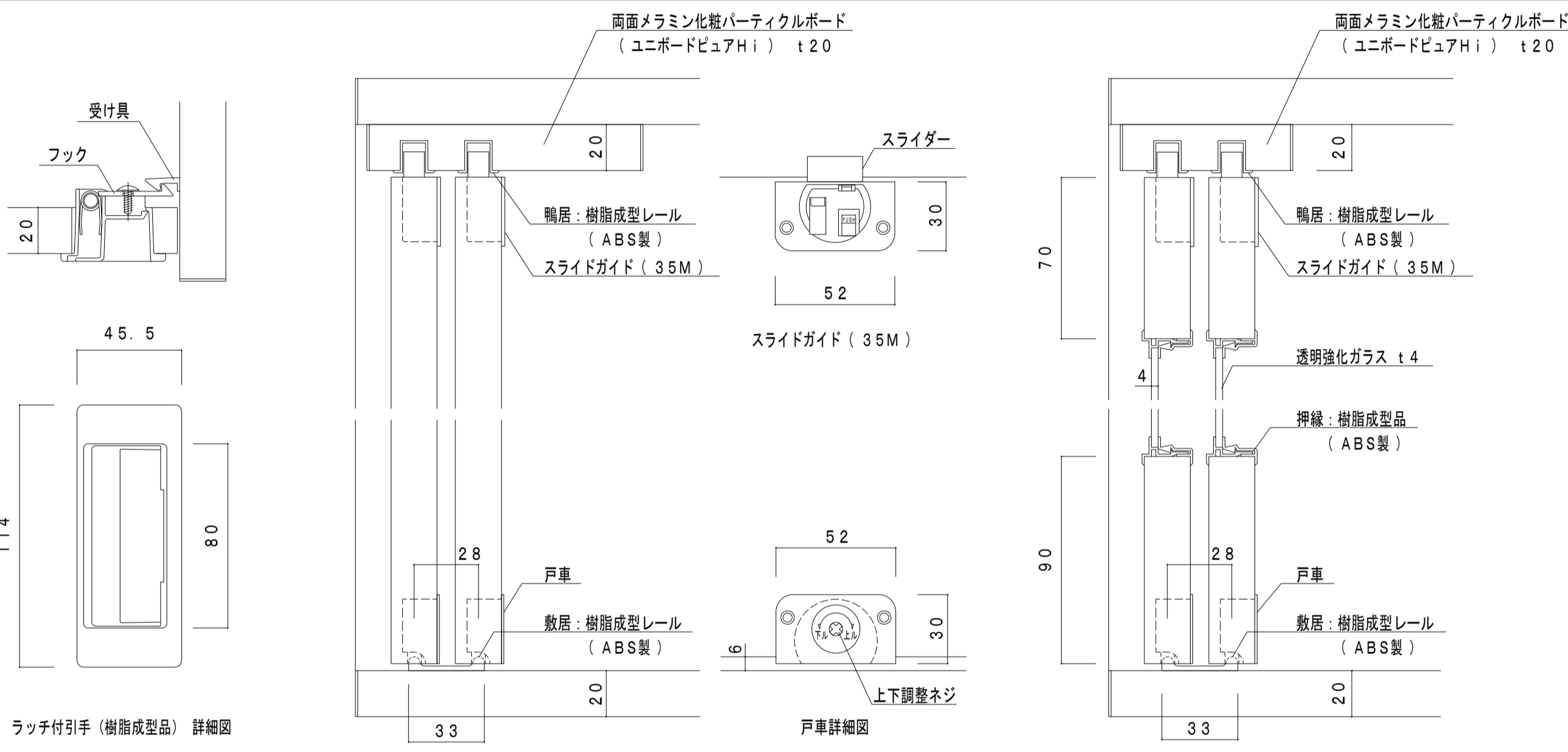
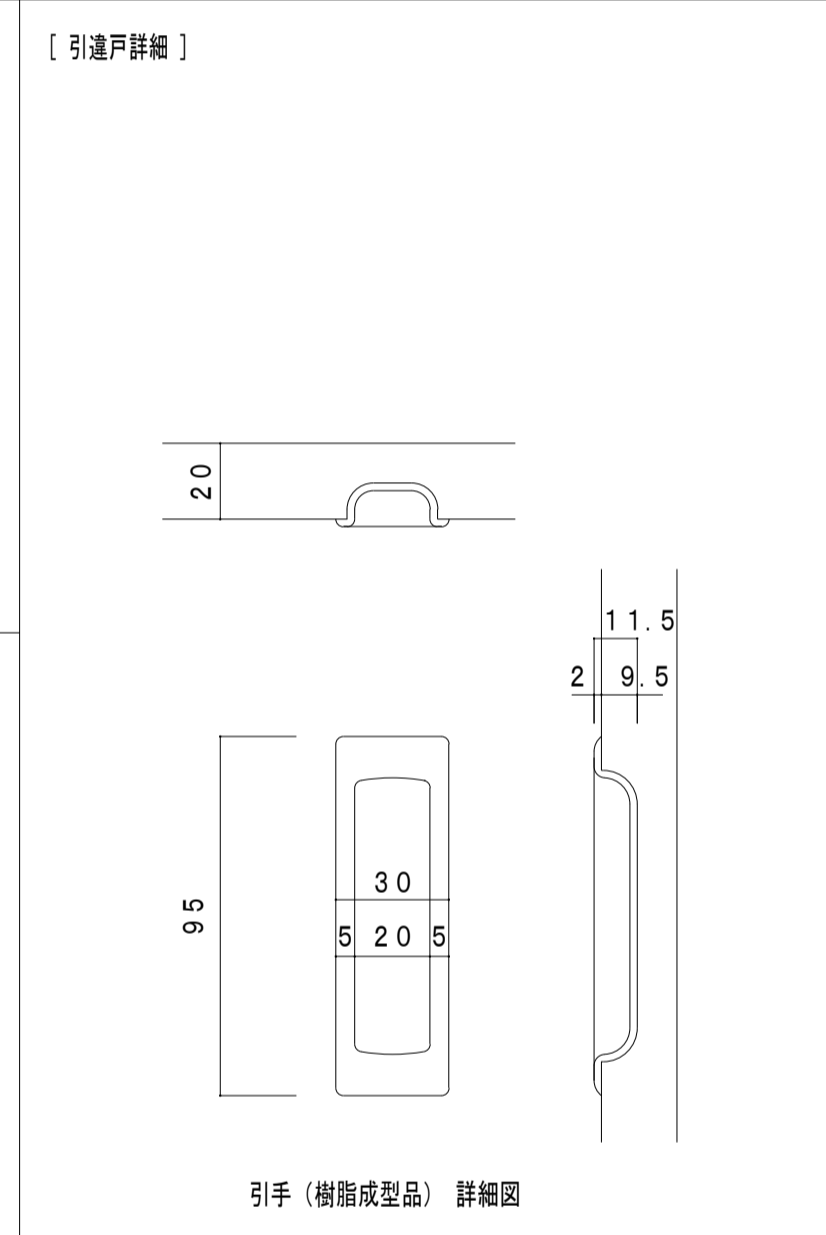
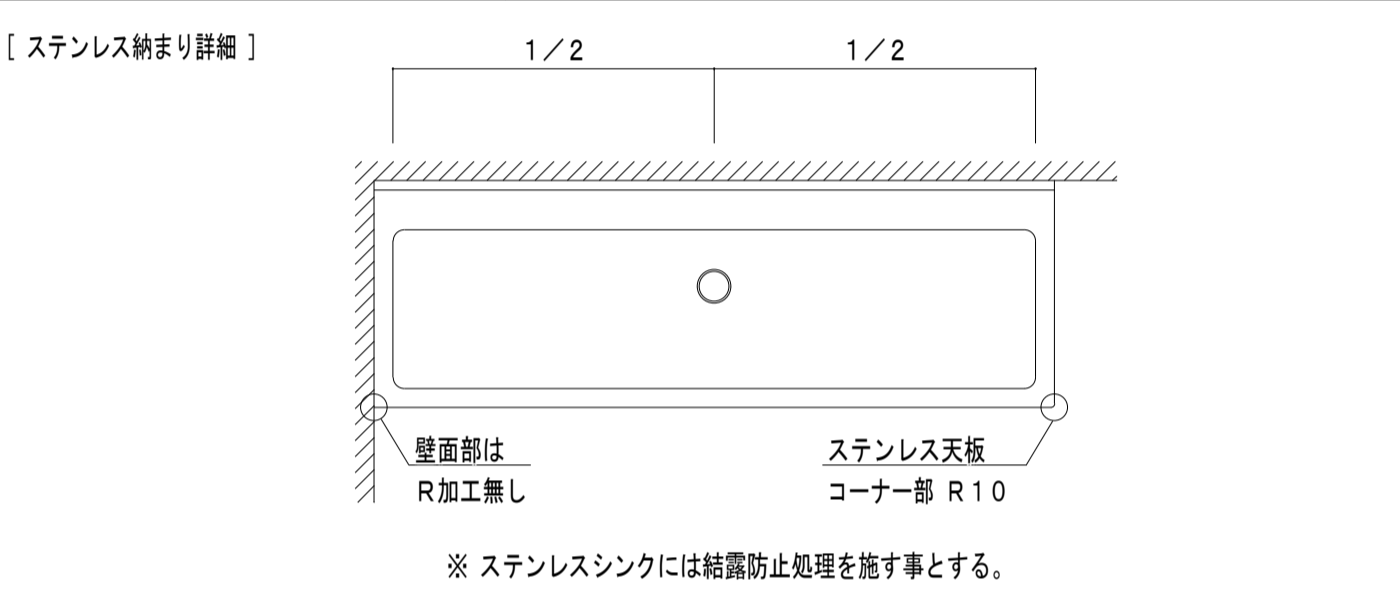
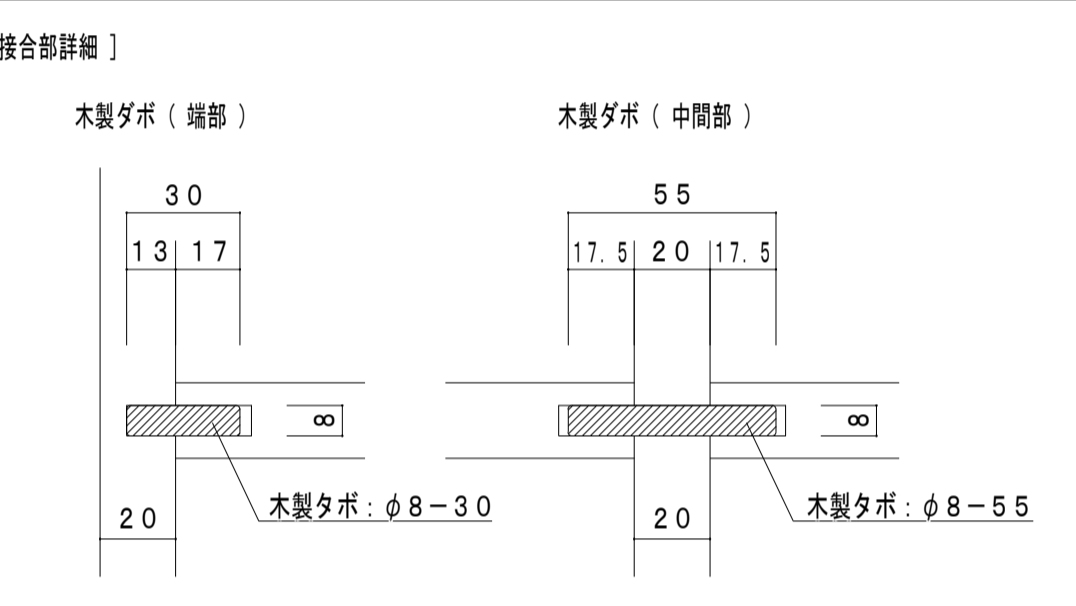
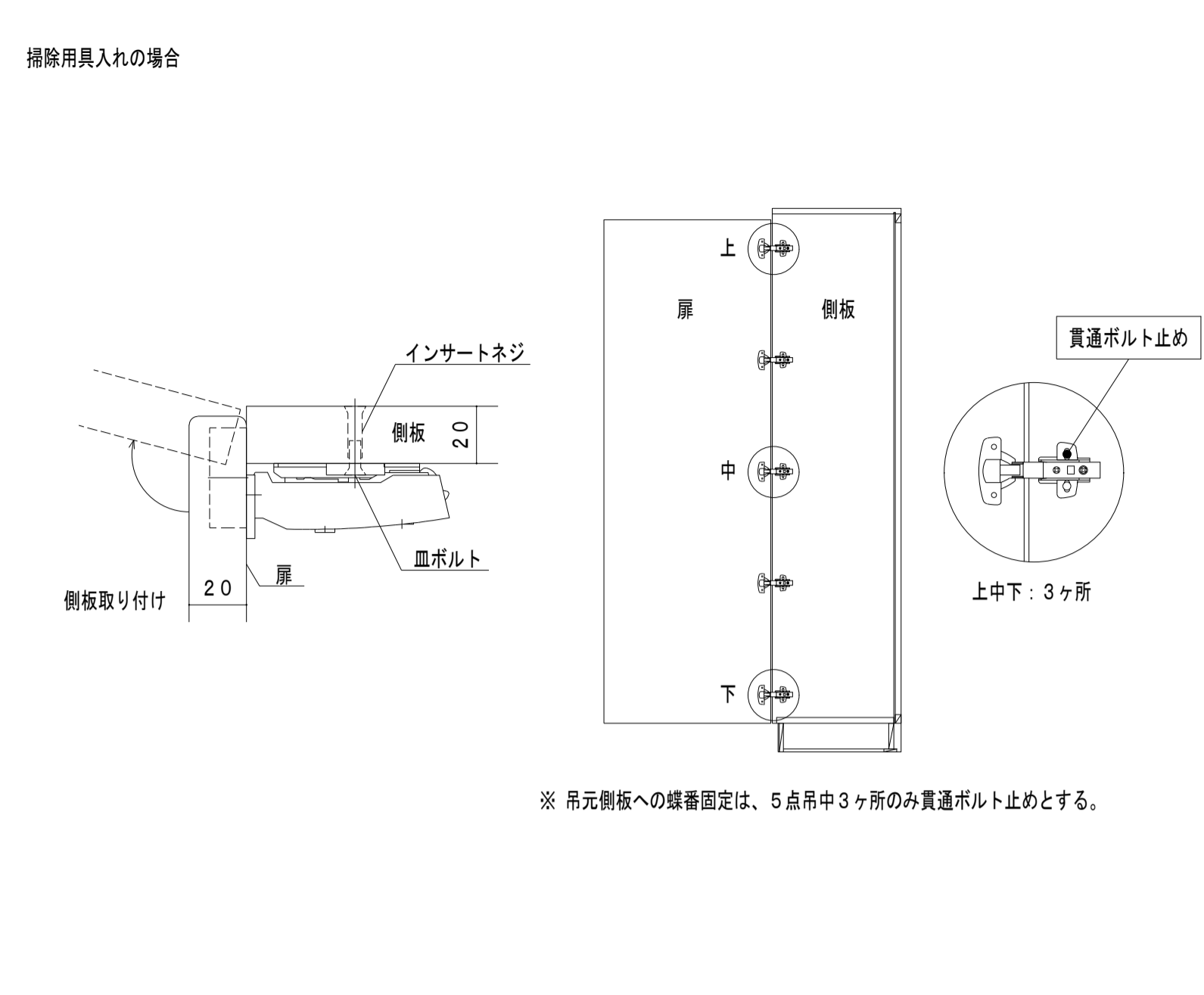
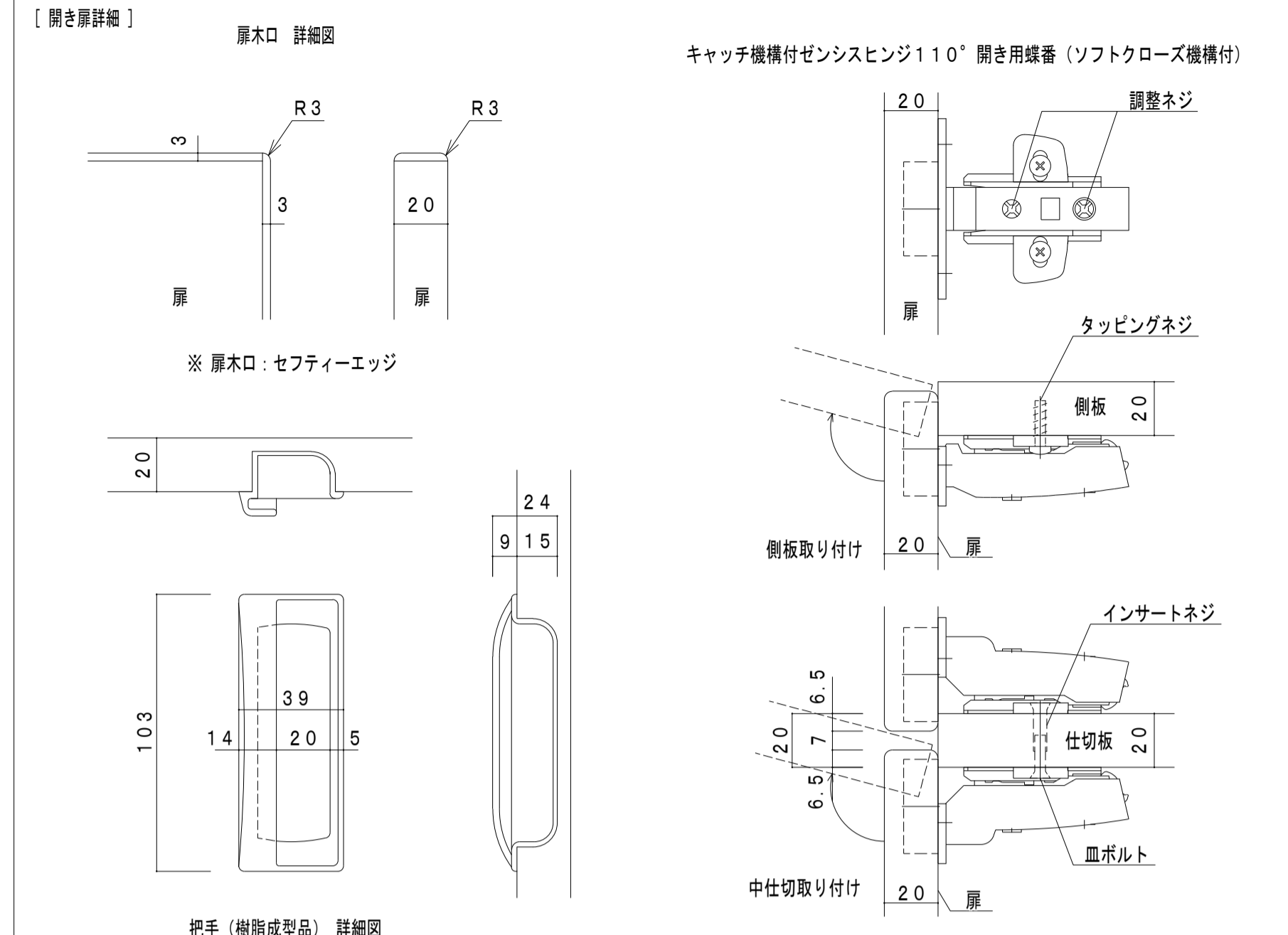
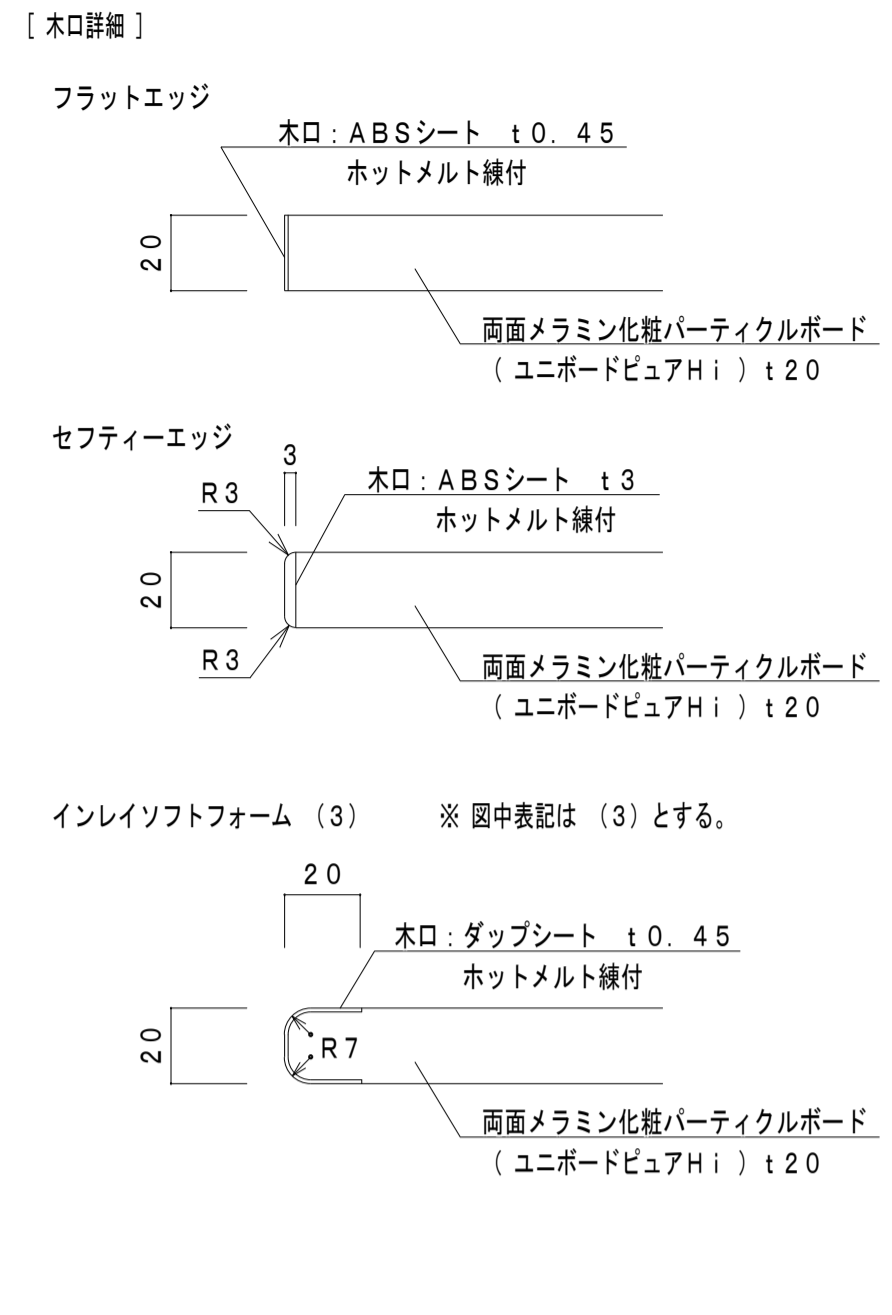
Table with columns for drawing type (e.g., 窓, 扉), location/quantity, materials, glass, hardware, and renovation content. It contains detailed technical drawings and specifications for various building components across multiple rooms.

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

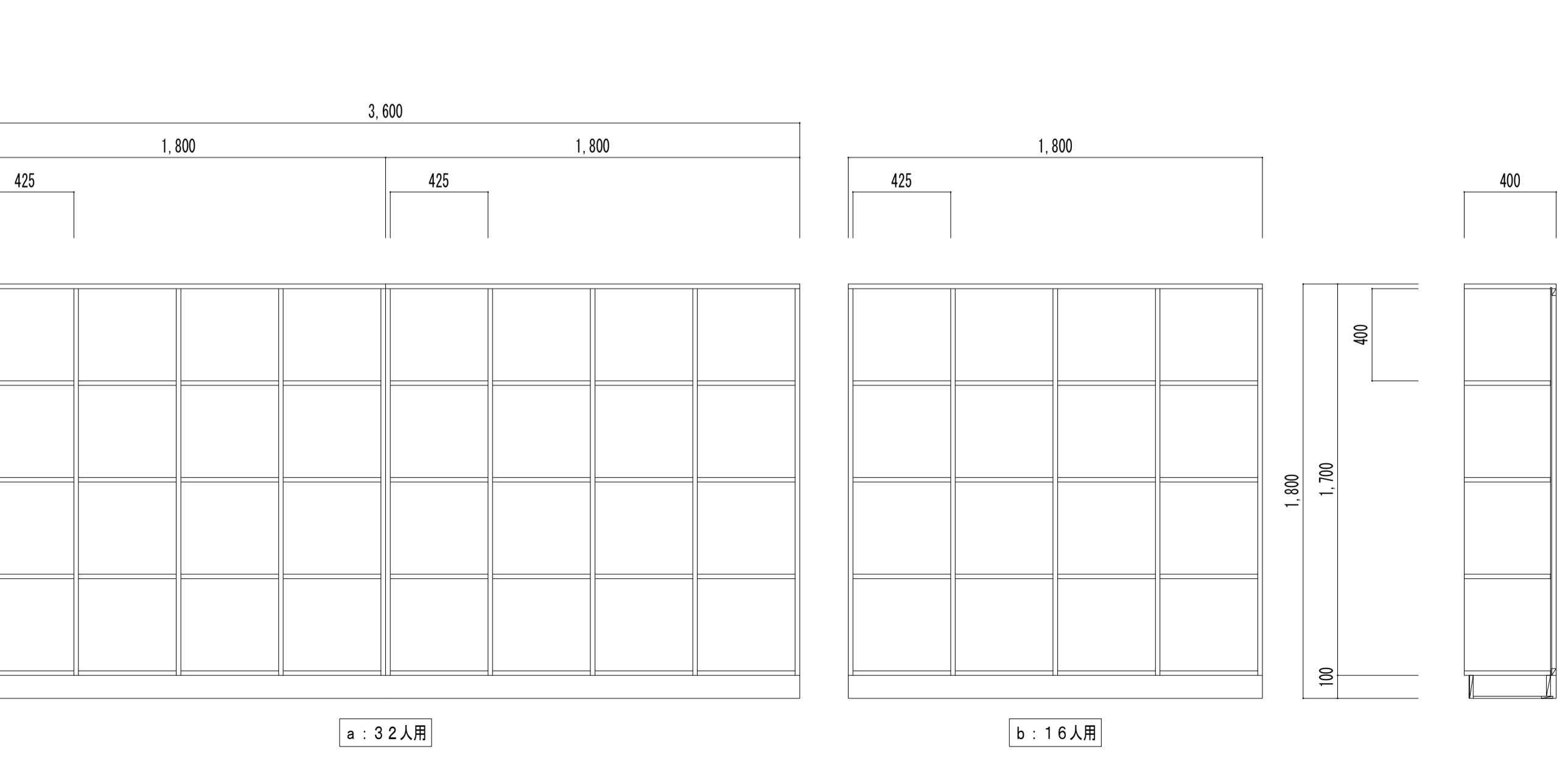
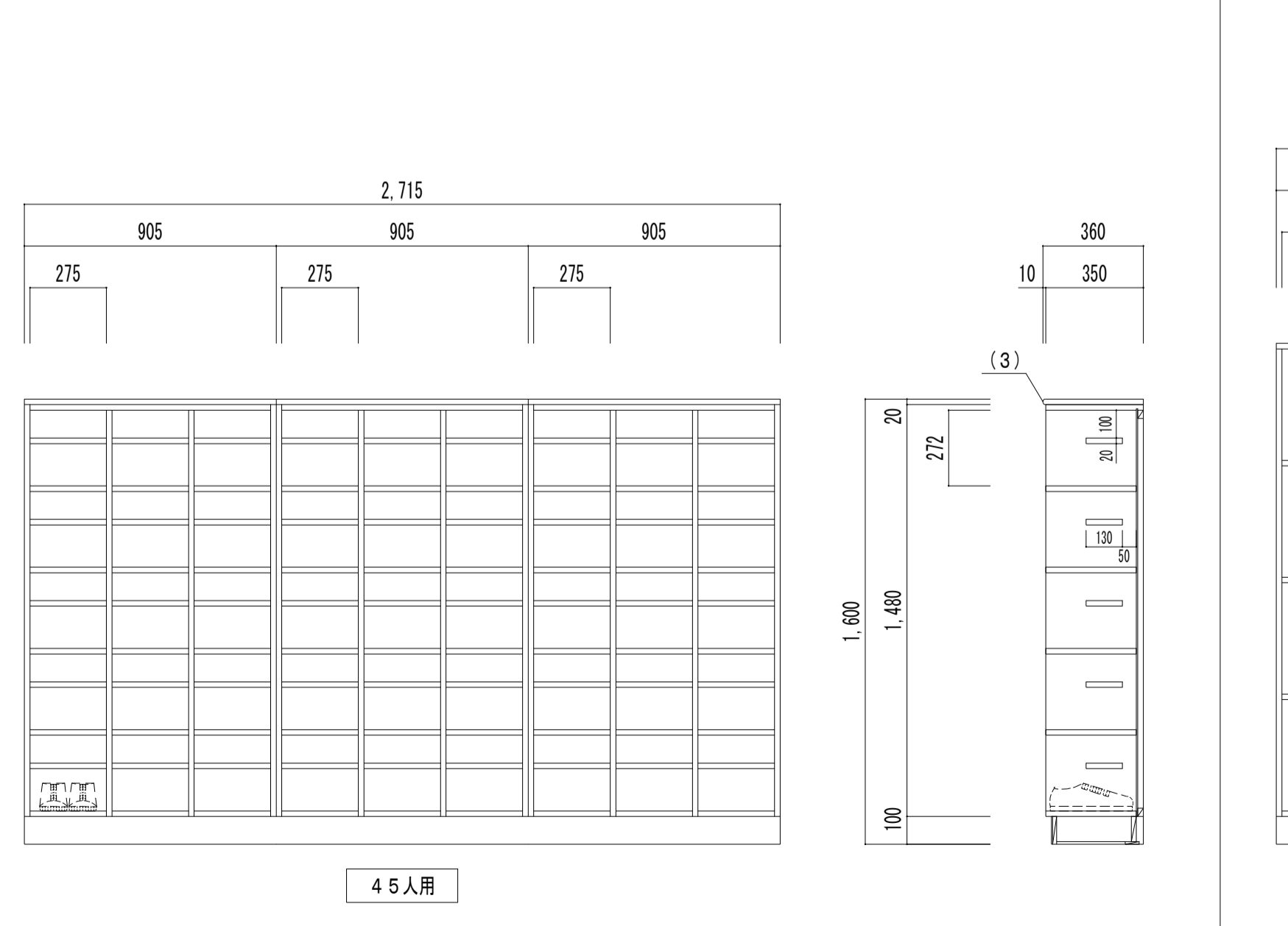
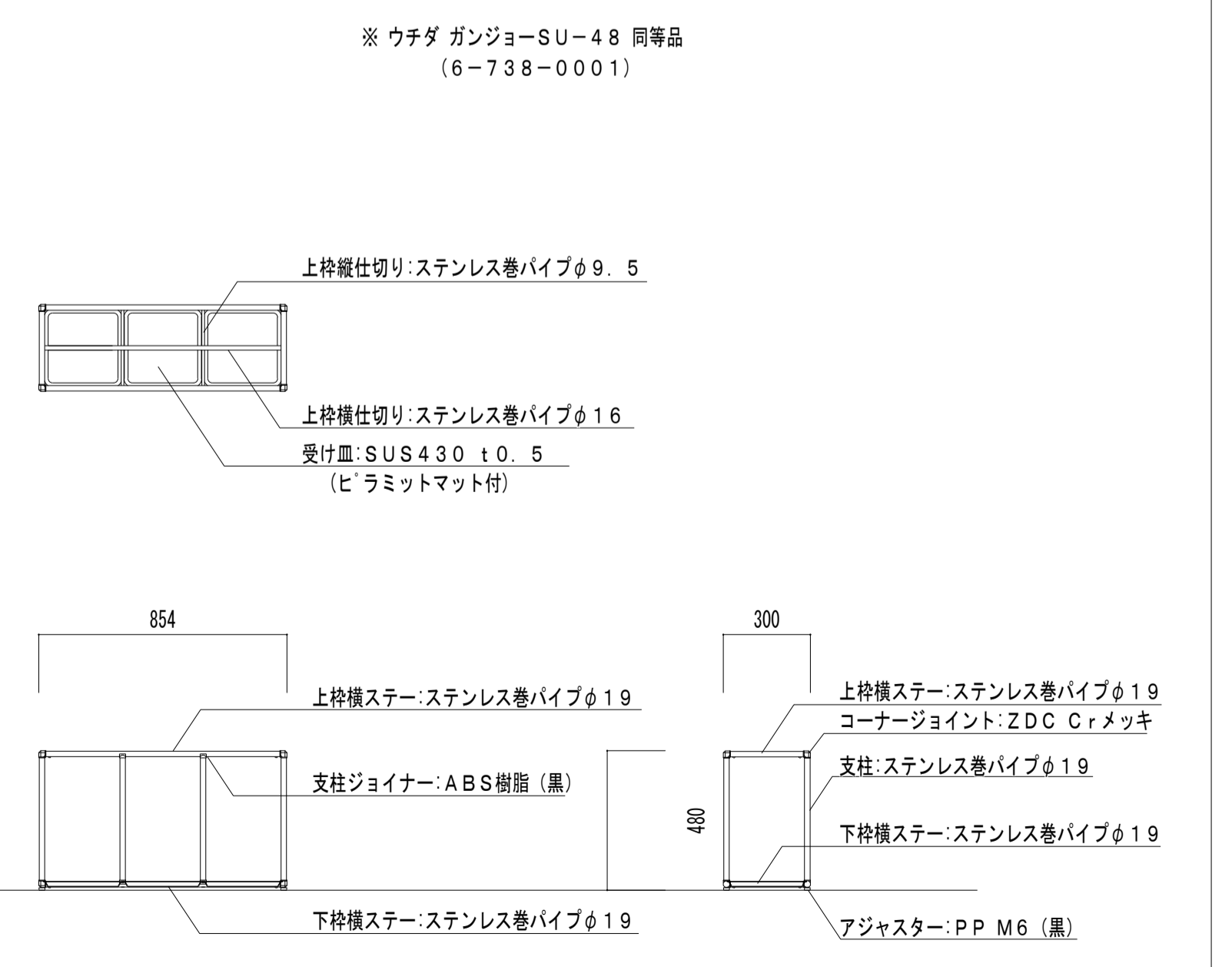
承認設計担当
縮尺 A1:1/100 A3:1/200
設計年月日 2023.3.15
工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
図面名称 新設 建具表 No. A-40

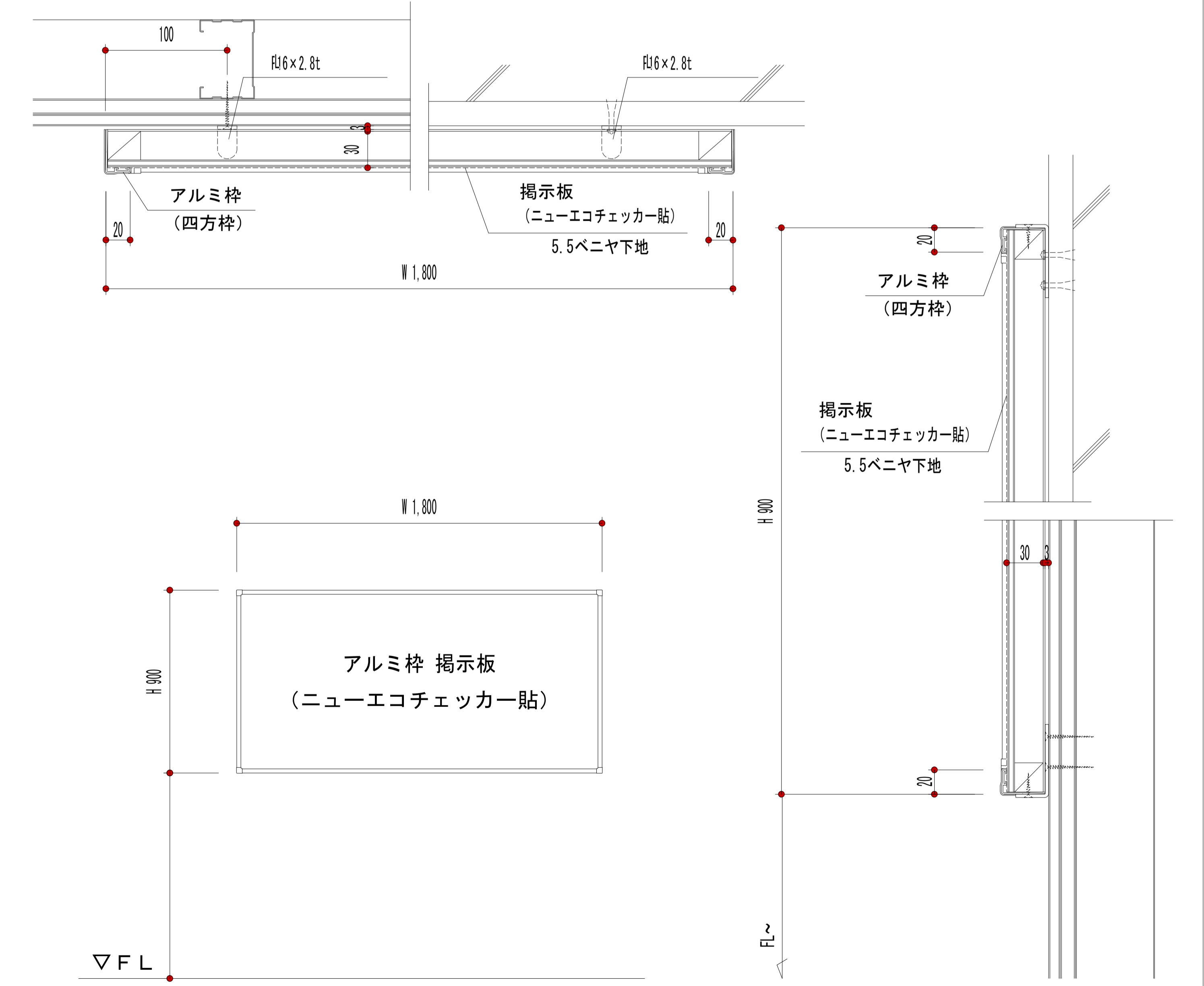
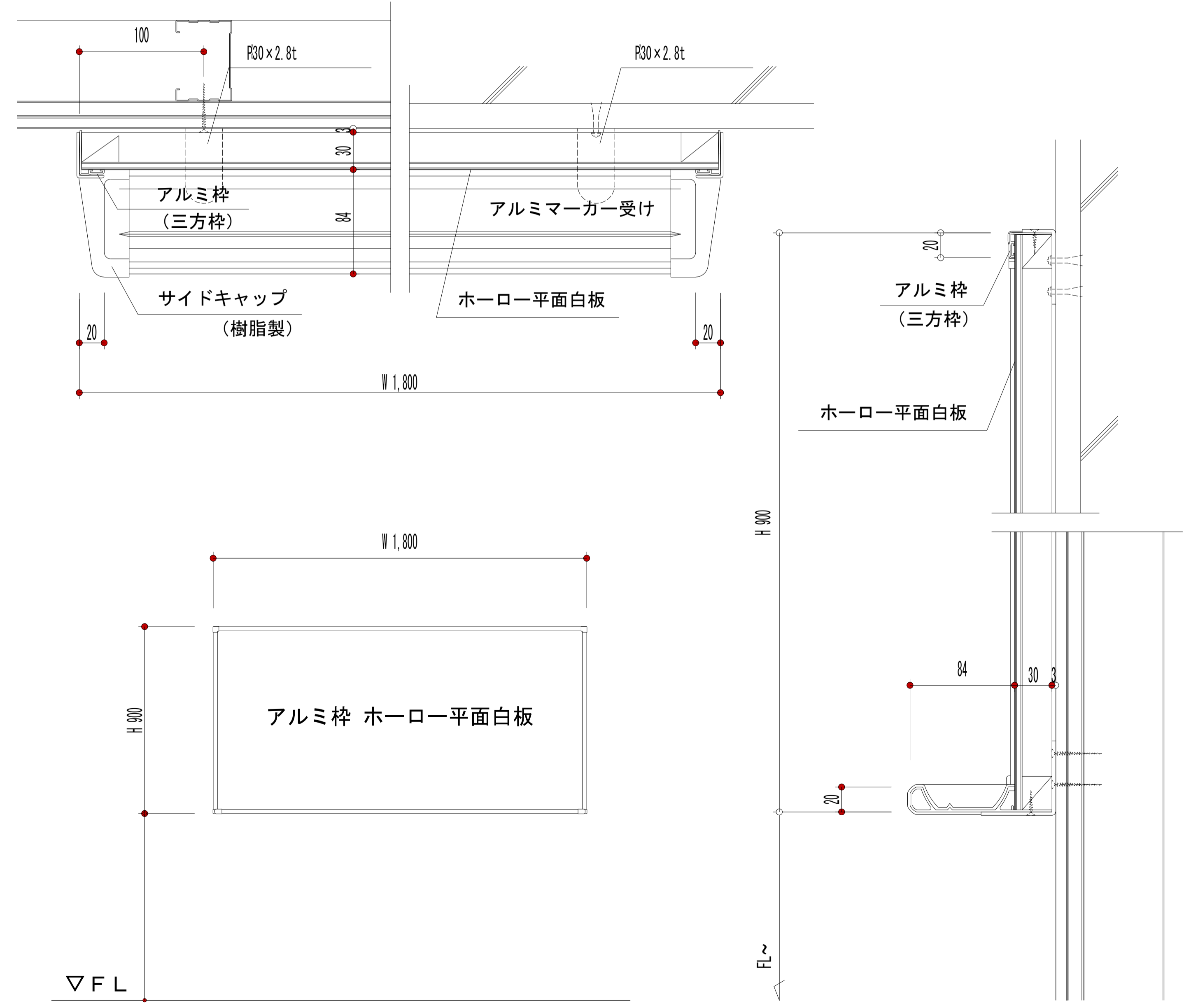
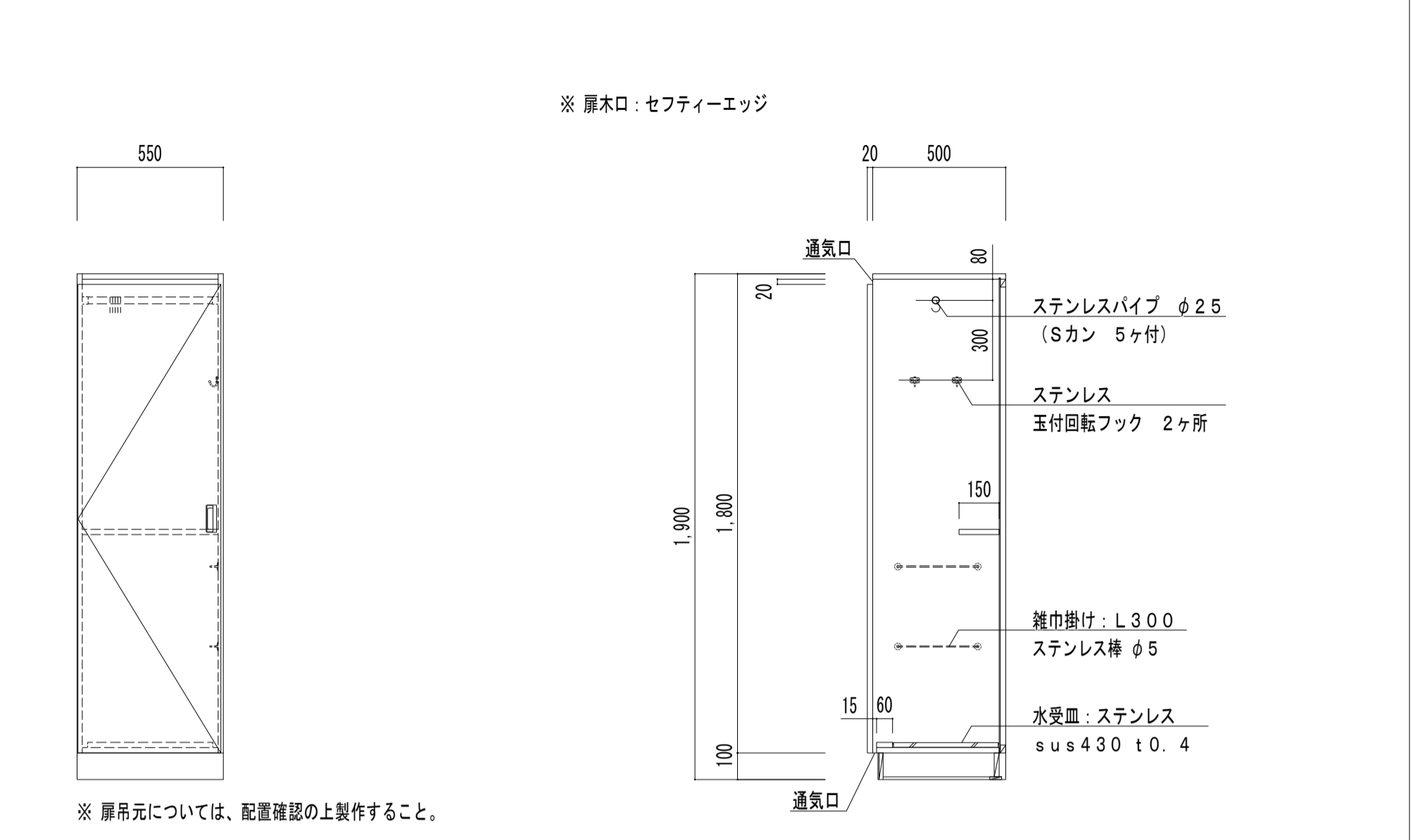
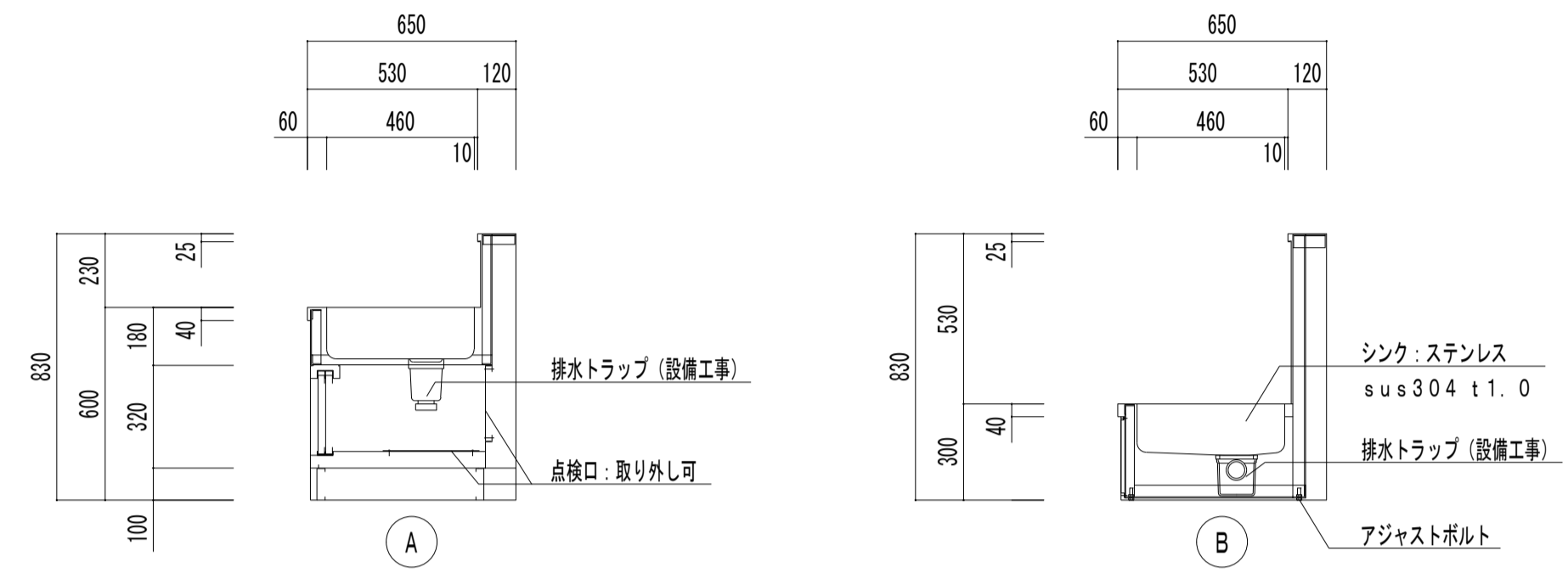
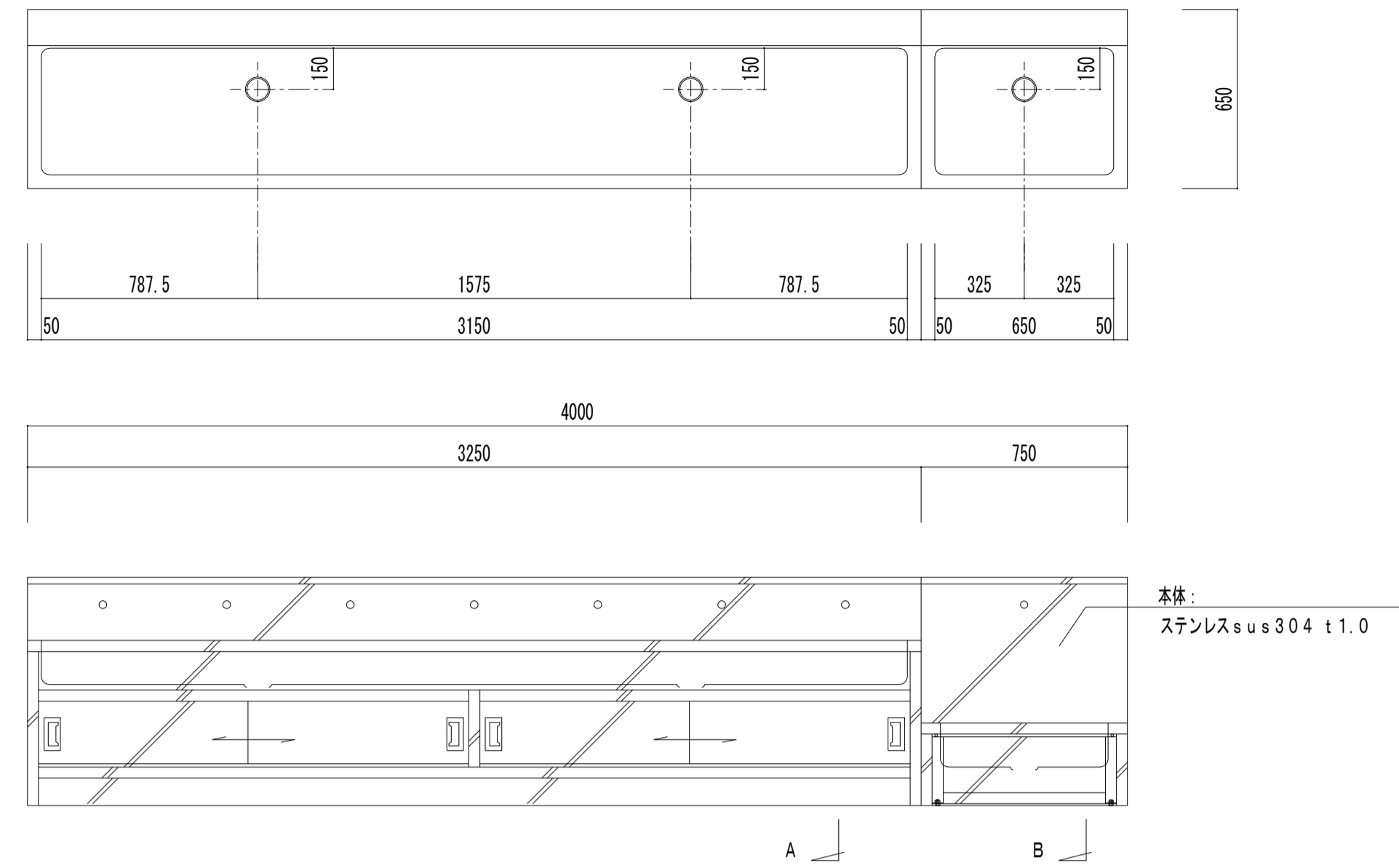
家具共通仕様 「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

- 1 本体・棚板 室内VOC（ホルムアルデヒド等）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した両面メラミン化粧パーティクルボード（ユニボードビュアHi）厚さ20mm、F☆☆☆☆を使用する。上記材料は、JIS-A5908適合、18タイプ（曲げ強さ18N/平方ミリメートル以上）とし、JISマーク認定の国内工場での生産品、且つグリーン購入法適合品とする。基材は、埼玉県産材を含む国産材混合（配合率20%）とし、合法性木材認定事業者取り扱い品を使用する。
- 2 木口処理 躯体からの水分浸入を防ぐために、本体は背面も含めてフラットエッジ（ABS製樹脂をホットメルト縁付）加工とする。開き扉はセフティエッジ（ABS製 厚さ3mm ホットメルト縁付）加工とする。
- 3 表面処理 本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制するために鉛筆硬度 9H 以上の表面材を使用する。本体色については色見本帳（45色以上）を提出の上決定する。
- 4 裏板 ポリエステル化粧合板 F☆☆☆☆ 厚さ4mmを使用し、片面フラッシュ（450mm ピッチ以内に格子状樹脂構造）とする。
- 5 本体組立て 組立ては、製作工場での木製ダボ組接合とし、接合部のノックダウン金物は使用不可とする。
- 6 巾木・台輪 ポリエステル化粧合板仕上げ F☆☆☆☆（塗装不要）とする。
- 7 建具 扉戸・戸枠は、くるといよほり抜け防止のため、かまち組み等は不可とし1枚物とする。引違戸の輪居側には耐震外れ止めスライドガイド、敷居側には上下調整戸車を使用する。戸枠付きガラス戸は、安全性のため透明強化の刻印入り 厚さ4mmを使用しメンテナンスが容易な樹脂成型（ABS製）の押縁で固定する。
- 8 把手・蝶番 樹脂成型品（ABS製）の把手・引手を使用する。蝶番は、メンテナンスが容易なキャッチ機構付110°開きゼンシスヒンジ（ソフトクローズ機構付）を使用する。〔掃除用具入れの吊元側板への蝶番固定は、5点吊中3ヶ所のみ貫通ボルト止めとする。〕
- 9 輪居・敷居 メンテナンス性が容易な樹脂成型レール（ABS製）を埋め込んだ輪居と面付けの敷居（ABS製）とする。
- 10 棚板受け 安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ φ8-M6を使用する。棚板は外れ止めシャクリ加工を施す。
- 11 特記事項 環境配慮及び品質確保のため、取り扱いにはISO 14001、製作はISO 9001 取得企業とする。製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料及ば接着剤の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。室内空気清浄保持のために、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のVOC測定データを提出する。
- 12 施工 家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。



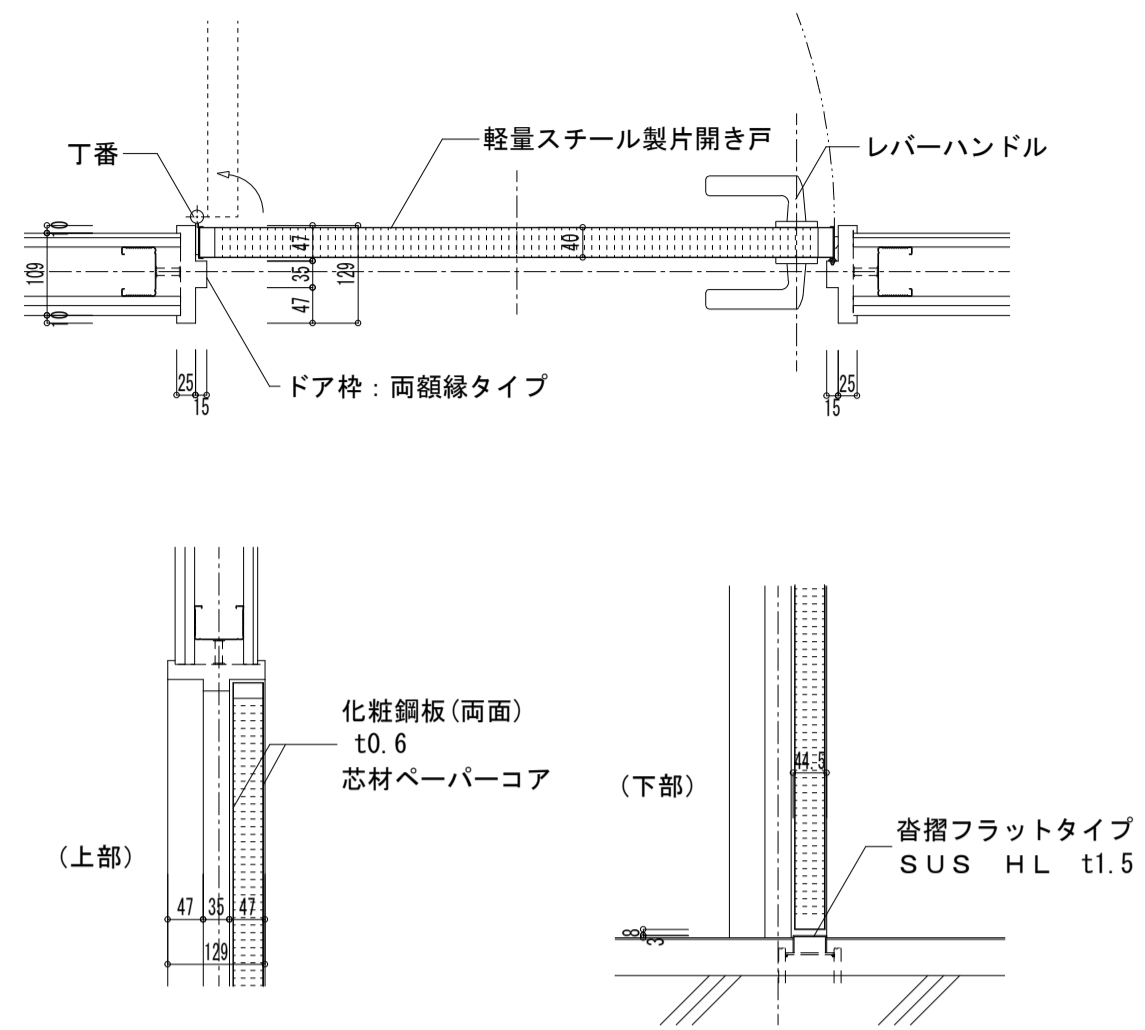
F-02	かさ立て	1階 体育館 玄関/1ヶ所	S=1/20	F-68	下足入	体育館 玄関/1ヶ所	S=1/20	F-69	更衣ロッカー	体育館 更衣室/a:6ヶ所 b:2ヶ所	S=1/20
------	------	---------------	--------	------	-----	------------	--------	------	--------	---------------------	--------





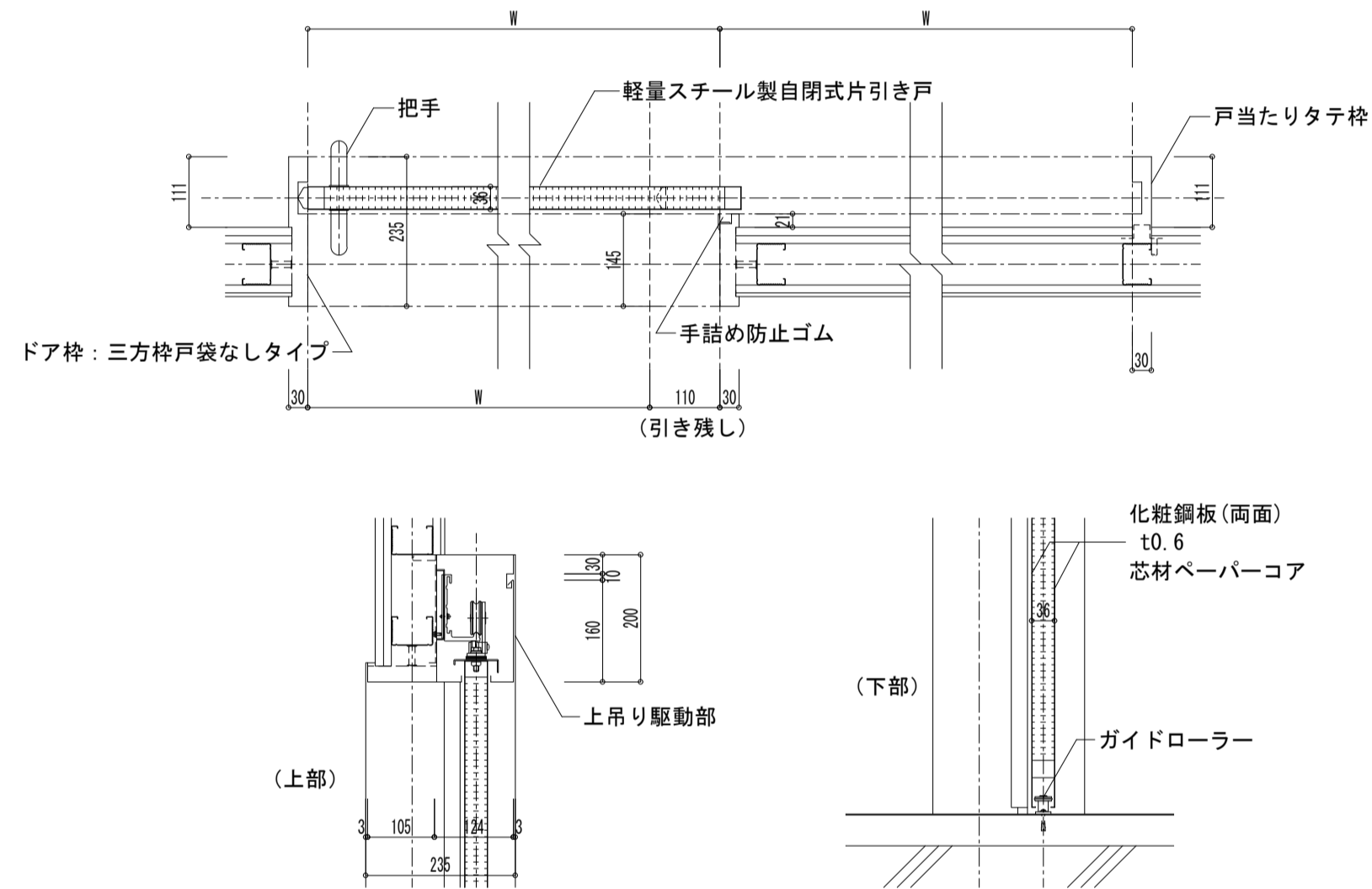
軽量スチール製片開き戸廻り詳細図

S=1/10



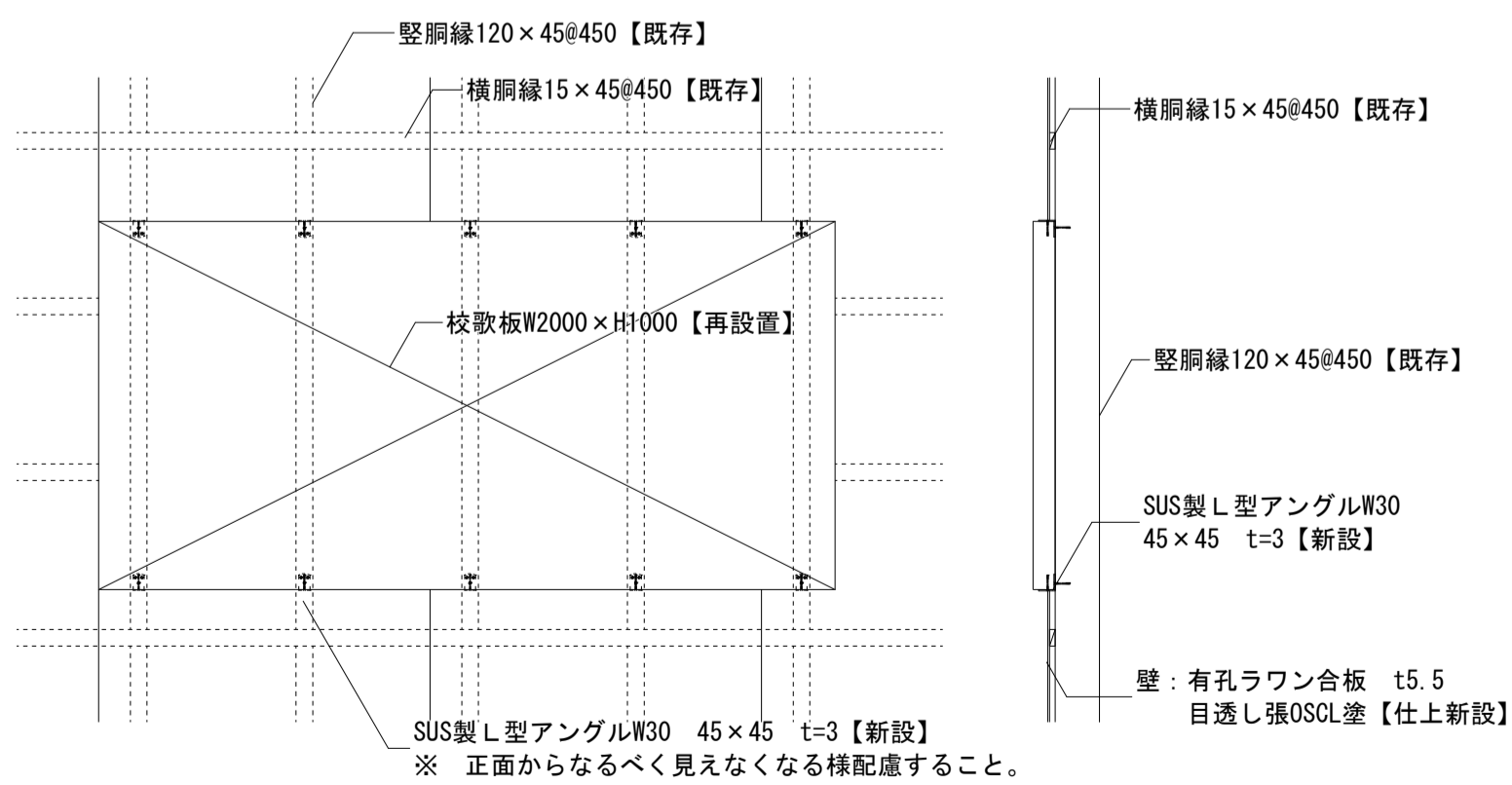
軽量スチール製自閉式片引き戸廻り詳細図

S=1/10



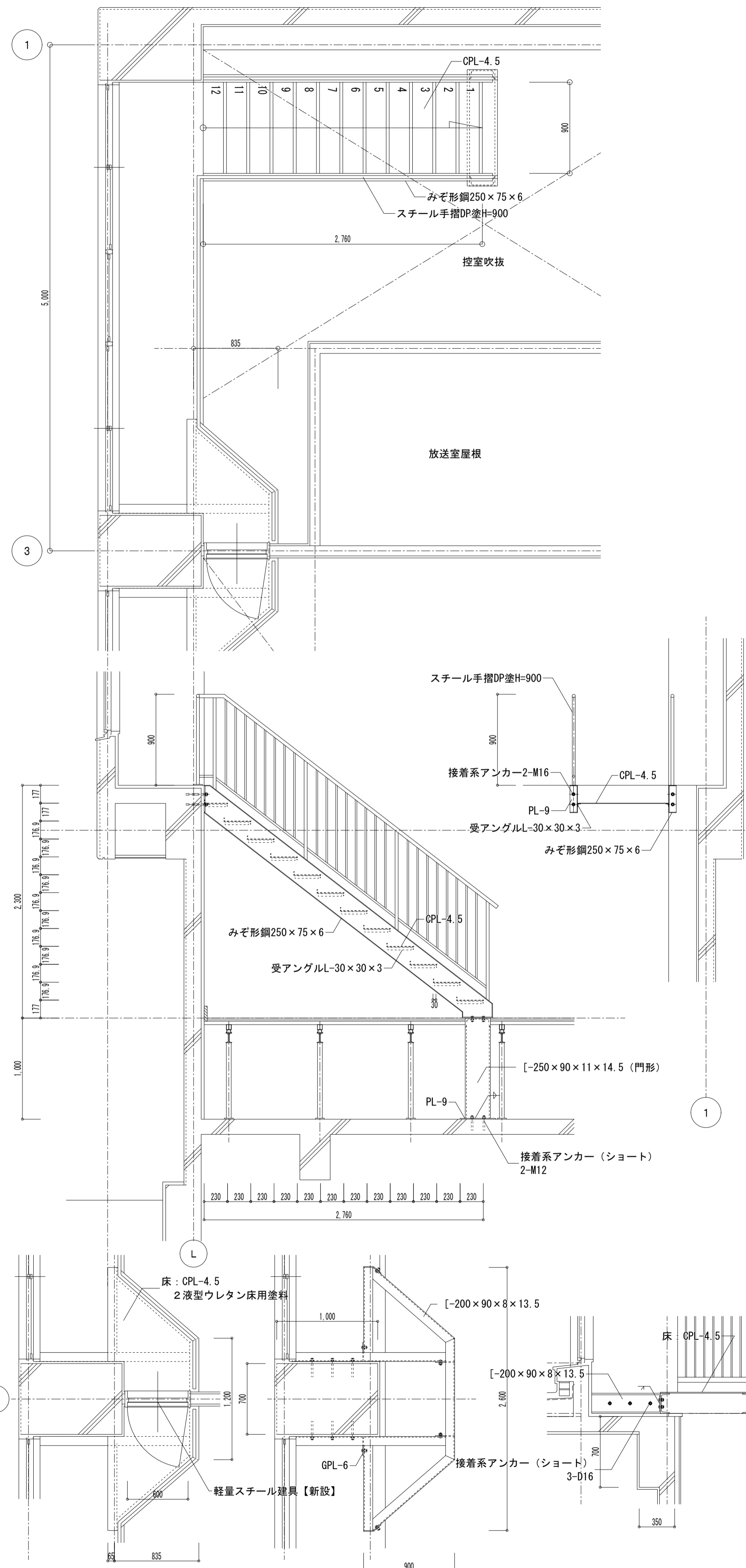
卒業記念等取付図

S=1/30



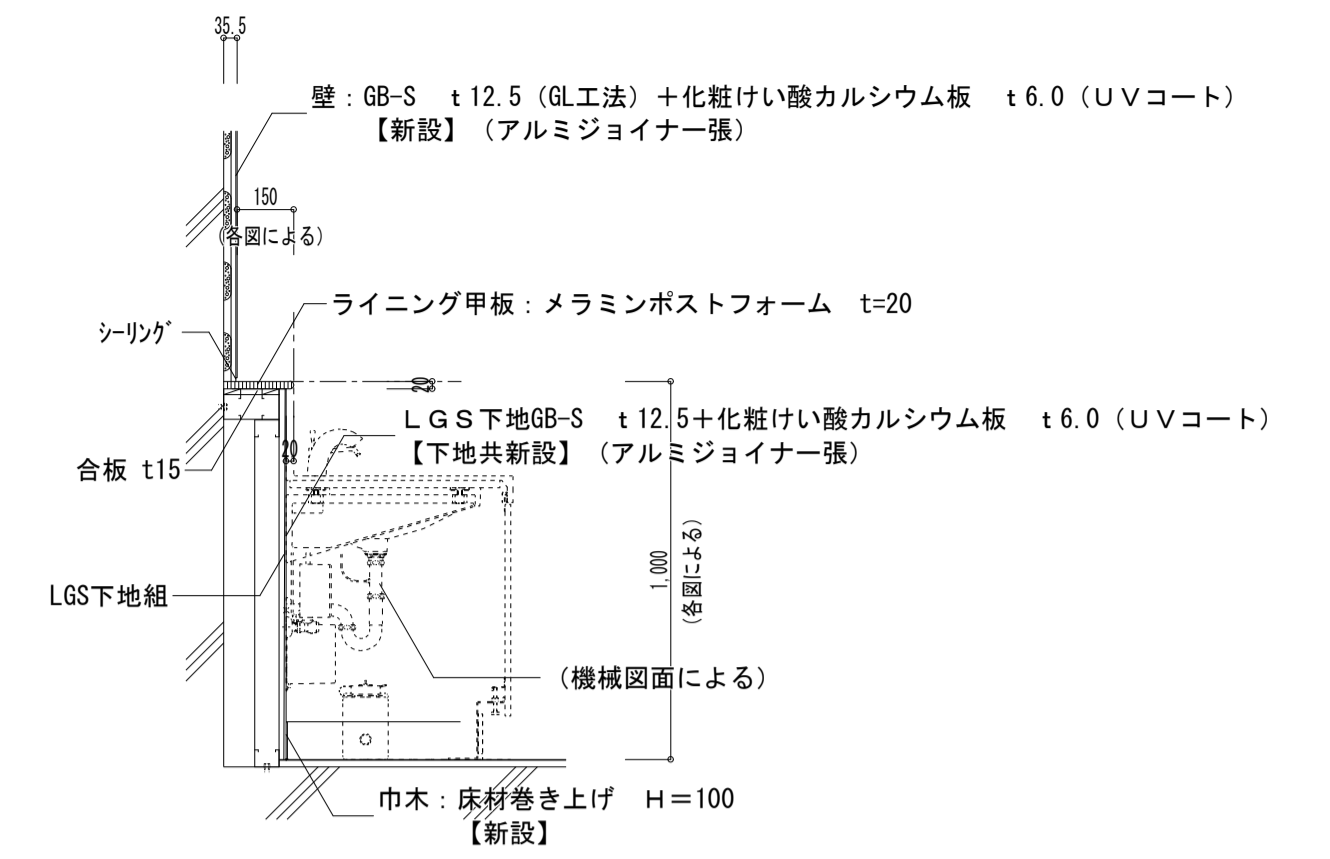
新規鉄骨階段詳細図

S=1/30



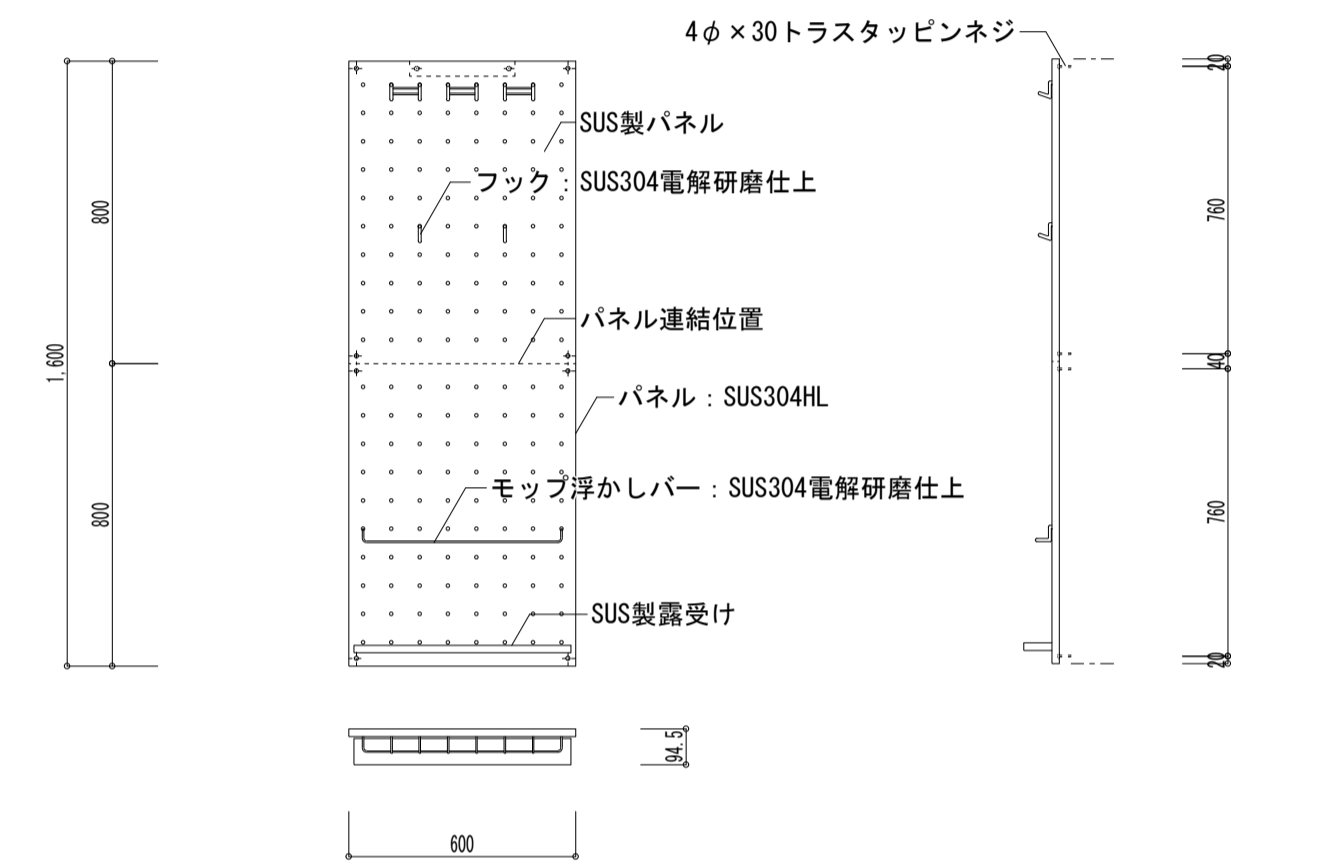
ライニング詳細図

S=1/20



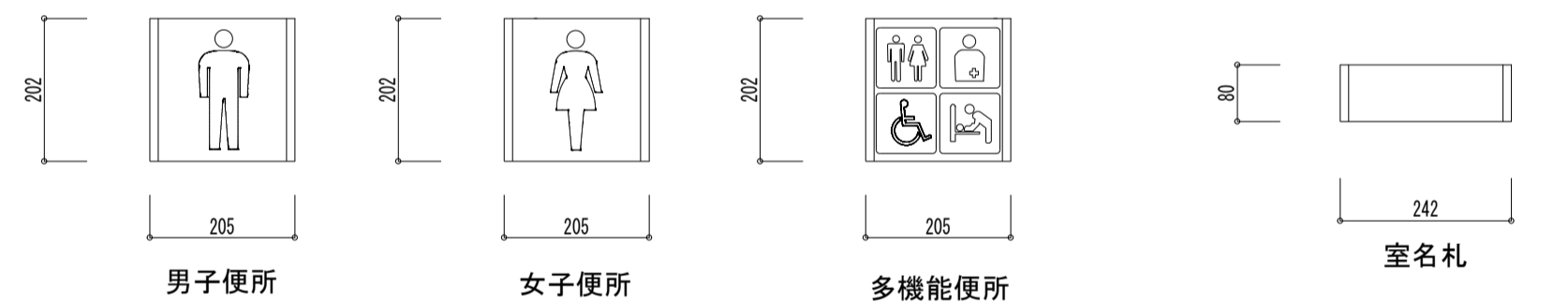
モップ掛けパネル詳細図

S=1/20



ピクトサイン・室名札詳細図

S=1/10

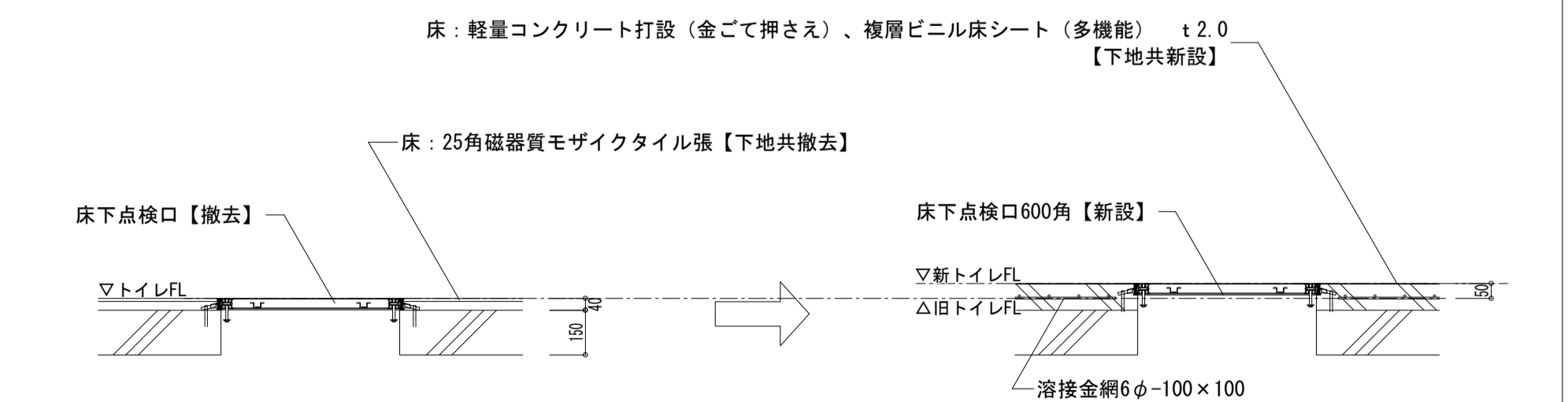


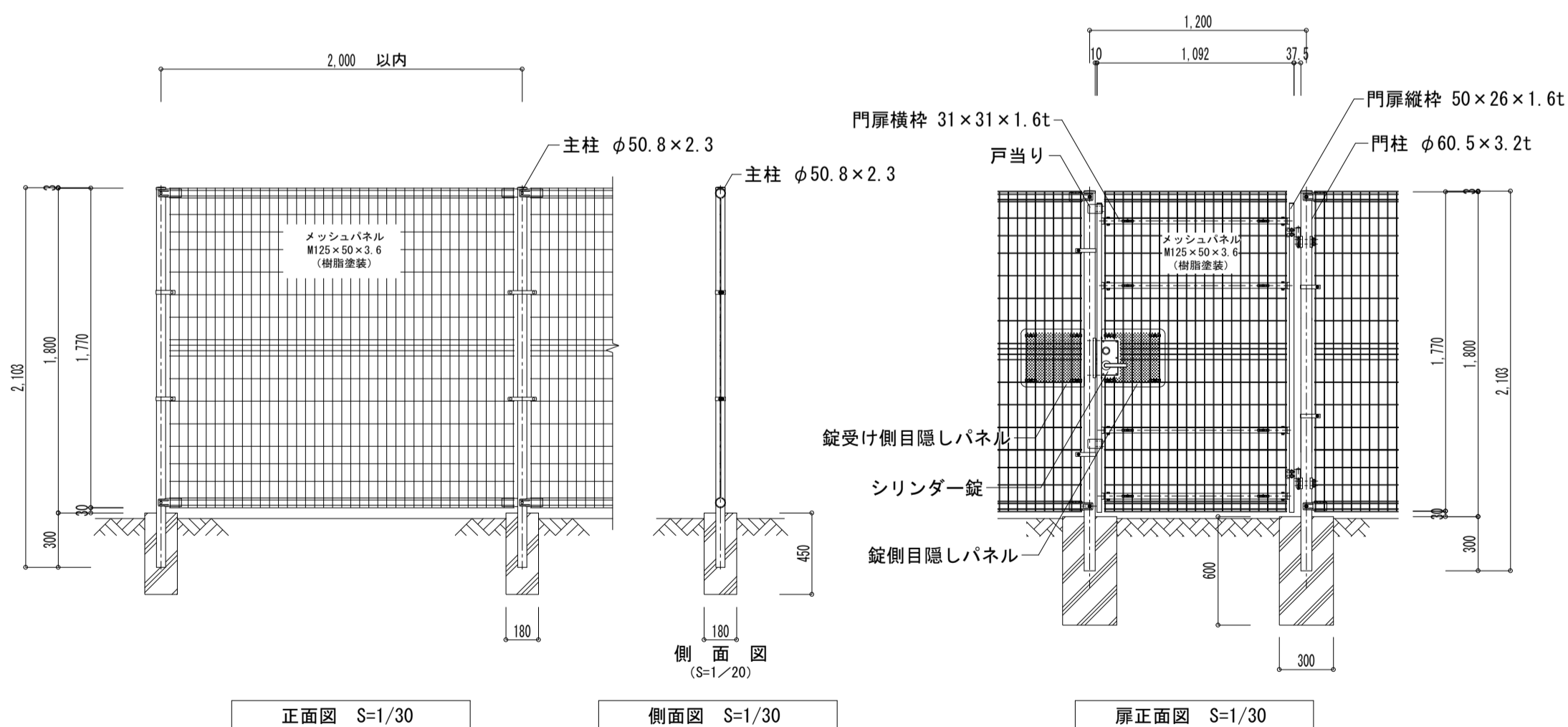
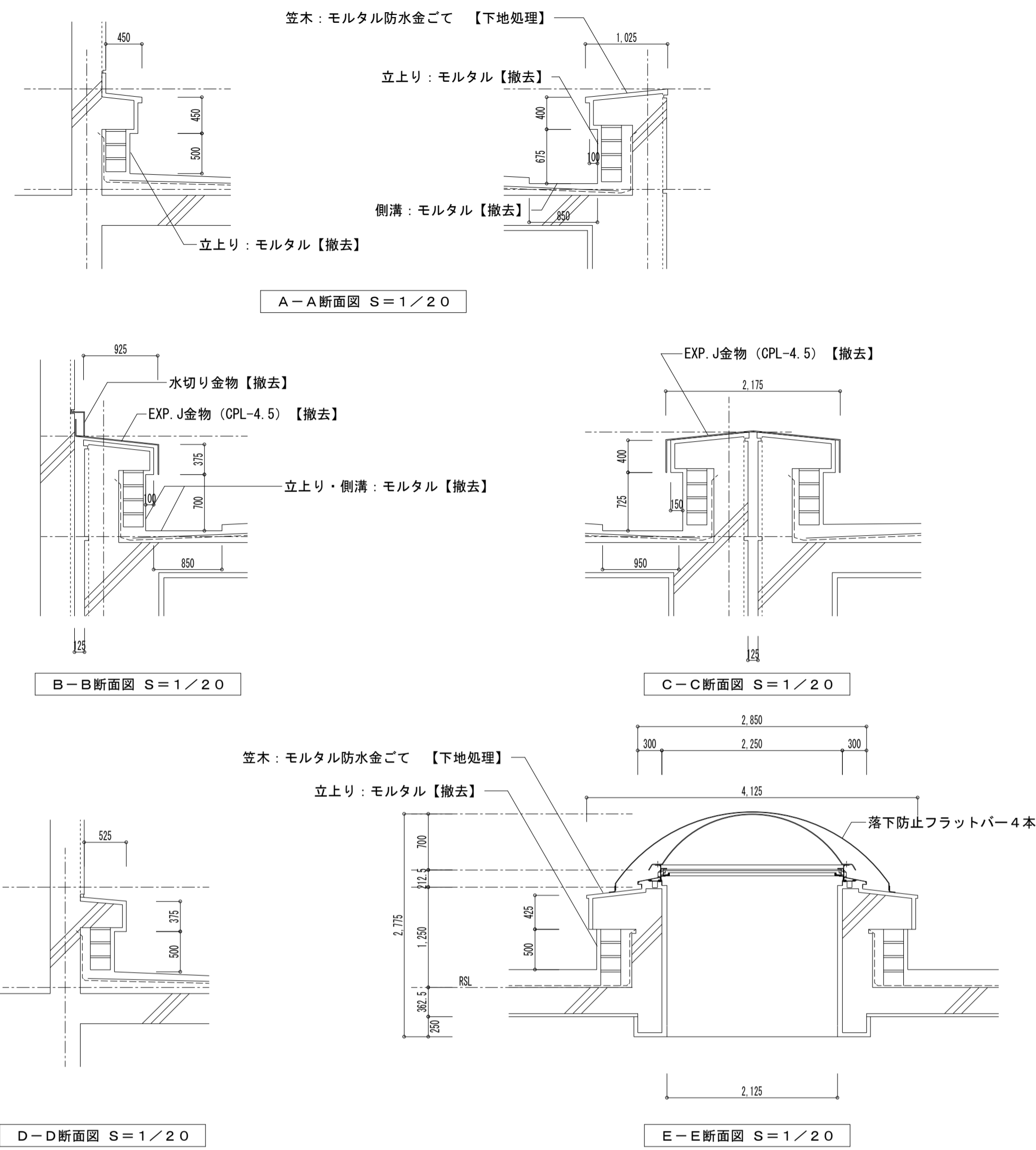
※ 仕様：アクリル板 白 t=5.0mm UV印刷 平付
 フラケット SUS304ヘアライン仕上
 トイレ出入口横に設けること。
 高さ及び詳細位置については監督員に承認を得ること。

※ 仕様：アクリル板 白 t=5.0mm UV印刷 平付
 フラケット SUS304ヘアライン仕上
 室名及び取付位置等については監督員に承認を得ること。

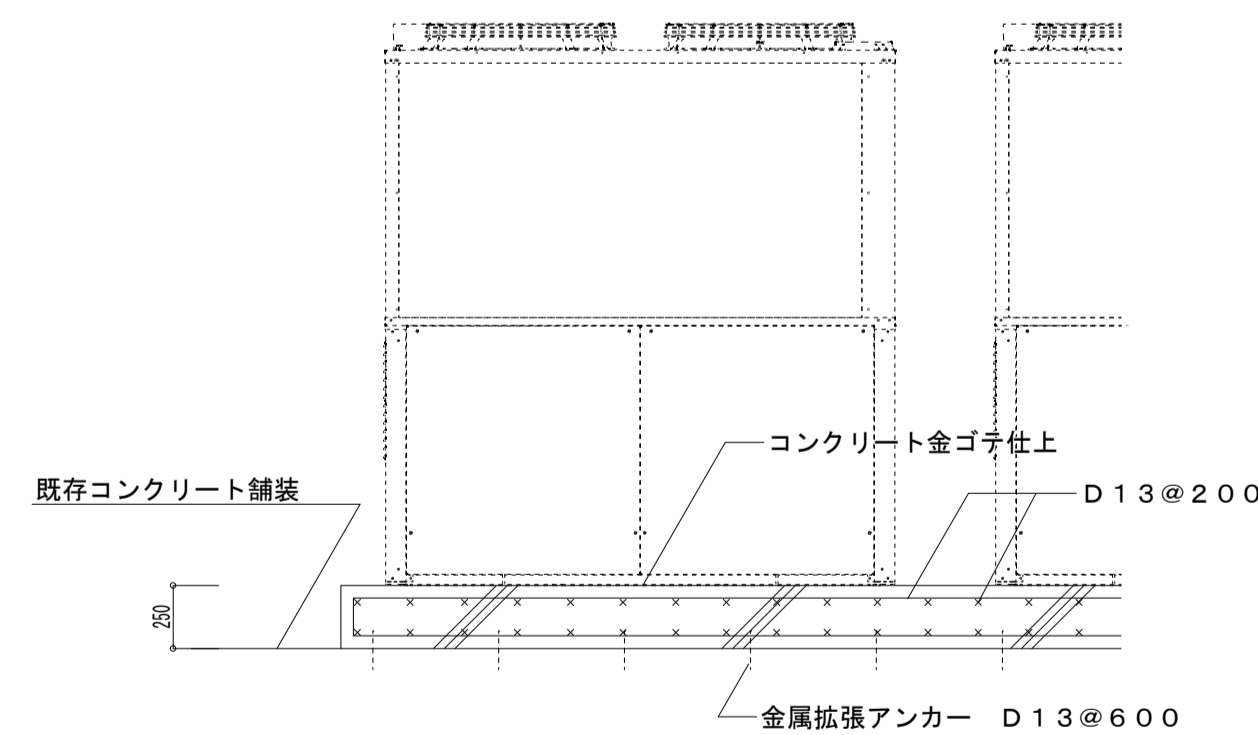
床下点検口詳細図

S=1/20



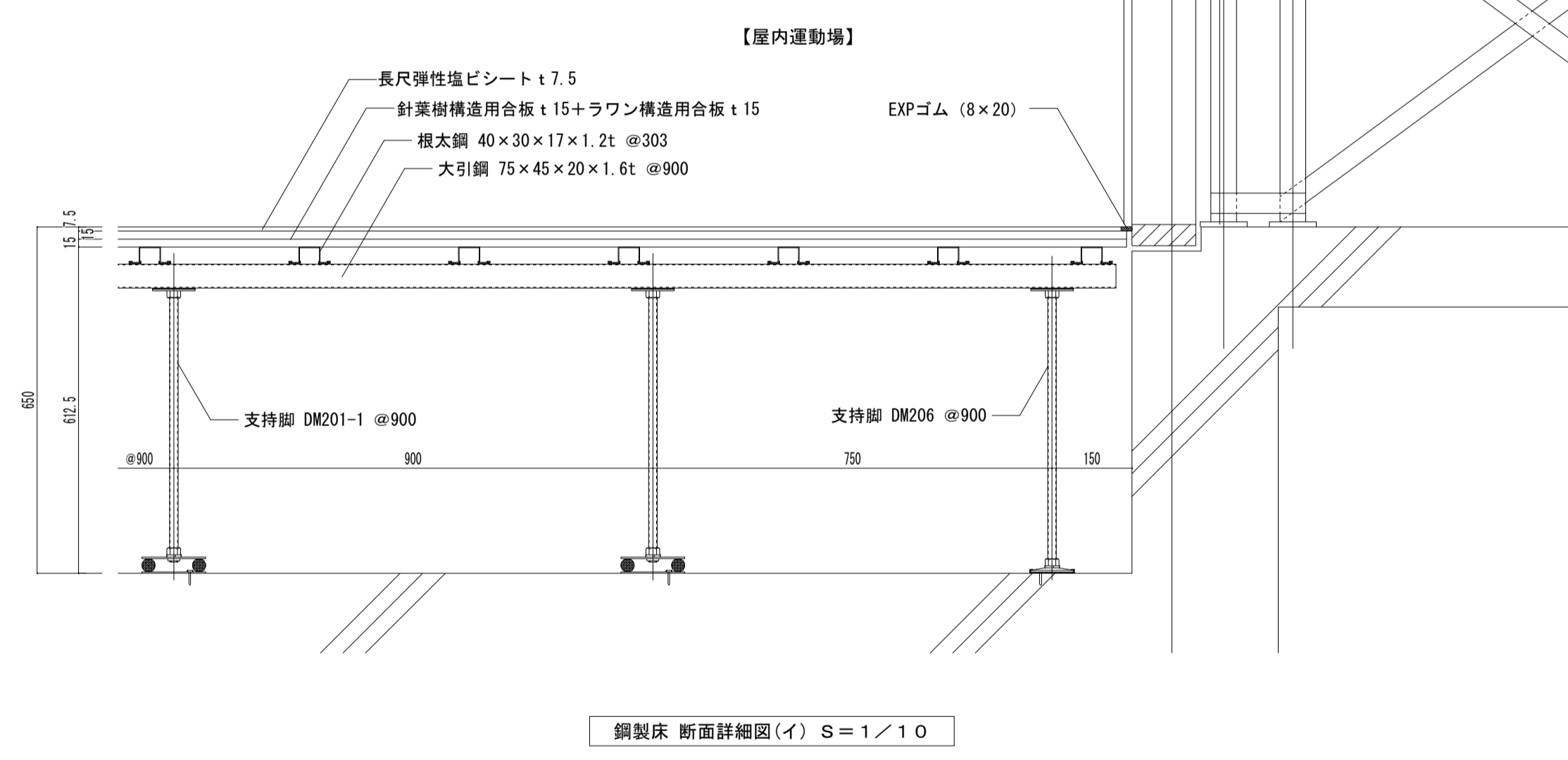
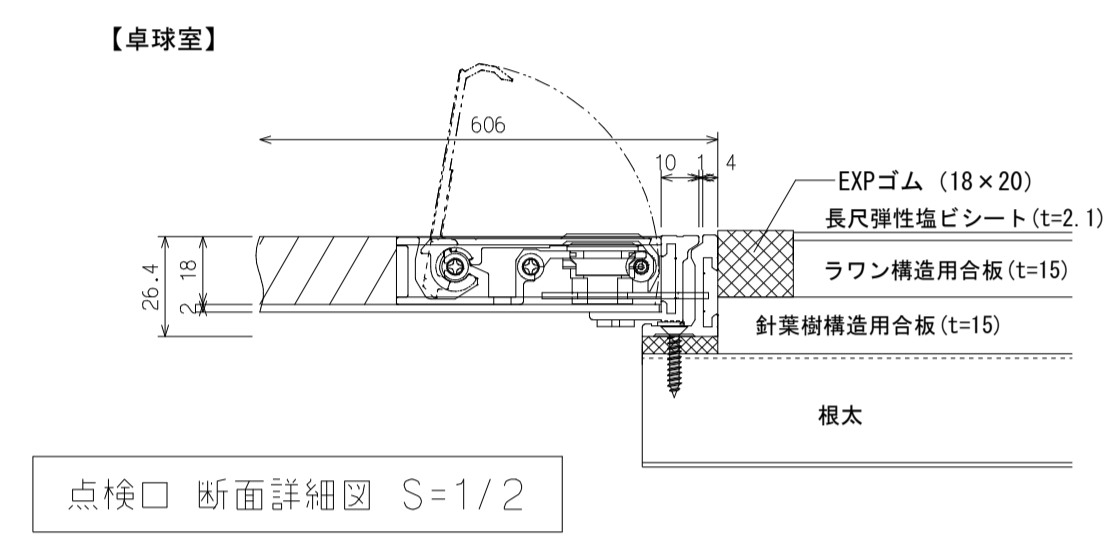
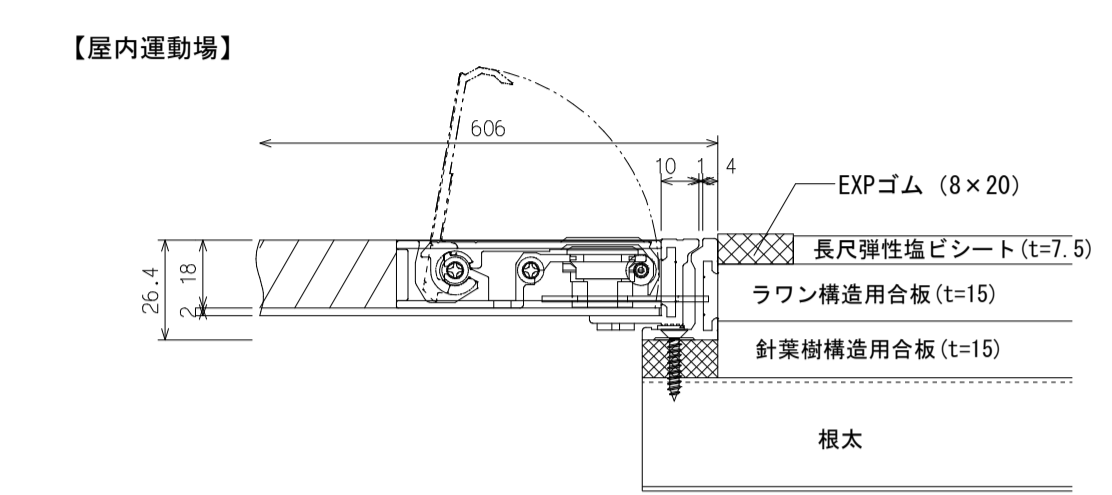
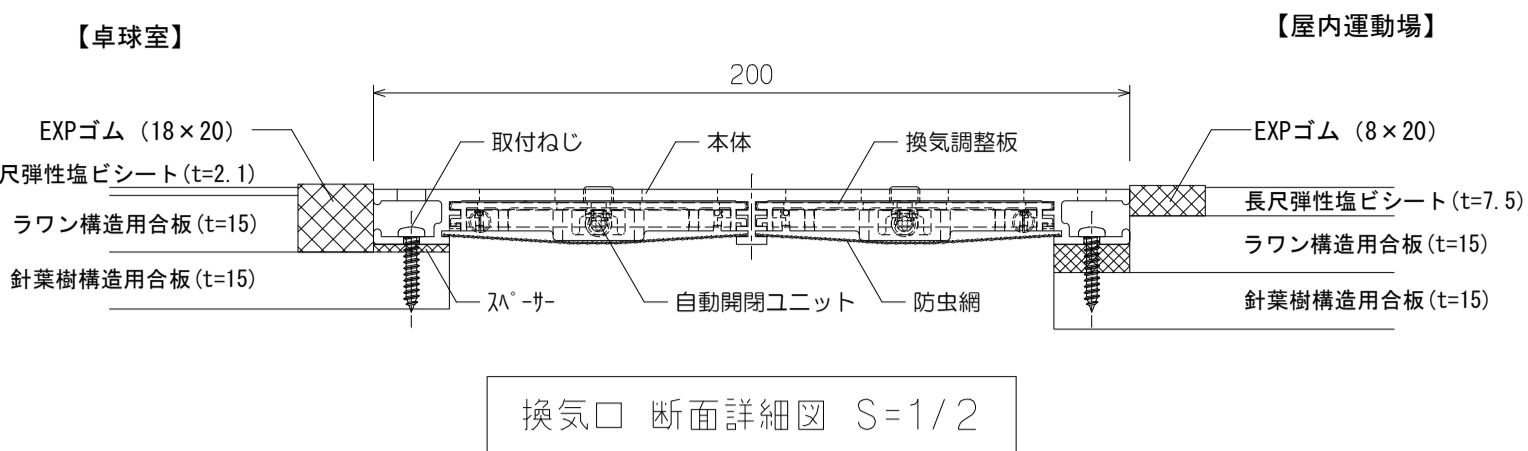
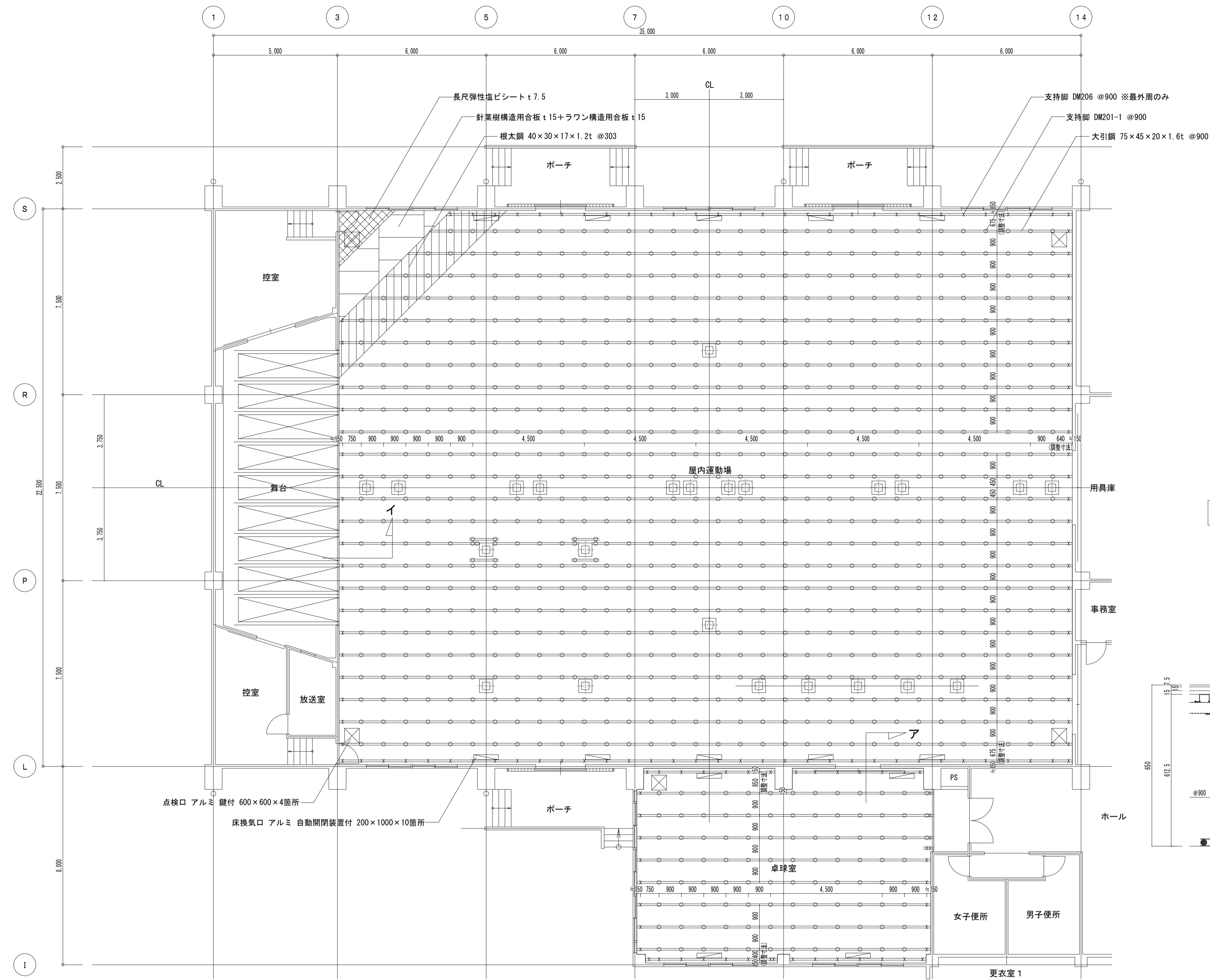


番号	品名	規格寸法	材質	表面処理
1	主柱	φ50.8×2.3	STK400	亜鉛めっき (Z27) + ポリエステル樹脂静電粉末塗装
2	メッシュパネル	芯線φ3.6	SWHG-2	2種亜鉛めっき + ポリエステル樹脂静電粉末塗装
3	柱継手	t=1.6	SGHC	亜鉛めっき (Z27) + ポリエステル樹脂静電粉末塗装
4	柱バンド	t=2.0	SGHC	亜鉛めっき (Z27) + ポリエステル樹脂静電粉末塗装



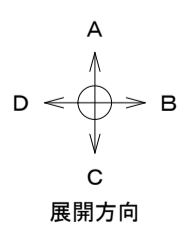
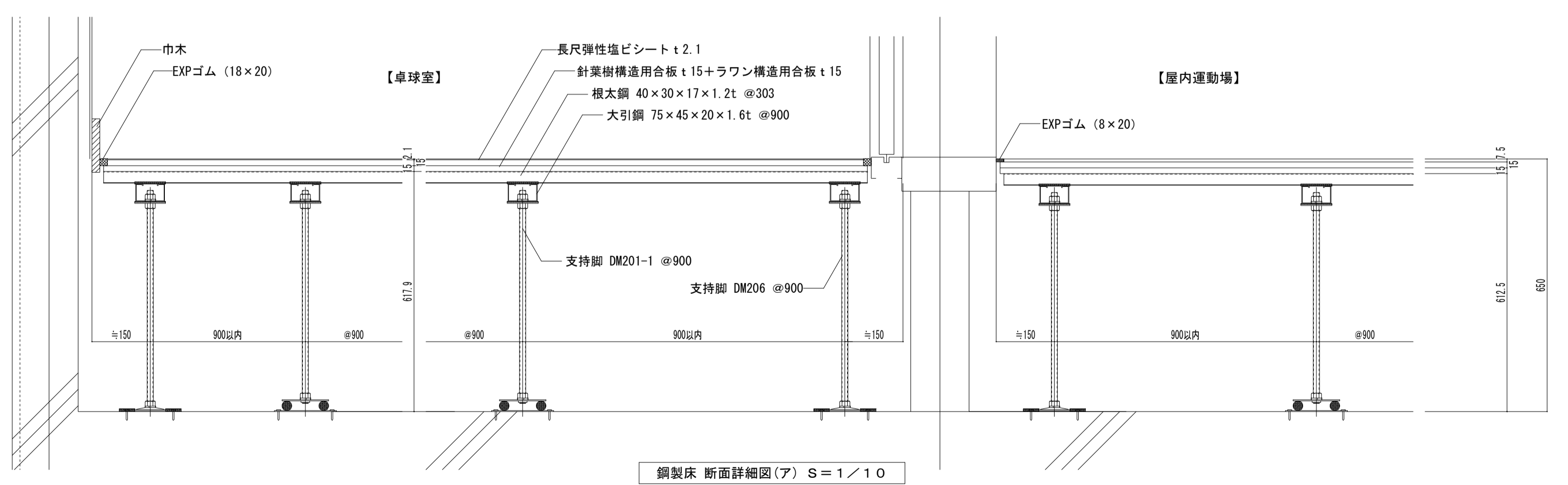
鉄筋 SD295A
FC 24-S18
(捨コン FC 18-18)
再生砕石40-0

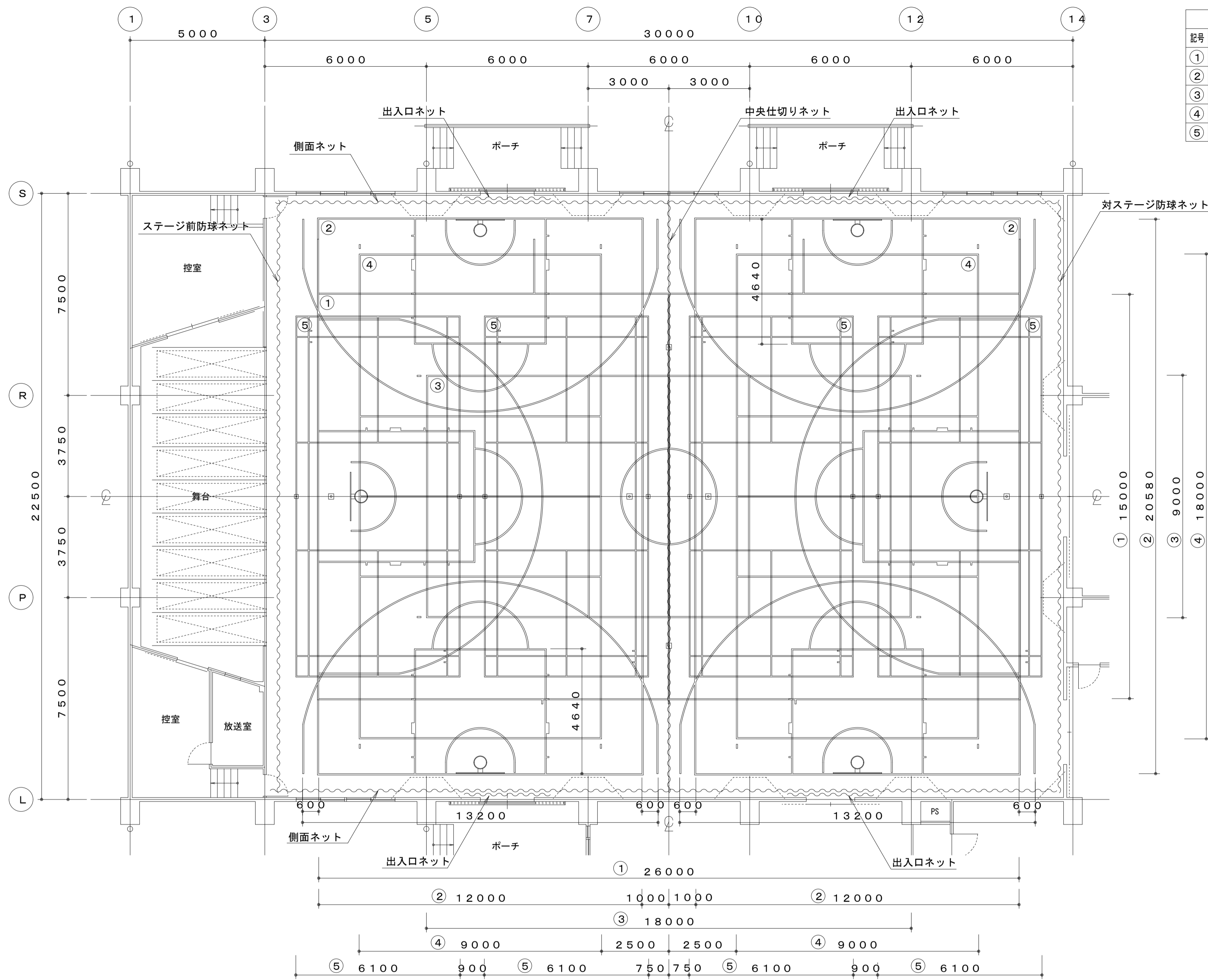
改修後



鋼製床 平面割付図 S=1/100

仕様表	屋内運動場	卓球室
室名	屋内運動場	卓球室
仕上げ	長尺弾性塩ビシート t 7.5	長尺弾性塩ビシート t 2.1
捨張	ラワン構造用合板 t 15 針葉樹構造用合板 t 15	ラワン構造用合板 t 15 針葉樹構造用合板 t 15
根太鋼	┌ — 40×30×17×1.2 t @303	┌ — 40×30×17×1.2 t @303
大引鋼	□ — 75×45×20×1.6 t @900	□ — 75×45×20×1.6 t @900
支持脚	○ — DM201-1 @900 H=650 ピン固定 X — DM206 @900 H=650 ピン固定	○ — DM201-1 @900 H=650 ピン固定 X — DM206 @900 H=650 ピン固定
点検口	アルミ 鍵付 600×600×4箇所	アルミ 鍵付 600×600×1箇所
換気口	アルミ 自動開閉装置付 200×1000×10箇所	アルミ 自動開閉装置付 200×1000×4箇所
EXPゴム	8×20 (黒色)	18×20 (黒色)

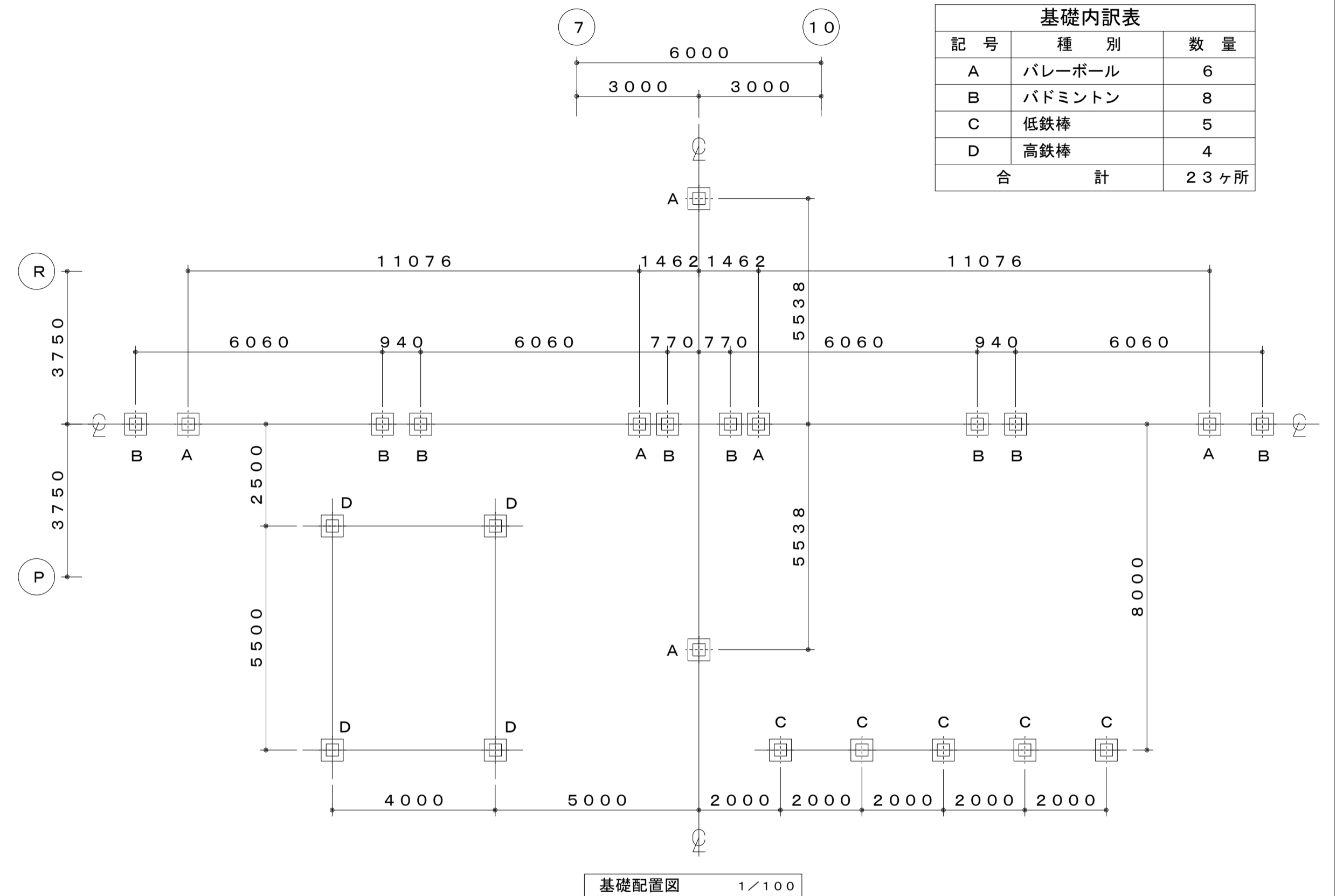




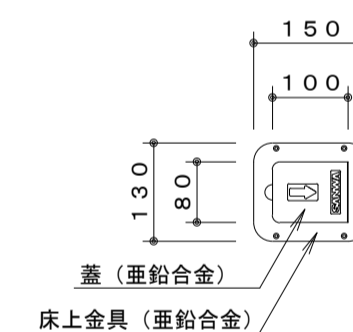
コートライン図 1/100

記号	種別	寸法	数量	線幅	色	優先順位	備考
①	メイン一般バスケットボール	26000×15000	1面	50mm			
②	サブ一般バスケットボール	20580×12000	2面	50mm			スリーポイントラインをサイドラインから出す
③	バレーボール一般6人制	18000×9000	1面	50mm			
④	サブバレーボール一般6人制	18000×9000	2面	50mm			
⑤	バドミントン	13400×6100	4面	40mm			新設ライン

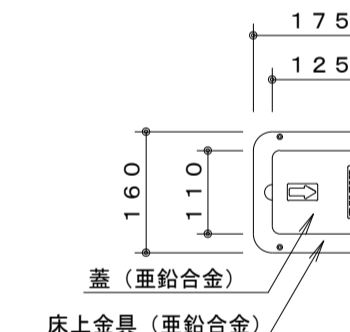
記号	種別	数量
A	バレーボール	6
B	バドミントン	8
C	低鉄棒	5
D	高鉄棒	4
合	計	23ヶ所



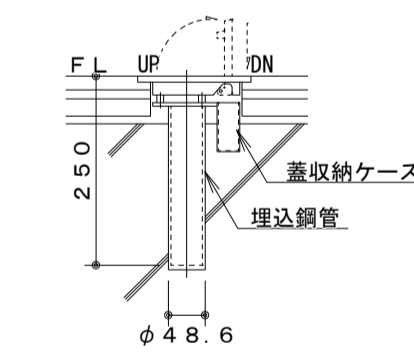
基礎配置図 1/100



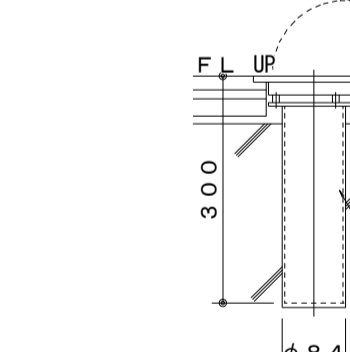
バドミントン用床金具 (4組) 1/10
<S-TB-1002>



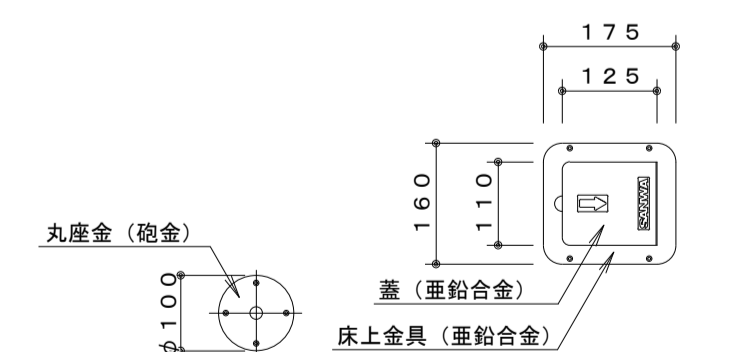
バレーボール用床金具 (3組) 1/10
<S-TC-1002>



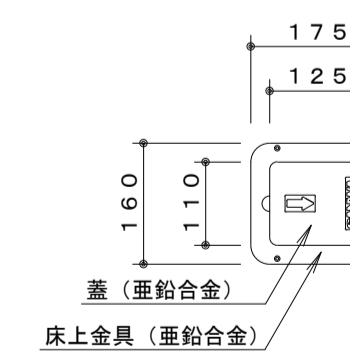
バドミントン支柱 (4組) S=1/40
<S-TB-1101>



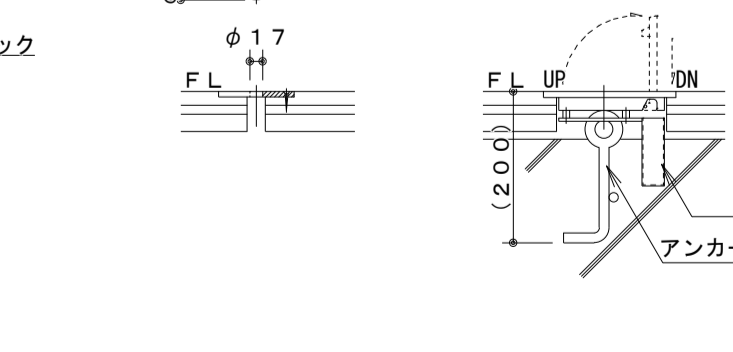
バドミントンネット (4組) S=1/40
<S-TB-1201>



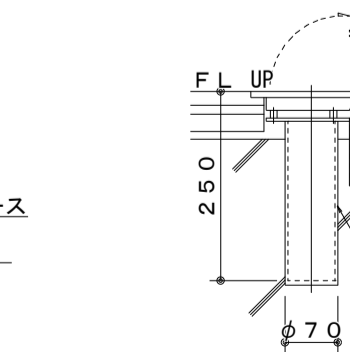
バレー支柱(カーボン製) (3組) S=1/40
<S-TC-1104>



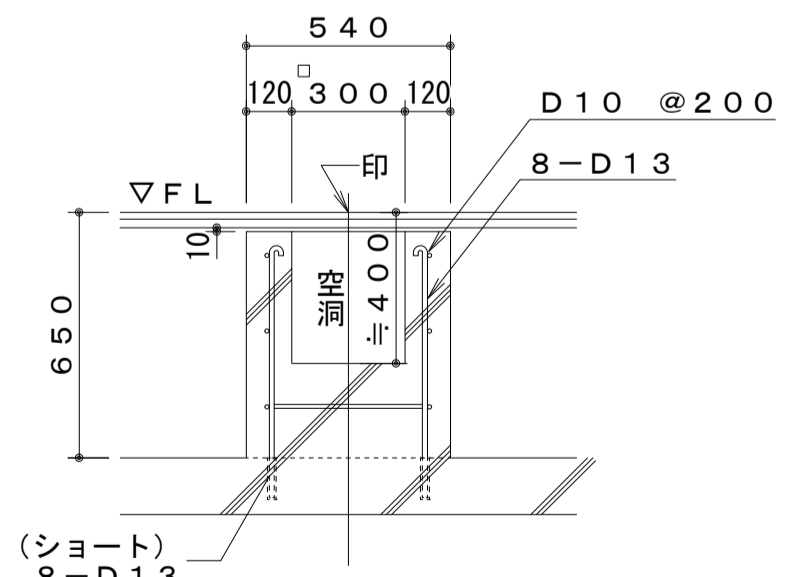
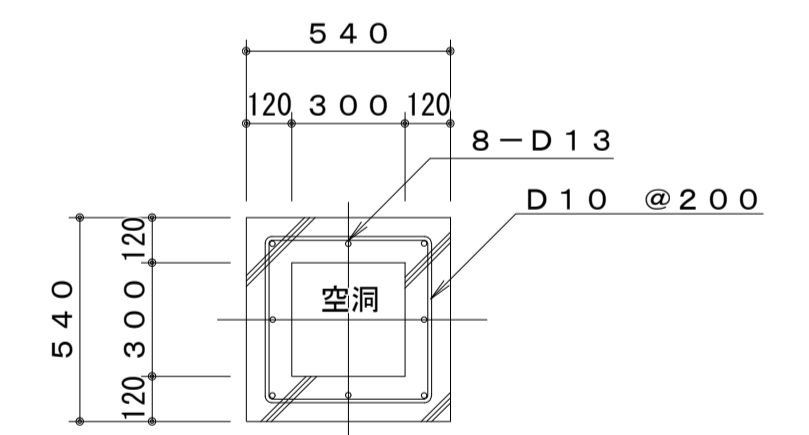
バレーネット (3組) S=1/40
<S-TC-1300>



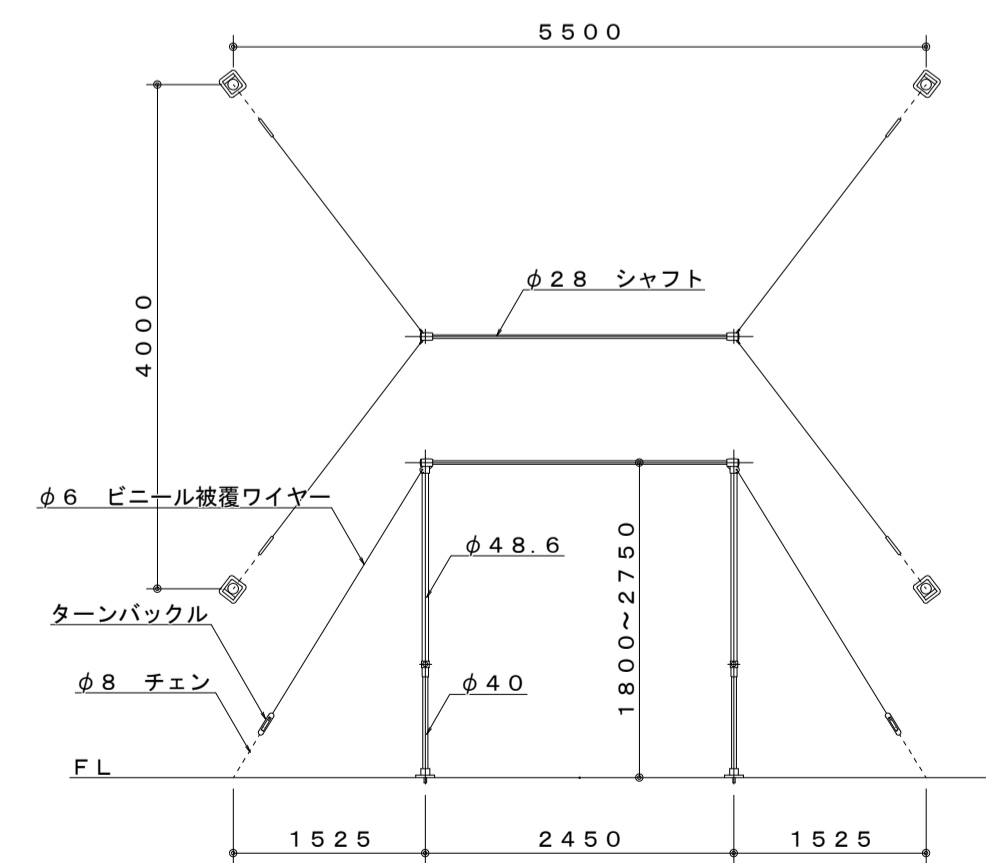
高鉄棒用床金具 (1ヶ所) 1/10
<S-TE-1002>



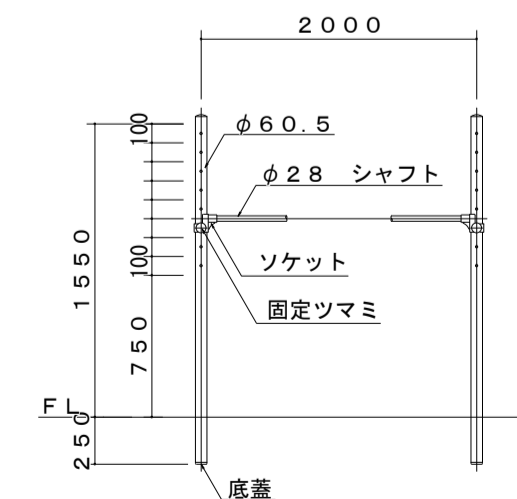
低鉄棒用床金具 (5ヶ所) 1/10
<S-TE-2002>



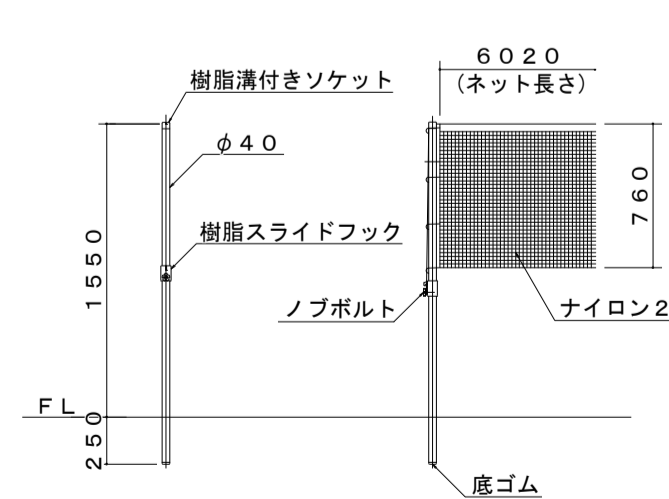
基礎詳細 1/20



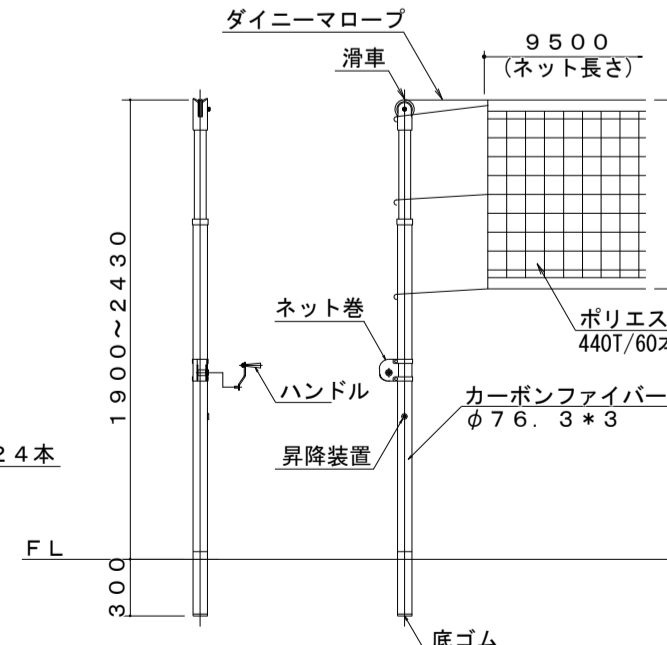
屋内用高鉄棒 (1基) S=1/60
<S-TE-1101>



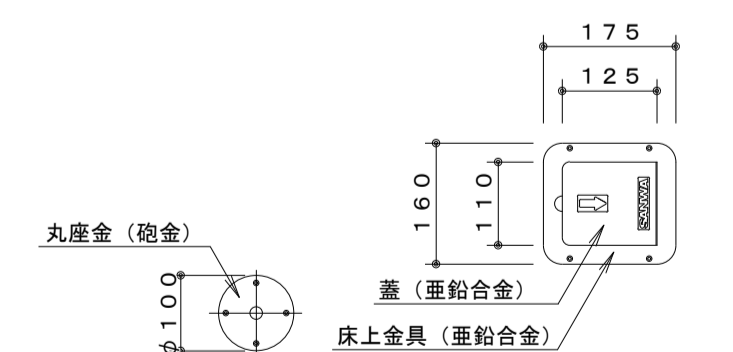
屋内用調節式低鉄棒 (4機分) S=1/40
<S-TE-2101-2>



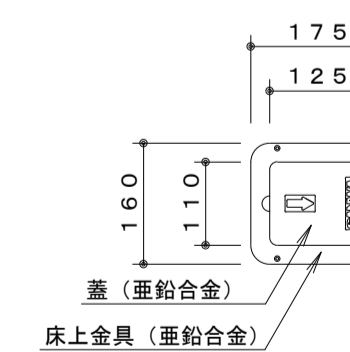
バドミントン支柱 (4組) S=1/40
<S-TB-1101>



バドミントンネット (4組) S=1/40
<S-TB-1201>

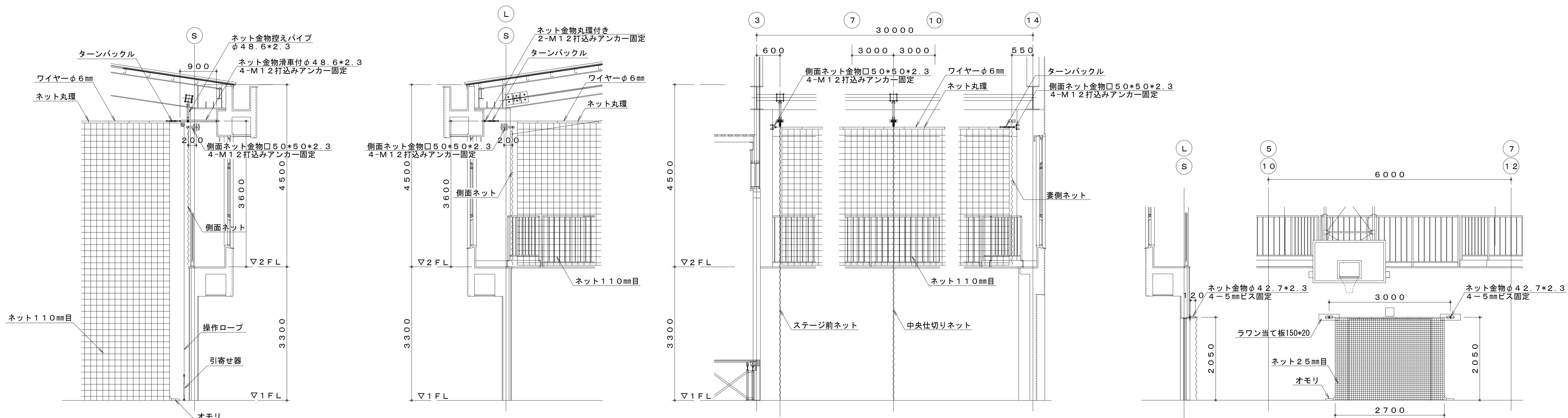


バレー支柱(カーボン製) (3組) S=1/40
<S-TC-1104>



バレーネット (3組) S=1/40
<S-TC-1300>

接着系アンカー(ショート) 8-D13



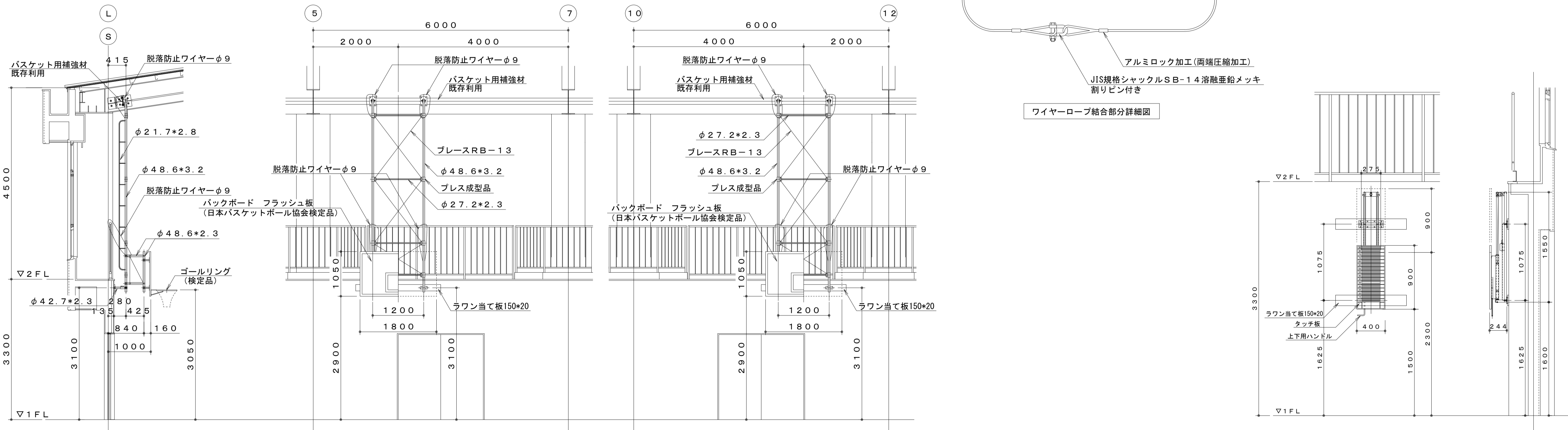
ステージ前防球ネット (1張) 1/50
 <ロープ片側操作片開閉式>

中央仕切り防球ネット (1張) 1/50
 <ロープ片側操作片開閉式>

妻側防球ネット (1張) 1/50
 <手引き操作片開閉式>

側面防球ネット (2張) 1/50
 <手引き操作片開閉式>

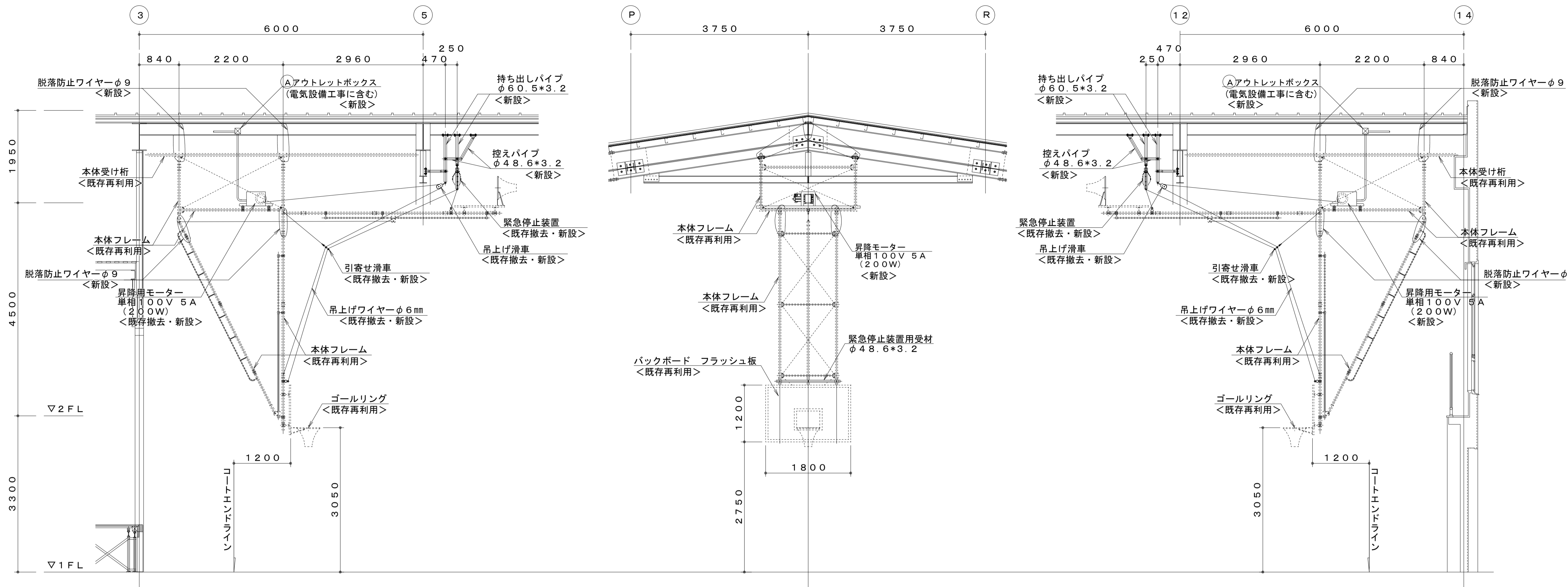
出入口防球ネット (4張) 1/50
 <手引き操作片開閉式>



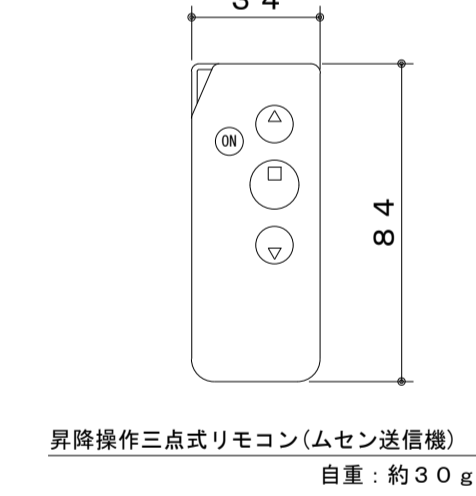
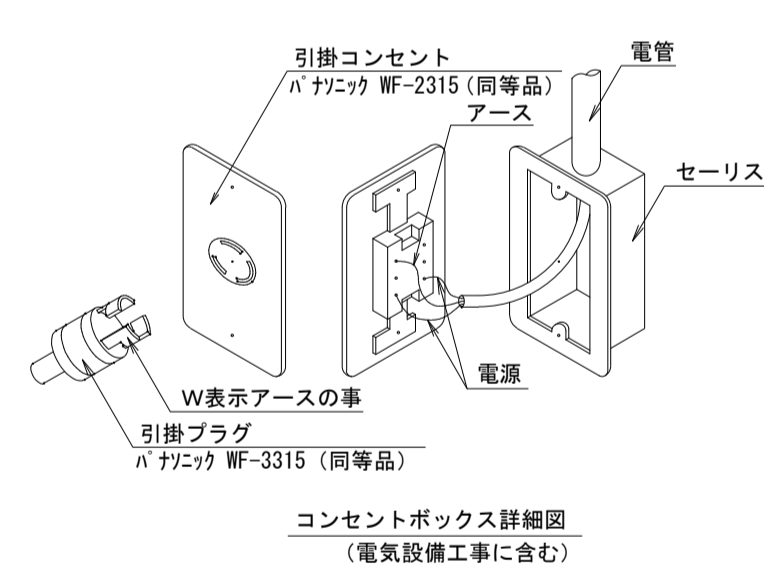
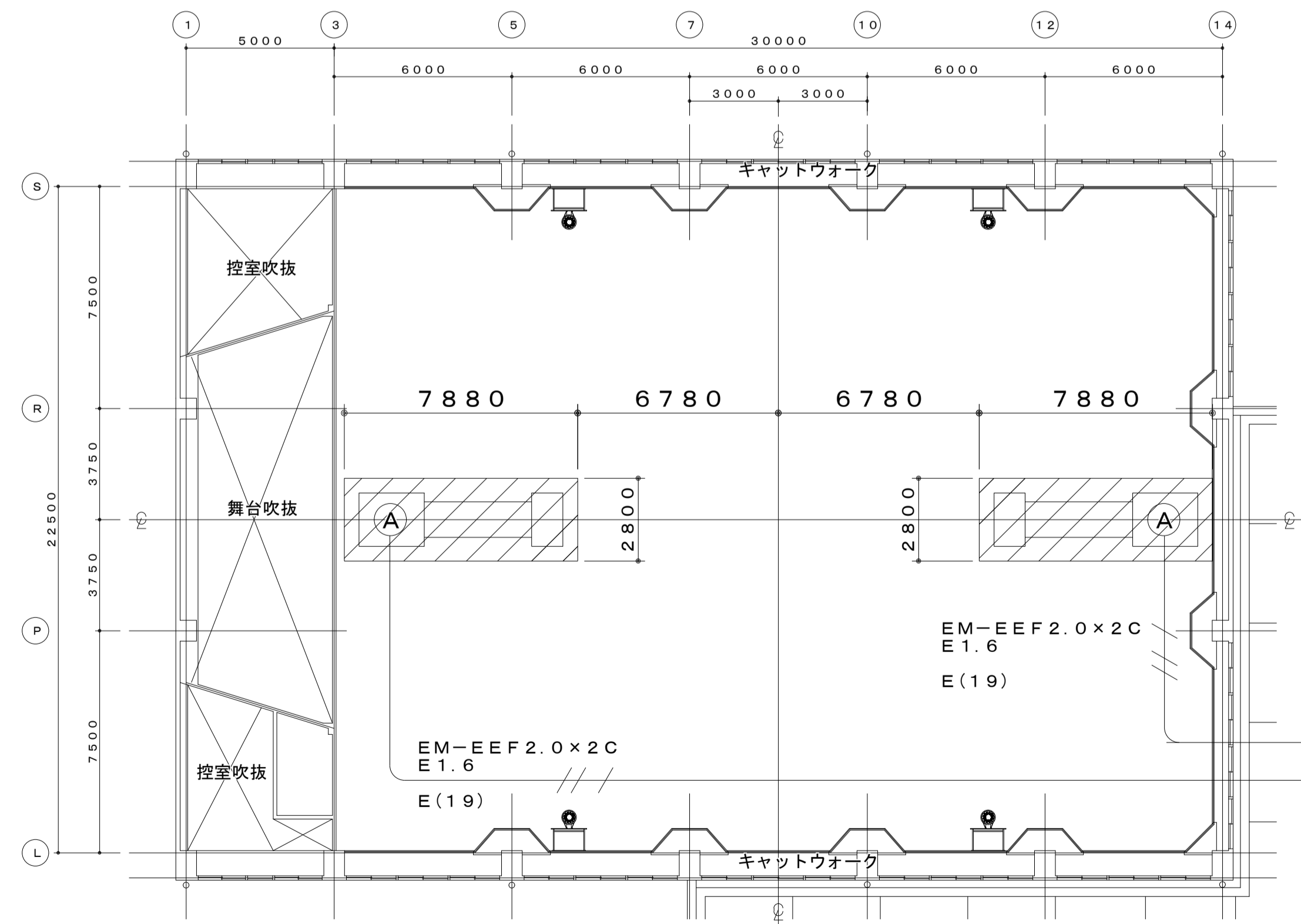
固定式バスケット装置 (2対) 1/50
 <木製フラッシュ板>

サージャントジャンプ台 (2基) 1/30

ワイヤーロープ結合部分詳細図

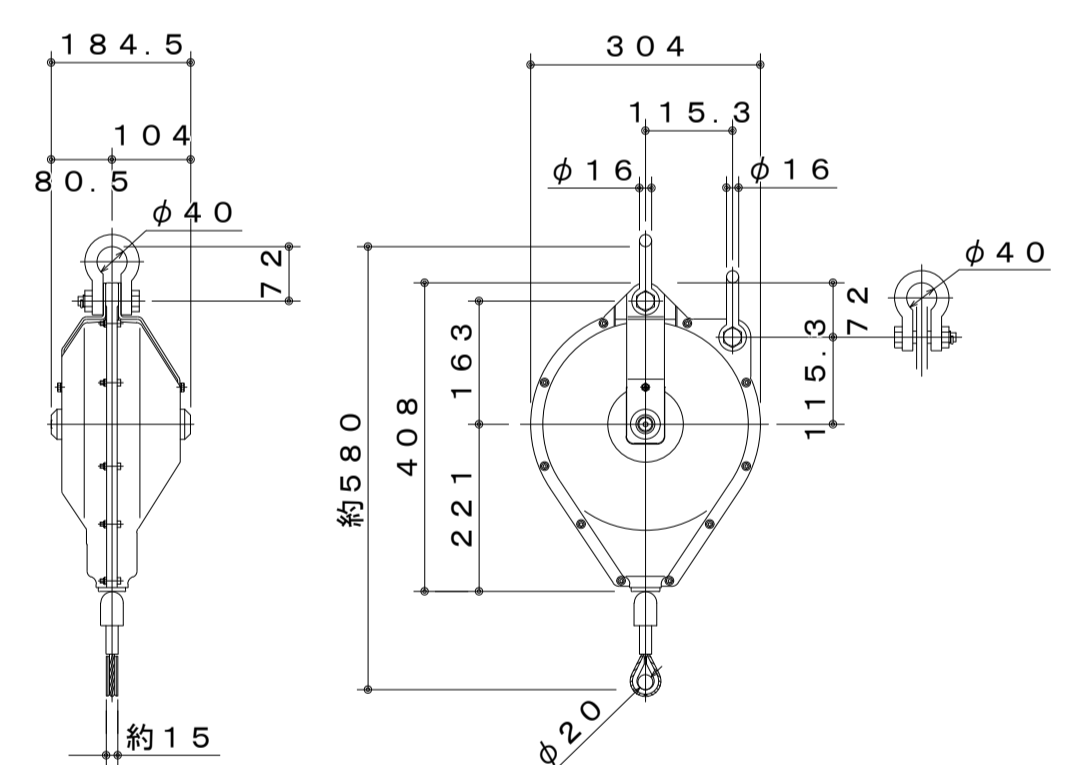


吊上げ式バスケット装置 (1対) 1/50
 ○設置本体・バックボード・ゴールリング・・・既存再利用
 ○昇降モーター・吊上げ滑車・吊上げワイヤー・緊急停止装置・・・既存撤去・新設
 ○落下防止ワイヤー・・・新設

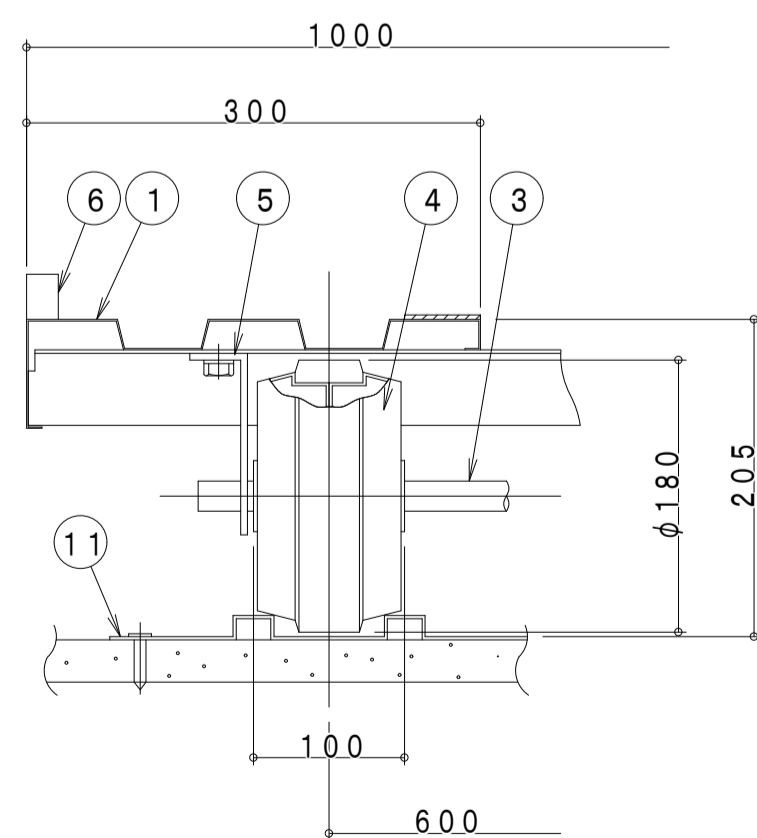
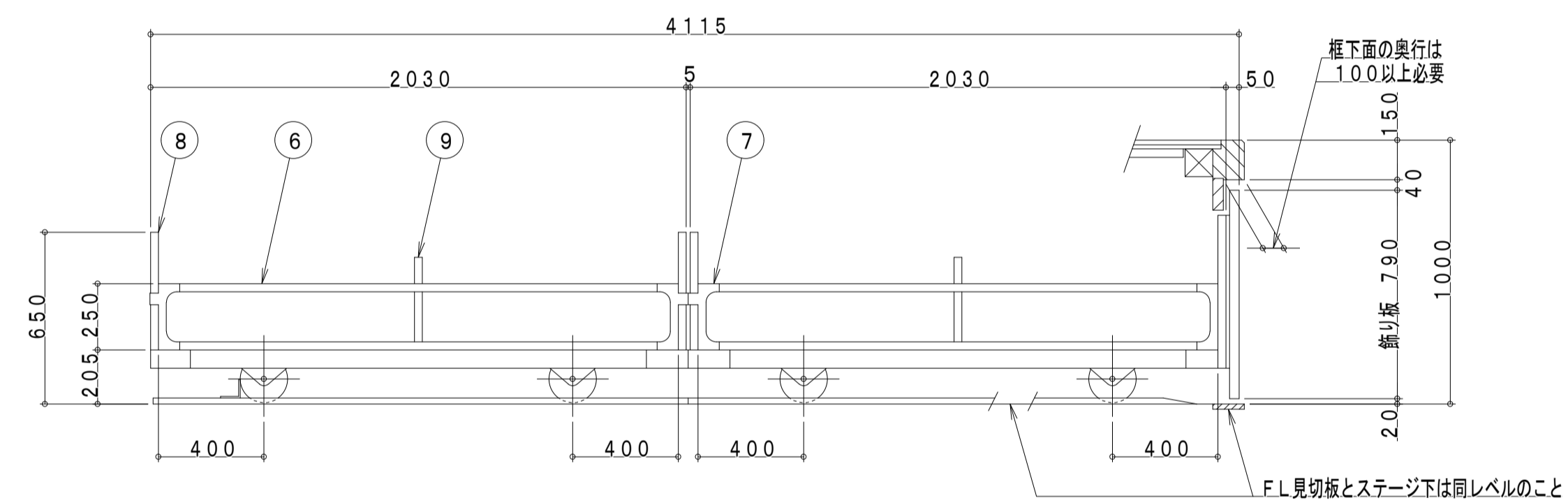
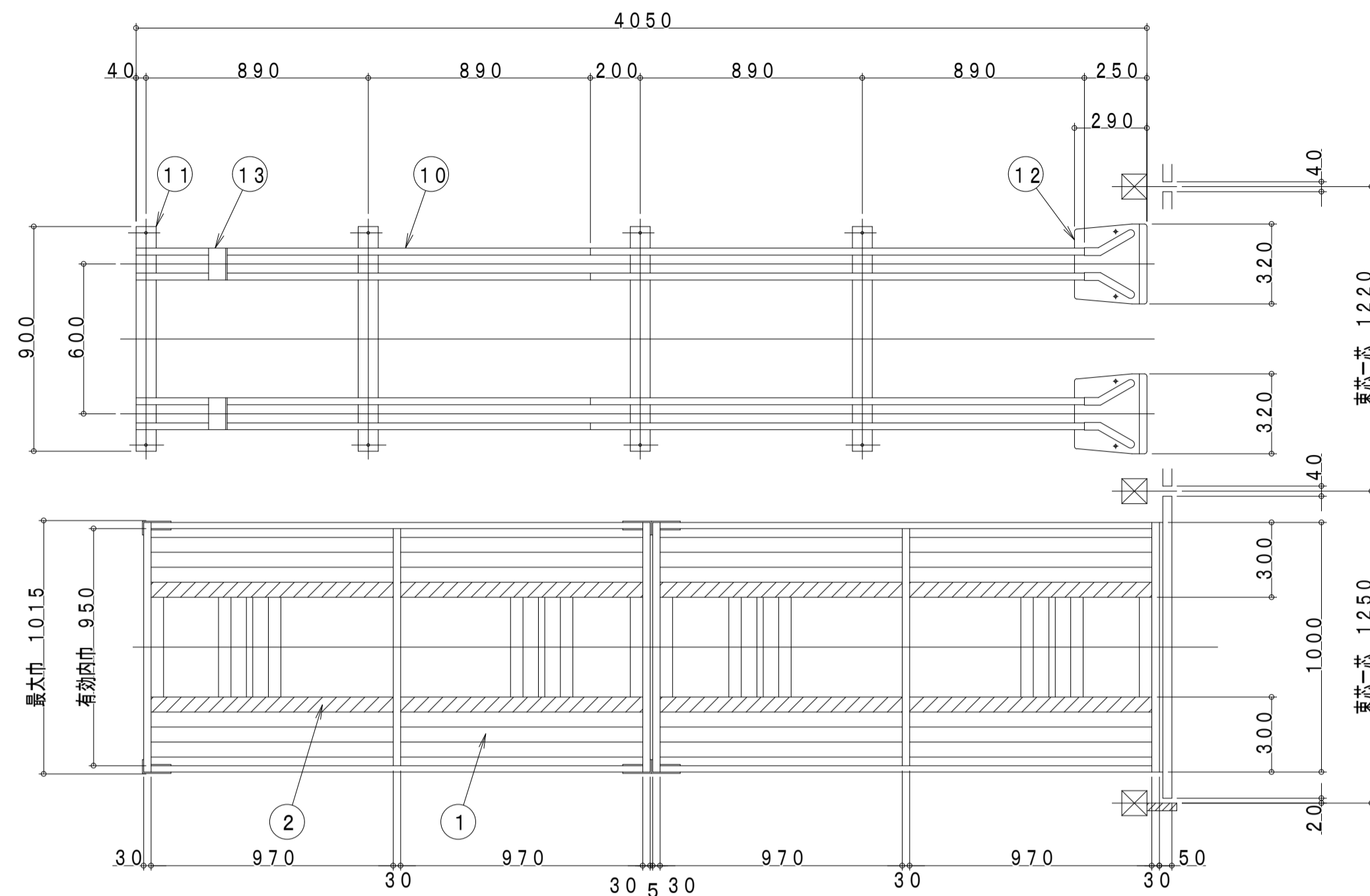


特記

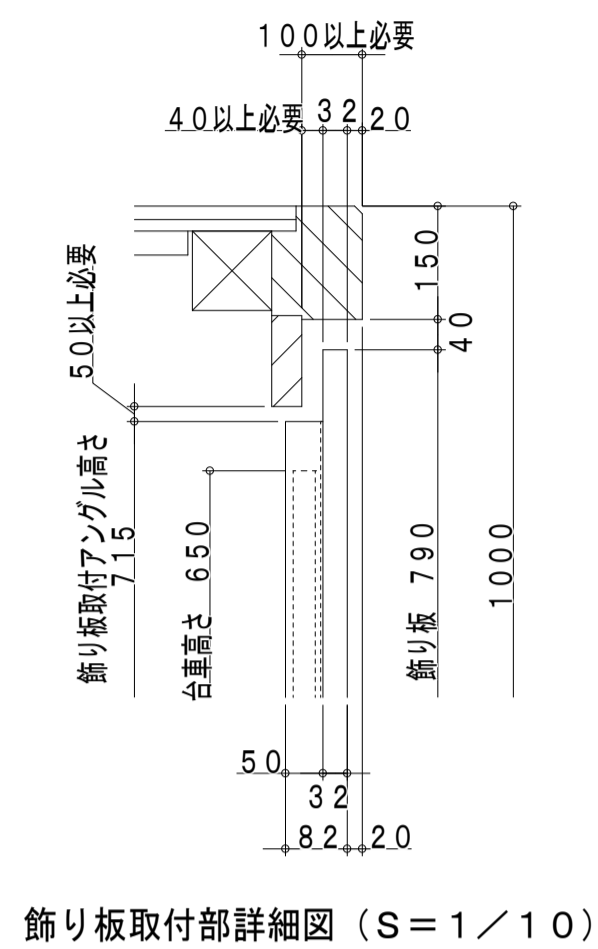
- 配線・配管・コンセントボックス(記号 A) 取付は電気工事に含む
- 内体育器具取付A'-Aには照明器具等を取付けないこと



型 式/仕 様	SLG-250
容量範囲	50~250kg
最大張力	24N [2.4kgf]
使用ロープ	φ6.35
ロープ長さ	12m
ロック限界速度	50m/min以上
落下距離	約1500mm
質量	約16.9kg

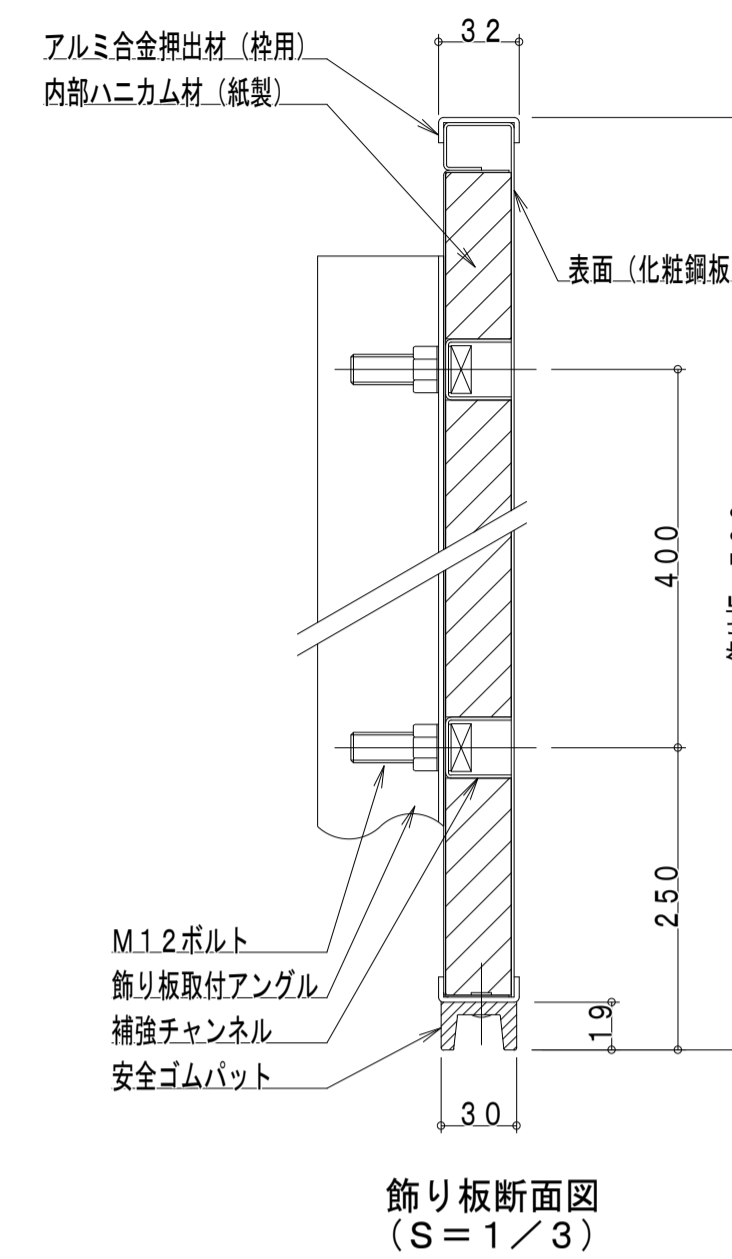
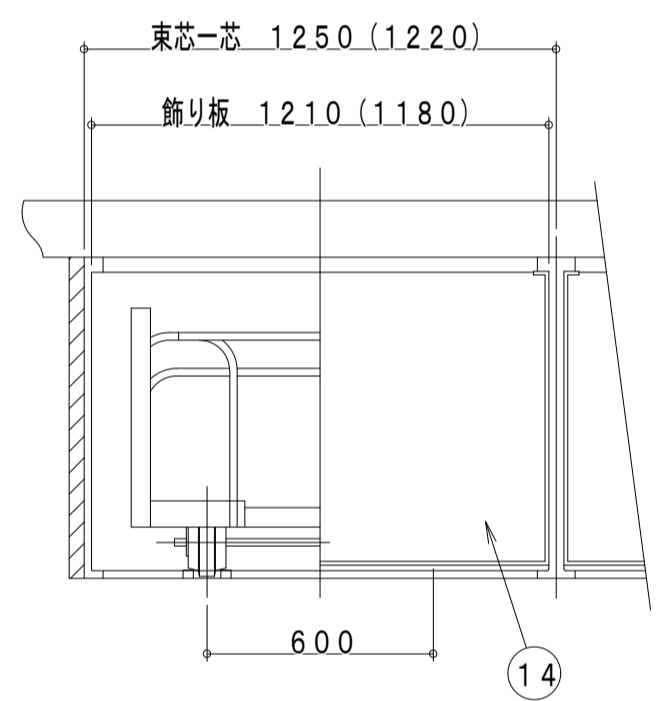


レール、レール床、車輪関係図 (S=1/5)



飾り板取付部詳細図 (S=1/10)

※ () 内寸法は、両端以外の椅子収容台車 (7列分) を示す

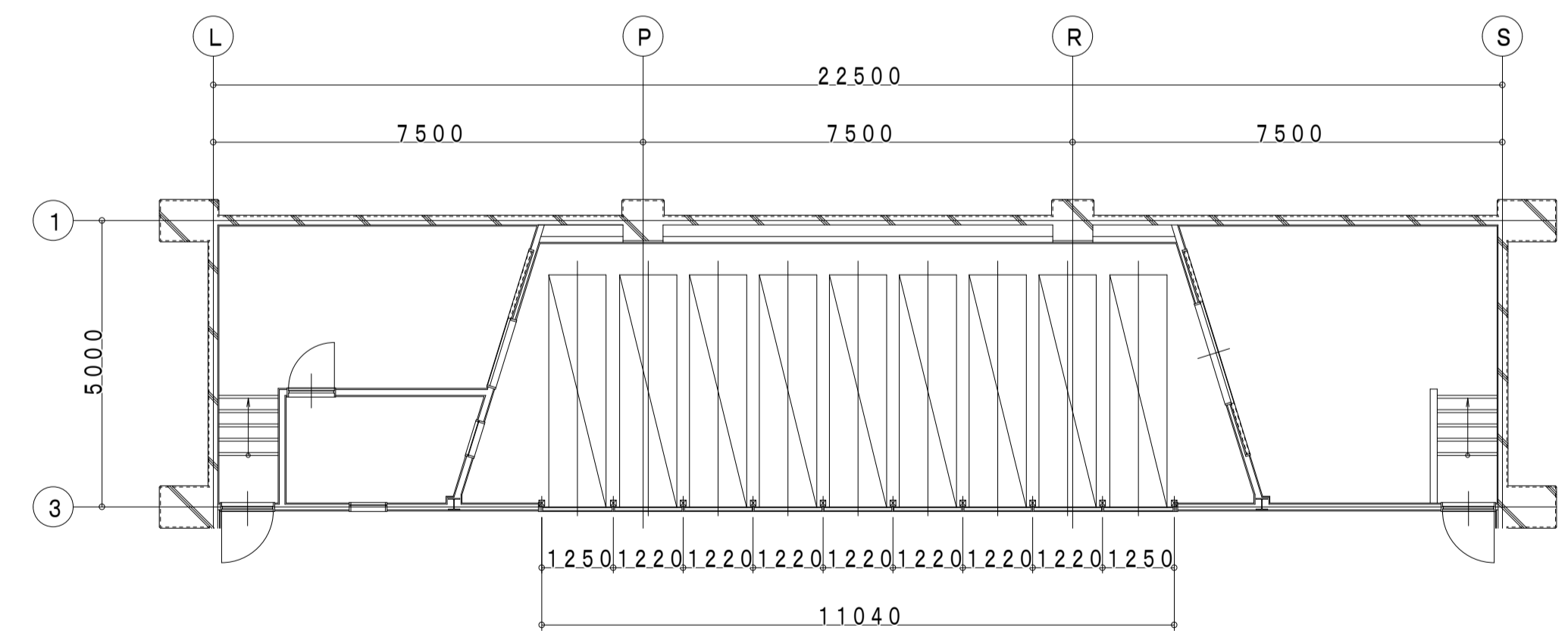


飾り板断面図 (S=1/3)

主 構 成 部 品			
NO	品 名	材 料 ・ 加 工	表面処理
1	床 板	亜鉛メッキ鋼板 t 0.9 を曲げ加工	亜鉛メッキ
2	椅子滑り止め	ポリエチレン樹脂発泡材	
3	車 軸	機械構造用炭素鋼鋼管 φ20×t 2.5	亜鉛メッキ
4	車 輪	冷延鋼板 t 2.0 をプレス加工した後、その外周に合成ゴムを焼付けした一体型車輪 (軸受部はベアリング嵌合)	
5	軸 受	熱延鋼板 t 4.5 を曲げ加工	黒色焼付塗装
6	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t 0.8	白色焼付塗装
7	ジョイントコネクター	熱延鋼板 t 2.0 を曲げ加工	黒色焼付塗装
8	ハンドル	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t 0.8	白色焼付塗装
9	椅子倒れ止め	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工 30×20×t 0.8	白色焼付塗装
10	レール	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をフォーミング加工	亜鉛メッキ
11	枕 板	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をプレス加工	亜鉛メッキ
12	車輪ガイド	亜鉛メッキ鋼板 t 1.6 をプレス加工	黒色焼付塗装
13	ストッパー	一般構造用圧延鋼板 t 6.0 を曲げ加工	黒色焼付塗装
14	飾り板	化粧鋼板 t 0.8 を曲げ加工し、アルミ製枠にて保護したものにハニカム材 (紙製) をはめ込んだもの。(合成ゴム製安全パッド付)	樹脂コーティング

備 考

- 製作数 9列 9輛 (フジトラック FT-1-4000L) 椅子収納台車
- レールの製作及び取付工事はこの設備に含まれます
- 飾り板の製作及び取付調整はこの設備に含まれます
- レール下地 (モルタル) はこの設備より除外とします
- 椅子収納脚数 80脚/列 (9列分=720脚) 但し椅子の厚みは約50mmとして計算



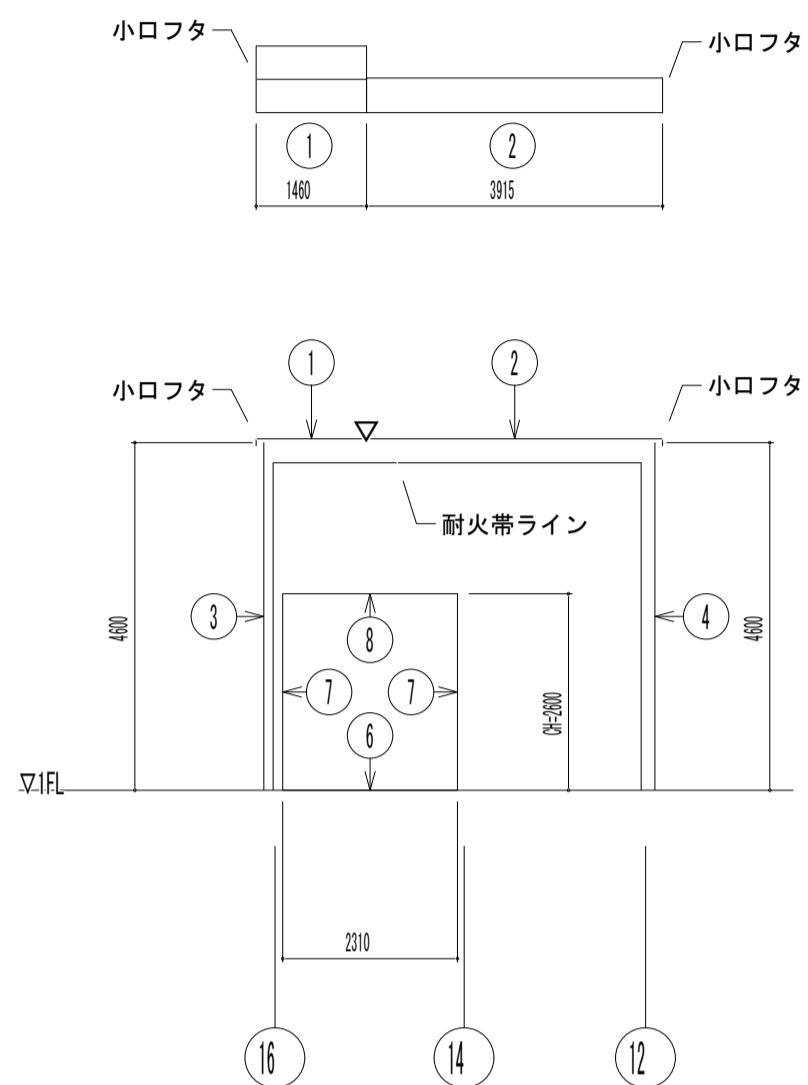
台車収納時平面配置図 (S=1/100)

【耐震 EXP. J. C特記仕様】

【共通事項】

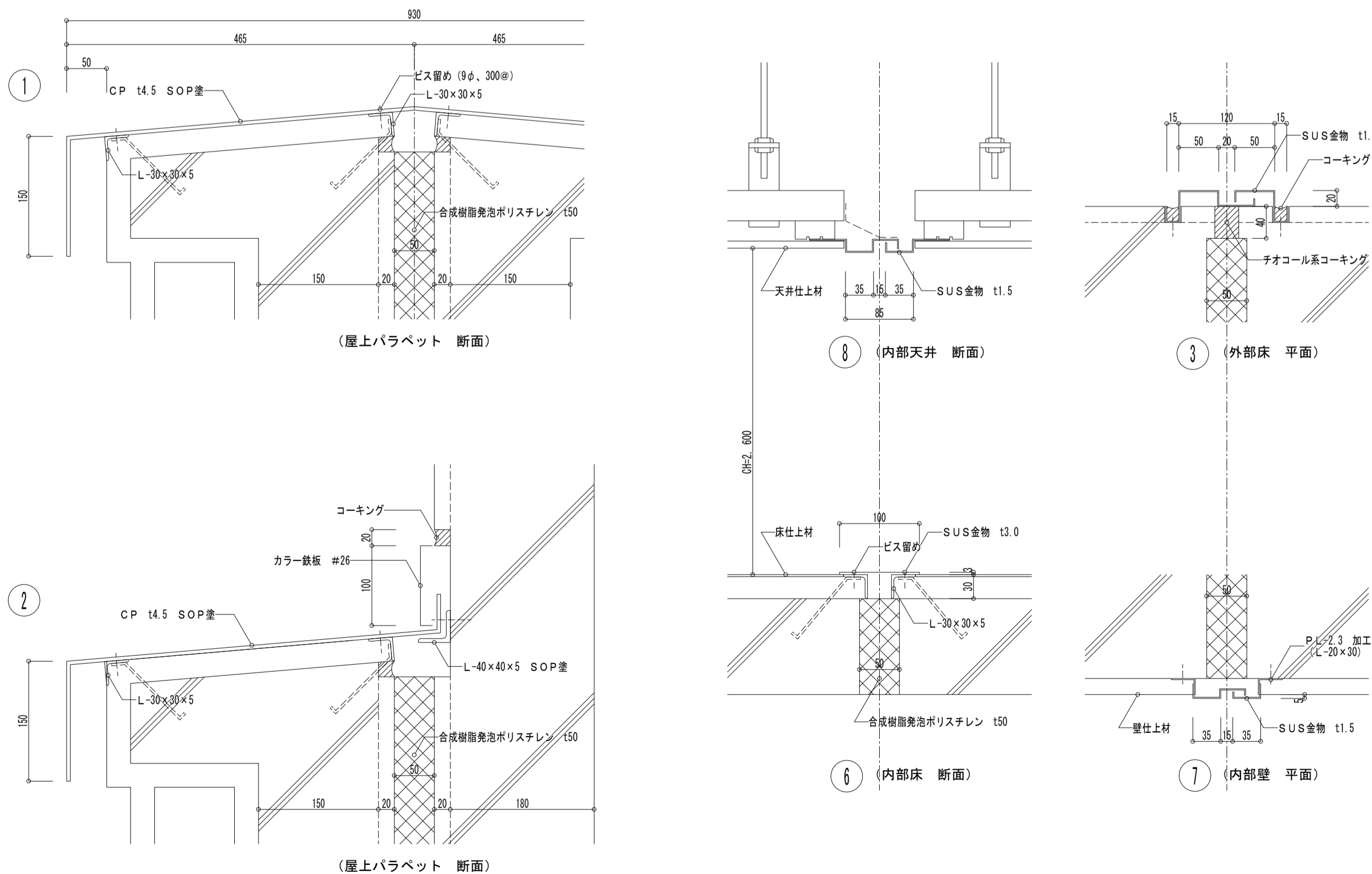
- 一般社団法人 日本免震構造協会（JSSI）「免震エキスパンションジョイントガイドライン」の性能指標A種に準じ、振動台実験により損傷しないことを確認したA種相当製品とする。

(体育館 屋根EXP. J. C平面 S=1:100)



体育館 EXP. J. Cキープラン S=1:100

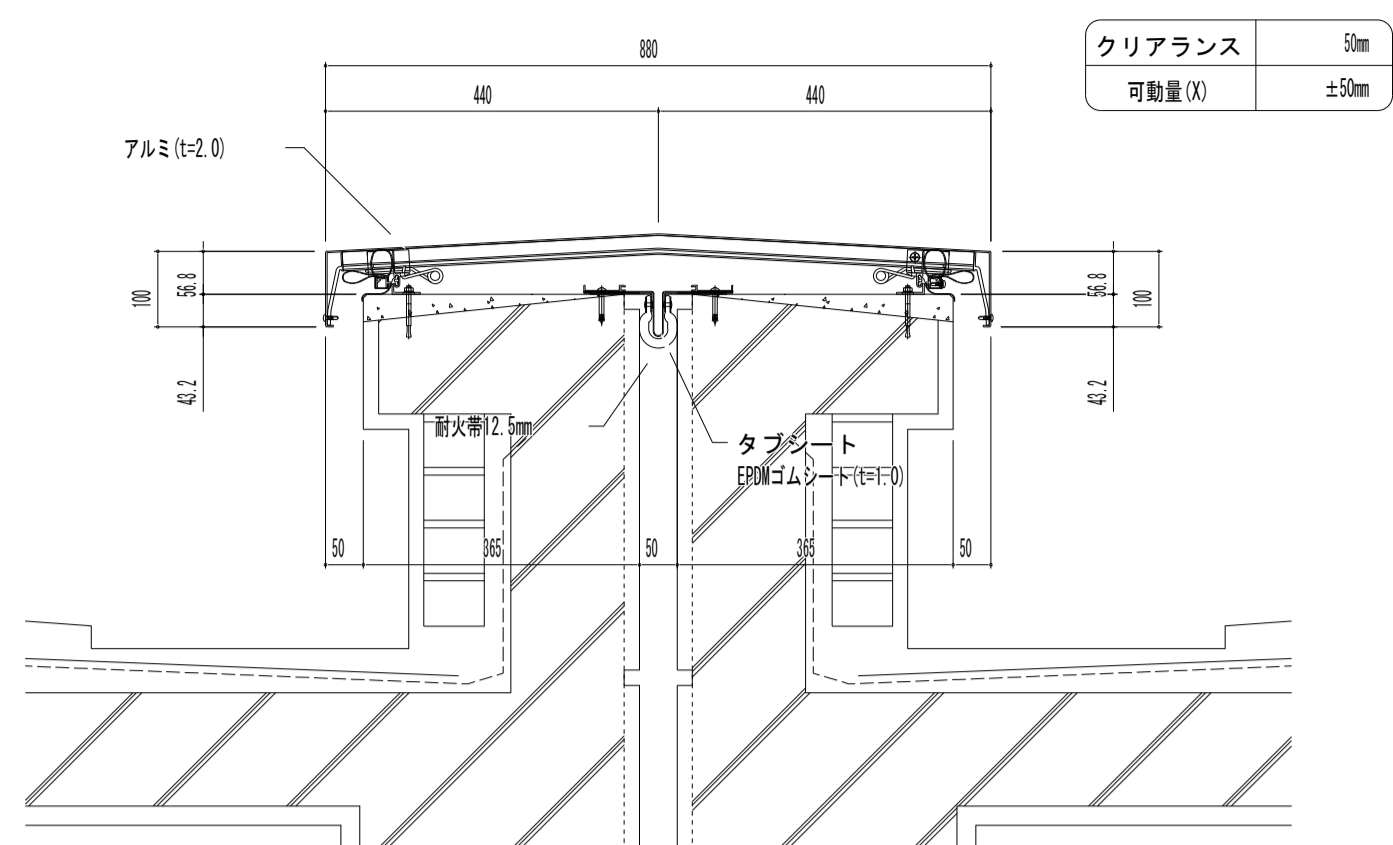
既存EXP. J. C詳細図(撤去図)



※EXP. J金物 【全て撤去】、コーキング【撤去】
改修前 EXP. J. C金物 詳細図 S=1/5

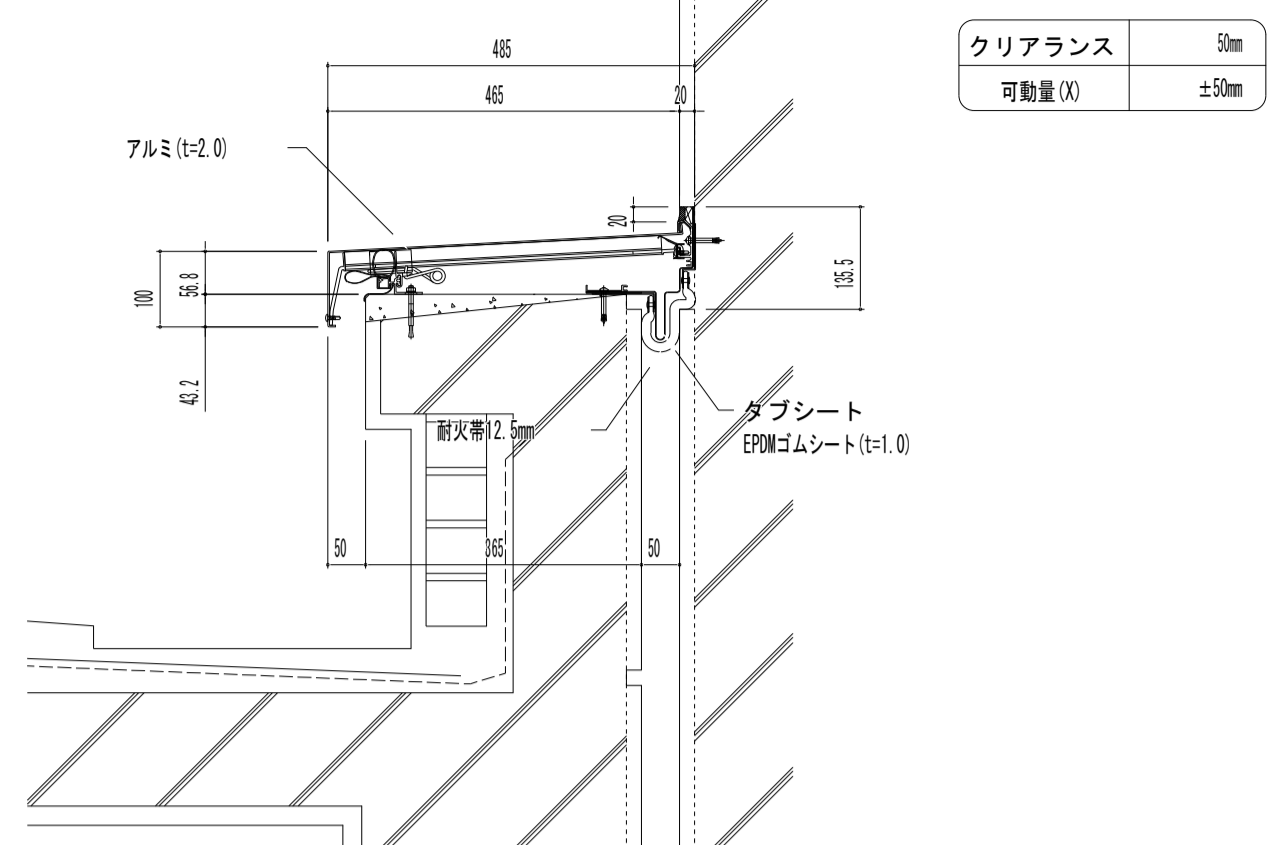
① 屋根+屋根 EXP. J. C (アルミ製)

H880-APR (耐火仕様)



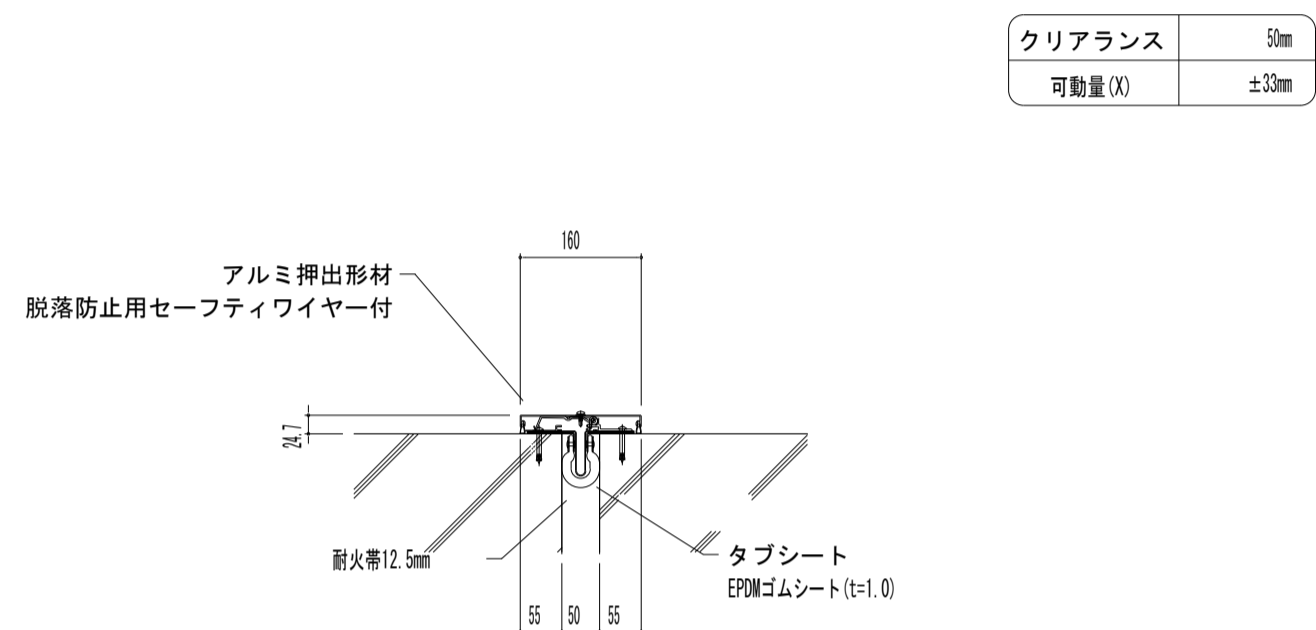
② 外壁+屋根 EXP. J. C (アルミ製)

H485-APW (耐火仕様)



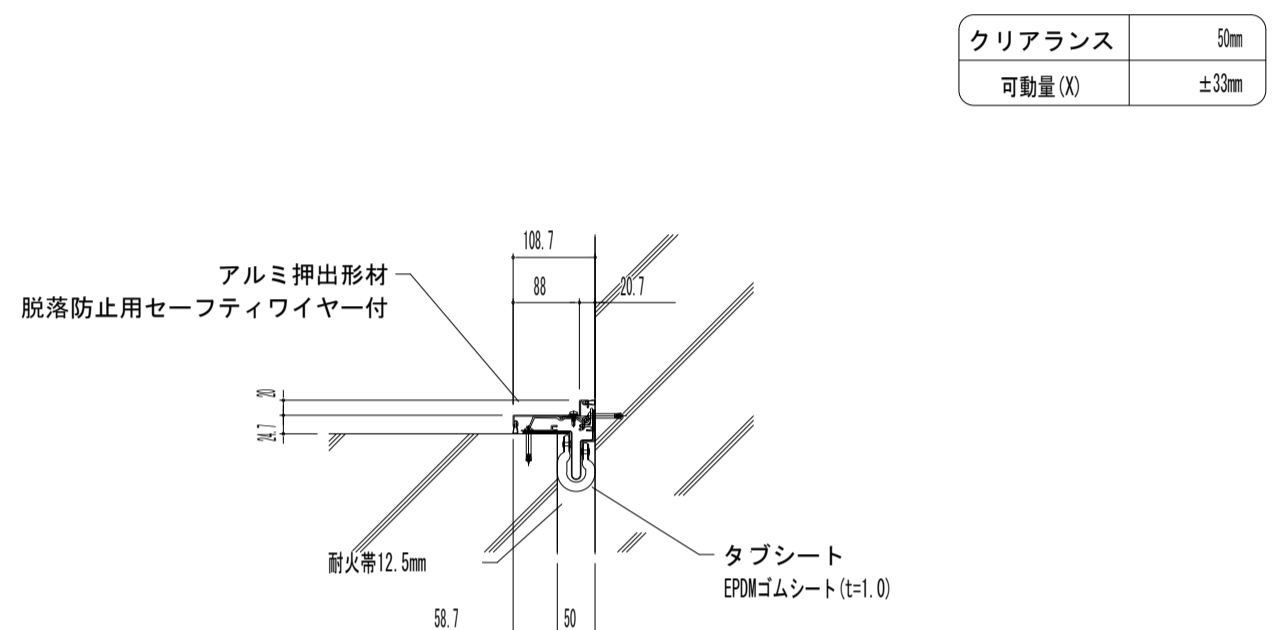
③ 外壁+外壁 EXP. J. C (アルミ製)

S05-AEW (耐火仕様)



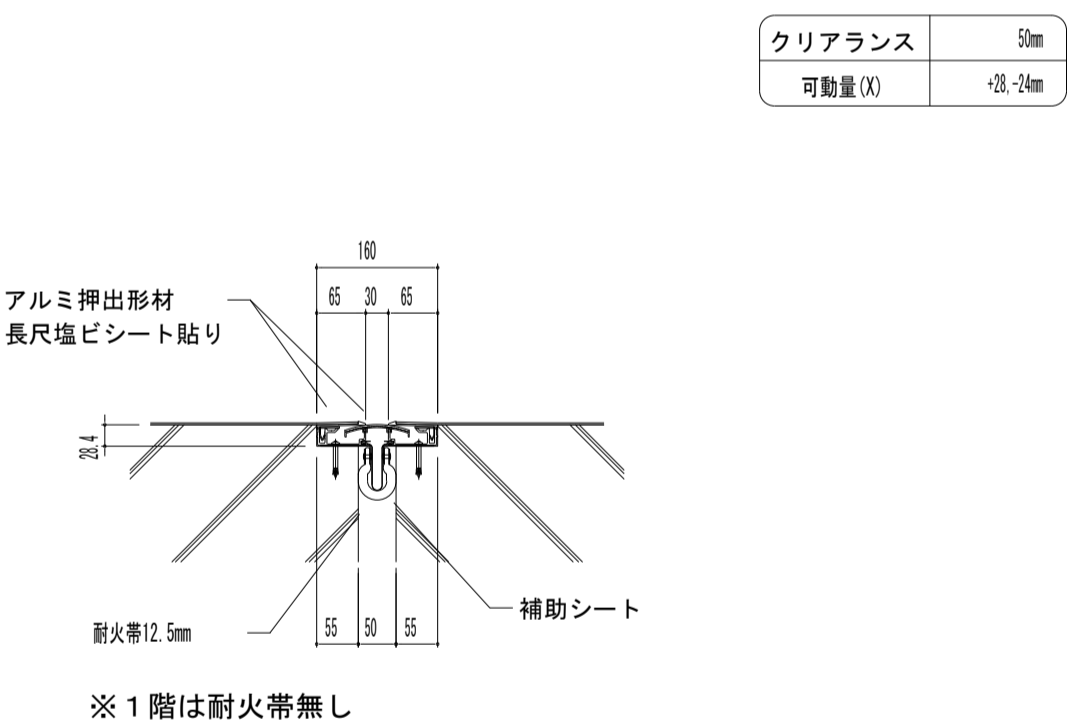
④ 外壁コーナー EXP. J. C (アルミ製)

S05-AEWC (耐火仕様)



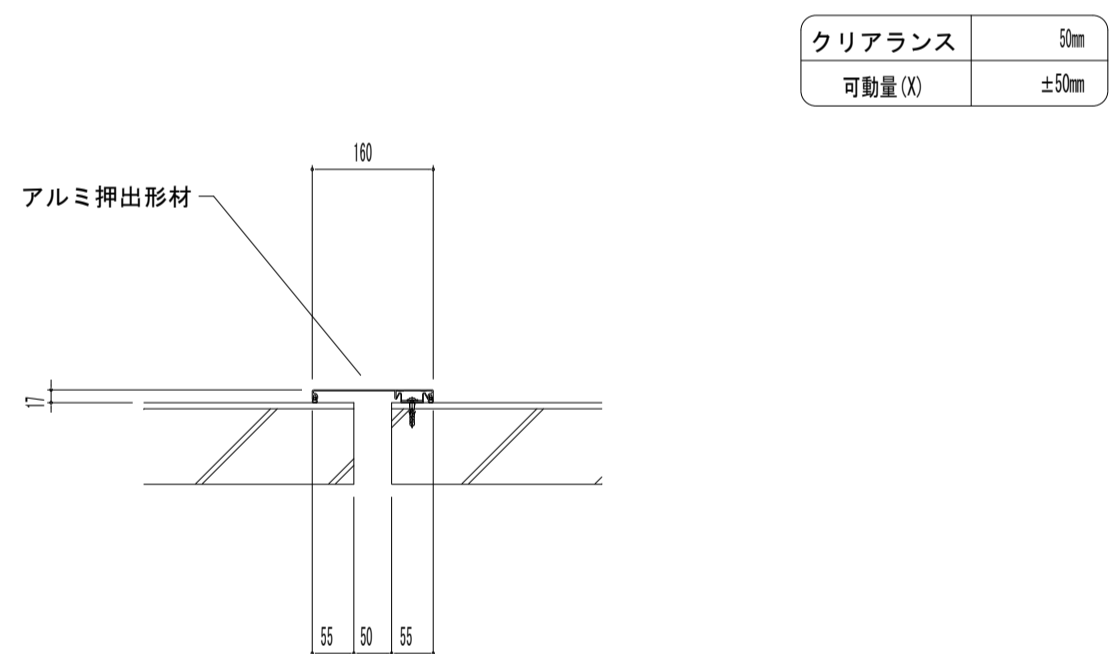
⑥ 床+床 EXP. J. C (アルミ製)

S05-KFX-B (耐火仕様)



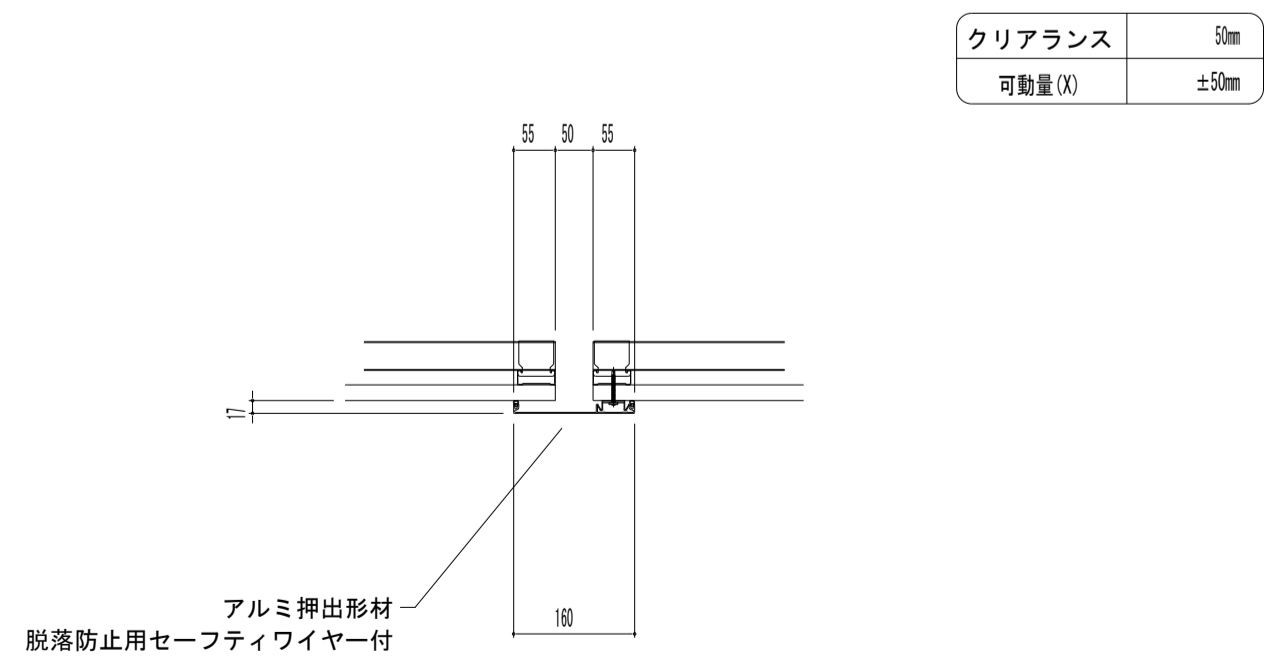
⑦ 内壁+内壁 EXP. J. C (アルミ製)

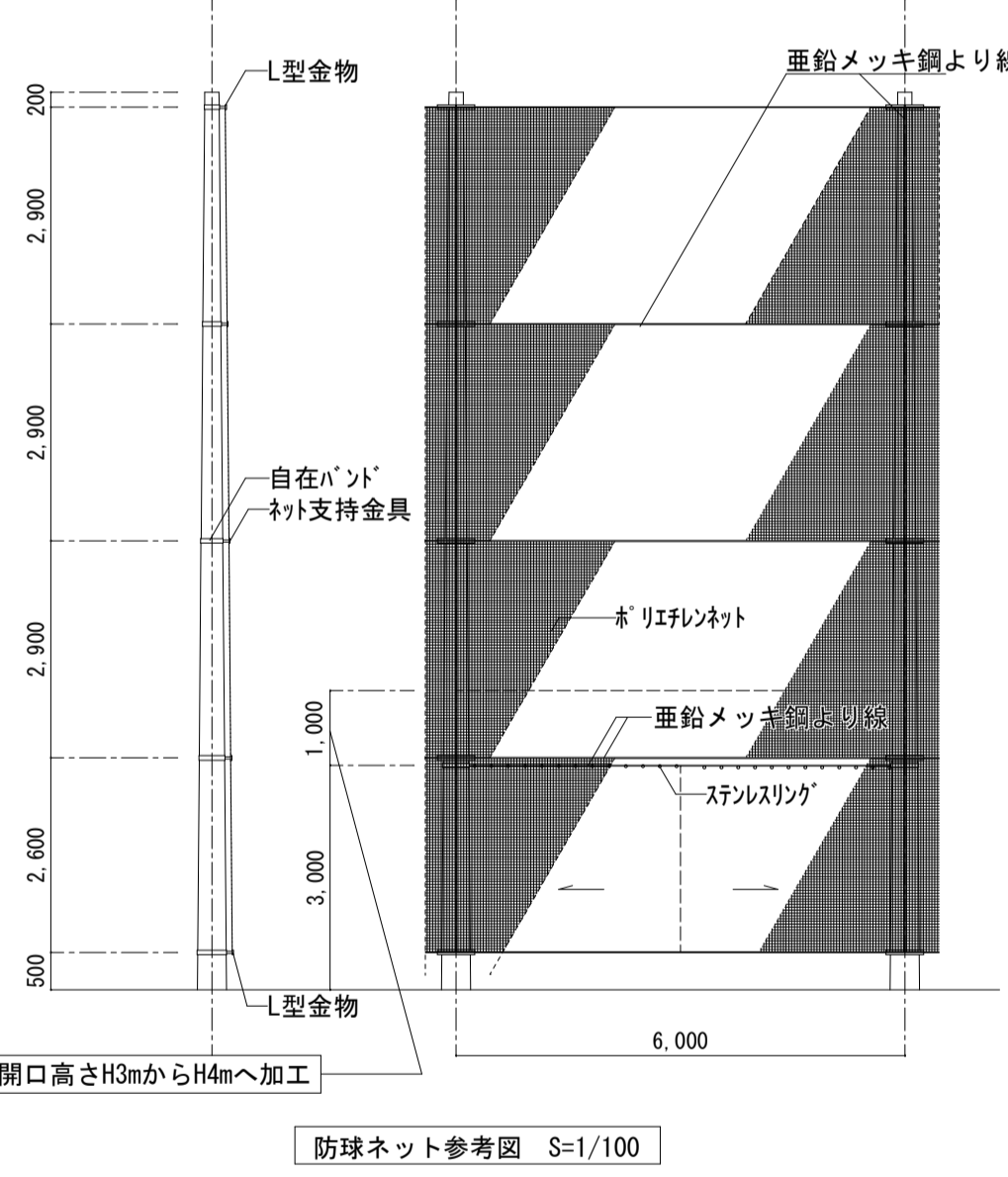
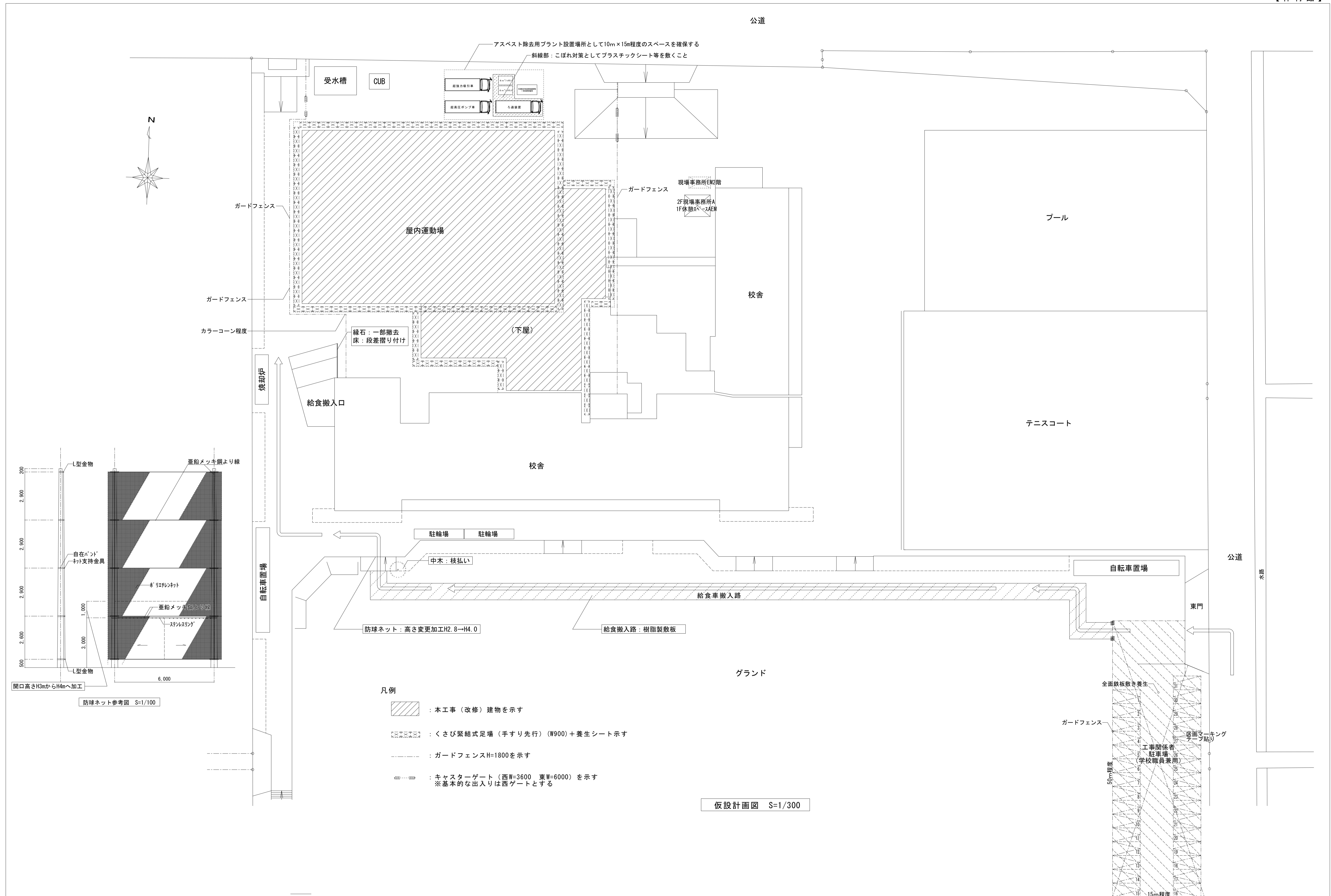
S05-ACW



⑧ 天井+天井 EXP. J. C (アルミ製)

S05-ACW





- 凡例
- : 本工事（改修）建物を示す
 - : くさび緊結式足場（手すり先行）(W900)+養生シートを示す
 - : ガードフェンスH=1800を示す
 - : キャスターゲート（西W=3600 東W=6000）を示す
※基本的な出入りは西ゲートとする

仮設計画図 S=1/300

工事区分表

項目		建	電	機	備考	項目		建	電	機	備考	項目		建	電	機	備考	項目		建	電	機	備考									
躯体関係						仕上げ関係						屋外排水設備・外構						電気配線配管														
1. R C造 (梁・壁床) の貫通孔開口部	貫通スリーブ材及び取付け			○		1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○				2. 既製間仕切り	切り込み及び補強				1. 雨水	屋外雨水排水設備			○			機器付属の制御盤以降の配管配線 (接地線共)	○			2次側				
	貫通孔・開口部の径出し		○	○			補強を要しないボードの切り込み	○			軽微なものはE, M			位置ボックス					○			○				機器付属の制御盤への電気供給配管配線	○			1次側		
	貫通孔・開口部の補強	○					開口部の墨出し		○	○			建築工事に関わるものはA													○						
	スリーブの穴埋め			○	○																			○	○							
	和便器開口閉塞・開口新設	○					2. 既製間仕切り																	○								
2. S, SRC造梁貫通口	S, SRC造貫通鋼管スリーブ・補強					3. つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用				○	○																				
	使用されたスリーブの穴埋め					4. 外壁まわり	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ						3. 植栽	補栽及び客土																		
	予備スリーブの穴埋め						ウエザーカーバー					○																				
3. 設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○				5. 給湯室まわり	換気扇				○		4. ユニット形浄化槽のく体	ビット形のく体及び砂充てん																		
	室内の基礎 (建築設計図に記入のないもの)						電気温水器								上記以外のユニット形浄化槽本体・配管及び据付等																	
	屋外・屋上の基礎			○				パイプフード				○				ビット形以外																
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの					6. 浴室まわり	ユニットバス・シャワーユニット						5. 屋外オイルタンク	タンク室のく体及び砂充てん																		
	機器取り付け用アンカー・架台			○	○			既製浴槽 (ふたを含む)								上記以外のオイルタンク本体・配管及び据付等																
	屋内受水タンク用の基礎							浴室及び便所の床排水金物								タンク室形以外																
	太陽光発電パネル取付用架台																															
4. 昇降機関連	昇降機・機械室のく体					7. 便所まわり	洗面器				○		6. 家具・実験台類	造付け家具 (ステンレスシンク含む)				○														
	機械室の床開口						鏡 (規格寸法のみ)				○				造付け家具の配管配線 (接続まで含む)					○	○											
	機械室の床配管ビット・蓋					ユニット形衛生器具					○				実験台																	
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上					身障用すり			○	○					実験台の配管配線 (接続まで含む)																	
	巻上機周囲のチェッカープレート敷					8. 事務室まわり	洗面カウンター				○																					
	昇降路内ビット防水・集水溝・点検用タラップ						ファンコイルカバー																									
	各階出入口穴あけ・周補強						家具組み込みの洗面器																									
	出入口扉・三方枠					9. フリーアクセスフロア	コンセント																									
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・周補修						床パネルの切り込み加工																									
	昇降機がRC造の時、軌条、中間ビーム、ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式																															
機械室天井フック取付					10. その他		二重ビット及びトレレンチのマンホールふた																									
ホール押釦・インジケータ・鎖索などの壁開口						機器搬入用フック ビーム																										
機械室換気設備						チェンブロック																										
昇降路がS造りの時の中層ビームブラケット受けピース						化粧マンホール上ふたの表面仕上げ					○																					
E V機械室からインターホンまでの配線工事						点検口 (天井・床下)					○																					
E V機械室からインターホンまでの配管工事																																
5. その他	ビット類 (ふたを含む)						排煙口等の天井仕上材の取付け																									
	RC造各種水洗場						自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フロアヒンジ																									
	同上用防水・マンホール・タラップ式						消火器B O X設置工事																									
	避雷設備・同接地工事						自動扉・電動シャッターへの電源供給																									
	A L C・P C板の壁開口・補強						自動扉・電動シャッターから付属のスイッチセンサーへの配管工事																									
	厨房排水溝																															
	厨房グリース阻集器																															
	オイルサービスタンの防油堤																															
フリーアクセスフロア内の防水堤																																

図面リスト (校舎)

図面番号	建築図面名称	縮尺	図面番号	建築図面名称	縮尺	図面番号	建築図面名称	縮尺
(建築)	(表紙は体育館による)		(建築)			(建築)		
A-01	図面リスト	—						
A-02	特記仕様書 (改修その1)	—						
A-03	特記仕様書 (改修その2)	—						
A-04	特記仕様書 (改修その3)	—						
A-05	特記仕様書 (改修その4)	—						
A-06	特記仕様書 (改修その5)	—						
A-07	特記仕様書 (改修その6)	—						
A-08	特記仕様書 (改修その7)	—						
A-09	特記仕様書 (改修その8)	—						
A-10	工事区分表	—						
A-11	案内図、配置図	S=1/300						
A-12	工事範囲図 (第1期工事)、(内部改修・工事箇所・内部仮設・工事動線 (参考))	S=1/400						
A-13	改修前・後 仕上表	—						
A-14	改修前・後 1階平面図	S=1/200						
A-15	改修前・後 2階平面図	S=1/200、30						
A-16	改修前・後 3階平面図	S=1/200、30						
A-17	改修前・後 4階平面図	S=1/200、30						
A-18	改修前・後 5階平面図	S=1/200						
A-19	改修前・後 R階平面図	S=1/200、30						
A-20	改修前・後 階段A 詳細図	S=1/50、20、5						
A-21	改修前・後 1階天井伏図	S=1/200						
A-22	改修前・後 2階天井伏図	S=1/200						
A-23	改修前・後 3階天井伏図	S=1/200						
A-24	改修前・後 4階天井伏図	S=1/200						
A-25	改修前・後 5、R階天井伏図	S=1/200						
A-26	改修前・後 1階建具表キープラン	S=1/200						
A-27	改修前・後 2階建具表キープラン	S=1/200						
A-28	改修前・後 3階建具表キープラン	S=1/200						
A-29	改修前・後 4階建具表キープラン	S=1/200						
A-30	改修前・後 5階建具表キープラン	S=1/200						
A-31	改修前 建具表	S=1/100						
A-32	改修後 建具表	S=1/100						
A-33	改修前・後 1階黒板・掲示板キープラン、既存黒板・掲示板リスト	S=1/200						
A-34	改修前・後 2階黒板・掲示板キープラン、既存黒板・掲示板リスト	S=1/200						
A-35	改修前・後 3階黒板・掲示板キープラン、既存黒板・掲示板リスト	S=1/200						
A-36	改修前・後 4階黒板・掲示板キープラン、既存黒板・掲示板リスト	S=1/200						
A-37	改修前・後 5階黒板・掲示板キープラン、既存黒板・掲示板リスト	S=1/200						
A-38	サインキープラン1	S=1/200						
A-39	サインキープラン2	S=1/200						
A-40	サイン詳細図	S=1/3、15、1、10						
A-41	仮設計画面図、内壁アスベスト除去工事 特記事項 (参考)	S=1/300						

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区櫛引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当

縮尺 1
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事 (第1期工事) (ゼロ債務)
 図面名称 図面リスト (校舎)

5	アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 上部以外の建具(※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ()とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級() (適用する建具 ※建具表による)	[5. 2. 2~5][表5. 2. 1、2]
	網戸等	種類 材質 線径 網目 ○防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 ・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm	
6	樹脂製建具	表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、ぜん板等 ※図示	[5. 2. 2][5. 3. 2~5]
	性能値等	耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 上部以外の建具(※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 H-A種 ・H-B種 (適用する建具 ※建具表による) H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具(※建具表による)	[5. 2. 2][5. 3. 2~5]
7	鋼製建具	ガラス ※複層ガラス 水切り板、ぜん板等 ※図示 表面色 ・標準色 ・特注色	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]
	性能値等	簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 適用する(※建具表による) ・適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ()とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級() (適用する建具 ※建具表による)	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]
8	鋼製軽量建具	鋼板類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カー鋼板 ・スチール鋼板 召合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・建具表による	[5. 2. 2][5. 5. 2~4]
	性能値等	簡易気密型ドアセットの気密性の等級 適用する(※建具表による) ・適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ()とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級() (適用する建具 ※建具表による)	[5. 2. 2][5. 5. 2~4]
9	ステンレス製建具	材料 鋼板類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カー鋼板 ・スチール鋼板 召合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・建具表による	[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]
	性能値等	簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 適用する(※建具表による) ・適用しない 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ()とする場合 断熱性の等級() (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級() (適用する建具 ※建具表による)	[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]
10	木製建具	材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]
	性能値等	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]
11	建具用金物	引き戸用検出装置の種類	[5. 8. 2、3]
	性能値等	耐電圧、温度上昇、耐久性(サイクル) 防錆 検出装置(センサー)の種類 凍結防止措置 SSD-1 ※[表5. 8. 1]による ・適用する場合 SSD-2 ・上記に於かない場合() DSL-1 適用する場合 ※[表5. 8. 1]による DSL-2 ()	[5. 8. 2、3]
12	鍵	引き戸用検出装置の性能値 ※[表5. 8. 3]による ・上記に於かない場合()	[5. 7. 1~3]
	性能値等	マスターキー ○製作する(○新規 ○既存マスター合わせ) ・製作しない [5. 7. 4] その他の鍵 ※各室3本組 鍵箱 ・無 ○有	[5. 7. 1~3]
13	自動ドア開閉装置	引き戸用検出装置及び検出装置の種類	[5. 8. 2、3]
	性能値等	自動ドア 耐電圧、温度上昇、耐久性(サイクル) 防錆 検出装置(センサー)の種類 凍結防止措置 SSD-1 ※[表5. 8. 1]による ・適用する場合 SSD-2 ・上記に於かない場合() DSL-1 適用する場合 ※[表5. 8. 1]による DSL-2 ()	[5. 8. 2、3]
14	自閉式上吊り引戸装置	シャッターの種類 耐風圧強度	[5. 9. 3]
	性能値等	シャッターの種類 耐風圧強度 ・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m ² ○屋内用防火シャッター ○屋内用防煙シャッター	[5. 9. 3]
15	重量シャッター	シャッターの種類 耐風圧強度 ・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m ² ○屋内用防火シャッター ○屋内用防煙シャッター	[5. 10. 2、3]
	性能値等	シャッターの種類 耐風圧強度 ・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m ² ○屋内用防火シャッター ○屋内用防煙シャッター	[5. 10. 2、3]
16	軽量シャッター	シャッターの種類 耐風圧強度 ・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m ² ○屋内用防火シャッター ○屋内用防煙シャッター	[5. 11. 2~4]
	性能値等	シャッターの種類 耐風圧強度 ・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m ² ○屋内用防火シャッター ○屋内用防煙シャッター	[5. 11. 2~4]
17	オーバーヘッドドア	シャッターの種類 耐風圧強度 ・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m ² ○屋内用防火シャッター ○屋内用防煙シャッター	[5. 12. 2、3]
	性能値等	シャッターの種類 耐風圧強度 ・管理用シャッター 耐風圧強度() N/m ² ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度() N/m ² ○屋内用防火シャッター ○屋内用防煙シャッター	[5. 12. 2、3]
18	ガラス	ガラスの種類 厚さは建具表及び図面による。	[3. 7][5. 13. 2~4]
	性能値等	ガラスの種類 厚さは建具表及び図面による。	[3. 7][5. 13. 2~4]

19	ガラスブロック	多機能トイレ出入口に設置される引き戸 出入口引き戸駆動装置の性能値 ※[表5. 8. 2]による (防錆の適用 ・する ※しない) 上記に於かない場合() 検出装置(センサー)の種類 ※建具表による ・上記と同じ 凍結防止措置 ・行う(適用箇所は建具表による) ・行わない 引き戸用検出装置の性能値 ※[表5. 8. 3]による ・上記に於かない場合()	[5. 13. 5]
	性能値等	多機能トイレ出入口に設置される引き戸 出入口引き戸駆動装置の性能値 ※[表5. 8. 2]による (防錆の適用 ・する ※しない) 上記に於かない場合() 検出装置(センサー)の種類 ※建具表による ・上記と同じ 凍結防止措置 ・行う(適用箇所は建具表による) ・行わない 引き戸用検出装置の性能値 ※[表5. 8. 3]による ・上記に於かない場合()	[5. 13. 5]
20	ガラス用フィルム	種類 記号 視光線透過率：65%以上 ・日射調整フィルム GI ・低放射フィルム LE ・衝撃破壊対応ガラス G1-1 ・G1-2 ・飛散防止フィルム G0-1 ・G0-2 ・層間気泡破壊対応ガラス G0-1 ・G0-2 ・飛散防止フィルム SF ・ガラス貫通防止フィルム SF	[5. 13. 5]
	性能値等	種類 記号 視光線透過率：65%以上 ・日射調整フィルム GI ・低放射フィルム LE ・衝撃破壊対応ガラス G1-1 ・G1-2 ・飛散防止フィルム G0-1 ・G0-2 ・層間気泡破壊対応ガラス G0-1 ・G0-2 ・飛散防止フィルム SF ・ガラス貫通防止フィルム SF	[5. 13. 5]
21	内装改修工事	①改修範囲 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より西側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示	[6. 1. 3]
	性能値等	①改修範囲 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より西側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示	[6. 1. 3]
22	②既存床の撤去及び下地補修	ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ○下地モルタルとも(○図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ○機械的除去工法 ・目貫し工法 コンクリート又はモルタルの下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外装改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	[6. 2. 2]
	性能値等	ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ○下地モルタルとも(○図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ○機械的除去工法 ・目貫し工法 コンクリート又はモルタルの下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外装改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	[6. 2. 2]
23	③既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4. 4. 9]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示) ・図示	[6. 3. 2]
	性能値等	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4. 4. 9]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処置 ※図示) ・図示	[6. 3. 2]
24	4 木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種	[6. 5. 1]
	性能値等	表面仕上げの種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種	[6. 5. 1]
25	5 製材	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材	[6. 5. 2]
	性能値等	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材	[6. 5. 2]

26	6 造作用集成材	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ※1等 ※10%以下 ※1等 ※10%以下 A種・B種 A種・B種	[6. 5. 2]
	性能値等	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ※1等 ※10%以下 ※1等 ※10%以下 A種・B種 A種・B種	[6. 5. 2]
27	造作用単板積層材	「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 造作材の場合(※A種・B種) ※A種 造作材の場合(※A種・B種) ※B種	[6. 5. 2]
	性能値等	「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 造作材の場合(※A種・B種) ※A種 造作材の場合(※A種・B種) ※B種	[6. 5. 2]
28	造作用単板積層材	「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 造作材の場合(※A種・B種) ※A種 造作材の場合(※A種・B種) ※B種	[6. 5. 2]
	性能値等	「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 造作材の場合(※A種・B種) ※A種 造作材の場合(※A種・B種) ※B種	[6. 5. 2]
29	8 合板等	「製材の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 強度等級 防虫処理 間伐材等の適用 ※12 ※1類・特類 ※2級以上 1級 ・指定する ・指定しない	[6. 5. 2]
	性能値等	「製材の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 強度等級 防虫処理 間伐材等の適用 ※12 ※1類・特類 ※2級以上 1級 ・指定する ・指定しない	[6. 5. 2]
30	「製材の日本農林規格」による普通合板	「製材の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 強度等級 防虫処理 間伐材等の適用 ※12 ※1類・特類 ※2級以上 1級 ・指定する ・指定しない	[6. 5. 2]
	性能値等	「製材の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 強度等級 防虫処理 間伐材等の適用 ※12 ※1類・特類 ※2級以上 1級 ・指定する ・指定しない	[6. 5. 2]
31	「製材の日本農林規格」による普通合板	「製材の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 強度等級 防虫処理 間伐材等の適用 ※12 ※1類・特類 ※2級以上 1級 ・指定する ・指定しない	[6. 5. 2]
	性能値等	「製材の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 強度等級 防虫処理 間伐材等の適用 ※12 ※1類・特類 ※2級以上 1級 ・指定する ・指定しない	[6. 5. 2]
32	「製材の日本農林規格」による普通合板	「製材の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 強度等級 防虫処理 間伐材等の適用 ※12 ※1類・特類 ※2級以上 1級 ・指定する ・指定しない	[6. 5. 2]
	性能値等	「製材の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ(mm) 接合の程度 等級 板面の品質 単板の樹種名 強度等級 防虫処理 間伐材等の適用 ※12 ※1類・特類 ※2級以上 1級 ・指定する ・指定しない	[6. 5. 2]

11 コンクリート工事	① コンクリートの種類等 (6.2.1)	類別 (6.2.1) ※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>スラブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○21</td> <td>2.3程度</td> <td>・15又は18 ○18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> 構造体強度補正値 (S) (6.3.2) ※標準仕様書 表 6.3.2 による 補正値 S=3 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日) S=6 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日)	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラブ	適用箇所	○21	2.3程度	・15又は18 ○18		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	14 無筋コンクリート (6.14.1)	コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は ・フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm ²) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書 6.14.1(4) による箇所 ・ 図示による () 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書 6.3.2(4)(c) による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超過±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m ³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打込み時の気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17-F法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
	設計基準強度 (N/mm ²)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	スラブ	適用箇所																				
	○21	2.3程度	・15又は18 ○18																					
	・	・	・	・																				
	・	・	・	・																				
	・	・	・	・																				
	② セメント (6.3.1)	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は ・フライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) () 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・1FLより下部 (立上り部含む)) () ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ()	15 コンクリートの単位水量測定																					
	③ 骨材 (6.3.1)	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m ³ 以下)																						
	④ 混和材料 (6.3.1)	・混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(a) による () ・混和材 (6.3.1) 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(b) による ()																						
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・ 図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・ 図示による () 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(9)による () ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する () ・ 図示による ()																						
	6 温湿養生 (6.7.2)	温湿養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日																						
⑦ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ a種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>○ b種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td>※図示による ()</td> </tr> </table>	種 別	適用箇所	・ A種	※図示による ()	○ B種	※図示による ()	・ C種	※図示による ()	種 別	適用箇所	・ a種	※図示による ()	○ b種	※図示による ()	・ c種	※図示による ()							
種 別	適用箇所																							
・ A種	※図示による ()																							
○ B種	※図示による ()																							
・ C種	※図示による ()																							
種 別	適用箇所																							
・ a種	※図示による ()																							
○ b種	※図示による ()																							
・ c種	※図示による ()																							
⑧ 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)	打増し厚さ (6.8.1) ○打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ○20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ○10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 ・ 図示による ()																							
⑨ 型枠 (6.8.2)	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ○合板 (※12mm () [G]) コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・ 図示による () ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・ 図示による () 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による () スリーブの材質・規格等 図示による ()																							
⑩ 軽量コンクリート (6.10.1、2)	適用箇所 (6.10.1、2) ○図示による () 種類 ○1種 ・2種 気乾単位容積質量 ○標準仕様書 表 6.10.1 による スラブ ※21cm																							
11 寒中コンクリート (6.11.1、2)	適用期間 (月 日 ~ 月 日) (6.11.1、2) 構造体強度補正値 (S) を積算温度を基に定める場合 ・ 図示による ()、S = ()																							
12 暑中コンクリート (6.12.2)	適用期間 (月 日 ~ 月 日) (6.12.2) 構造体強度補正値 (S) ※6N/mm ² ・ 図示による ()、S = ()																							
13 マスコンクリート (6.13.1、2)	適用箇所 (6.13.1、2) ・ 図示による () セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり (・標準仕様書 6.13.2(2)(7) による ・標準仕様書 6.13.2(2)(4) による) スラブ ※15cm 構造体強度補正値 (S) ※標準仕様書 表 6.13.1 による																							

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区柳町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当	幅尺
			-
			設計年月日
			2023.3.15

工事名称	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事 (第1期工事) (ゼロ債務)
図面名称	特記仕様書 (改修その6)

8 耐震改修工事	(一般事項) 1 適用範囲	・改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事 ・改修標準仕様書における第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分 工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨プレースの設置工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き工法) ・柱補強工事(連続繊維補強工法) ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事	2 セメント	種 類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) ・普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所(・1Fより下部(立ち上がり部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所()	3 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m ³ 以下)	4 混和材料	・混和剤 種類 ※[8.2.5](4)(a)による ・混和材 種類 ※[8.2.5](4)(b)による	5 構造体用モルタル	圧縮強度()、フロー値()	6 ひび割れ誘発目地、打継目地	目地寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書9.7.3(1)(7)~(9)による ・ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による() ・割れ誘発目地の位置 ・図示による()	7 コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ [8.1.4][8.2.7] 種 別 適用箇所 ・A種 ※図示による() ・B種 ※図示による() ・C種 ※図示による() コンクリートの仕上りの平たんさ 種 別 適用箇所 ・a種 ※図示による() ・b種 ※図示による() ・c種 ※図示による()	8 打増し厚さ(打直し仕上げ部)	打増し厚さ [8.7.8] ・打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm・20mm 打増し範囲 ・図示による()	9 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2)[8.2.7] ・合板(※12mm) [G] ・コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による() ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による() 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による() スリーブの材質・規格等 ・図示による()	10 型枠の加工及び組立	シアコネクタをセパレーターとして使用 適用箇所 ・図示による()	11 無筋コンクリート	コンクリートの種類 ・普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による() (6.14.1) 設計基準強度 ※18(N/mm ²) [8.11.1] スランプ ※15cm又は18cm	12 コンクリートの打込み工法等	コンクリートの打設工法の種類 [8.21.8][8.23.5] 現場工事 工法の種類 適用箇所 ・現場打ちコンクリート 工法指定なし 全ての増設部 図示による() ・一ト壁の増設工事 工法指定なし 全ての増設部 図示による() ・圧入工法8.21.8(1)(4)(3) 全ての増設部 図示による() ・図示による() ・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法) 工法指定なし 全ての柱補強部分 図示による() ・圧入工法8.21.8(1)(4)(3) 全ての柱補強部分 図示による() ・図示による() ・工法指定なし 全ての増設部 図示による() ・流込み工法8.21.8(1)(7)(2) 全ての増設部 図示による() ・圧入工法8.21.8(1)(4)(3) 全ての柱補強部分 図示による()	5 普通ポルト	ポルト及びナットの材料 (7.2.3) ・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ポルトの規格は、JIS B 1180とする。 (ポルトの種類は、呼び径六角ポルト又は全ねじ六角ポルトとし、材料は鋼とする。ポルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ポルトの軸径の最大寸法は、ポルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。) ポルトのねじの呼び ・図示による() 産金 ・図示による() 戻り止め ※二重ナット ポルトの縁端距離、ポルト間隔、ゲージ等 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びポルト間隔)	6 アンカーボルト	・構造用アンカーボルト (JIS B 1220) (7.2.4)(7.10.3) 種類 ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト (JIS G 3101) 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書7.2.3による	7 溶接材料	・[8.2.10](1)、(2)による [8.2.10] ・[8.2.10](1)、(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による()	8 ターンバックル	種類 (7.2.6) 建築用ターンバックル ※羽子板ボルト 建築用ターンバックル調 ※割枠式 ねじの呼び ・図示による()	9 スタッド	頭付きスタッド(JIS B 1198)の種類等 [8.2.11][8.16.6] 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 スタッド溶接完了後、外観試験及び打撃曲げ試験を行う。	10 製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 鉄骨精度検査基準に加えて、次による。 [8.13.3] 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い、仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による	11 溶接作業者の技量付加試験	試験の要領 [8.15.3] ・図示による()	12 溶接接合	開先の形状 [8.15.4] ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2 溶接継手の種類別開先標準) エンドタブの切除する部分 [8.15.7] 切断する場所 ・図示による() 切断範囲 ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から5mm以上残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ [8.15.7](1)(a)(b)②による スカラップの形状 ・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(4)改良型スカラップ)	13 入熱、バズ間温度の管理	適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部	14 溶接部の試験	H12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 [8.15.12] ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ・抜き取り検査②	15 錆止め塗装	JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する確認方法等 ・JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶け込み溶接部の外観検査の抜き取り場所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不適合箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶け込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ・工事現場溶接の場合 ※全数	16 耐火被覆	塗装の範囲 [8.17.2] 耐火被覆材の接着する面 ・図示による() 耐火被覆材の接着する面以外 ※[8.17.2](1)(7)~(7)以外の範囲 ・図示による() 塗料の種類 [7.3.2][8.17-4] ・鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ・表7.3.1] A種 屋内 ・表7.3.1] ()種 ・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ・表7.3.2] ()種 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ※表7.3.1] A種 ・耐火被覆材の接着する面へ塗装する場合の錆止め塗料 ・表7.3.1] ()種 ・表7.3.2] ()種	18 アンカーボルト等の設置 (7.10.3) 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による() 建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [表7.10.1] 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 [表7.10.2] 厚さ 種別 ※A種 ・B種	19 溶融亜鉛めっき(基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る。)	種別等 [8.20.4][表8.20.1] 亜鉛めっきの種別 材料 適用部位 ・A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板 ・B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 ・C種 普通ポルトランドナット類、アンカーボルト類 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 外観検査 ※行う ・行わない	(あと施工アンカー) ①あと施工アンカー	仕様等 [8.2.4] 金属系アンカー(耐震補強用) 引張耐力 ※図示による() せん断耐力 ※図示による() アンカー本体の径及び埋込み長さ ・図示による() セット方式 ※本体打込み式改良型 接合の種類、径、長さ ・図示による() ○接着系アンカー 引張耐力 ※図示による() せん断耐力 ※図示による() アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ・カプセル方式打込み型 接着剤の品質 ※有機系 ・無機系 アンカー本体の径及び埋込み深さ ・図示による(「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項) アンカー筋の種類 ・表8.2.2]の異形棒鋼 ・全ねじボルト アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・図示による(「耐震改修共通事項」アンカー関係共通事項)	(グラウト工事) ①柱底均しモルタル及びグラウト材	・柱底均しモルタル [8.12.12] ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び割合 ※[8.12.12](1)(7)から(1)による ○グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルファオ・アルミ ネート等)によって膨張する性質を利用するものとする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンステンション Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリーディング 練り混ぜ2時間後のブリーディング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0N/mm ² 以上 塩化物質 0.30kg/m ³ 以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物質の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート巻き	連続繊維シート [8.2.13] 材料 ・図示による() 工法 ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 引張強度(含浸硬化後) ・3000N/mm ² 以上 ヤング係数(含浸硬化後) ・2.35×10 ¹⁰ N/mm ² 程度 ・2.00×10 ¹⁰ N/mm ² 以上 下地調整 ひび割れ部の改修工法の種類 ・樹脂注入工法・Uカット・シール材充填工法・シール工法 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ※工法の評価内容による 連続繊維補強材の強度試験 引張強度試験 ※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による	(耐震スリット新設工事) 1 施工前埋込み配管等の探査	既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 [8.12.4] ・鉄筋探知器(金属探知器)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨を出を行う ・探査方式 ・電磁波レーダ法(3D表示対応型) ・電磁波レーダ法又は電磁波誘導法 ・はつり出しによる	2 耐震スリット	幅及び深さ ・図示による() 設置箇所 ・図示による()	3 充填材の挿入及び周囲補修	・耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による() ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修	(免震改修工事)	・別添の免震工事特記仕様書による	(制振改修工事)	・別添の制振工事特記仕様書による
-------------	------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	-------------------------------------------------------------------	--------	--------------------------------------------------------	------------	-----------------	-----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------	--------------------------------------	-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	-------------------------------------------------------------------------------	-----------	----------------------------------------------------------------------------------	--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------	-----------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------	-------------------------------------------------	-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------	-----------------------------------	----------------	--------------------------------------------------------------------------	----------	------------------	----------	------------------

<p>(土工事及び地業工事)</p> <p>1 既存杭の撤去等</p> <p>2 土工事</p> <p>3 地業工事</p>	<p>撤去範囲及び撤去方法 図示による () [8. 28. 2]</p> <ul style="list-style-type: none"> 杭頭部の処理 図示による () 既存杭の補強 図示による () 健全性の確認試験 図示による () <p>埋戻し及び盛土の種別 [8. 28. 3]</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 適用場所 () B種 適用場所 () C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () D種 適用場所 () <p>品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。</p> <p>六価クロム溶出試験 行う</p> <p>建設発生土の処理 構内指示の場所に堆積 構内指示の場所に敷均し</p> <p>鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する</p> <p>山留め壁等の存置 行う(存置範囲 ※図示)</p> <p>杭地業 [8. 2. 15][8. 28. 4]</p> <p>支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) 図示による ()</p> <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等 図示による ()</p> <p>試験杭の位置、本数、寸法、施工方法 図示による ()</p> <p>杭の載荷試験 適用(鉛直・水平) 試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示)</p> <p>地盤の載荷試験 適用(※平板) 試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示</p> <p>杭の溶接継手 あり(継手の箇所数、材料、工法等 ※図示) 技能資格者の技量及び溶接部の確認 ※図示</p> <p>杭頭の処理等 する(処理方法(切断にともなう補強方法含む)※図示) 記録する施工状況等 図示による ()</p> <p>砂利地業 [8. 2. 15][8. 28. 4]</p> <p>材料 再生クラッシュラン [G] 切込砂利又は切込砕石</p> <p>施工範囲 図示による ()</p> <p>厚さ ※60mm</p> <p>砂地業 [8. 2. 15][8. 28. 4]</p> <p>材料 シルト 有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂</p> <p>施工範囲 図示による ()</p> <p>厚さ ※60mm</p> <p>捨コンクリート地業 [8. 11. 1~3][8. 28. 4]</p> <p>材料 ※普通コンクリート</p> <p>設計基準強度 ※18N/mm²</p> <p>スランブ ※15cm又は18cm</p> <p>施工範囲 図示による ()</p> <p>厚さ ※50mm(※平たん仕上げ)</p>								
----------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--

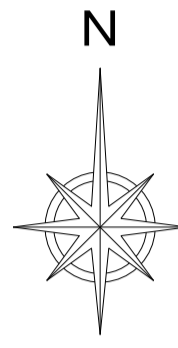
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榑引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当

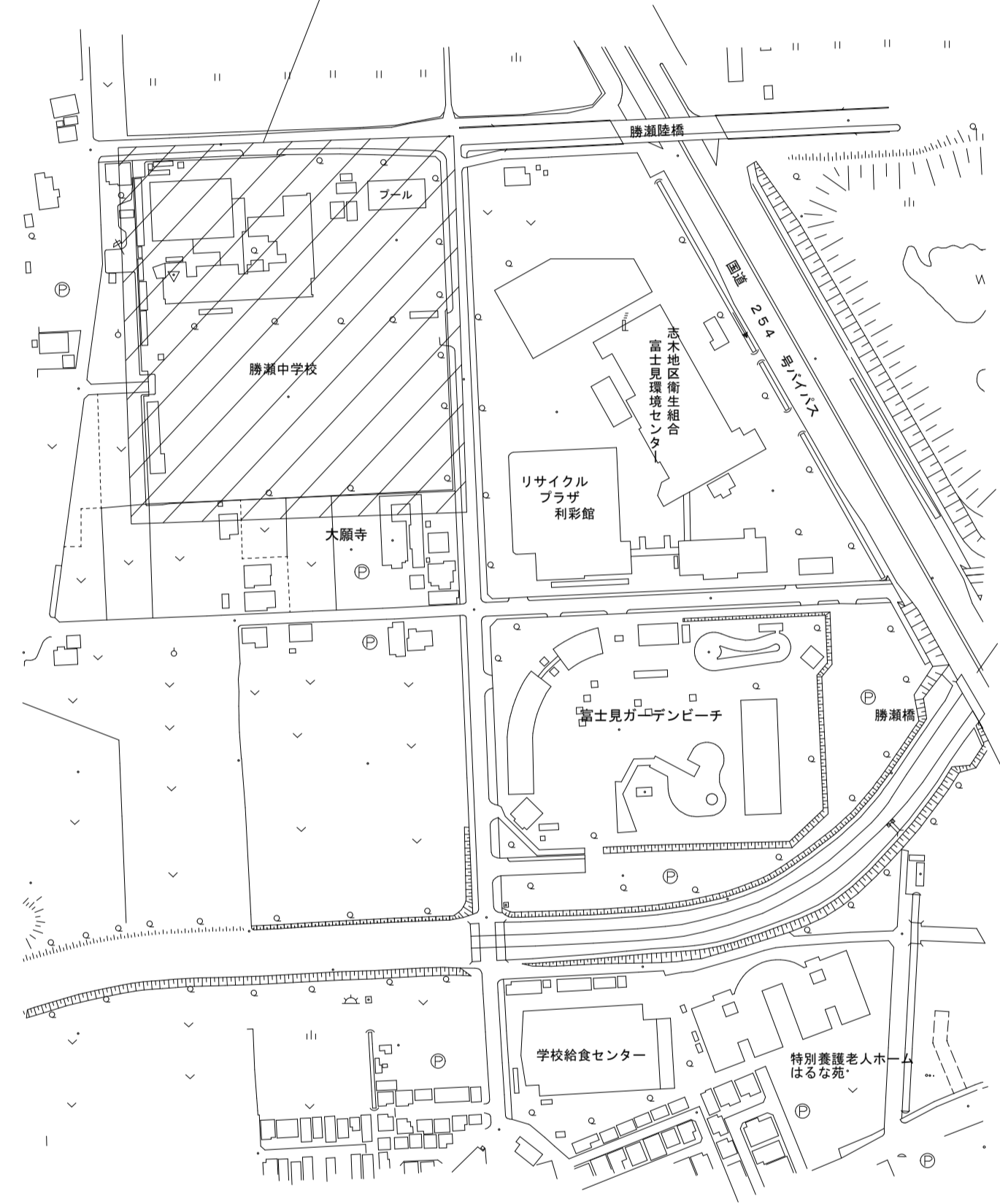
縮尺	-
設計年月日	2023.3.15

工事名称	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
図面名称	特記仕様書(改修その8)

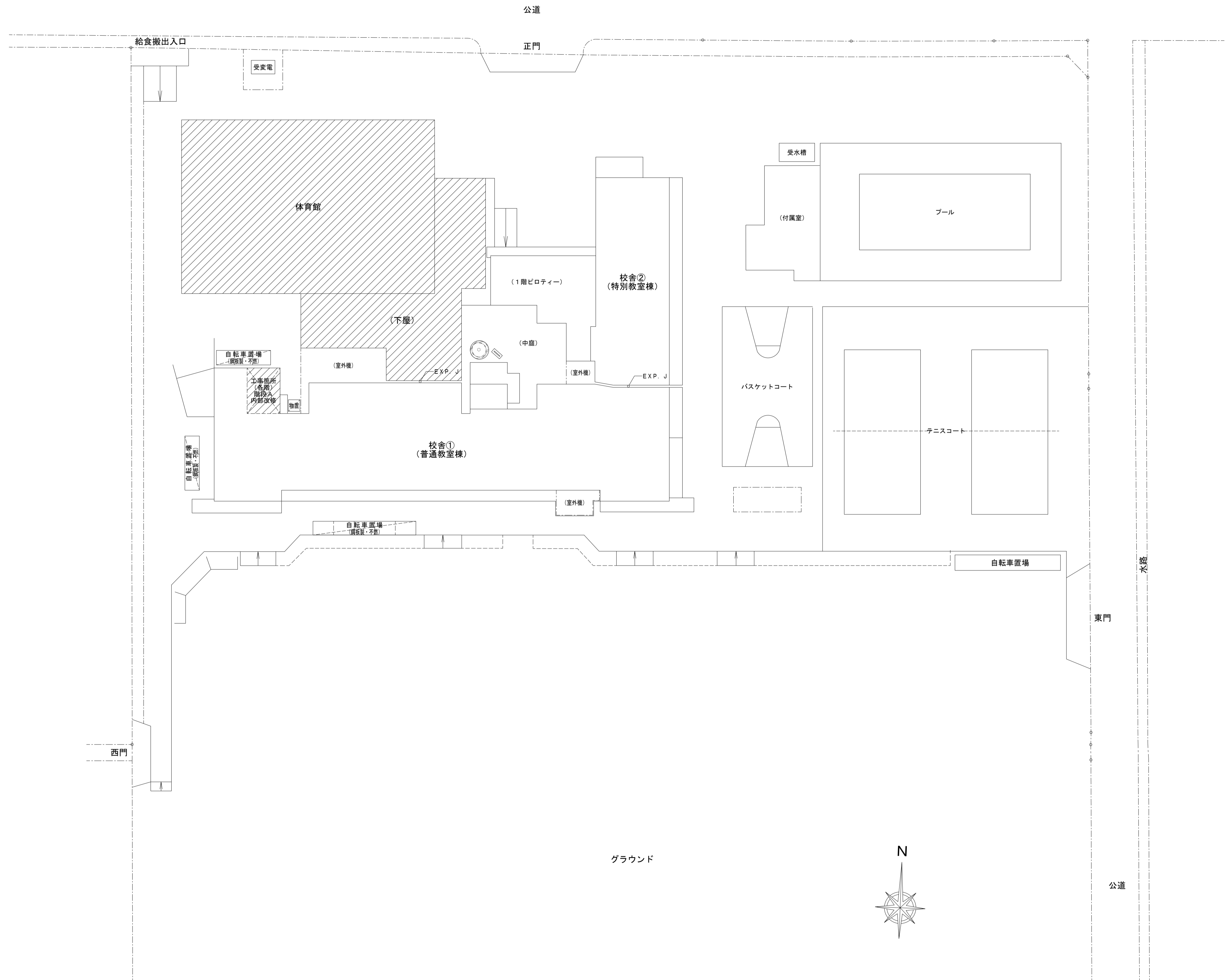
工事区分表																														
項目		A	E	M	別	考	項目		A	E	M	別	考	項目		A	E	M	別	考										
仮設・躯体関係							仕上げ関係							屋外排水設備・外構							空調設備									
1. 仮設	仮囲い	○					1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○				各設備に合わせる	1. 雨水	縦樋	○	○			GL以降 M	機器への電源供給	○				1次側				
	共通足場	○						補強を要しないボードの切り込み	○	○			各工事毎とする		屋外雨水排水設備								機器の渡り配線及びリモコンスイッチの配線、エアコン及び全熱交換機用リモコンスイッチ取付	○						
	敷き鉄板	○						開口部の墨出し		○	○		各工事毎とする		樹及び樹ふた								機器とリモコンスイッチの渡り配管及びスイッチボックス取付	○						
	作業足場	○	○	○				開口部の補修	○						雨水貯留槽								集中リモコン工事	○						
	請負者事務所・下小屋・材料置場等	○	○	○												雨水貯留槽連通管														
	監督員事務所							2. つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○												動力						
	工事用水・電力・ガス等	○	○	○												2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備								動力制御盤までの一次側電源工事		○			
	残材場外処分	○	○	○				3. 外壁まわり	ウエザーカバー・ベントキャップ				○				樹及び樹ふた								同上の二次側配管配線		○			
									換気扇・配管				○		○	FD付 M サッシAP・穴あけ加工共 A														
									開口部の補修				○			シーリング等 A														
2. RC造(梁・壁・床)の貫通孔開口部	補強を要する型枠材及び取付け	○					4. 流しまわり	流し台・つり戸棚・コンロ台	○	○	○		照明・ｺﾝﾎﾞ電源 E 給排水・ｶﾞｽ M	3. 植栽	植栽及び客土															
	補強を要しない型枠材及び取付け		○	○				フード		○	○		ｺﾝﾎﾞ電源 E																	
	貫通孔・開口部の径出し		○	○																										
	貫通孔・開口部の補強	○																												
	スリーブ・型枠の穴埋め		○	○				5. 浴室まわり(シャワー室)	ユニットバス(ユニットシャワー室)	○	○	○			本体撤去 A 設備撤去 各工事毎とする															
	躯体貫通部の防水処理	○	○	○				給水・給湯エルボ、排水トラップ					○		○	設備撤去 各工事毎とする														
3. 設備機器の基礎	建築図に記載のあるもの	○					換気扇					○	○	設備撤去 各工事毎とする																
	屋外・屋上のコンクリート基礎	○					照明、ジョイントボックス					○	○	設備撤去 各工事毎とする																
	屋上基礎で躯体にアンカーしない軽微なもの		○	○			6. 便所・洗面まわり(水廻り)	洗面カウンター・洗面化粧台	○	○	○		照明・ｺﾝﾎﾞ電源 E、給排水 M																	
	機器取付用アンカー・架台		○	○			化粧鏡					○																		
							衛生器具						○																	
							身障者用手摺																							
							衛生器具取付補強下地						○																	
							紙巻器																							
							7. フリーアクセスフロア	コンセント					○		撤去															
								床パネルの切り込み加工																						
4. その他	地下ピット内の通気・通水・換気パイプ			○			一時撤去・再設置																							
							撤去・新設					○		本体撤去 A																
							8. その他	二重ピット及びトレンチのマンホールふた																						
							化粧マンホール上ふたの表面仕上げ																							
							点検口(天井・床下)					○		開口補強共																
							洗面器ライニング					○	○	給排水 M 仕上・下地 A																
							家具(実習台等)設置工事					○	○	本体 A ｺﾝﾎﾞ電源 E、給排水・ｶﾞｽ M																



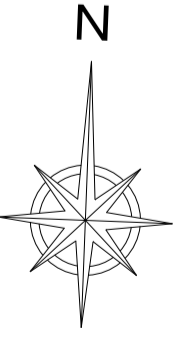
工事場所：富士見市大字勝瀬400-1
富士見市立勝瀬中学校



案内図 NOSCALE



グラウンド



配置図 S=1/300 ※詳しくは、別図、体育館による。

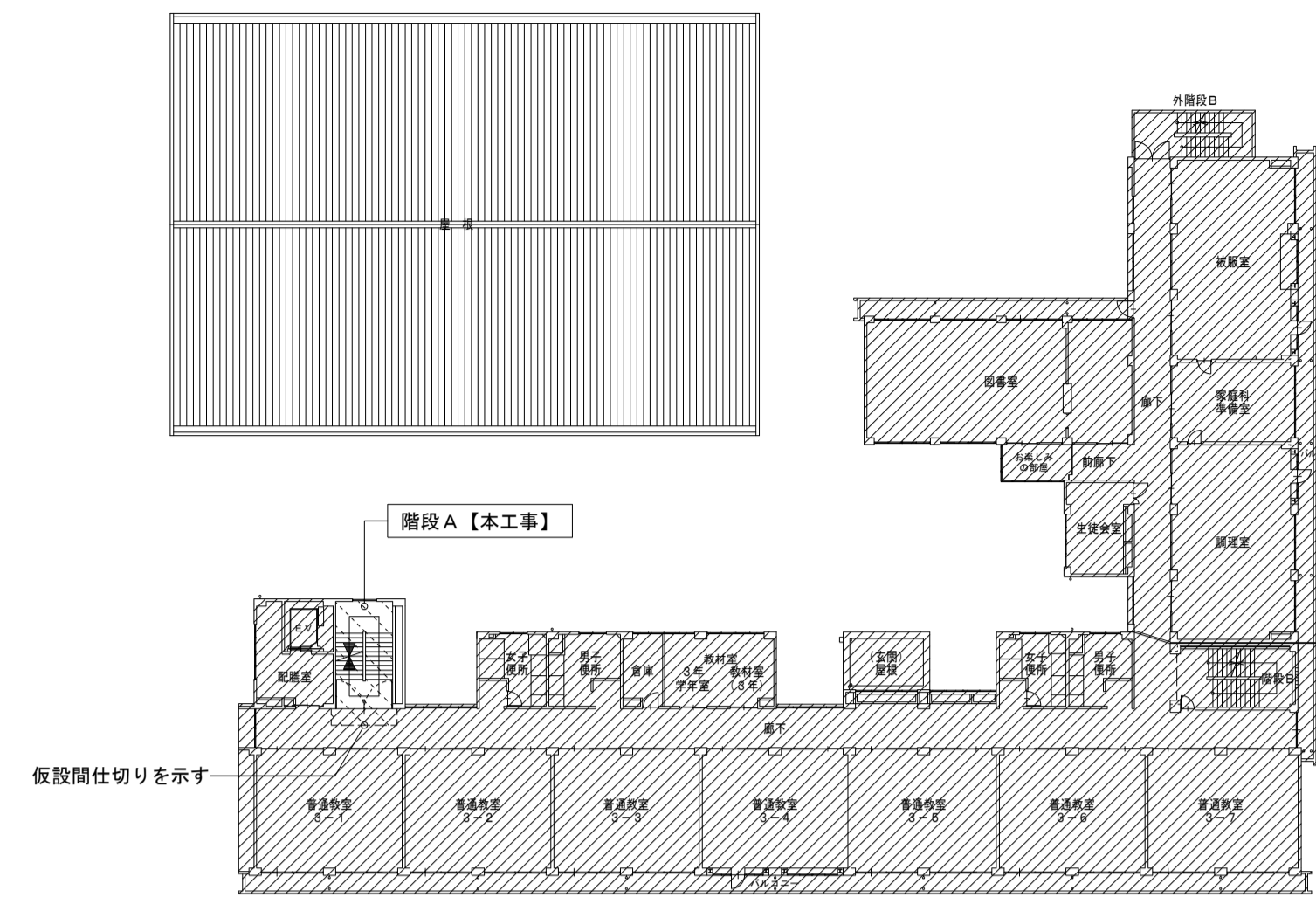
凡例： は、工事建物を示す。

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榑引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 秀

承認	設計	担当

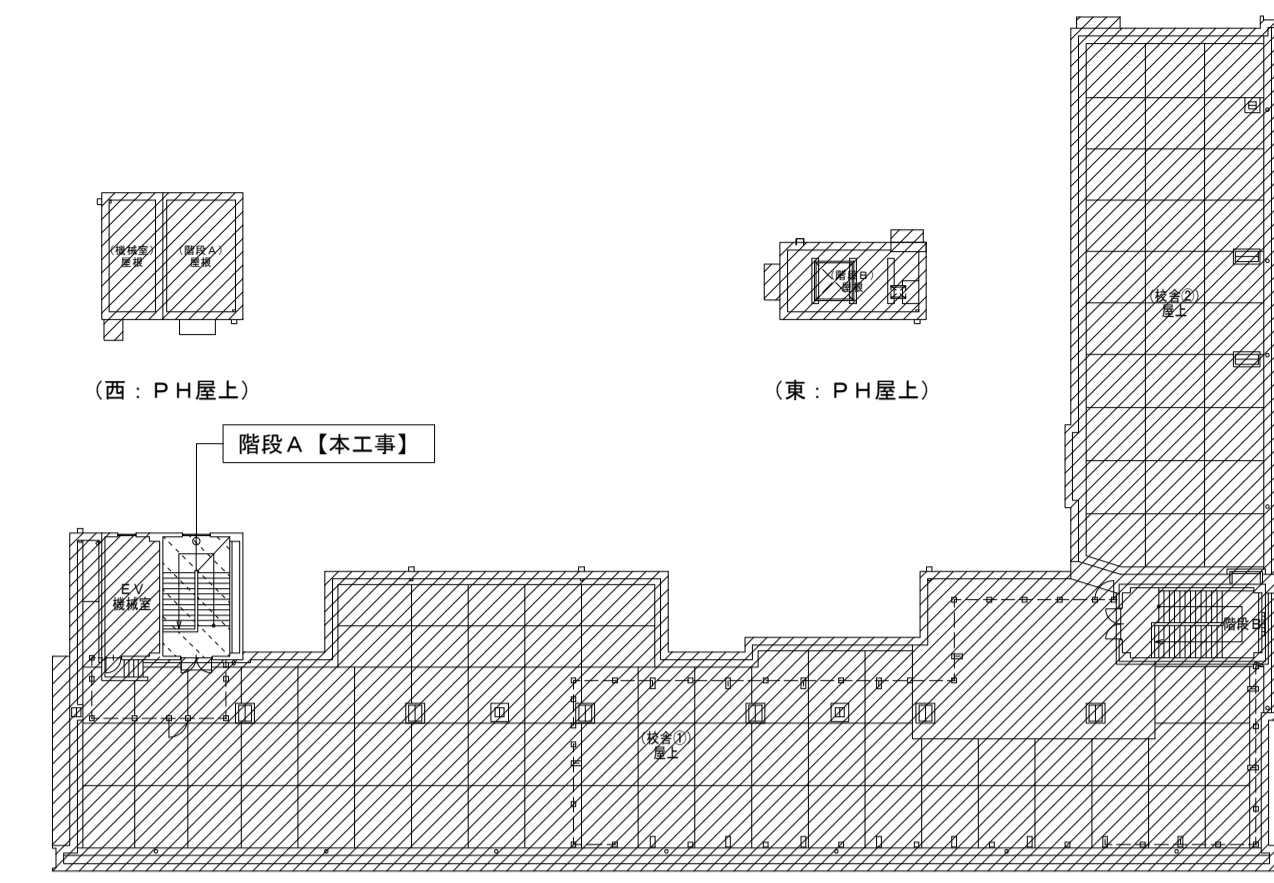
縮尺 A1: 1/200
A2: 1/600
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第1期工事) (ゼロ債務)
図面名称 案内図、配置図



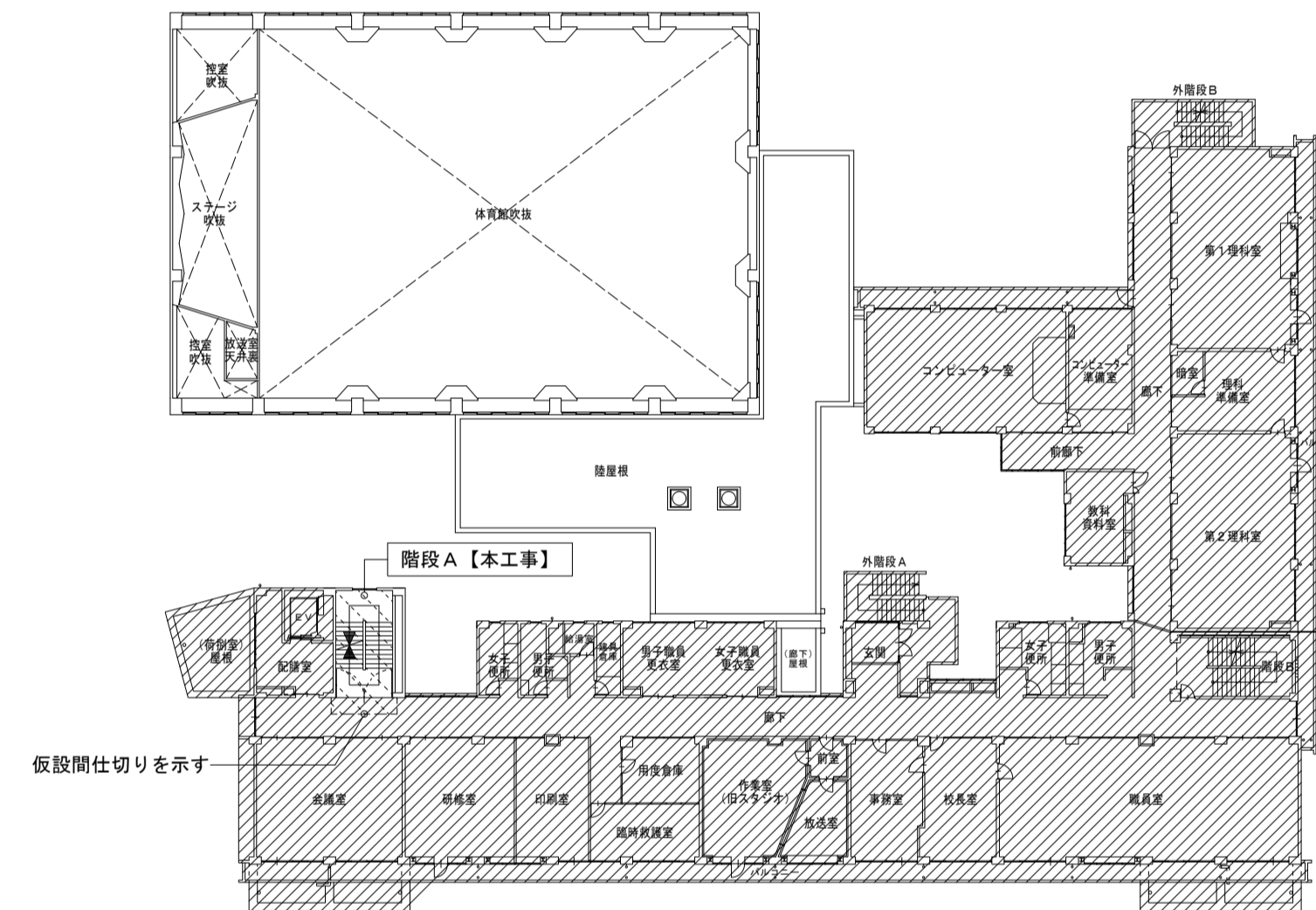
内部改修
 期間：夏休み～9月工事
 箇所：（各階）階段A
 内容：・内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修工事
 他、上記に係る設備工事（別途）

3階平面図 S=1/400



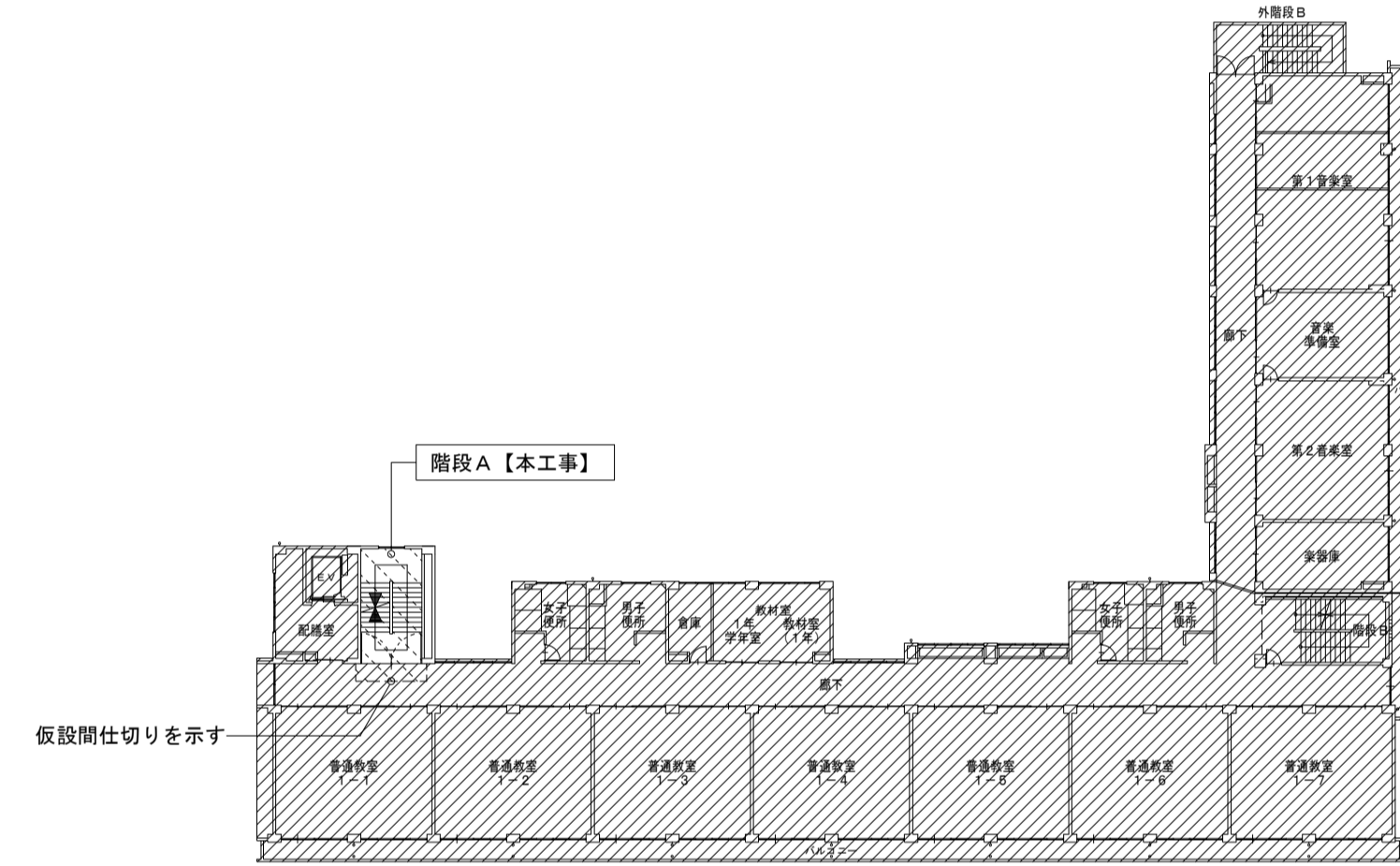
内部改修
 期間：夏休み～9月工事
 箇所：（各階）階段A
 内容：・内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修工事
 他、上記に係る設備工事（別途）

R階平面図 S=1/400



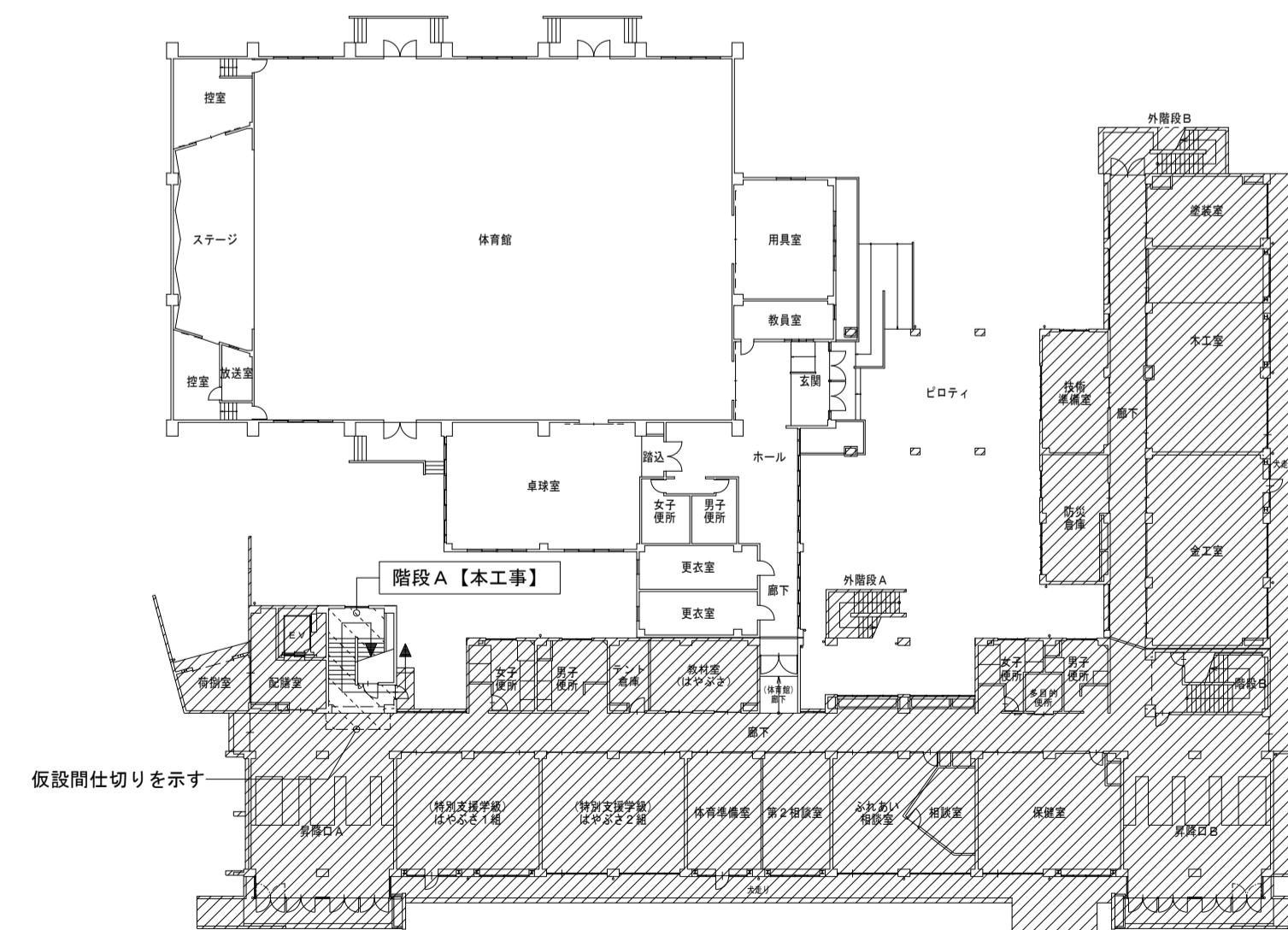
内部改修
 期間：夏休み～9月工事
 箇所：（各階）階段A
 内容：・内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修工事
 他、上記に係る設備工事（別途）

2階平面図 S=1/400



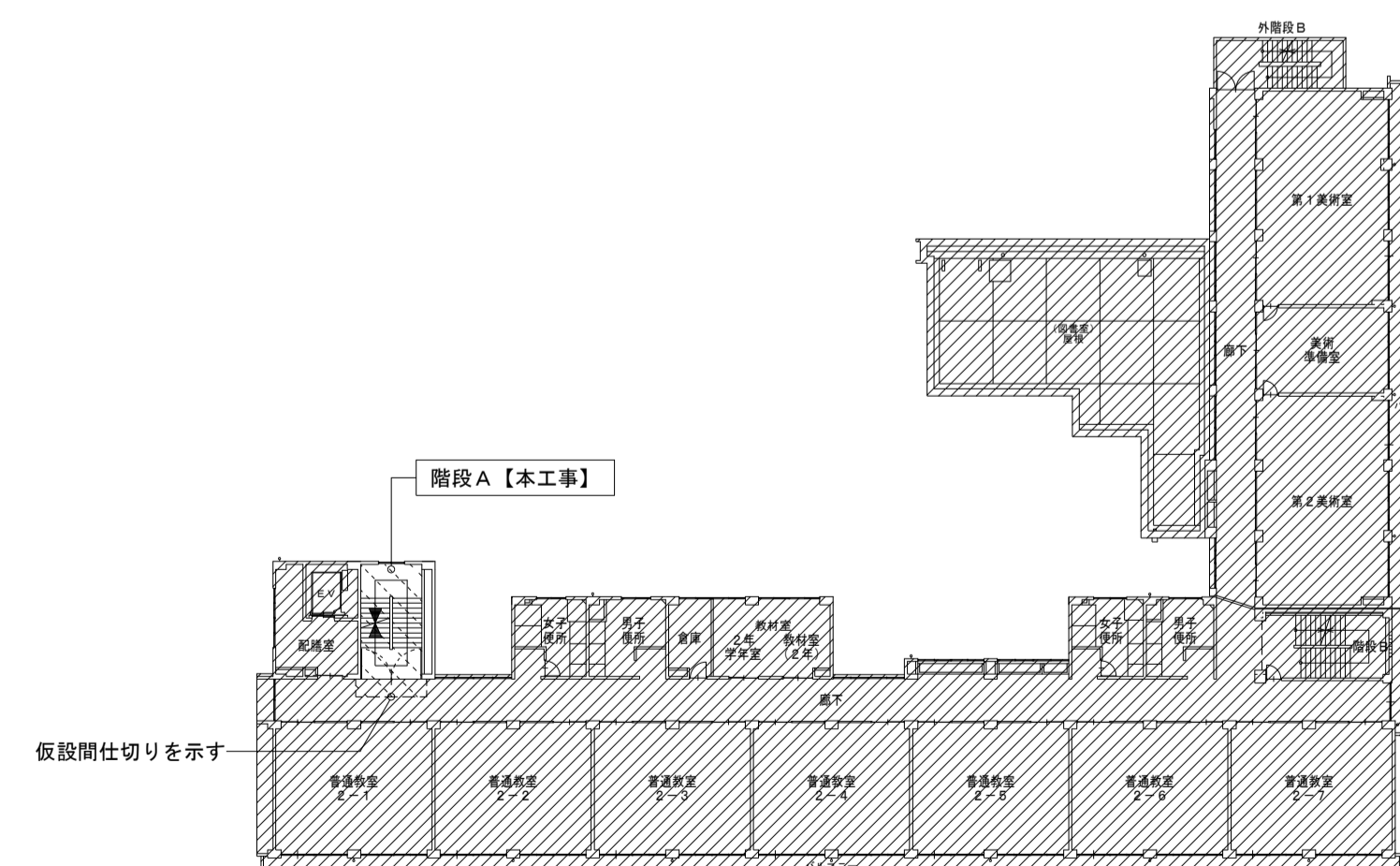
内部改修
 期間：夏休み～9月工事
 箇所：（各階）階段A
 内容：・内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修工事
 他、上記に係る設備工事（別途）

5階平面図 S=1/400



内部改修
 期間：夏休み～9月工事
 箇所：（各階）階段A
 内容：・内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修工事
 他、上記に係る設備工事（別途）

1階平面図 S=1/400



内部改修
 期間：夏休み～9月工事
 箇所：（各階）階段A
 内容：・内壁アスベスト除去工事
 ・内部改修工事
 他、上記に係る設備工事（別途）

4階平面図 S=1/400

夏休み～9月工事（事前準備は協議による）
 凡例：
 [Hatched Area] は、工事対象外を示す。
 [Dashed Line] は、工事完了箇所を示す。
 [Arrow] は、工事動線を示す。
 [Blue Hatched Area] は、床養生（ブルーシート敷）を示す。

※以降、各図において、上記工事内容に伴う該当箇所について【工事範囲】とする。

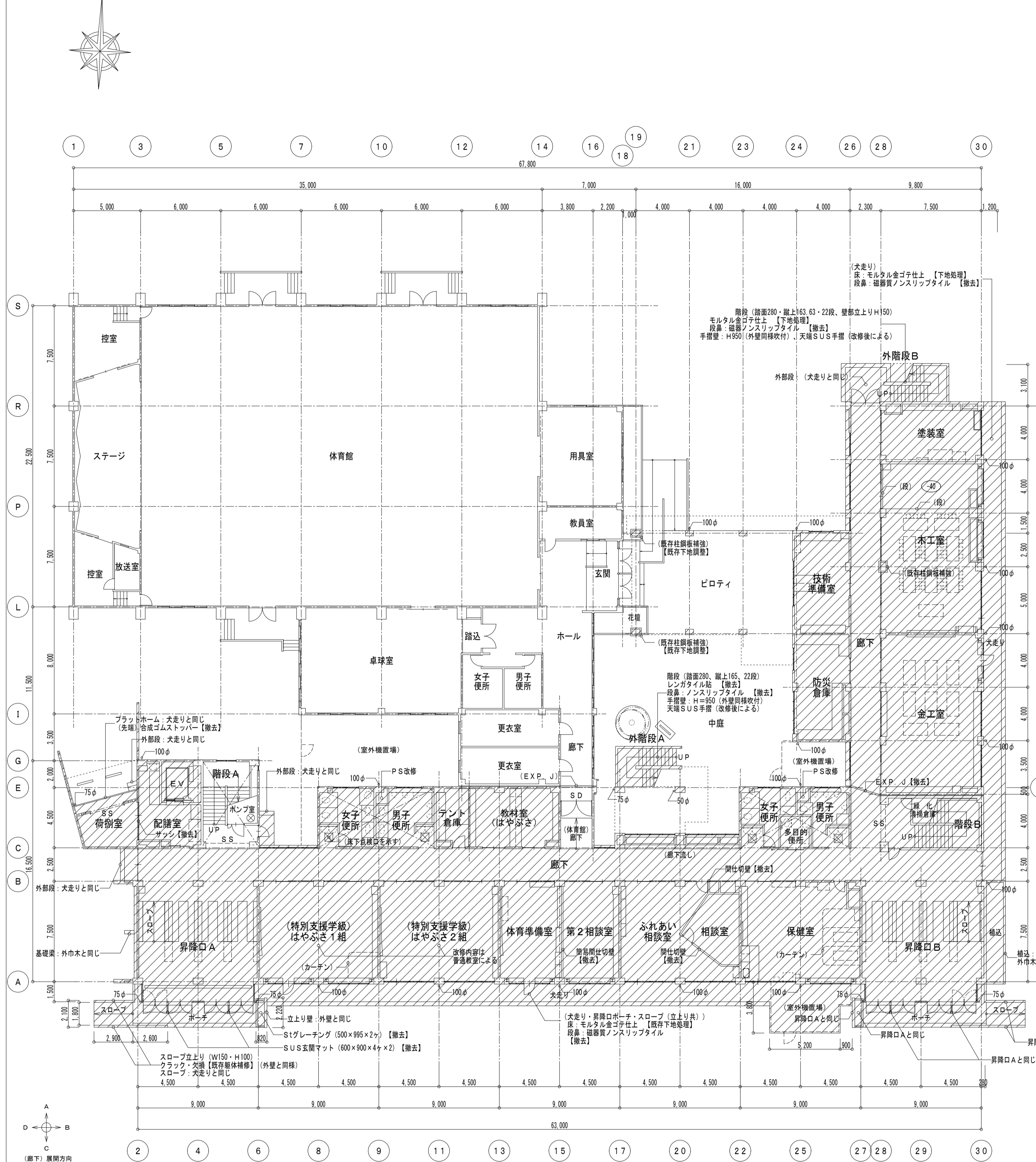
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/400
 A3:1/800
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事（第1期工事）（ゼロ債務）
 図面名称 工事範囲図（第1期工事）、（内部改修：工事箇所・内部仮設・工事動線（参考））

改修前

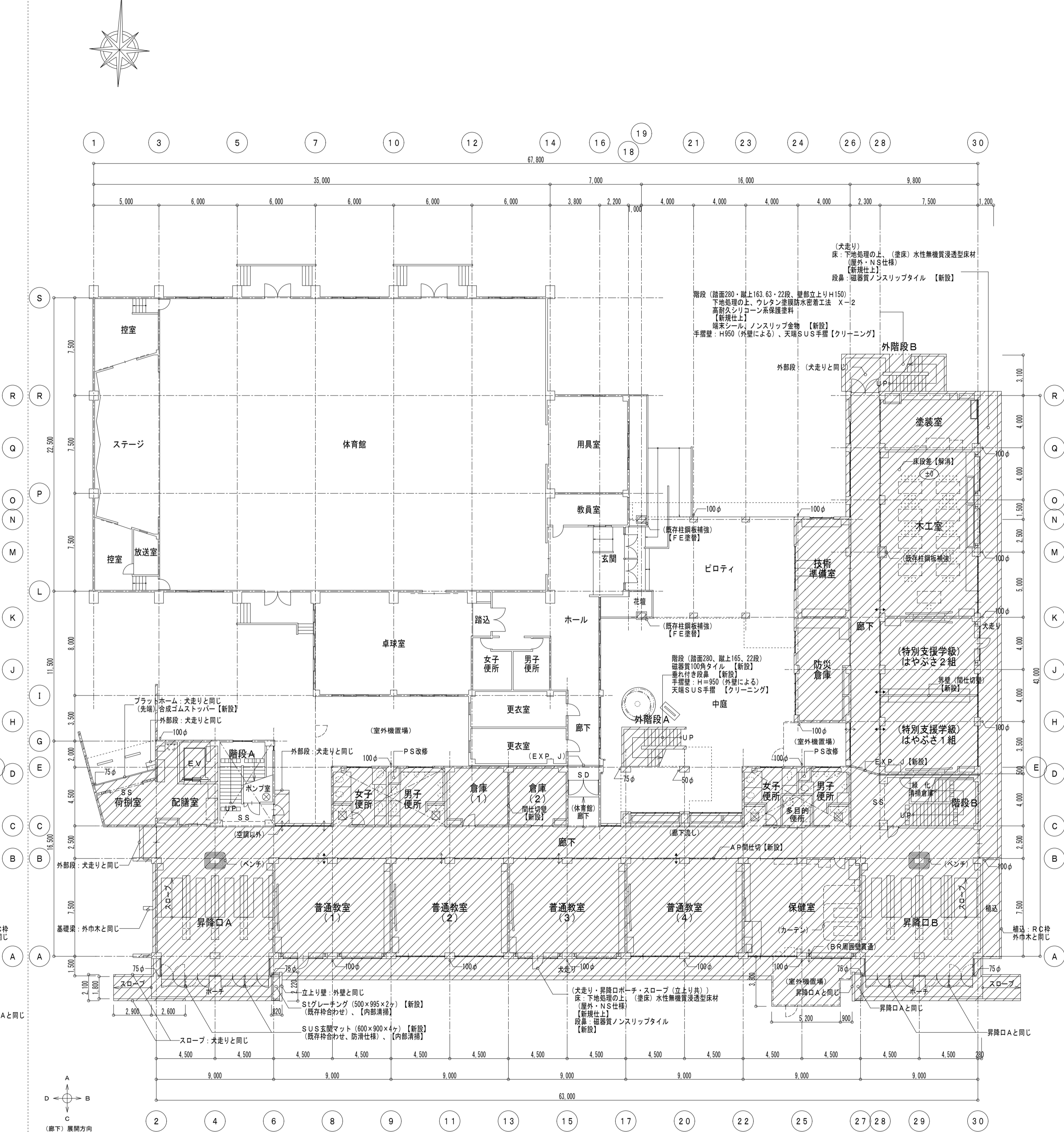
N



改修前 1階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図・各室詳細図参照)

改修後

N



改修後 1階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図・各室詳細図参照)

凡例: は、工事対象外を示す。

(外壁窓100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)

凡例: は、工事対象外を示す。

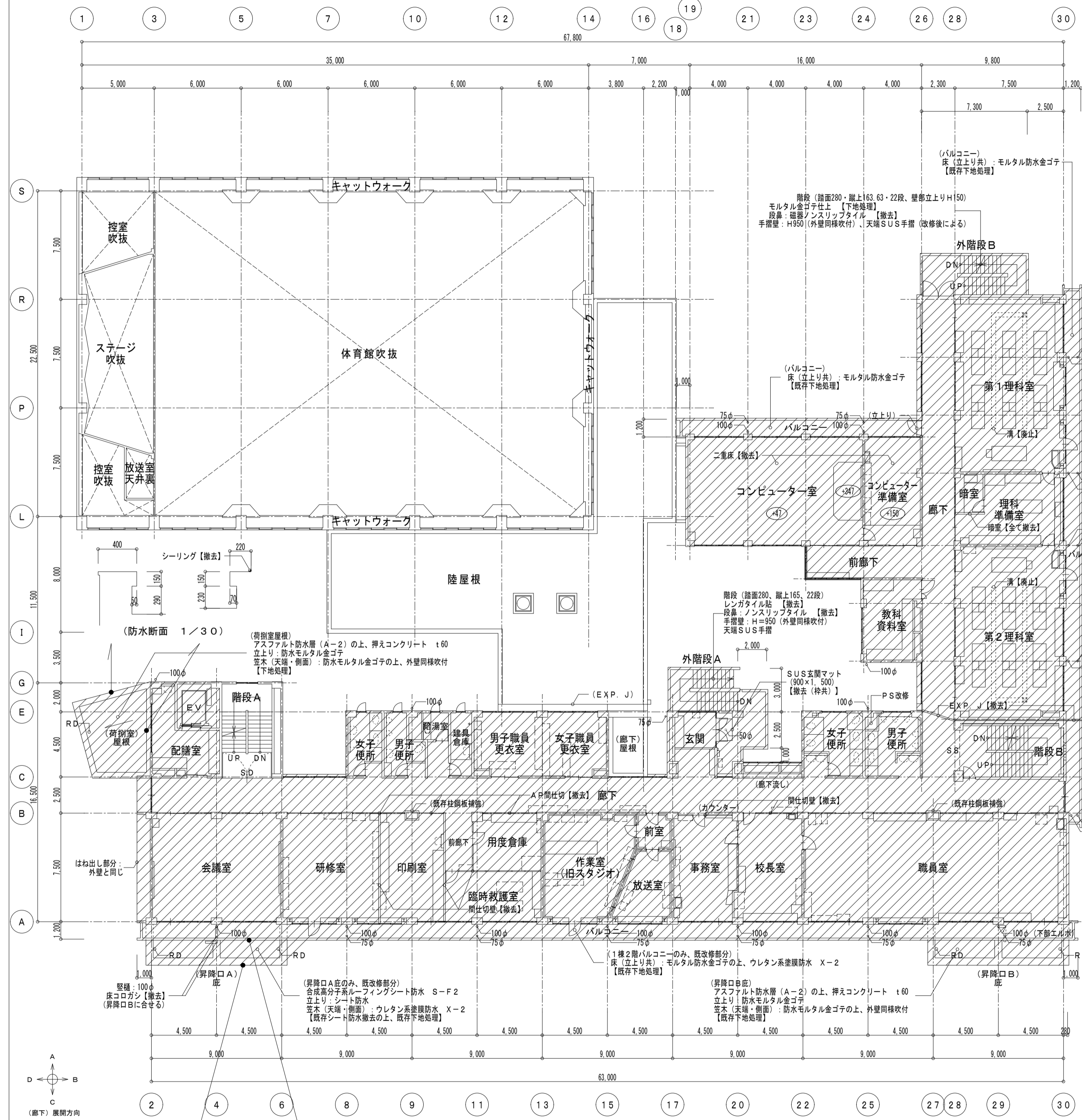
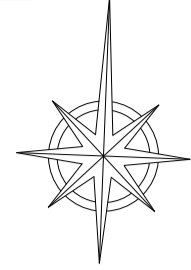
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区柳町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日
 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 1階平面図

改修前

N

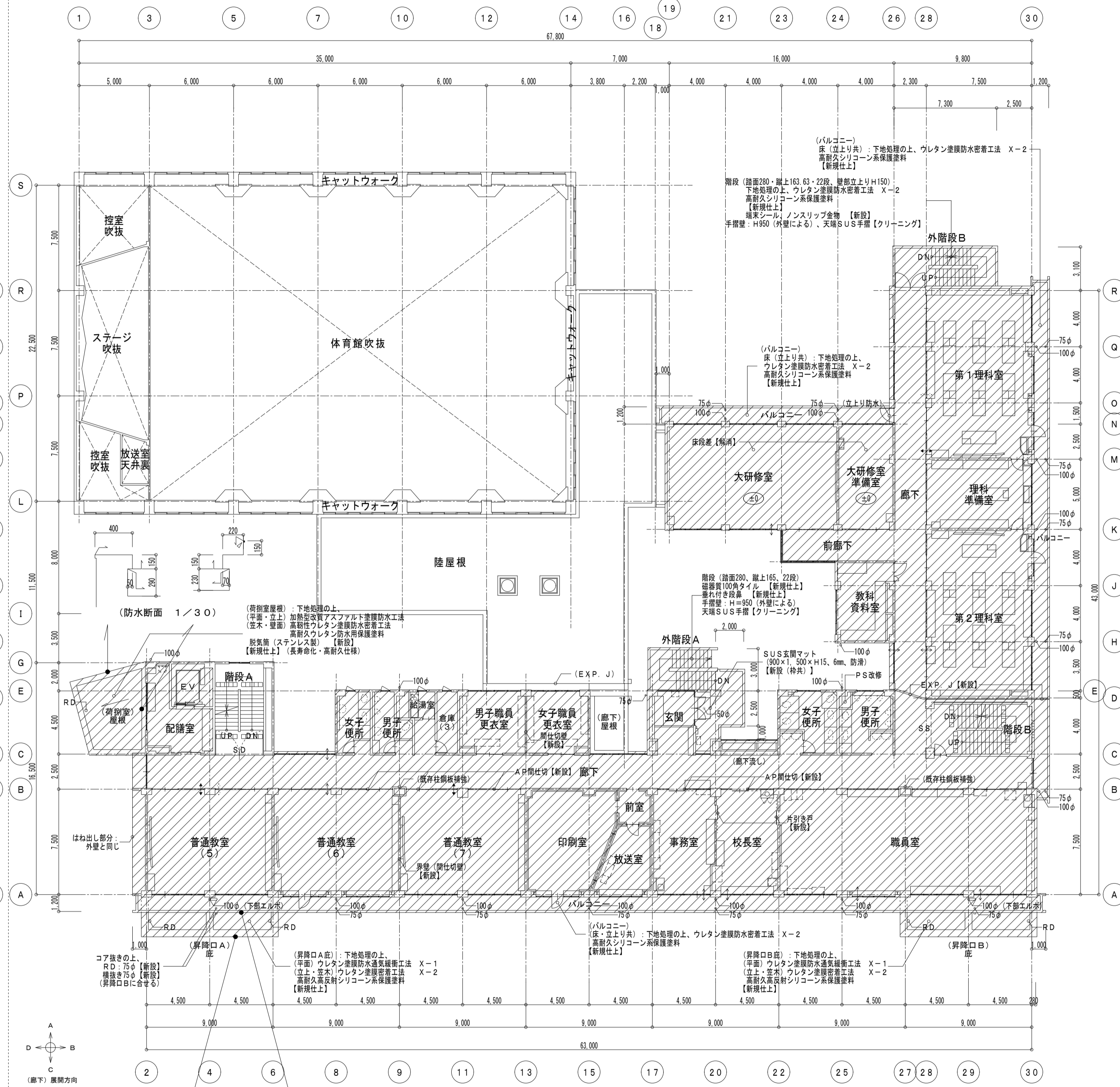
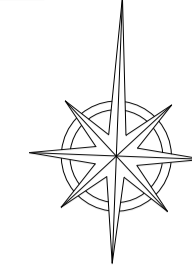


改修前 2階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

(防水断面 1/30)

改修後

N



改修後 2階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図：各室詳細図参照)

(防水断面 1/30)

凡例: は、工事対象外を示す。

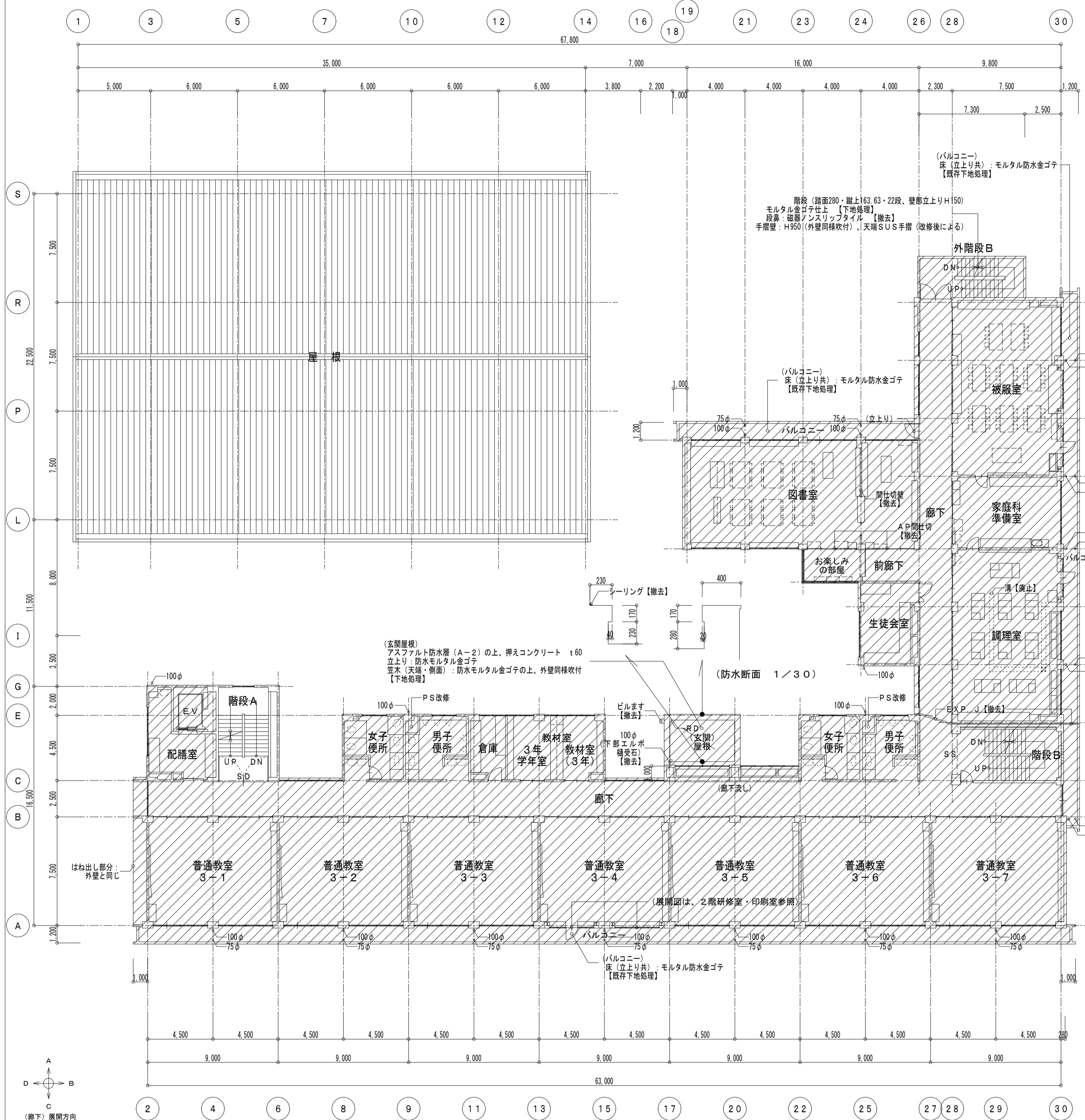
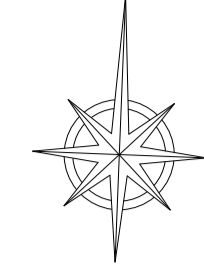
(外部壁種100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)
(防水断面の は、改修後の防水仕上げ区分【新設】を示す)

凡例: は、工事対象外を示す。

(普通教室(*)は、改修後のクラス名(*)は、工期毎の教室移動により変わる為、事前に確認する)
(参考) 図中、各矢印(下記凡例)は、パーティション・外部サッシ(一部壁)の改修後の配置位置を示す。(*設置工事と調整) 建築改修のガラス・アルミパネル【撤去・新設】へ反映する。
凡例
①空調配管改修用 ↑【撤去・新設】 ↓【新設】
②(屋上)PS配管貫通部 穴埋めに伴う改修
PS配管改修用 ↑【新設】(5階)

改修前

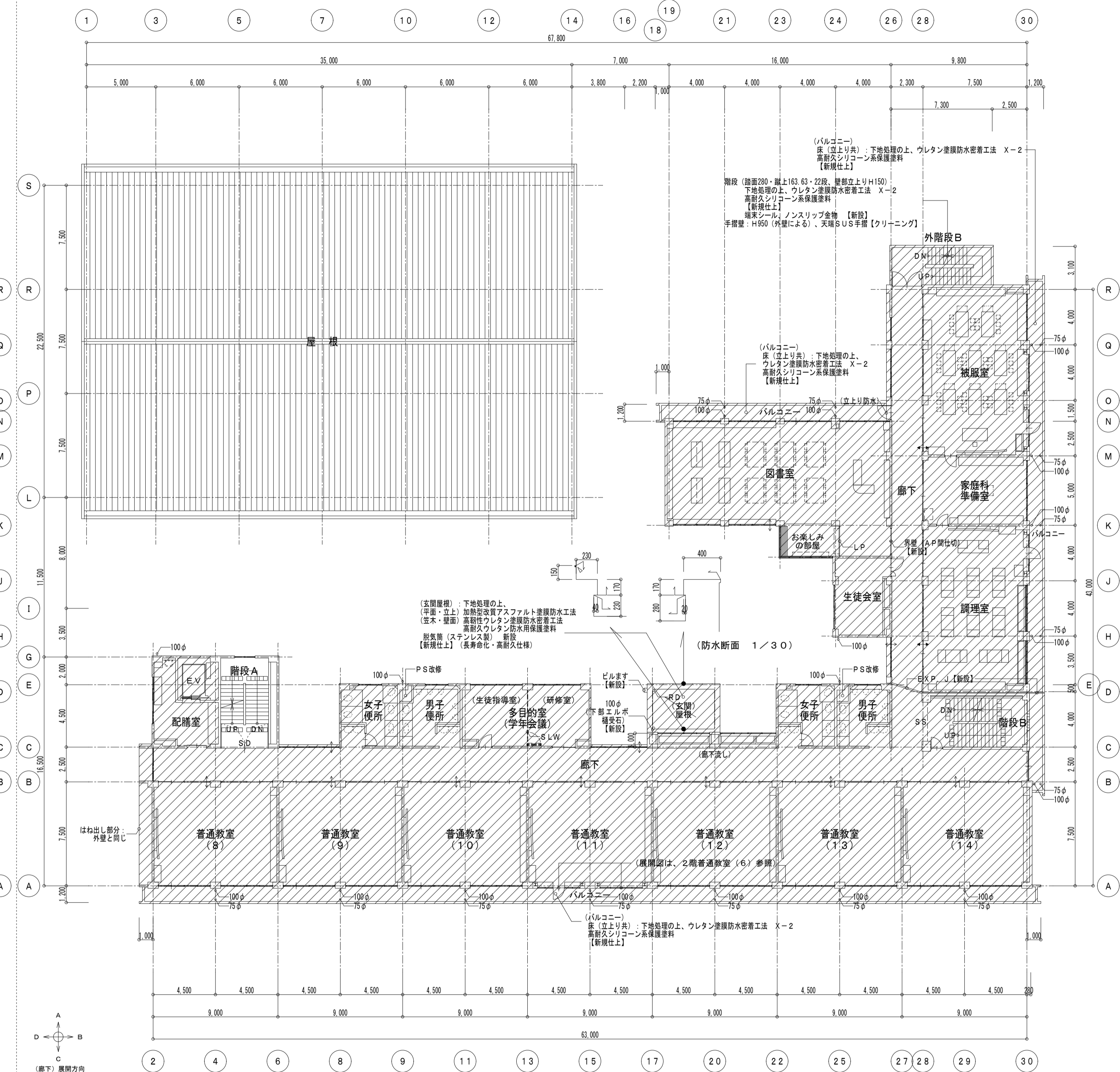
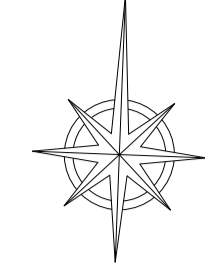
N



改修前 3階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図・各室詳細図参照)

改修後

N



改修後 3階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図・各室詳細図参照)

凡例: は、工事対象外を示す。

凡例: は、工事対象外を示す。

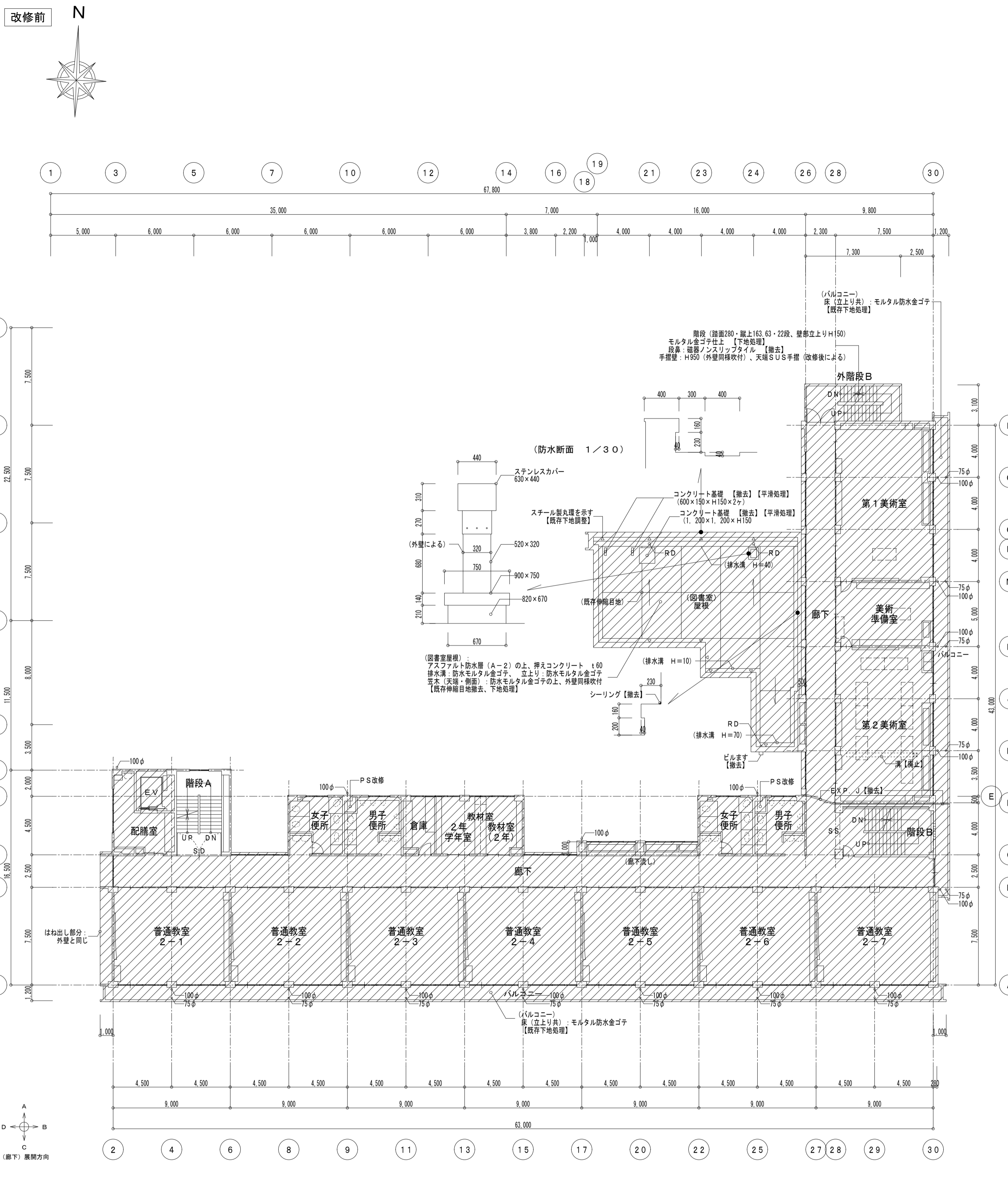
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榑引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

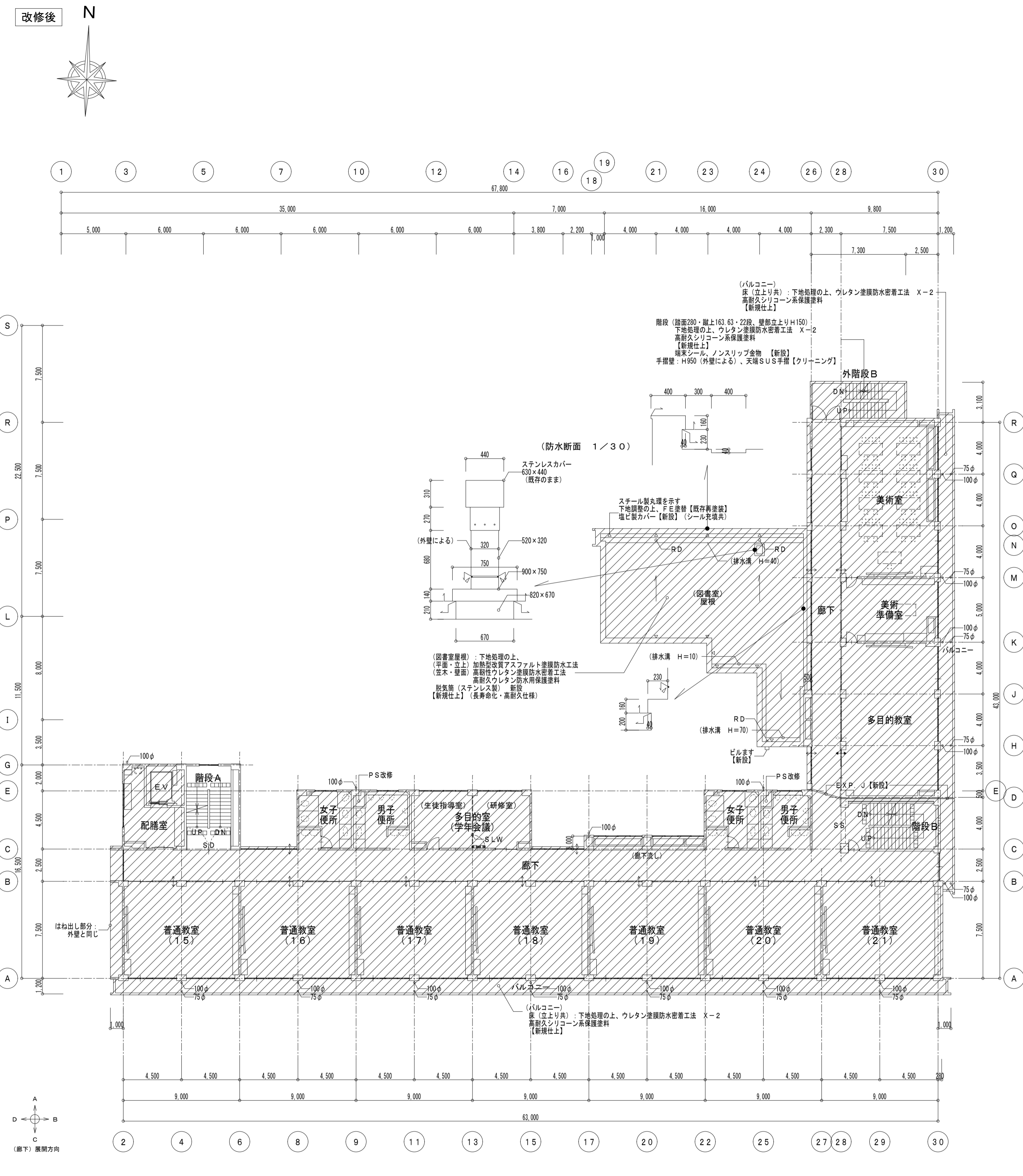
工事名称 市立勝洲中学校長寿化建築工事(第1期工事)(ゼロ償済)
図面名称 改修前・後 3階平面図 No. A-16

(外部堅壁100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)
(防水断面の は、改修後の防水仕上げ区分【新設】を示す)

(普通教室*) : 改修後のクラス名(*)は、工期毎の教室移動により変わる為、事前に確認する事
(参考) 图中、各矢印(下記凡例)は、パーテーション・外部サッシ(一部壁)の改修後の配管貫通位置を示す。(※設備工事と調整) 建築改修のガラス・アルミパネル【撤去・新設】へ反映する。
(凡例)
①空調配管改修用 【撤去・新設】 (変更前)
②(屋上)PS配管貫通部 穴埋めに伴う改修 【新設】 (5階)
PS配管改修用 【新設】 (5階)



改修前 4階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図・各室詳細図参照)



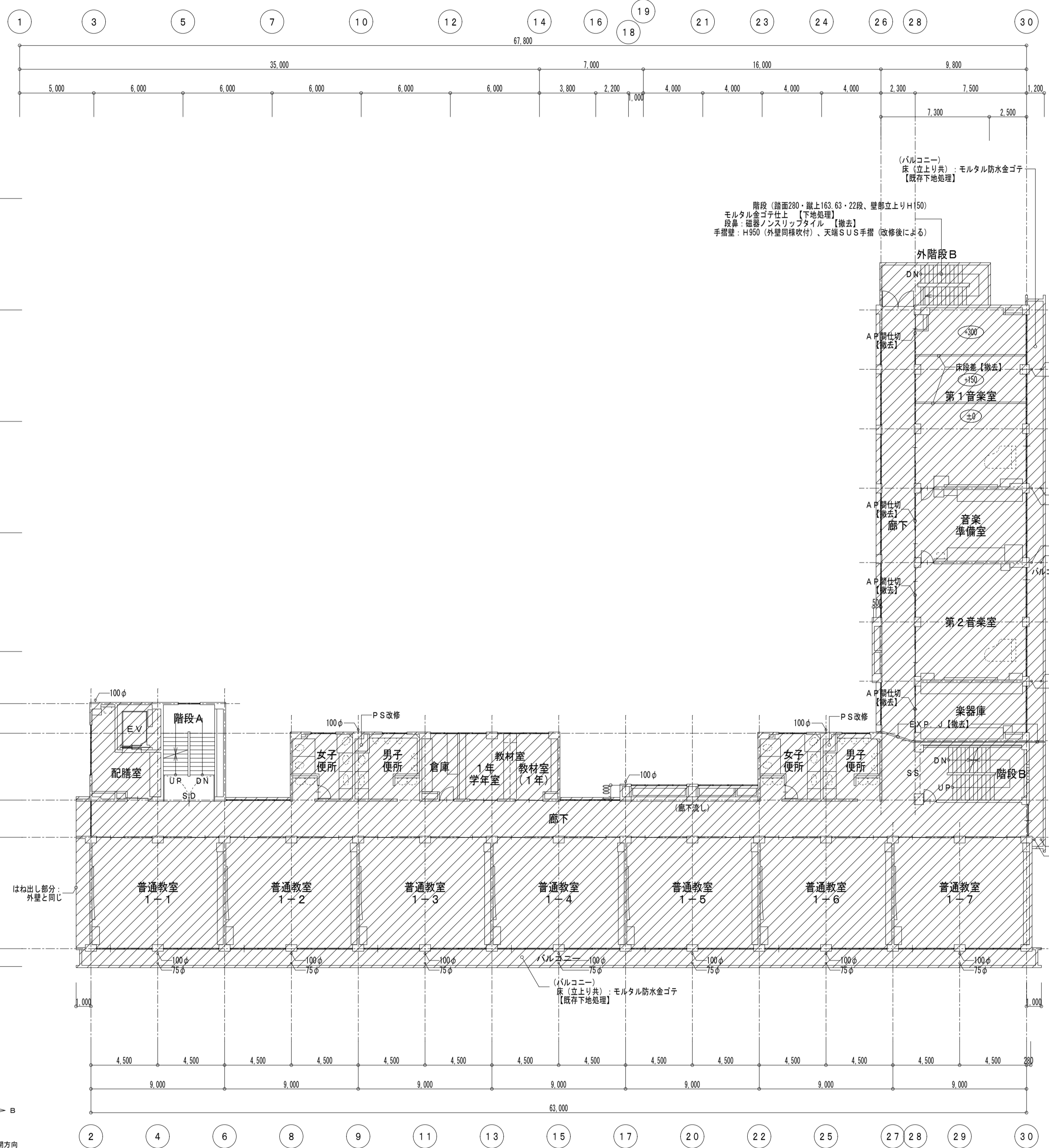
改修後 4階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図・各室詳細図参照)

凡例: は、工事対象外を示す。

(外部壁種100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)
 (防水断面の「」は、改修後の防水仕上げ区分【新設】を示す)

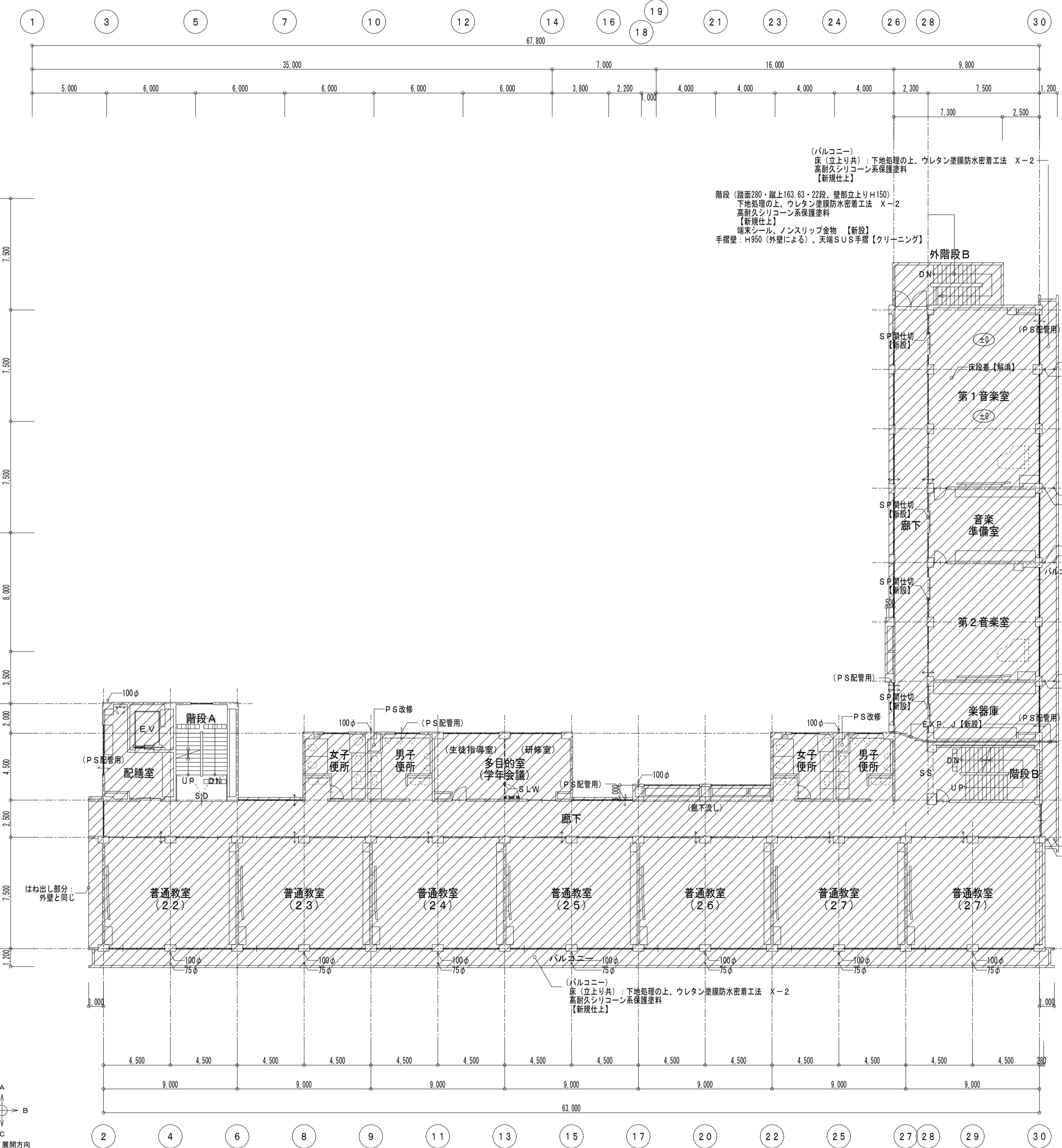
①空調配管改修用 【撤去・新設】 【新設】 (変更前)
 ②(屋上P.S配管貫通部 穴埋めに伴う改修)
 P.S配管改修用 【新設】 (5階)

改修前



改修前 5階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図・各室詳細図参照)

改修後



改修後 5階平面図 S=1/200 (内部改修については、別図・各室詳細図参照)

(普通教室*)：改修後のクラス名(*)は、工期毎の教室移動により変わる為、事前に確認する事

(参考) 図中、各矢印(下記凡例)は、パーテーション・外部サッシ(一部壁)の改修後の配管貫通位置を示す。(※設備工事と調整)

建築改修のガラス・アルミパネル【撤去・新設】へ反映する。

(凡例)

①空調配管改修用 ↓【撤去・新設】 ↑【新設】 (変更前)

②(屋上P.S配管貫通部 穴埋めに伴う改修)

P.S配管改修用 ↓【新設】 (5階)

凡例： は、工事対象外を示す。(外部堅種100φ、75φ、50φは、全て【撤去・新設】とする)

凡例： は、工事対象外を示す。

(有) 桑子建築設計事務所

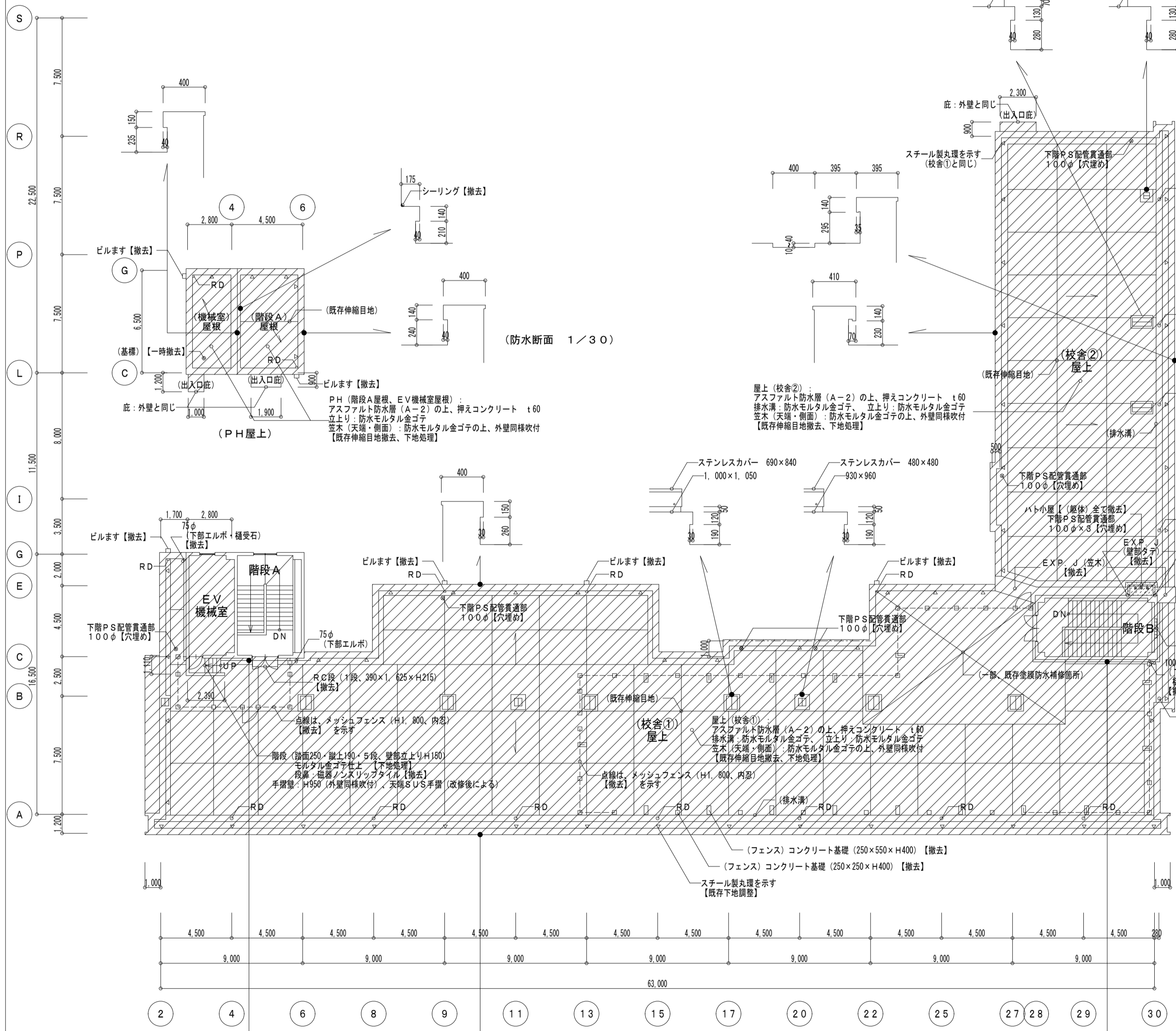
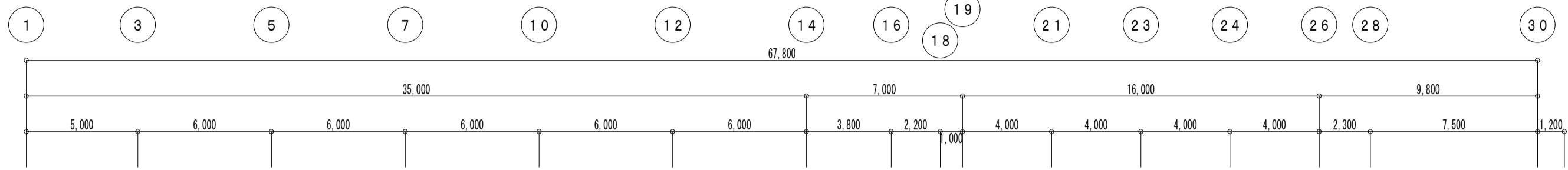
さいたま市大宮区扇町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

縮尺 AI:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

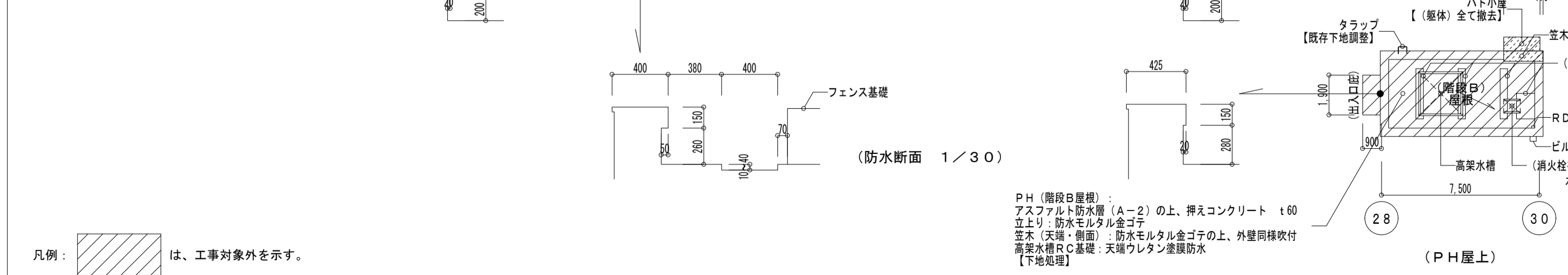
工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
図面名称 改修前・後 5階平面図

改修前

N



改修前 R階平面図 S=1/200

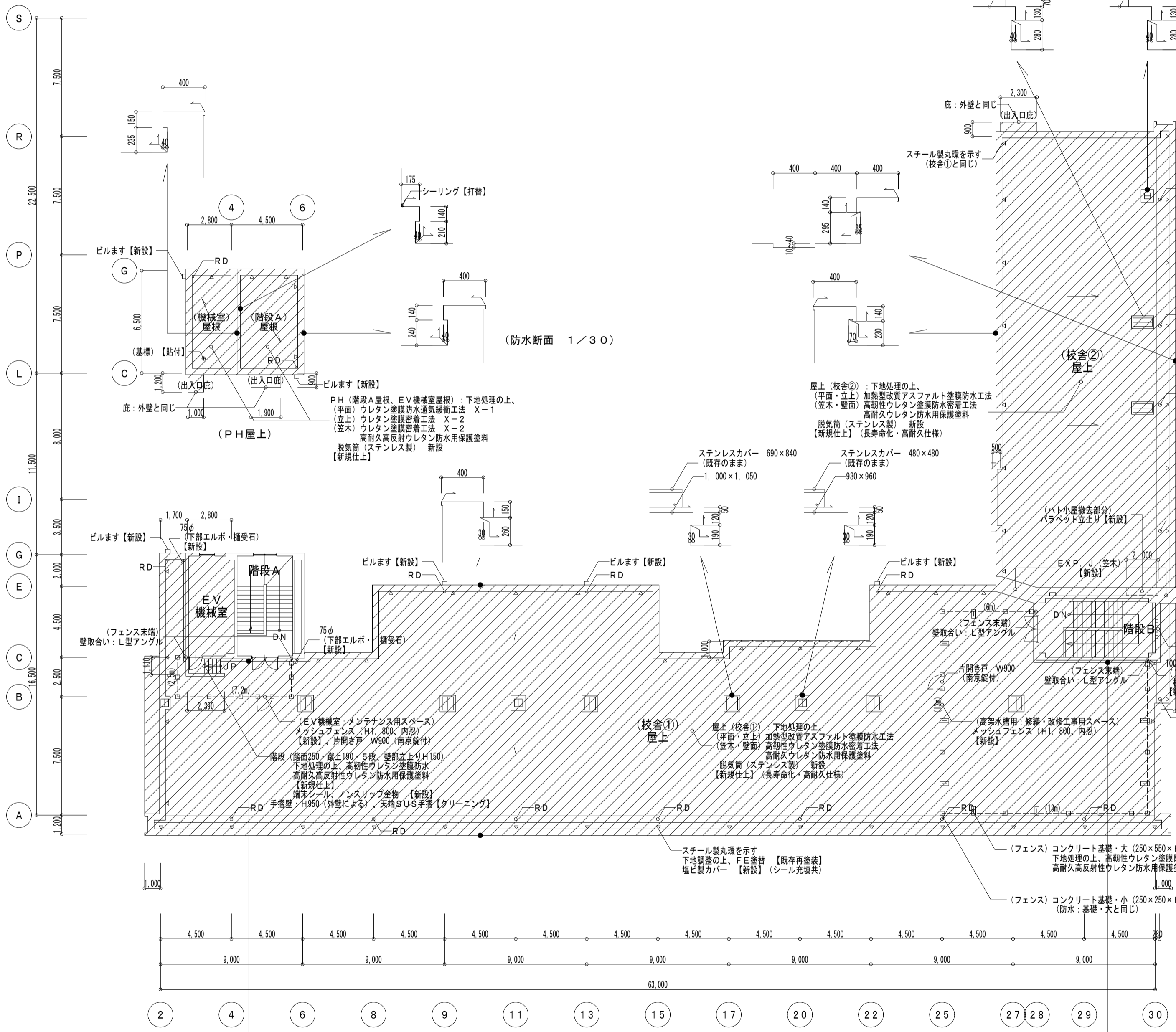
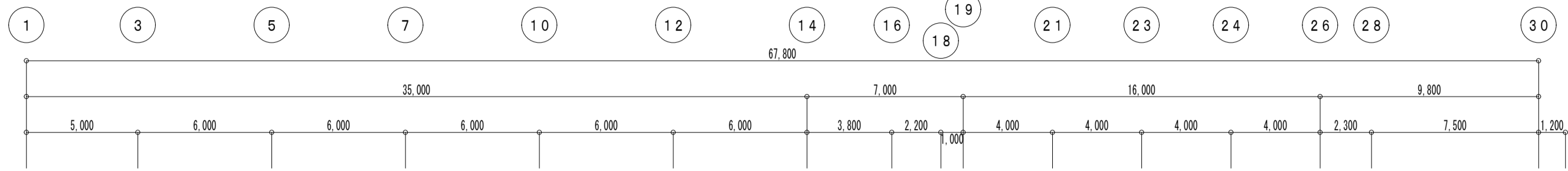


凡例: は、工事対象外を示す。

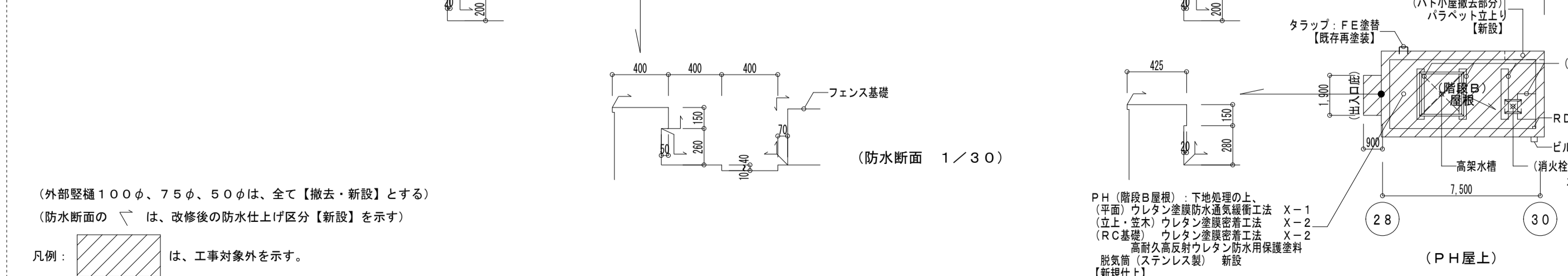
PH (階段B屋上) アスファルト防水層 (A-2) の上、押えコンクリート t60 構造用 防水モルタル金ゴテ、立上り 防水モルタル金ゴテ 窓木 (天端・側面) 防水モルタル金ゴテの上、外壁同種吹付 【既存伸縮目地撤去、下地処理】

改修後

N



改修後 R階平面図 S=1/200



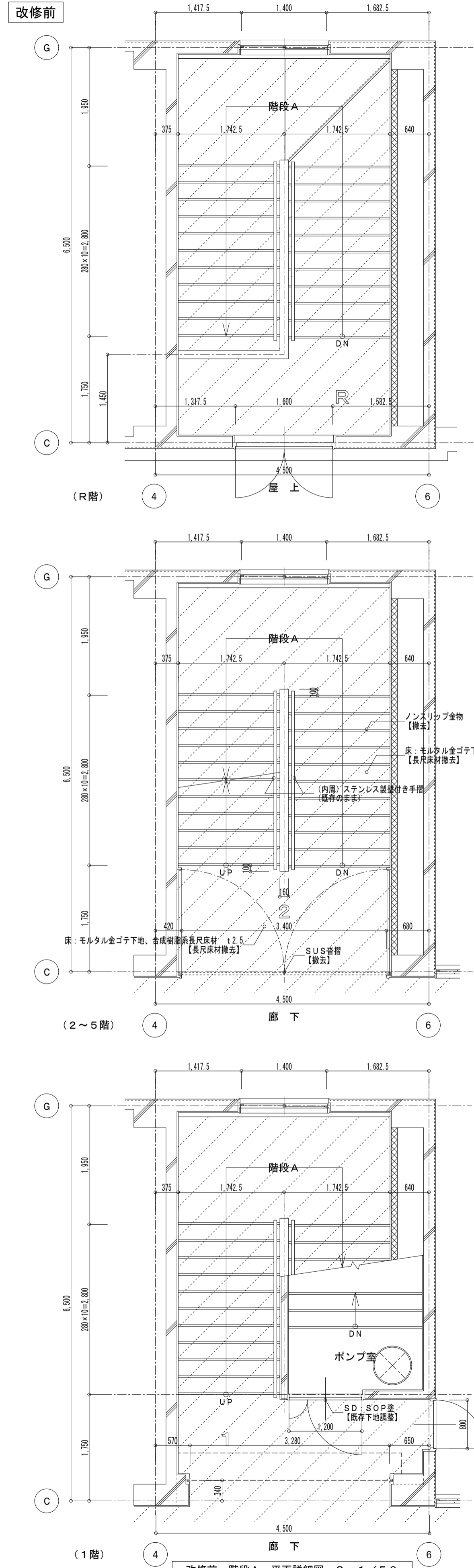
凡例: は、工事対象外を示す。

PH (階段B屋上) 下地処理の上、(平面) ウレタン塗膜防水工法 X-1 (立上・窓木) 高耐久ウレタン塗膜防水工法 X-2 (RC基礎) ウレタン塗膜防水工法 X-2 高耐久高反水性ウレタン防水用保護塗料 脱気層 (ステンレス製) 新設 【新規仕上】

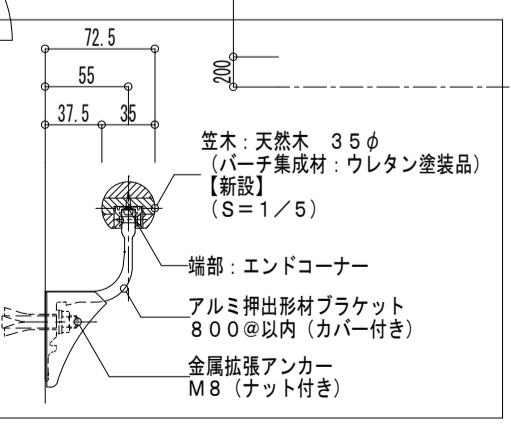
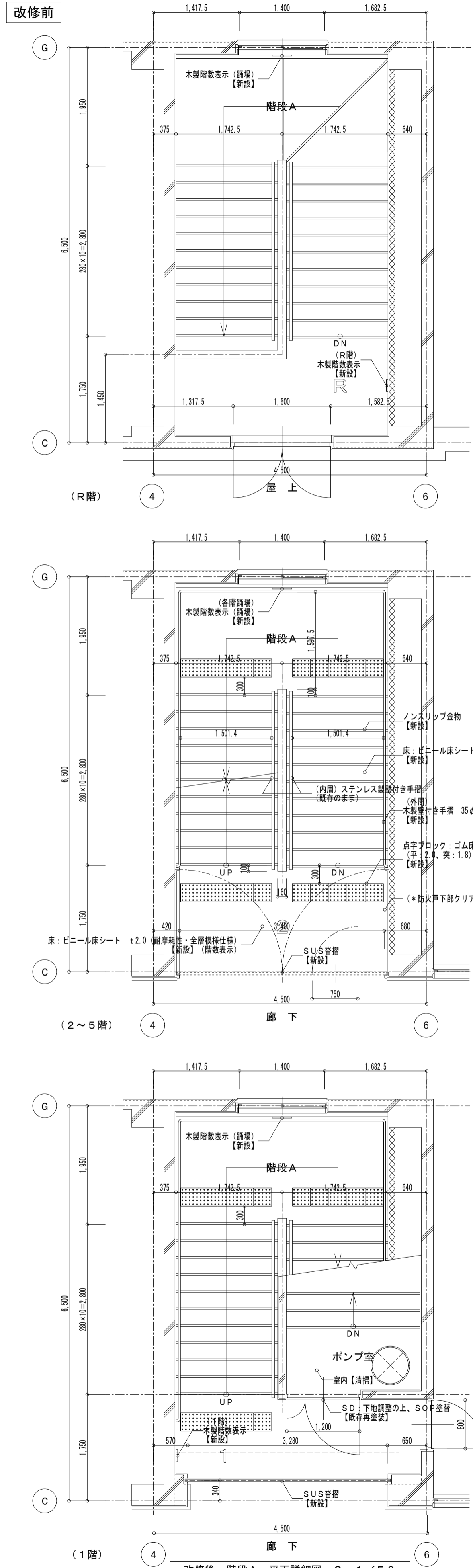
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榎引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

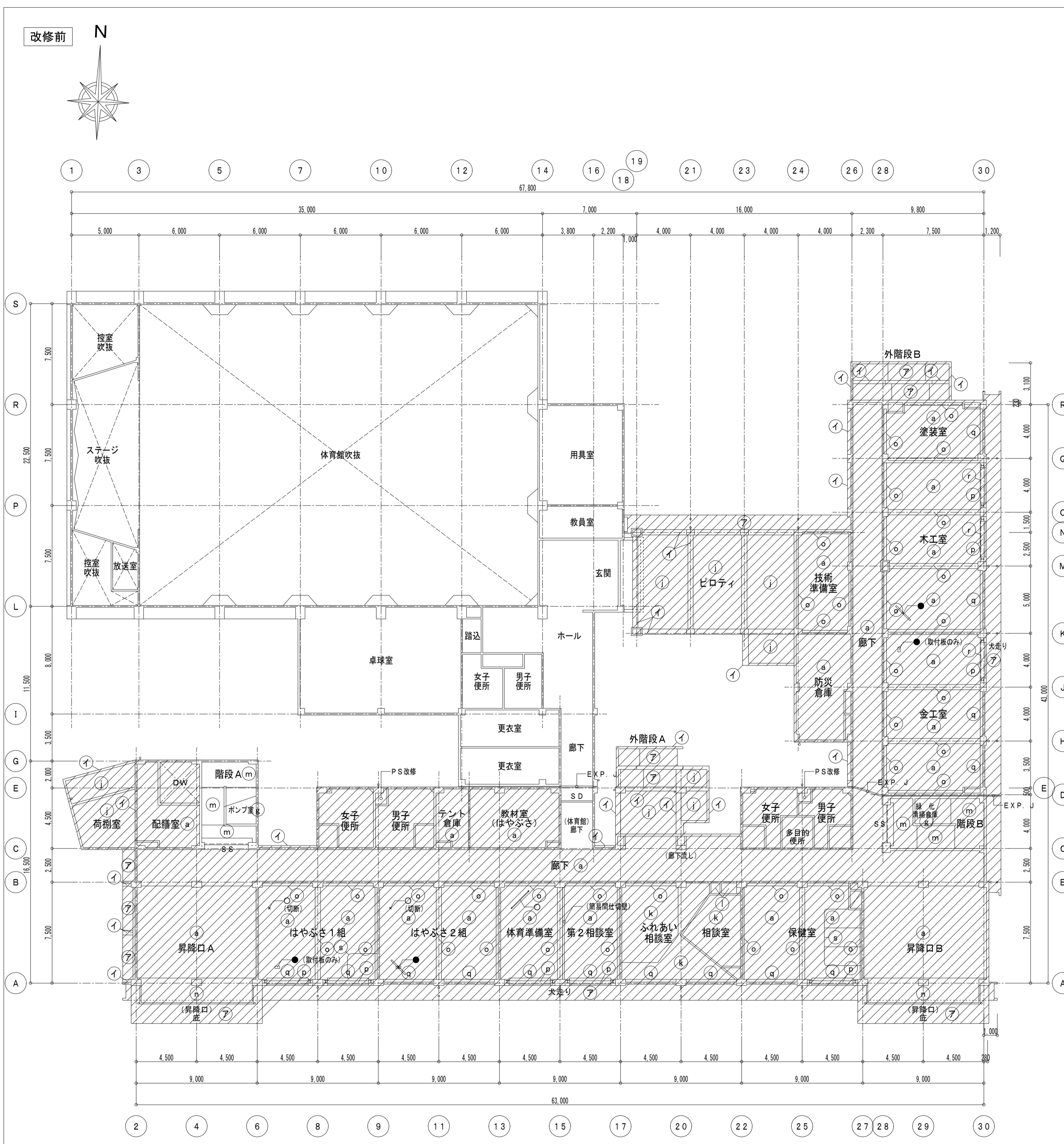
工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事 (第1期工事) (ゼロ償済)
図面名称 改修前・後 R階平面図 No. A-19



凡例 は、【撤去】範囲を示す。

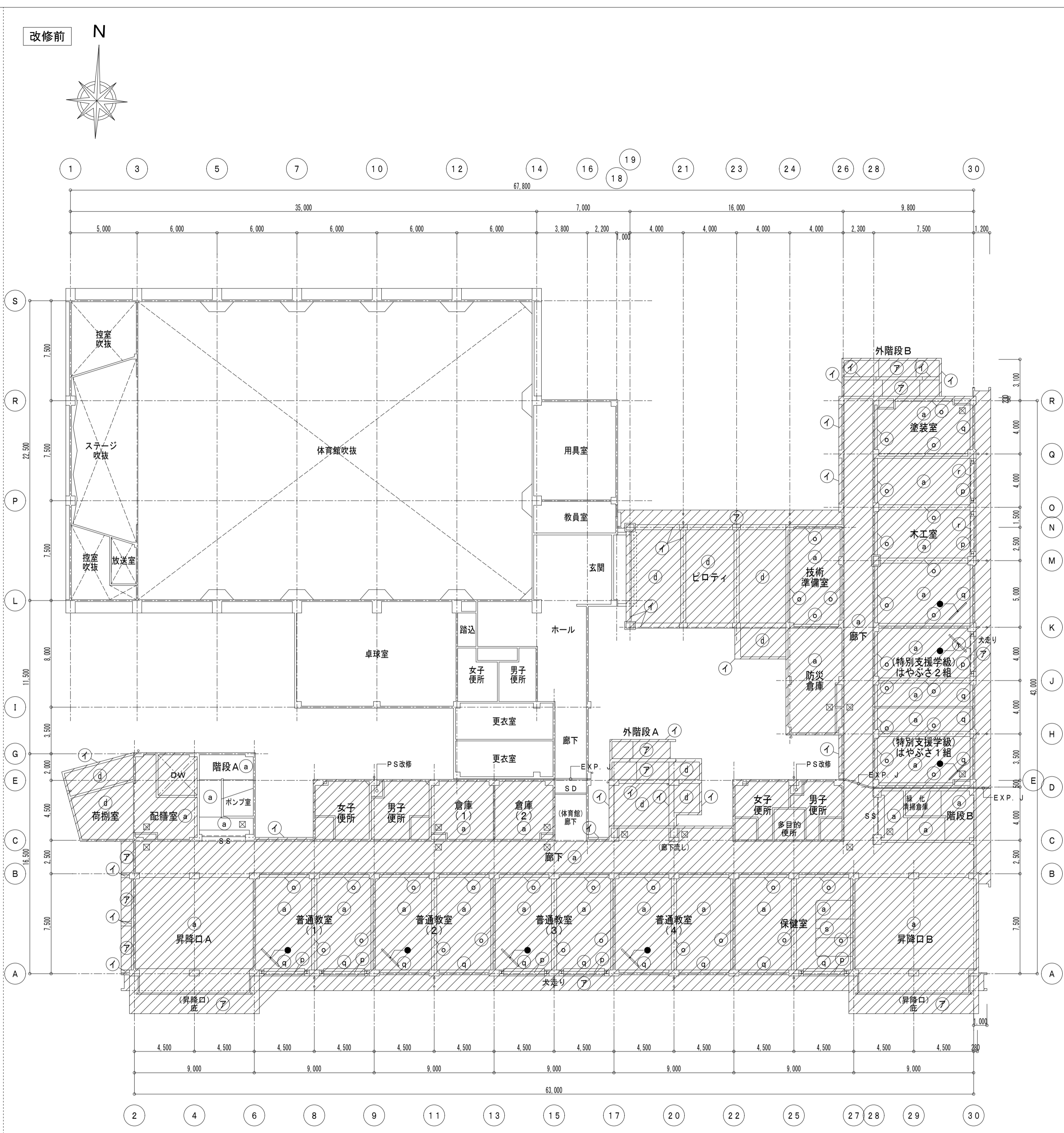


工事対象は、工事範囲図による 外部サッシ (額縁共) は、建具表による



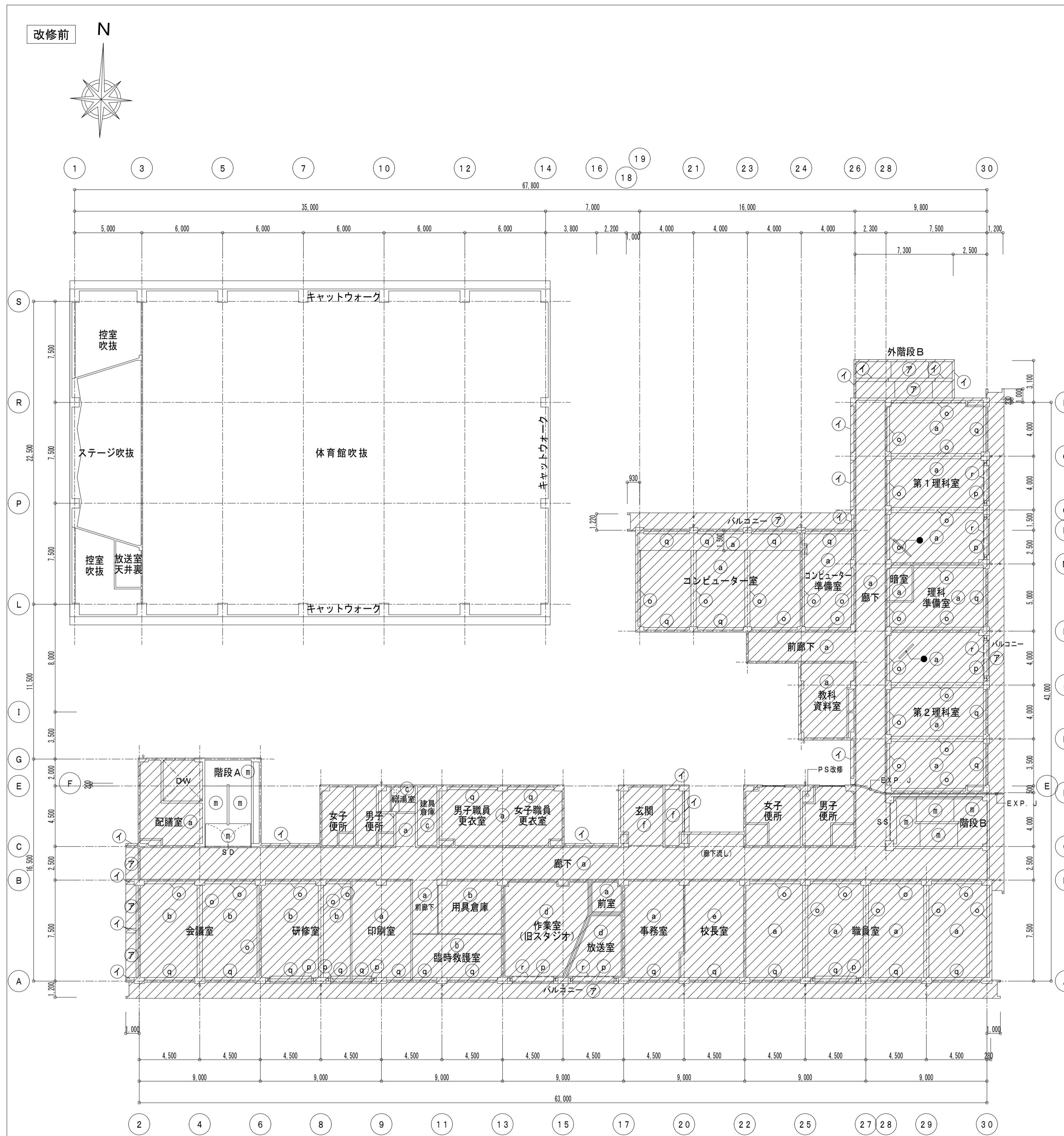
改修前 1階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	i LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し強の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し強 アクリル系リシン收付 【下地共撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し強 VP塗 【下地共撤去】	k LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 【下地共撤去】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m (h: 吊り石吹付の上、) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】
f	LGS下地、アルミバンドレル t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n (コンクリート打放し、アクリルリシン收付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【既存のまま】
g	モルタル剛毛引き仕上 【既存のまま】	o 梁型: モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地撤去】
h	モルタル剛毛引き、ひる石吹付 【既存のまま】	p (既B R部分) BR高び: ホリ合板 t2.5 EP-G塗 【既存下地調整】 (BR敷替共)
q	木製カーテンBOX: 200×115 SOP塗 【既存下地調整】、カーテンレール (W) 【撤去】	q 木製カーテンBOX: 200×115 SOP塗 【既存下地調整】、カーテンレール (W) 【撤去】
r	(既B R部分) カーテンレール (S) 【撤去】	r (既B R部分) カーテンレール (S) 【撤去】
s	はやぶさ1組、保壁室: 吊下げカーテンレール 【撤去】	s はやぶさ1組、保壁室: 吊下げカーテンレール 【撤去】
●	各教室・各特別教室: 吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり、天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。	● 各教室・各特別教室: 吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり、天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
○	各教室・各特別教室: 吊下げ樹脂掛けパイプ SUS製、L=1,800、3φ4 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり、天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。	○ 各教室・各特別教室: 吊下げ樹脂掛けパイプ SUS製、L=1,800、3φ4 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり、天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
ア	天井点検口 (アルミ枠450角) は、天井と共に【撤去】とする。 隠線 (塩化ビニル (仕上表を参照)) は、天井と共に【撤去】とする。	ア 天井点検口 (アルミ枠450角) は、天井と共に【撤去】とする。 隠線 (塩化ビニル (仕上表を参照)) は、天井と共に【撤去】とする。
ア	外部 (上裏): コンクリート打放し 外装断熱材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル: アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】	ア 外部 (上裏): コンクリート打放し 外装断熱材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル: アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
イ	外部 (梁下・壁下): コンクリート打放し 断熱材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル: アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】	イ 外部 (梁下・壁下): コンクリート打放し 断熱材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル: アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】

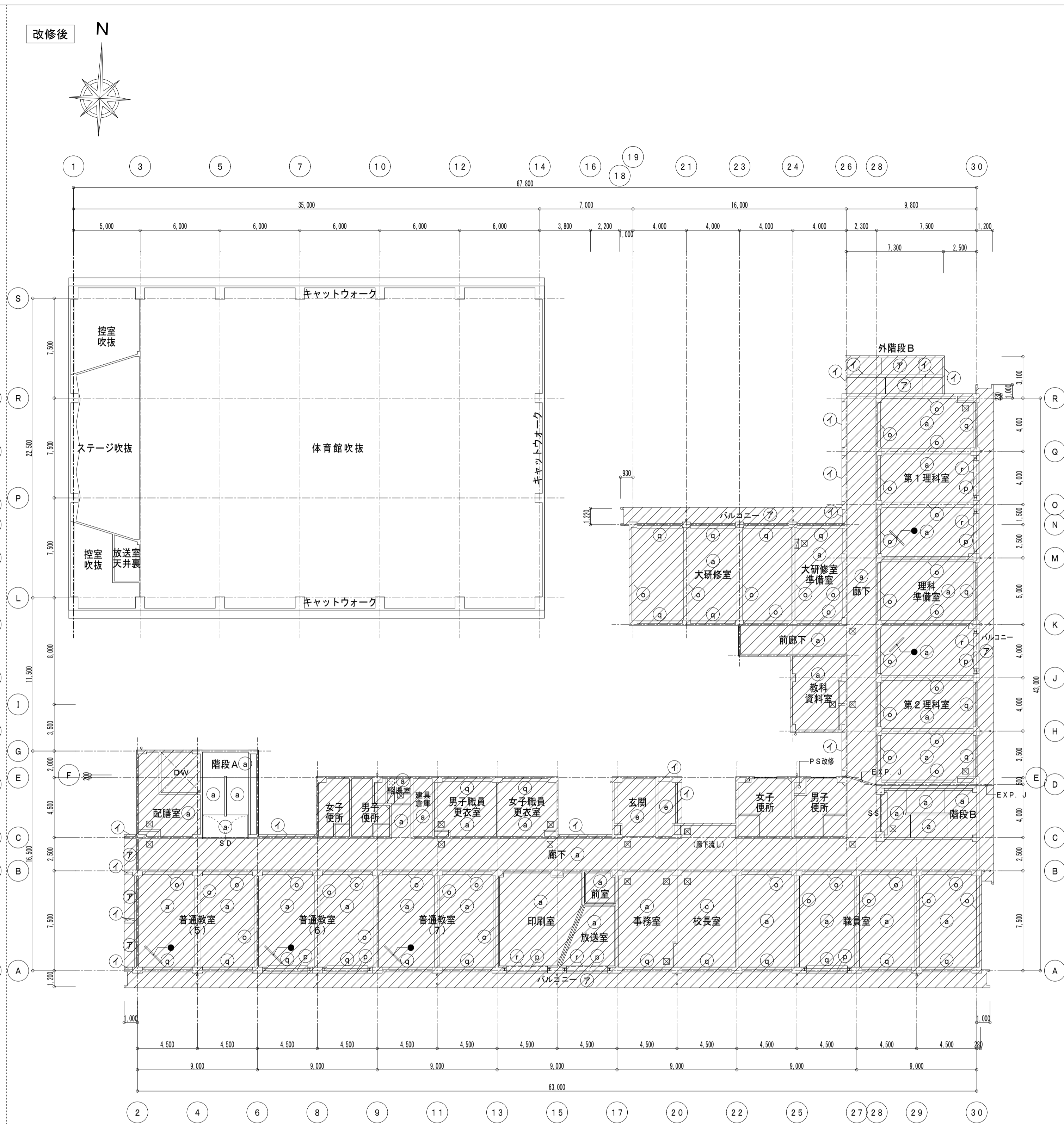


改修後 1階天井伏図 S=1/200

記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可) 新設】とする。天井厚が1.5mを超える部分は撤れ止め補強【新設】とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	i 木製カーテンBOX: 下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】、カーテンレール (SUS、W) 【新設】
b	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	r (既B R部分) カーテンレール (SUS、S) 【新設】
c	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共新設】	s 保壁室: 吊下げカーテンレール (アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、(無石綿) フレキシブルボード t4.0 目隠し強 EP塗 (1種・つや消し) 【下地共新設】	● 各教室・各特別教室: 吊下げロールスクリーン 80型、4:3 (プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、ガルバリウム鋼板 (W156) (不燃・木目調プリント調板) t0.5 【下地共新設】	○ 天井点検口 (アルミ枠450角) は、各PS部分に【新設】とする。(凡例: 隠線 (塩化ビニル (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。 吊り部材の出張部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする。 (設備位置出しに合わせる) 天井厚1.5m以上は、撤れ止め基準 (国土交通省仕様) による。
f		ア 天井点検口 (アルミ枠450角) は、各PS部分に【新設】とする。(凡例: 隠線 (塩化ビニル (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。 吊り部材の出張部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする。 (設備位置出しに合わせる) 天井厚1.5m以上は、撤れ止め基準 (国土交通省仕様) による。
g		オ 梁型: 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】
h		イ 外部 (上裏): 躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新設仕上】
		イ 外部 (梁下・壁下): アスベスト除去、躯体補修・下地処理の上、 防水型断熱材E: 超低汚染・超耐候断熱複合性ふっ素樹脂塗料 【新設仕上】



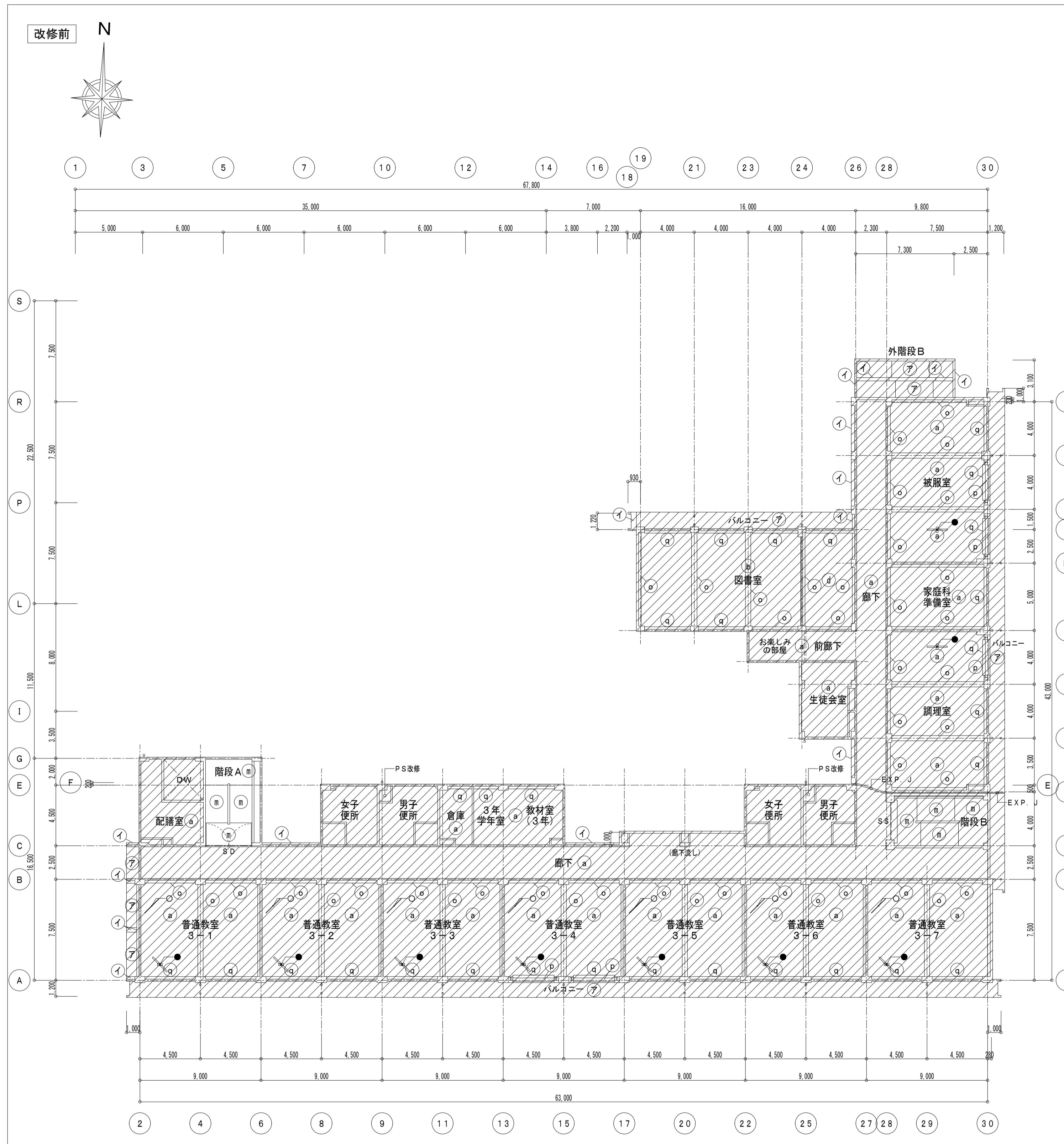
改修前 2階天井伏図 S=1/200



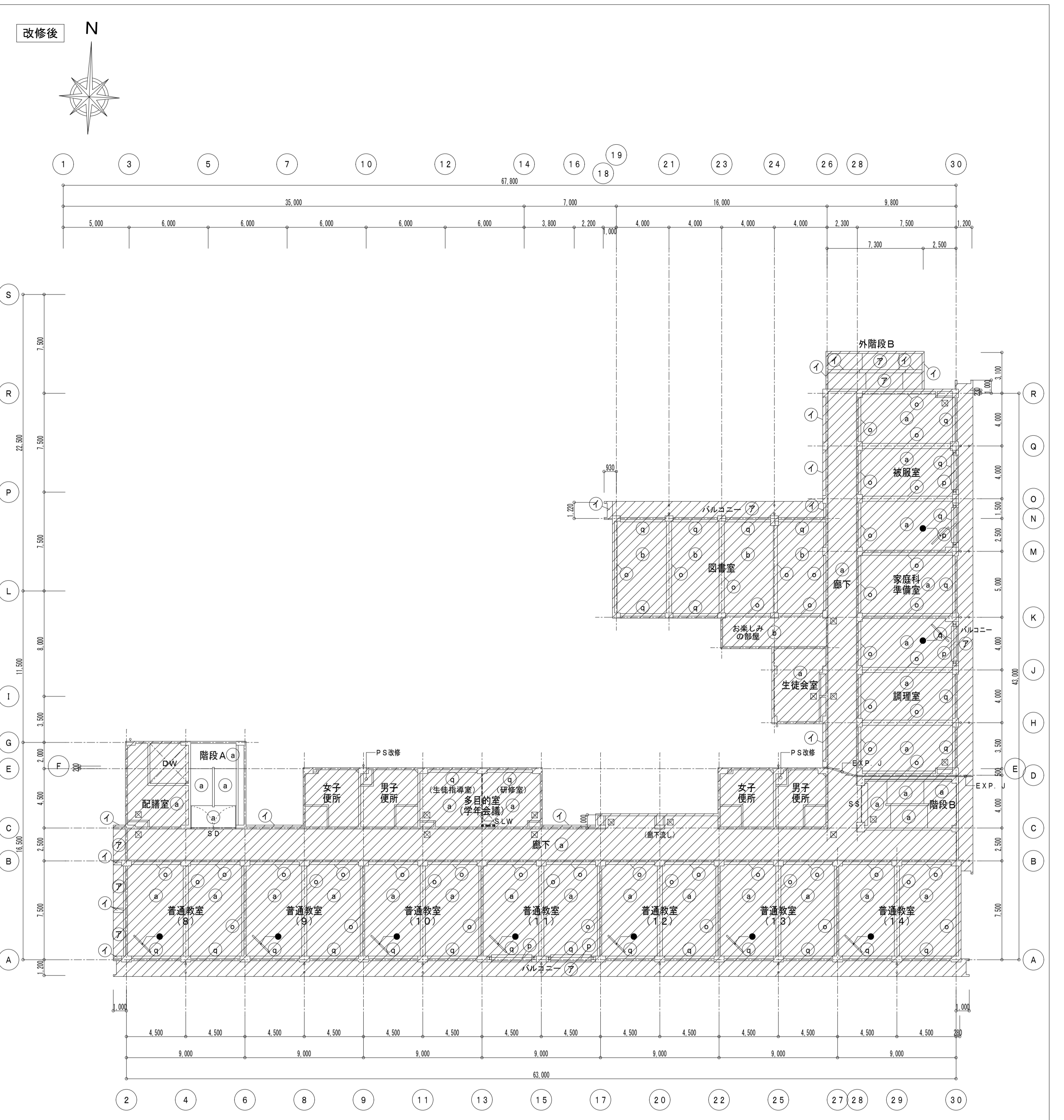
改修後 2階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可)新設】とする。天井高が1.5mを超える部分は振れ止め補強【新設】とする。	
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】		i	LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し強の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	q	木製カーテンBOX・200x115 SOP巻 【既存下地撤去】、カーテンレール(W)【撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】		j	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し強 アクリル系リシン吹付 【下地共撤去】	r	(既B部分) カーテンレール(S) 【撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し強 VP塗 【下地共撤去】		k	LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】	s	保健室：吊下げカーテンレール 【撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】		l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 【下地共撤去】	t	● 各教室、各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500(OHP用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12(キューブ) 【下地共撤去】		m	(h、ひる石吹付の上、) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】	o	● 各教室、各特別教室：吊下げ樹脂掛けタイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
f	LGS下地、アルミスパンデル t1.0(W100) 【下地共撤去】		n	(コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】	p	● 天井吊り口(アルミ枠45°角)は、天井と共に【撤去】とする。 座繰(塩ビ製(仕上表を参照))は、天井と共に【撤去】とする。
g	モルタル刷毛引き仕上 (既存のまま)		o	梁型：モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地撤去】	7	● 外部(上裏)：コンクリート打放し、外装遮熱材E(アクリルリシン)吹付 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 (既存のまま)		p	(既B部分) BR巻き：ポリ合板 t2.5 EP-G塗 【既存下地撤去】(BR撤去共)	4	● 外部(下・壁下)：コンクリート打放し 遮熱塗材E(アクリルリシン)吹付(外壁と同じ) 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。	記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可)新設】とする。天井高が1.5mを超える部分は振れ止め補強【新設】とする。	
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】		i	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共撤去】	q	木製カーテンBOX：下地調整の上、SOP巻替 【既存再塗装】、カーテンレール(SUS、W)【新設】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】		j	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共撤去】	r	(既B部分) カーテンレール(SUS、S) 【新設】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し強 VP塗 【下地共撤去】		k	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t15(キューブ) 【下地共撤去】	s	保健室：吊下げカーテンレール(アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】		l	LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 (1種・つや消し) 【下地共撤去】	t	● 各教室、各特別教室：吊下げロールスクリーン 80型、4:3(プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12(キューブ) 【下地共撤去】		m	LGS下地、ガルバリウム鋼板(W156) (不燃・木目調プリント鋼板) t0.5 【下地共撤去】	o	● 天井吊り口(アルミ枠45°角)は、各PS部分に【新設】とする。(凡例：座繰(塩ビ製(仕上表を参照))は、各天井と共に【新設】とする。 段天井の出隅部分(特記なき限り)は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、吊り口・各設備機器等に【新設】とする。設置位置出しに合せる) 天井高1.5m以上は、振れ止め補強(国土交通省仕様)による。
f	LGS下地、アルミスパンデル t1.0(W100) 【下地共撤去】		n	(コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】	p	● 外部(上裏)：躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新規仕上】
g	モルタル刷毛引き仕上 (既存のまま)		o	梁型：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】	7	● 外部(下・壁下)：躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新規仕上】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 (既存のまま)		p	(既B部分) BR巻き：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】(BR撤去共)	4	● 外部(下・壁下)：アスベスト除去、躯体補修・下地処理の上、 防水型復原塗材E 超低汚染・超耐候無機複合弾性ふっ素樹脂塗料 【新規仕上】



改修前 3階天井伏図 S=1/200



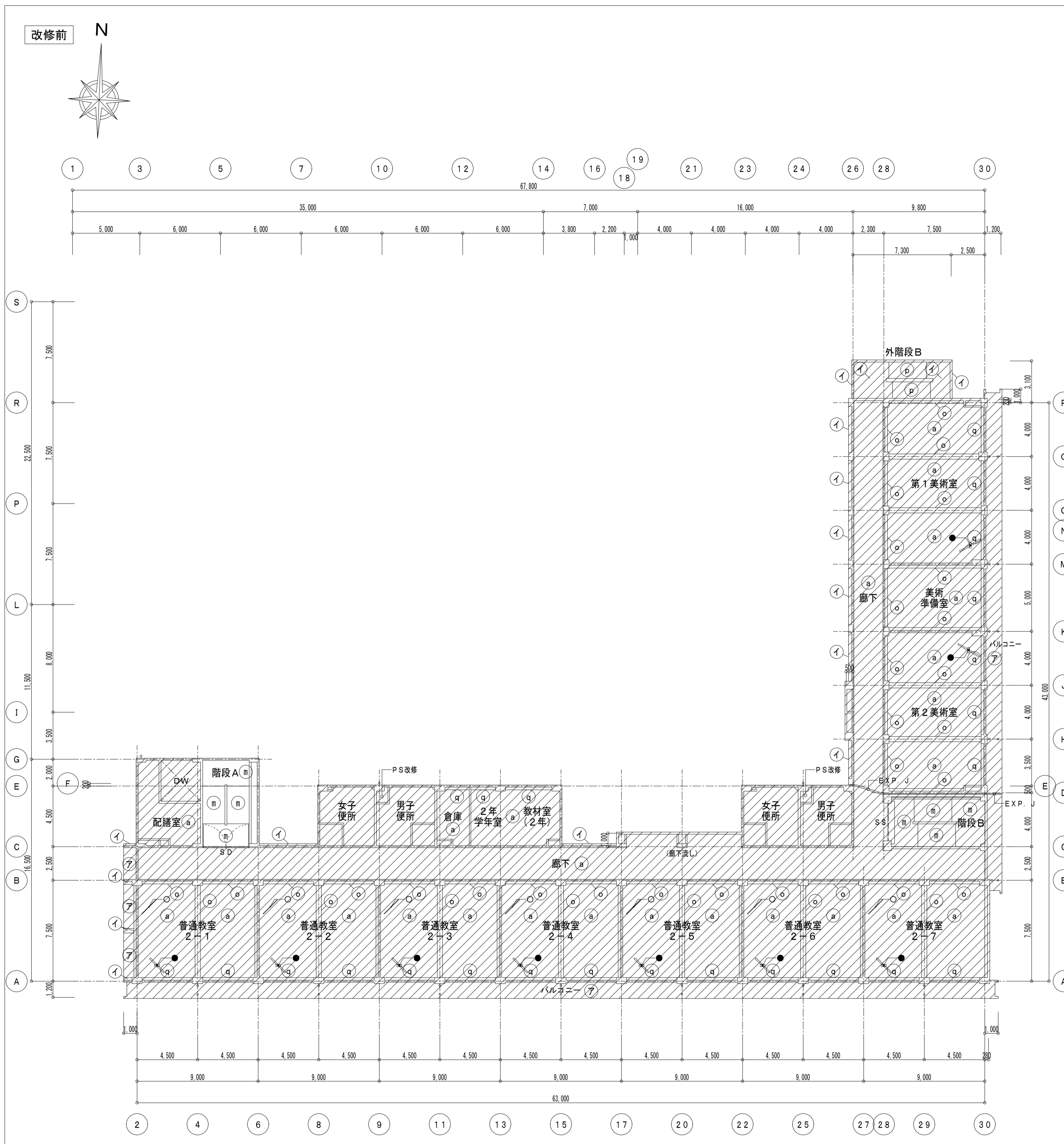
改修後 3階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t19.0 【下地共撤去】	i LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し強の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し強 アクリル系リシン収付 【下地共撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し強 VP塗 【下地共撤去】	k LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 【下地共撤去】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12(キューブ) 【下地共撤去】	m (h、ひる石吹付の上、) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】
f	LGS下地、アルミスパンデル t1.0(W100) 【下地共撤去】	n (コンクリート打放し、アクリルリシン収付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【既存のまま】
g	モルタル刷毛引き仕上 【既存のまま】	o 梁型、モルタル合板 VP塗 【既存下地調整】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 【既存のまま】	p (既B部分) BR差ぎ：ポリ合板 t2.5 EP-G塗 【既存下地調整】(BR撤去共)
q	木製カーテンBOX:200×115 SOP巻 【既存下地調整】、カーテンレール(W)【撤去】	
r	(既B部分) カーテンレール(S) 【撤去】	
s	保健室、吊下げカーテンレール 【撤去】	
●	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500(OHP用) 【撤去】 *現状撤去済みの箇所あり、天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。	
○	各教室・各特別教室：吊下げ地面掛けパイプ SUS製、L=1,800,34φ 【撤去】 *現状撤去済みの箇所あり、天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。	
⑦	外部(上表)：コンクリート打放し、外装薄塗材E(アクリルリシン)吹付 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体修繕・下地処理】	
①	外部(下・壁下)：コンクリート打放し 覆層塗材E(アクリルリシン)吹付(外壁と同じ) 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体修繕・下地処理】	

記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可)新設】とする。天井高が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t19.5 【下地共撤去】	i 木製カーテンBOX：下地調整の上、SOP巻替 【既存再塗装】、カーテンレール(SUS、W)【新設】
b	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックワール化粧吸音板 t12 【下地共撤去】	j (既B部分) カーテンレール(SUS、S) 【新設】
c	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックワール化粧吸音板 t15(キューブ) 【下地共撤去】	k 保健室：吊下げカーテンレール(アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、(無石綿)フレキシブルボード t4.0 目隠し強 EP塗(1種・つや消し) 【下地共撤去】	● 各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン 80型、4:3(プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、ガルバリウム鋼板(W156)(不燃・木目調プリント鋼板) t0.5 【下地共撤去】	○ 天井点検口(アルミ枠450角)は、各PS部分に【新設】とする。(凡例：□ 隠蔽(埋じ製(仕上表を参照))は、各天井と共に【新設】とする。段天井の出隅部分(特記なき限り)は、アルミ金物【新設】とする。天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする。設置位置出しに合せる)天井厚1.5m以上は、撤止め基準(国土交通省仕様)による。
f		n 梁型：下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】
g		o 外部(上表)：躯体修繕・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新規仕上】
h		p 外部(下・壁下)：アスベスト除去、躯体修繕・下地処理の上、防水型覆層塗材E 超低低汚染・超耐候機械強度強化型汎用塗料【新規仕上】

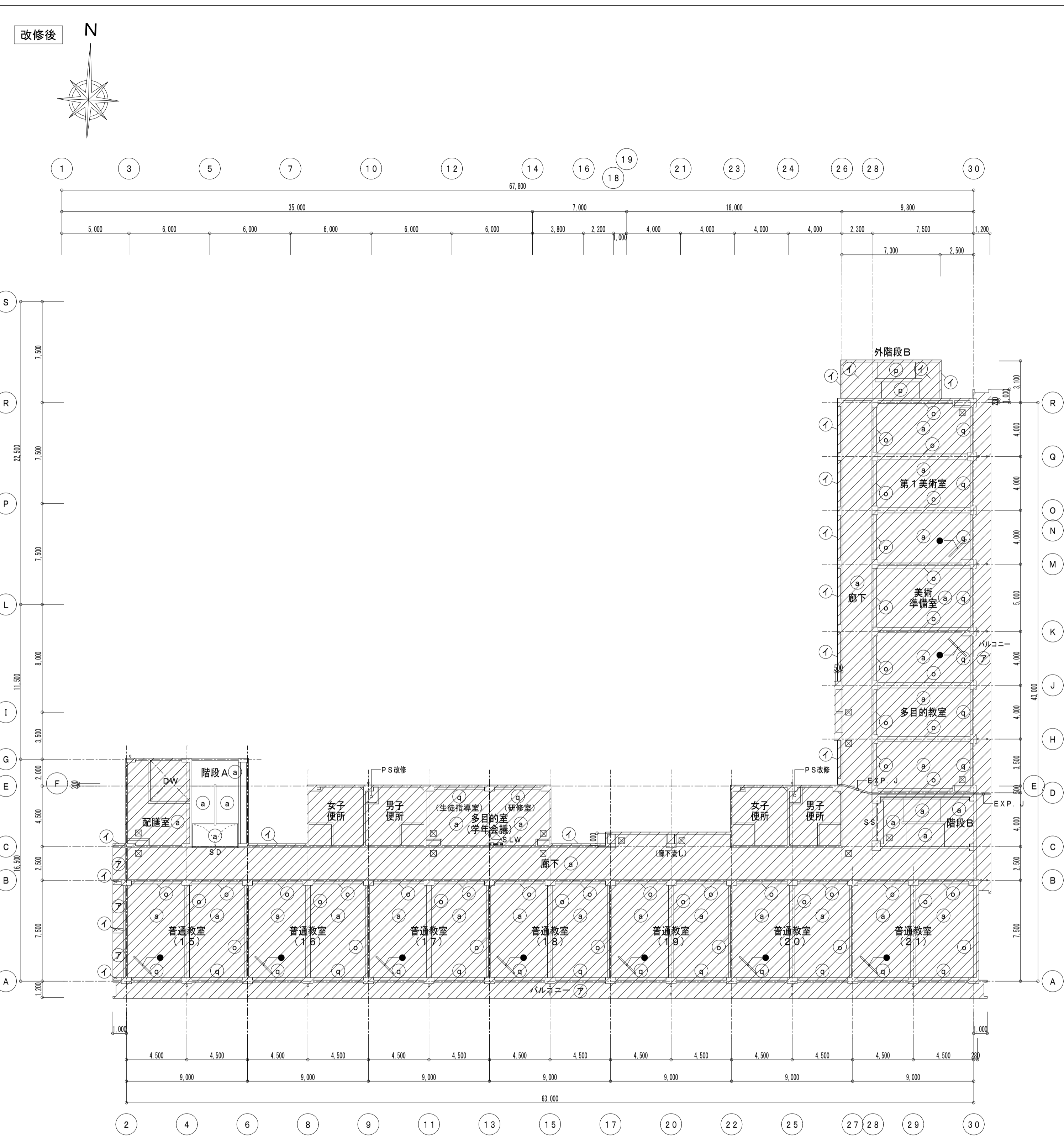
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
			設計年月日 2023.3.15	図面名称 改修前・後 3階天井伏図



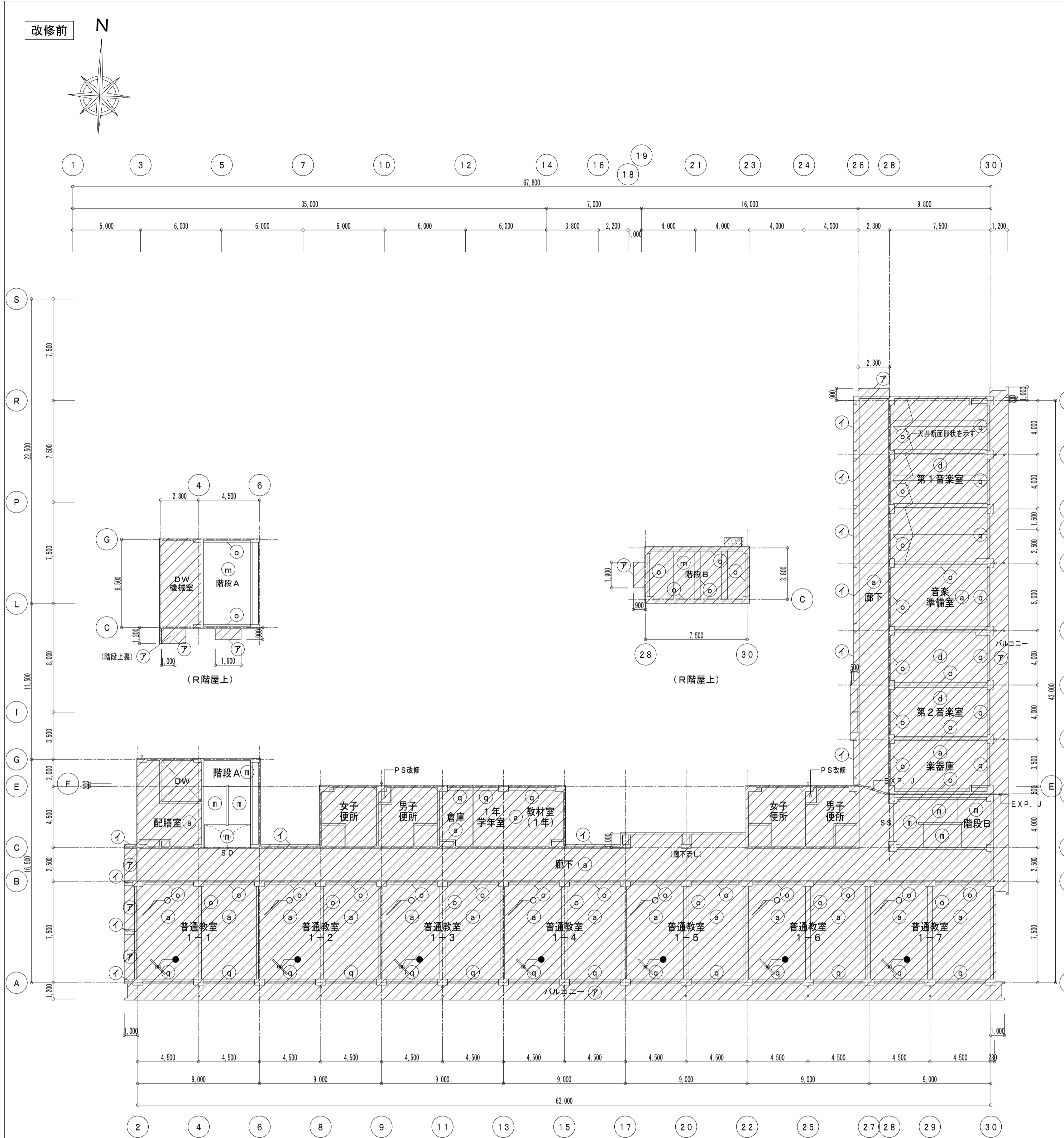
改修前 4階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	i LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し張の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 アクリル系リシン吹付 【下地共撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 VP塗 【下地共撤去】	k LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 【下地共撤去】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m (h: ひる石吹付の上、) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】
f	LGS下地、アルミスパンデル t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n (コンクリート打放し、アクリルリシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【撤去のまま】
g	モルタル刷毛引き仕上 【既存のまま】	o 塗型: モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地調整】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 【既存のまま】	p (既B R部分) BR高ざり: ポリ合板 t2.5 EP-G塗 【既存下地調整】 (B R撤去共)
q	木製カーテンBOX: 200×115 SOP塗 【既存下地調整】、カーテンレール (W) 【撤去】	q 木製カーテンBOX: 200×115 SOP塗 【既存下地調整】、カーテンレール (W) 【撤去】
r	【既B R部分】 カーテンレール (S) 【撤去】	r 【既B R部分】 カーテンレール (S) 【撤去】
s	保線室: 吊下げカーテンレール 【撤去】	s 保線室: 吊下げカーテンレール (アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【撤去】
t	各教室・各特別教室: 吊下げロールスクリーン L=1,500 (OH P用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。	t 各教室・各特別教室: 吊下げロールスクリーン L=1,500 (OH P用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
u	各教室・各特別教室: 吊下げ樹脂板付パイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。	u 各教室・各特別教室: 吊下げ樹脂板付パイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
v	天井垂れ口 (アルミ枠450角) は、天井と共に【撤去】とする。 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、天井と共に【撤去】とする。	v 天井垂れ口 (アルミ枠450角) は、天井と共に【撤去】とする。 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、天井と共に【撤去】とする。
w	外部 (上表): コンクリート打放し、外装塗材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル: アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】	w 外部 (上表): コンクリート打放し、外装塗材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル: アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
x	外部 (梁下・壁下): コンクリート打放し、覆層塗材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル: アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】	x 外部 (梁下・壁下): コンクリート打放し、覆層塗材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル: アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】

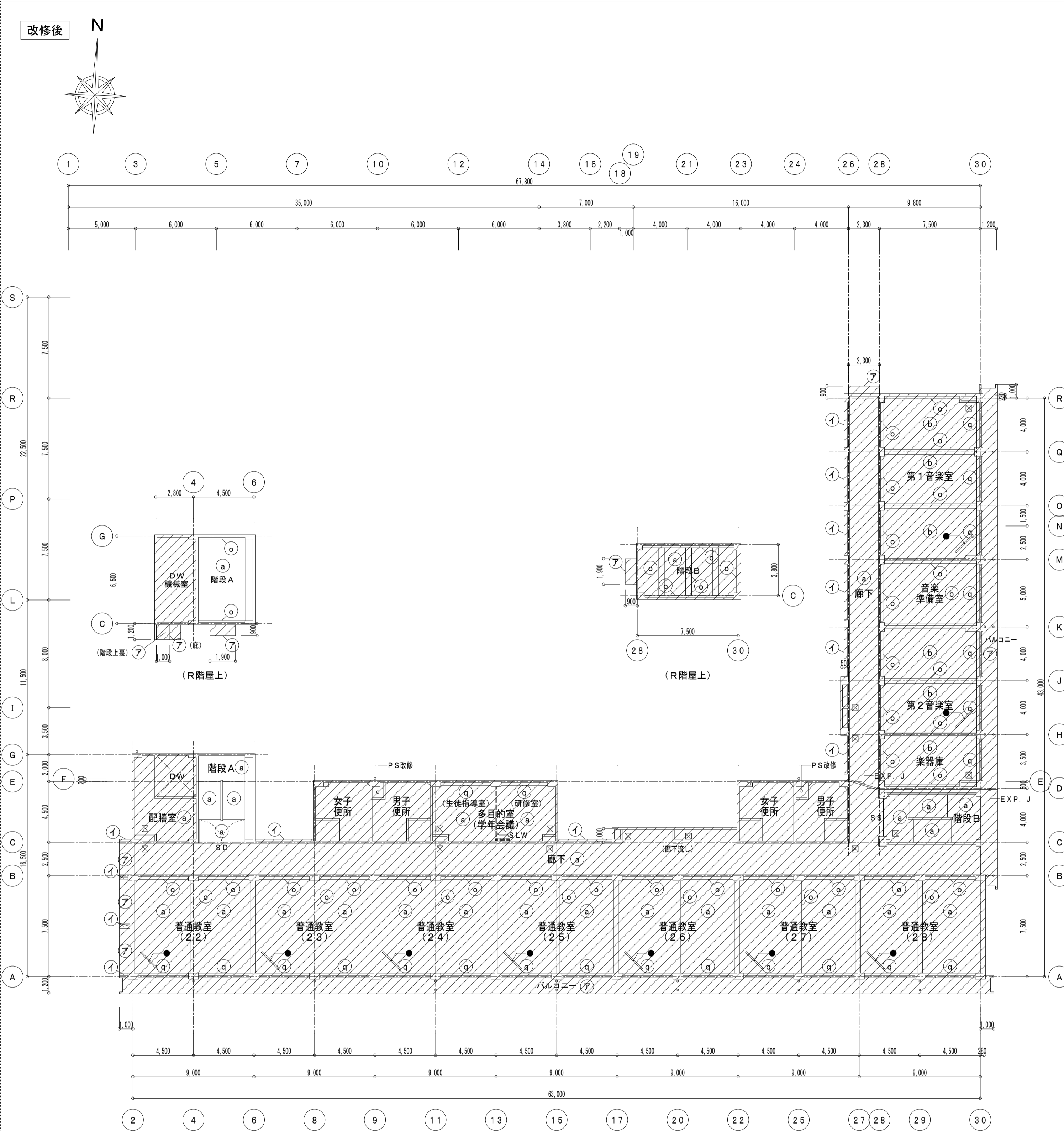


改修後 4階天井伏図 S=1/200

記号	改修後 天井仕上表	※各設備機器の吊り部材は、【(再利用不可) 新設】とする。天井機が1.5mを超える部分は覆れ止め補強【新設】とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共新設】	i 大層カーテンBOX: 下地調整の上、SOP塗替 【既存再塗装】、カーテンレール (SUS、W) 【新設】
b	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共新設】	j (既B R部分) カーテンレール (SUS、S) 【新設】
c	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共新設】	k 保線室: 吊下げカーテンレール (アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、(無石綿) フレキシブルボード t4.0 目隠し張 EP塗 (1種・つや消し) 【下地共新設】	l 各教室・各特別教室: 吊下げロールスクリーン 80型、4:3 (プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、ガルバリウム鋼板 (W156) (不燃・木目調プリント鋼板) t0.5 【下地共新設】	m 天井垂れ口 (アルミ枠450角) は、各P S部分に【新設】とする。(凡例: 廻縁 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。段天井の出隅部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする。設置位置出し合せる) 天井機1.5m以上は、覆れ止め基準 (国土交通省仕様) による。
f		n 塗型: 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】
g		o 外部 (上表): 躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材 【新設仕上】
h		p (既B R部分) BR高ざり: 下地調整の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 (B R撤去共)
q		q 外部 (梁下・壁下): アスベスト除去、躯体補修・下地処理の上、防水型覆層塗材E 超低汚染・超耐候無機複合性能型珪藻土塗料 【新設仕上】



改修前 5階天井伏図 S=1/200



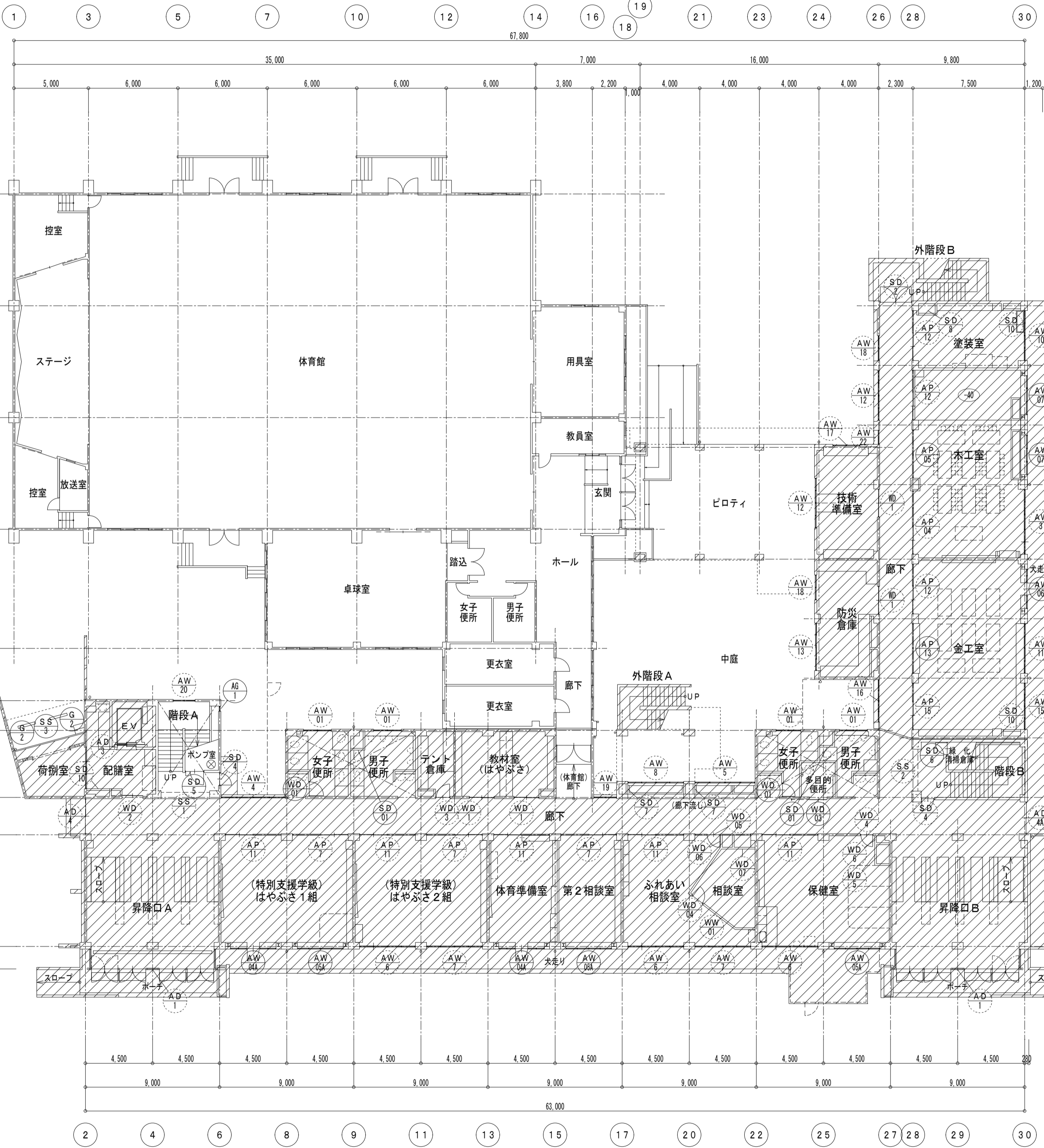
改修後 5階天井伏図 S=1/200

記号	改修前 天井仕上表	・天井は、仕上材・LGS下地【下地共撤去】(吊り部材は再利用可)とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.0 【下地共撤去】	i LGS下地、ラワン合板 t5.5 目隠し張の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
b	LGS下地、吸音孔あき石膏ボード t12 【下地共撤去】	j LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 アクリル系リシン吹付 【下地共撤去】
c	LGS下地、フレキシブルボード t4.0 目隠し張 VP塗 【下地共撤去】	k LGS下地、石膏ボード t9.5 の上、ビニールクロス貼 【下地共撤去】
d	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 【下地共撤去】	l LGS下地、石膏ボード t9.5 EP塗 【下地共撤去】
e	LGS下地、石膏ボード t7.0 捨張の上、岩綿吸音板 t12 (キューブ) 【下地共撤去】	m (h・ひる石吹付の上、) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【天井ボード撤去】
f	LGS下地、アルミハンドレド t1.0 (W100) 【下地共撤去】	n (コンクリート打放し、アクリル系リシン吹付の上) LGS下地、吸音石膏ボード t9.5 【下地共撤去】
g	モルタル刷毛引き仕上 (既存のまま)	o 梁型：モルタル金ゴテ VP塗 【既存下地撤去】
h	モルタル刷毛引き、ひる石吹付 (既存のまま)	p (既B R部分) BR裏ぎ：ポリ合板 t2.5 EP-G塗 【既存下地撤去】 (BR鉄骨共)
q	木製カーテンBOX：200x115 SOP塗 【既存下地撤去】、カーテンレール (W) 【撤去】	q 木製カーテンBOX：200x115 SOP塗 【既存下地撤去】、カーテンレール (W) 【撤去】
r	(既B R部分) カーテンレール (S) 【撤去】	r (既B R部分) カーテンレール (S) 【撤去】
s	保健室：吊下げカーテンレール 【撤去】	s 保健室：吊下げカーテンレール 【撤去】
●	各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。	● 各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン L=1,500 (OHP用) 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
○	各教室・各特別教室：吊下げ地盤掛けパイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。	○ 各教室・各特別教室：吊下げ地盤掛けパイプ SUS製、L=1,800、34φ 【撤去】 * 現状撤去済みの箇所あり。天井裏に吊り部材が残っている場合も全て撤去。
⑦	外部 (上表)：コンクリート打放し 外装塗材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】	⑦ 外部 (上表)：コンクリート打放し 外装塗材E (アクリルリシン) 吹付 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】
①	外部 (梁下・壁下)：コンクリート打放し 複層塗材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】	① 外部 (梁下・壁下)：コンクリート打放し 複層塗材E (アクリルリシン) 吹付 (外壁と同じ) 【吹付タイル：アスベスト除去工事】、【既存躯体補修・下地処理】

記号	改修後 天井仕上表	*各設備機器の吊り部材は、(再利用不可) 新設)とする。天井高が1.5mを超える部分は撤止め補強【新設】とする。
a	LGS下地、化粧石膏ボード t9.5 【下地共撤去】	i 木製カーテンBOX：下地撤去の上、SOP塗替 【既存再塗装】、カーテンレール (S・U・S、W) 【新設】
b	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t12 【下地共撤去】	j (既B R部分) カーテンレール (S・U・S、V) 【新設】
c	LGS下地、石膏ボード t9.5捨張の上、ロックウール化粧吸音板 t15 (キューブ) 【下地共撤去】	k 保健室：吊下げカーテンレール(アルミ製、V吊り、伸縮吊り棒) 【新設】
d	LGS下地、(無石綿)フレキシブルボード t4.0 目隠し張 EP塗 (1種・つや消し) 【下地共撤去】	l 各教室・各特別教室：吊下げロールスクリーン 80型、4：3 (プロジェクター用) 【新設】
e	LGS下地、ガルバリウム鋼板 (W165) (不燃・木目調プリント鋼板) t0.5 【下地共撤去】	m 天井点検口 (アルミ枠450φ) は、各P部分に【新設】とする。(凡例： □ 副線 (塩ビ製 (仕上表を参照)) は、各天井と共に【新設】とする。 段天井の出隅部分 (特記なき限り) は、アルミ金物【新設】とする。 天井開口補強は、点検口・各設備機器等に【新設】とする取付ける。(設備位置出しに合せ) 天井厚1.5m以上は、撤止め基準 (国土交通省仕様)による。
f		n 変型：下地撤去の上、EP-G塗替 【既存再塗装】
g		o 外部 (上表)：躯体補修・下地処理の上、水性アクリルシリコン樹脂系軒天仕上塗材 【新設仕上】
h		p (既B R部分) BR裏ぎ：下地撤去の上、EP-G塗替 【既存再塗装】 (BR鉄骨共) 外部 (梁下・壁下)：アスベスト除去、躯体補修・下地処理の上、 防水型複層塗材E 超低汚染・超耐候無機複合水性珪酸系塗料【新設仕上】

改修前

N



改修前 1階建具表キープラン S=1/200

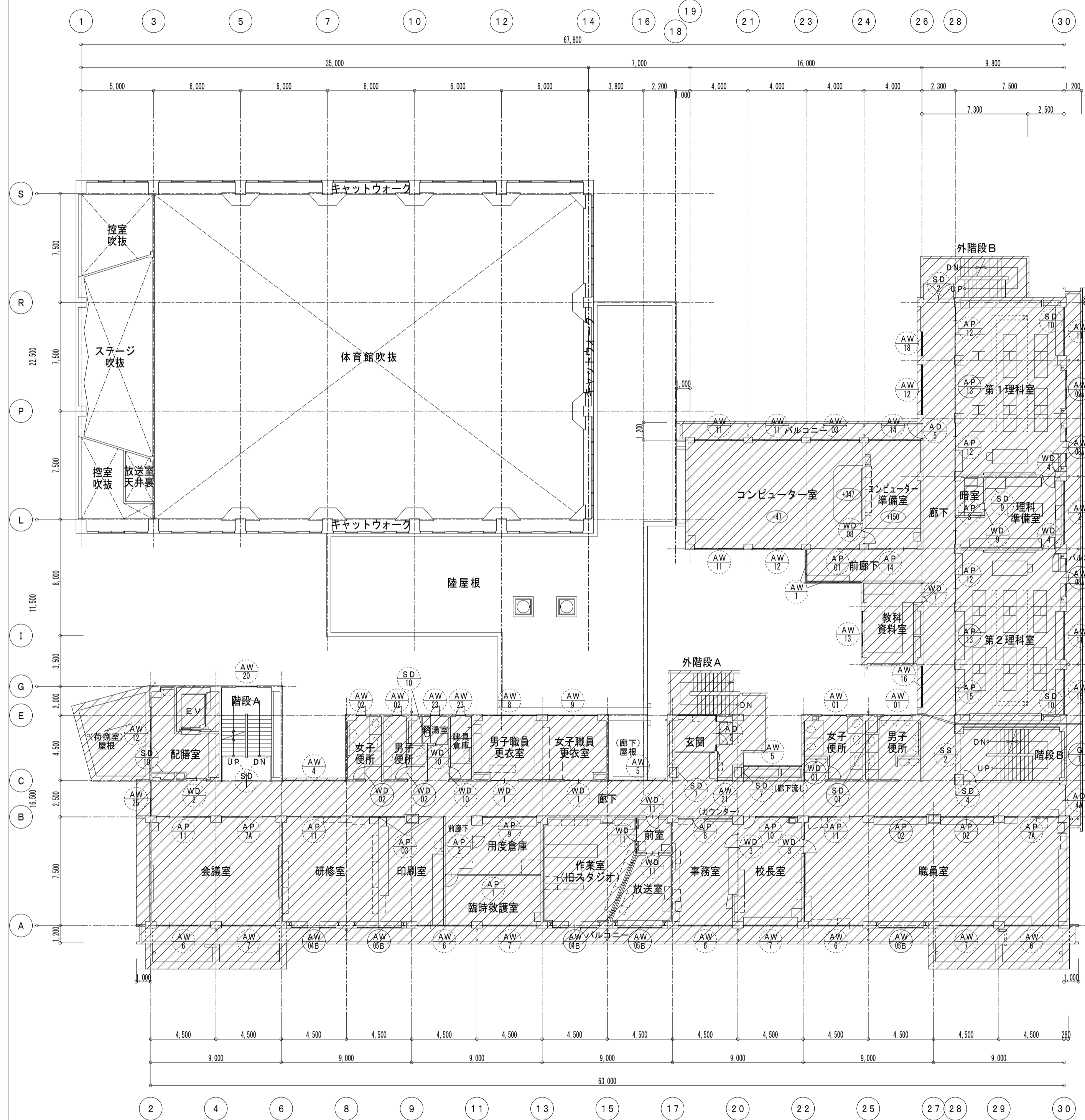
改修後

N



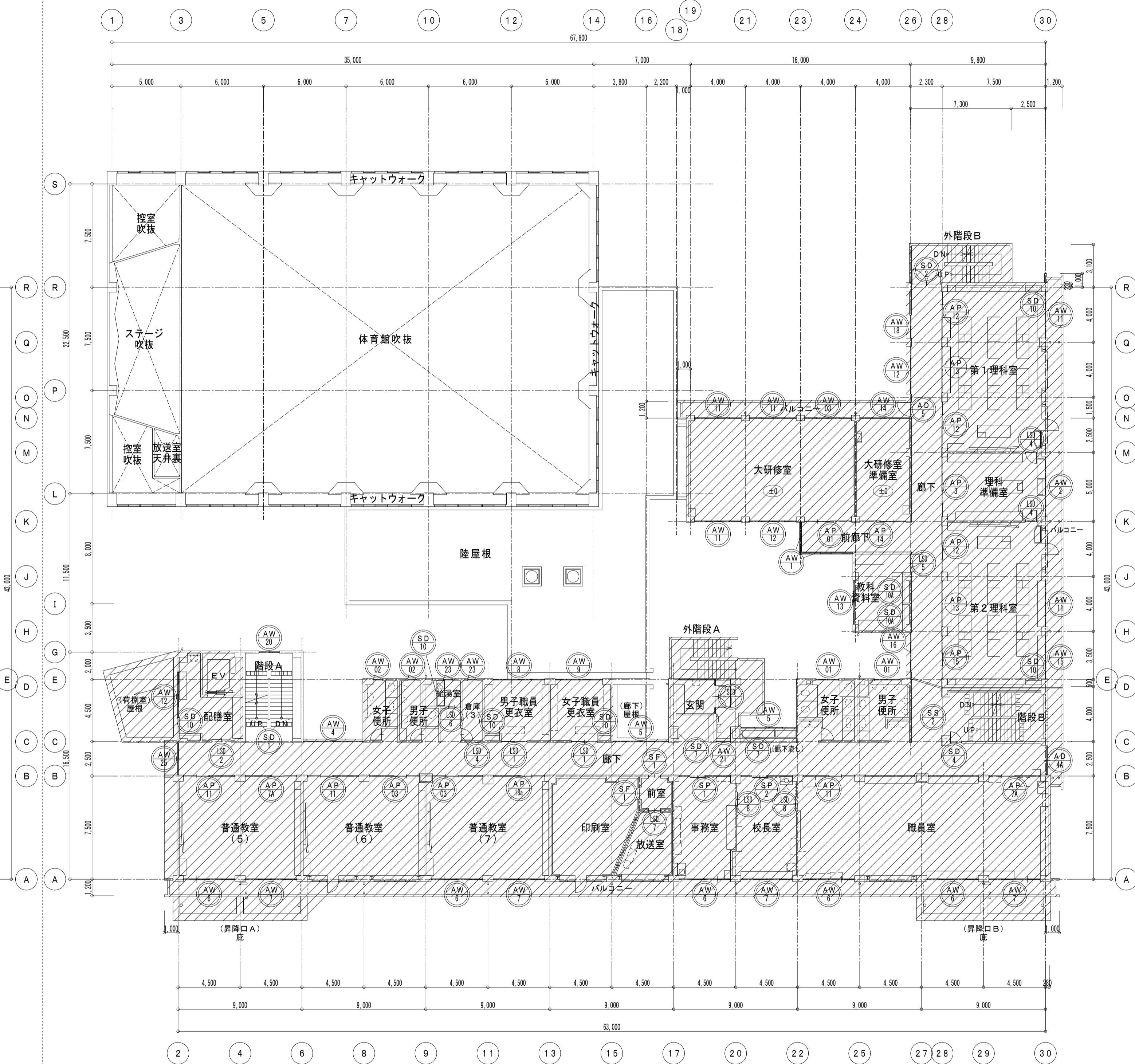
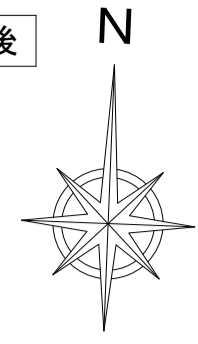
改修後 1階建具表キープラン S=1/200

改修前



改修前 2階建具表キープラン S=1/200

改修後

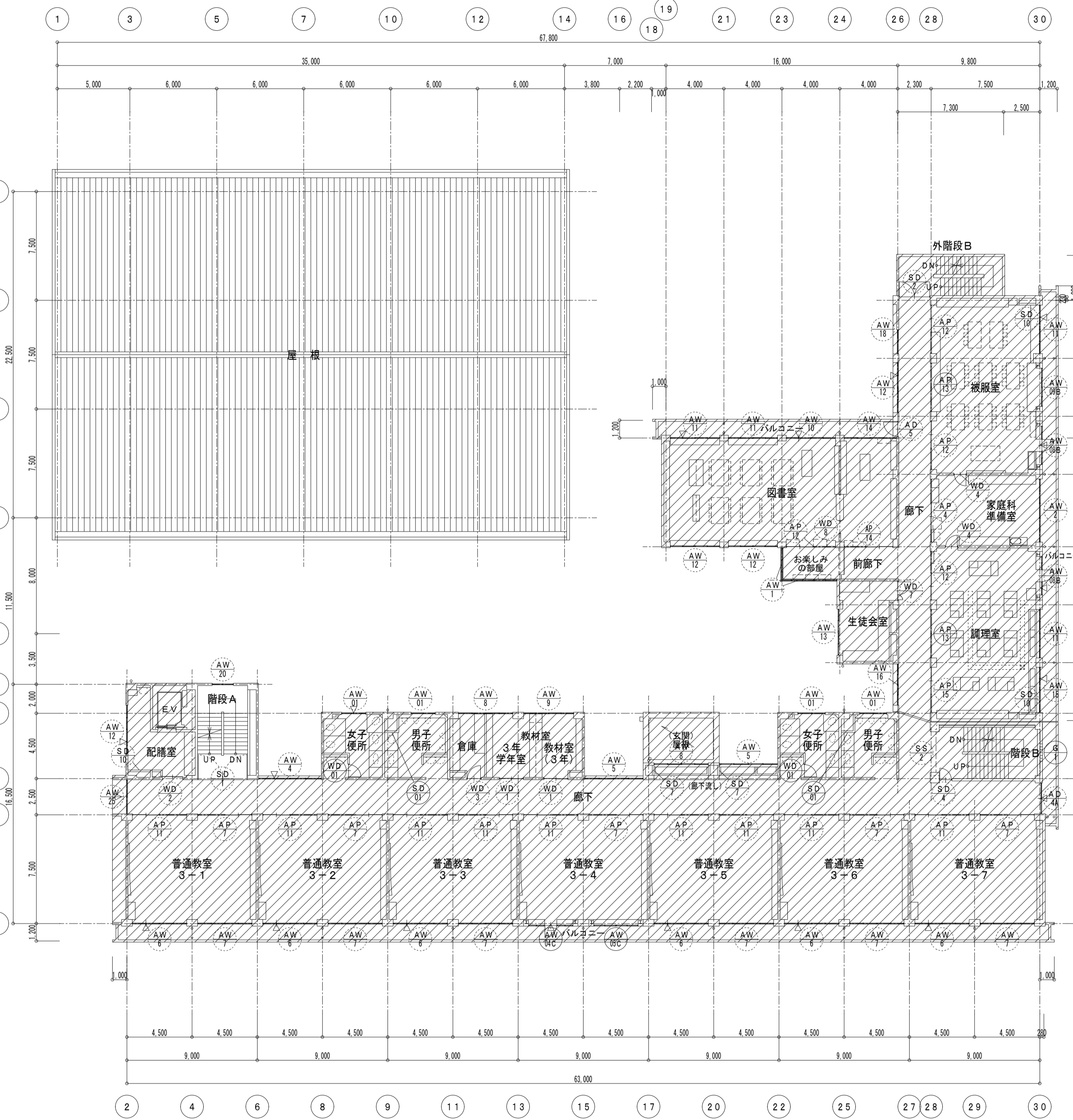
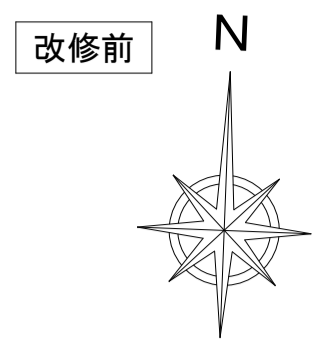


改修後 2階建具表キープラン S=1/200

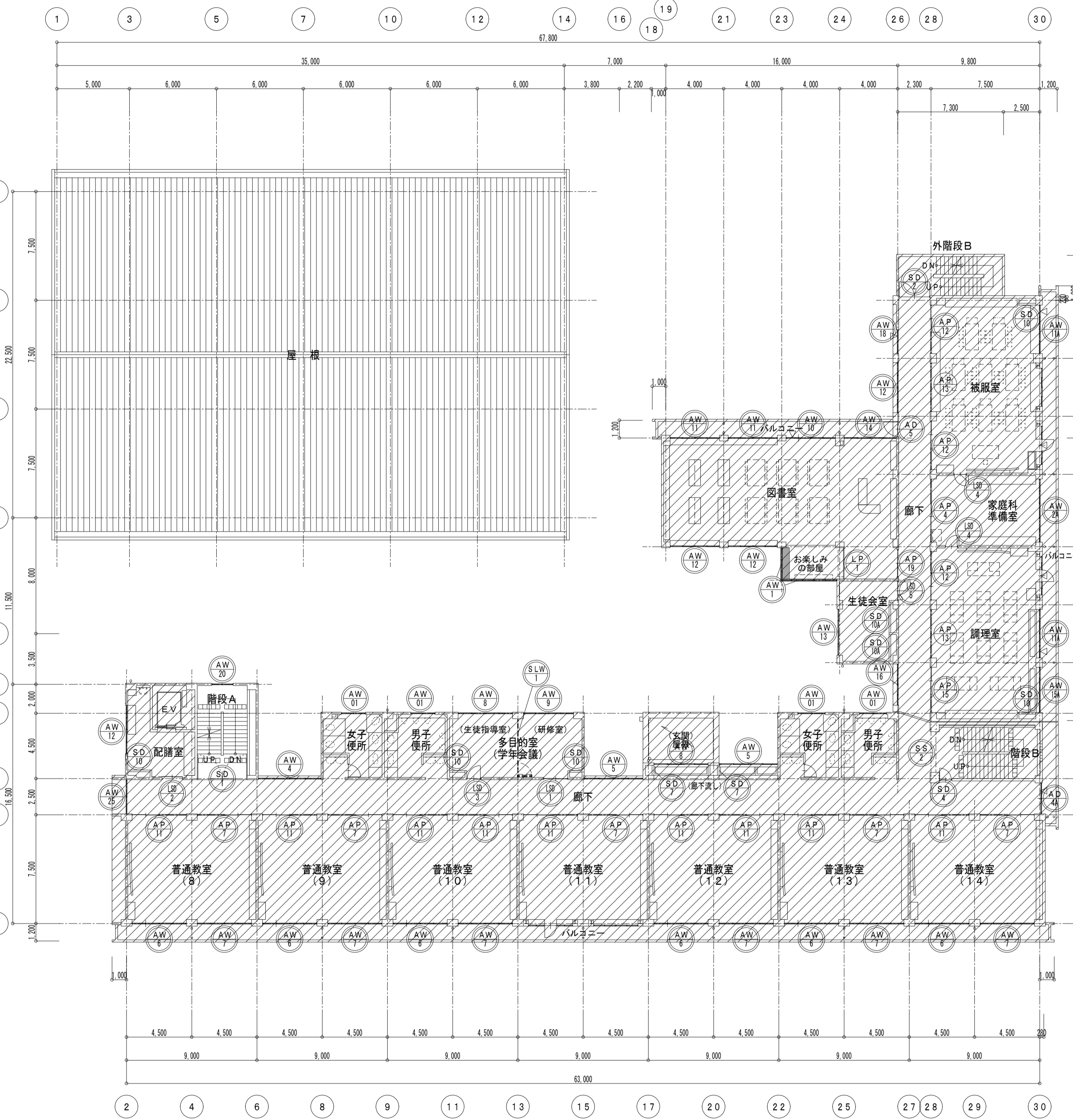
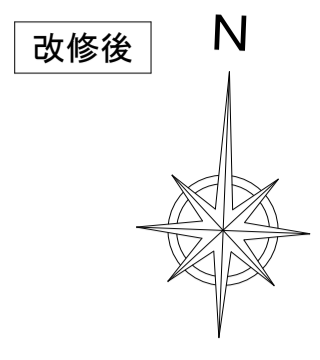
(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区龍引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 2階建具表キープラン



改修前 3階建具表キープラン S=1/200



改修後 3階建具表キープラン S=1/200

(▽) は、既存図：非常用出入口を示す

(▽) は、改修後：非常用出入口を示す

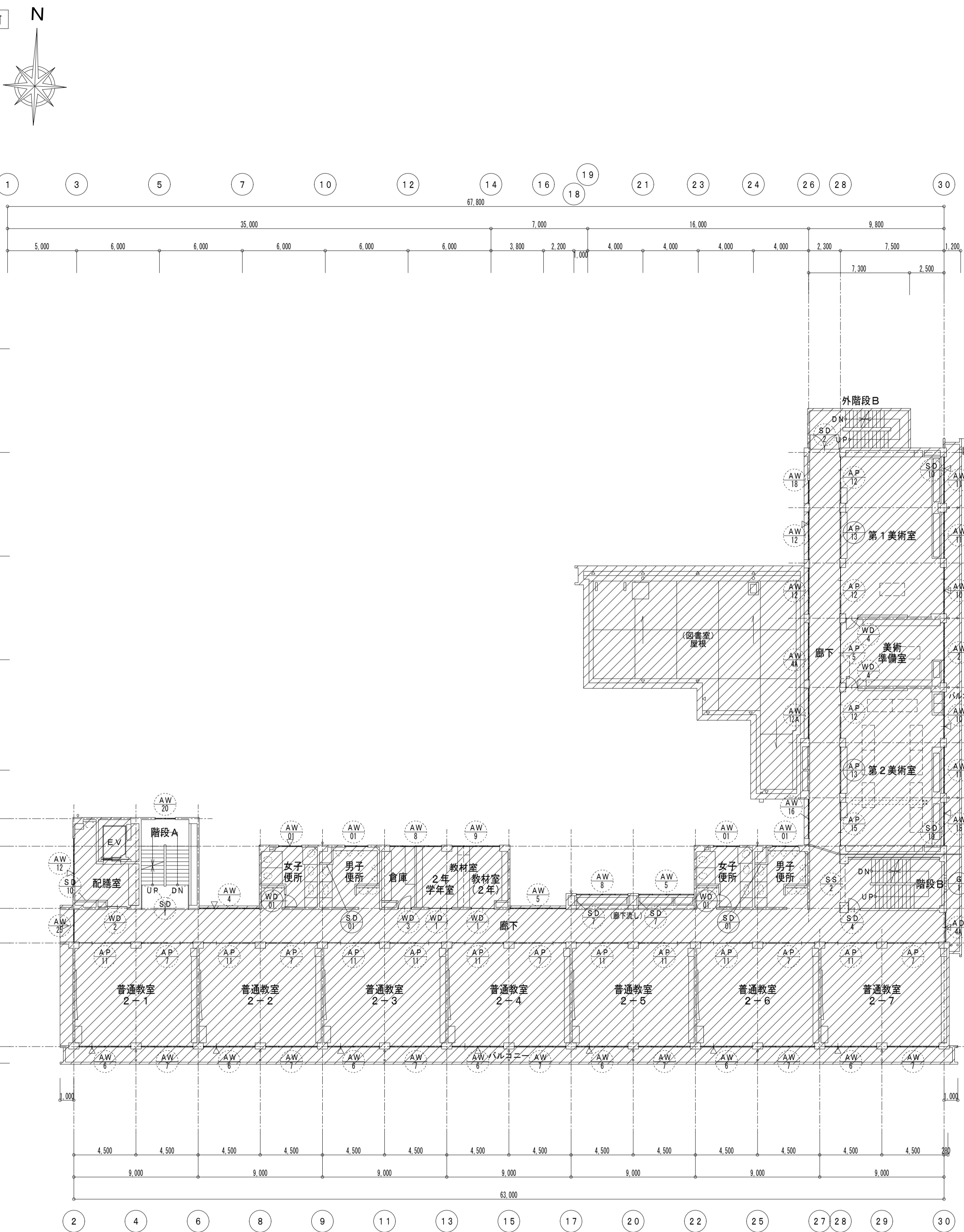
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区都引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当
縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400	
設計年月日	2023.3.15	

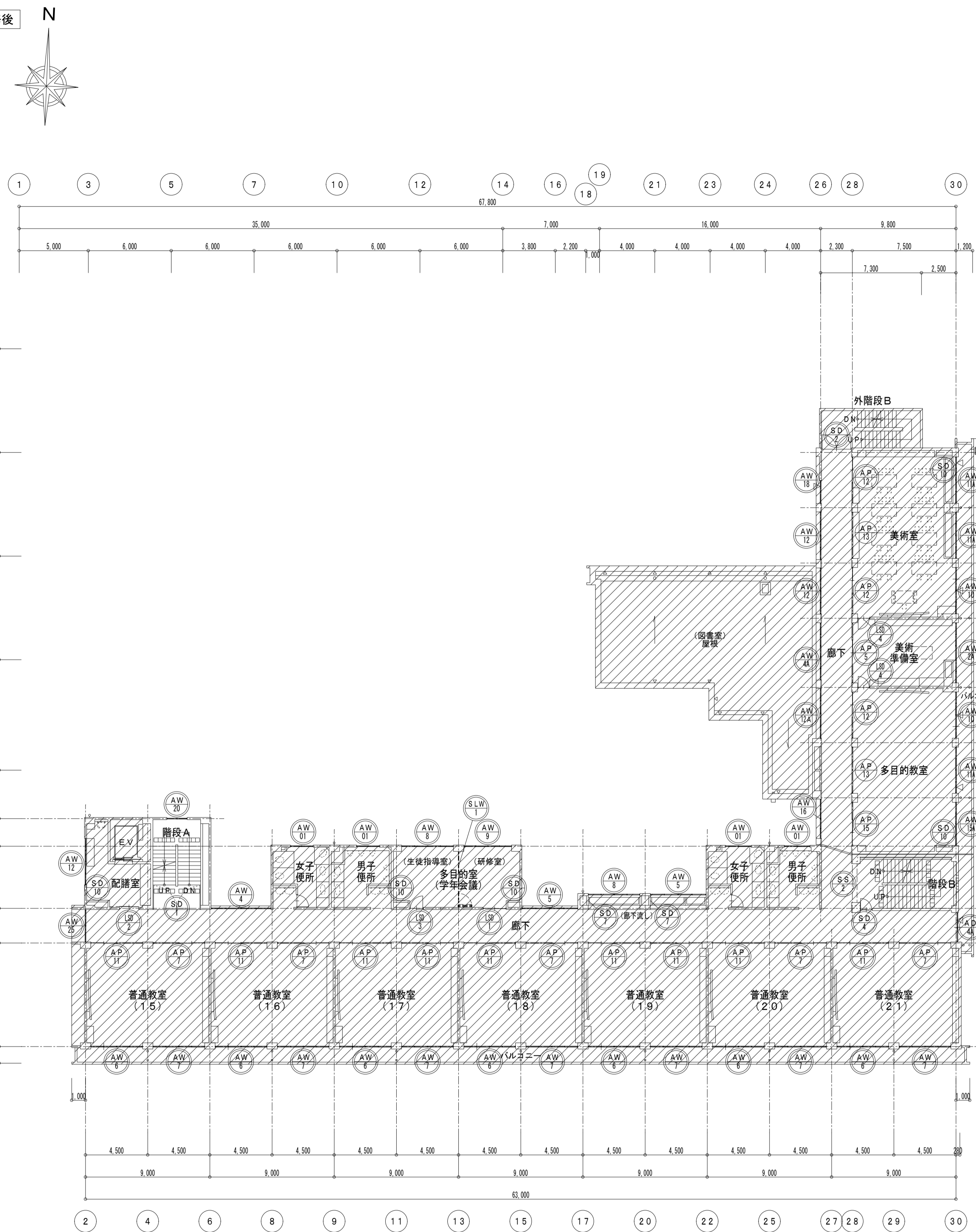
工事名称	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ償済)
図面名称	改修前・後 3階建具表キープラン

改修前

改修後



改修前 4階建具表キープラン S=1/200



改修後 4階建具表キープラン S=1/200

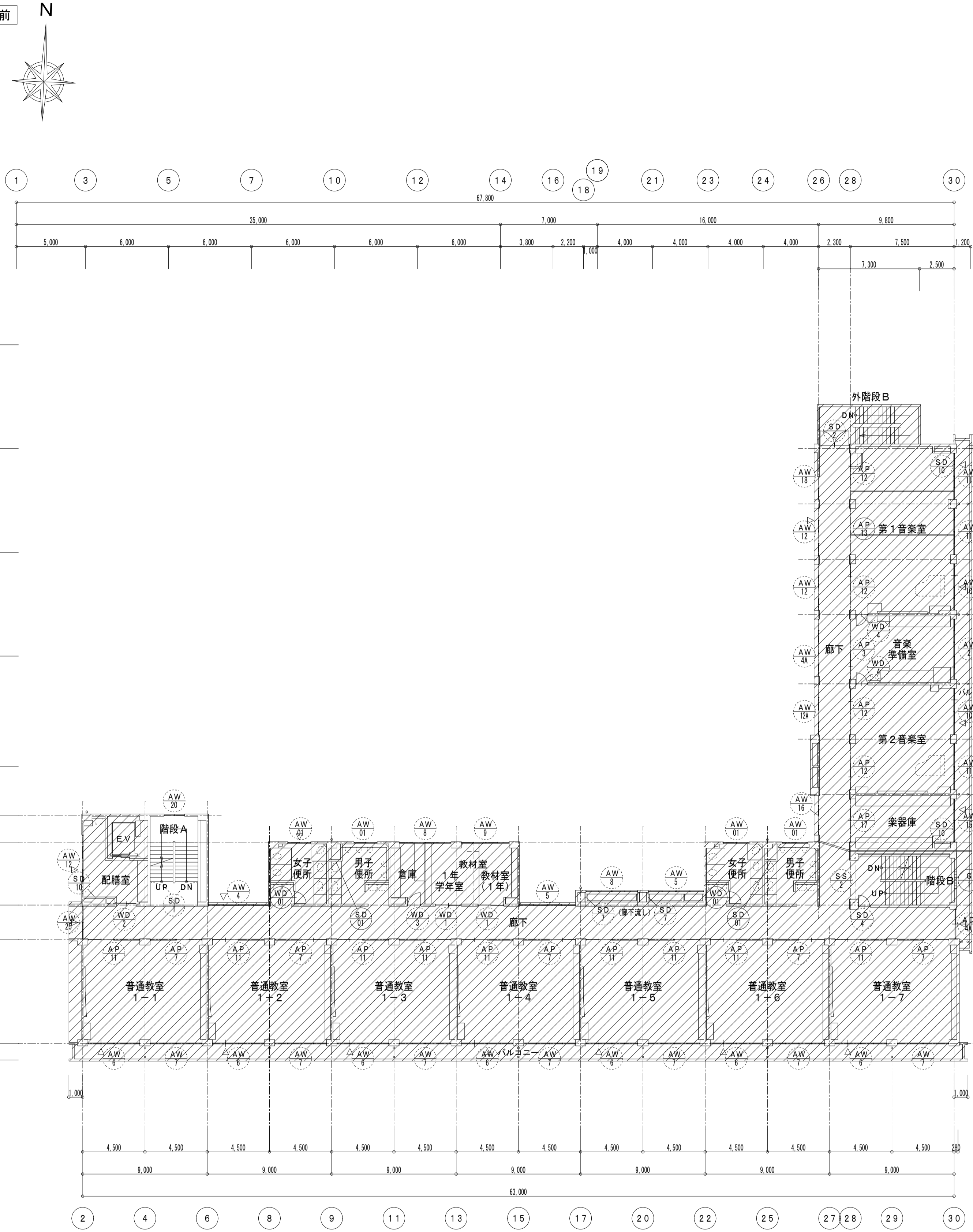
(▽は、既存図：非常用出入口を示す)

(▽は、改修後：非常用出入口を示す)

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区船引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当	縮尺 A1:1/200 A3:1/400	工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
			設計年月日 2023.3.15	図面名称 改修前・後 4階建具表キープラン

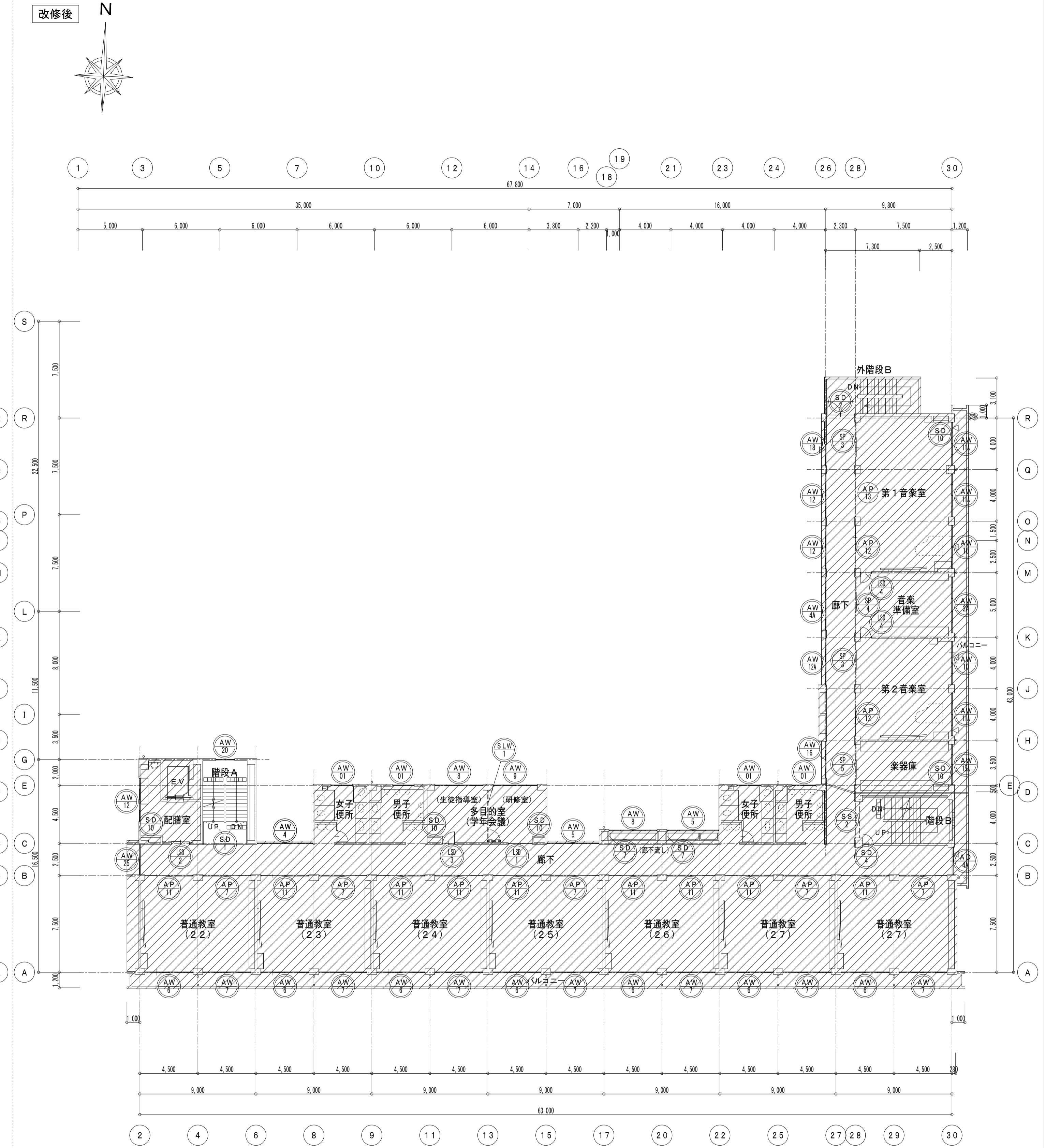
改修前



改修前 5階建具表キープラン S=1/200

(▽は、既存図・非常用出入口を示す)

改修後



改修後 5階建具表キープラン S=1/200

(▽は、改修後：非常用出入口を示す)

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当

縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日 2023.3.15

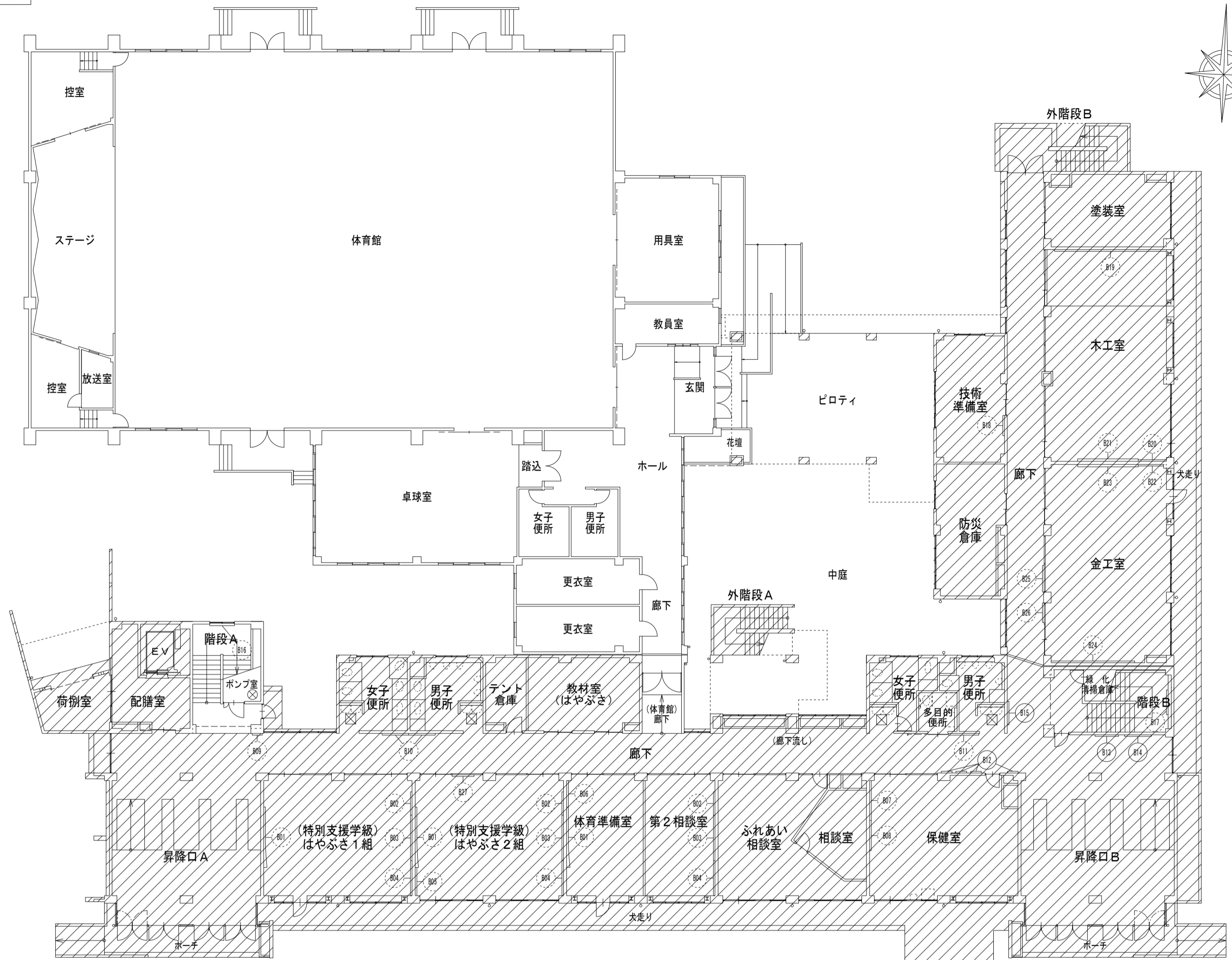
工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 5階建具表キープラン

改修前 建具表 2 S=1/100		凡例：○ は、既存改修建具を示す。○ は、撤去建具を示す。○ は、新設建具を示す。斜線は、【一部撤去】の範囲を示す。	
記号・型式	SD 1 スチール製開閉戸・戸袋付 (特定防火設備)	SD 2 スチール製開閉フラッシュ戸	SD 3 スチール製開閉フラッシュ戸
姿図			
場所・数量	(2~5階) 階段A 4 箇所	外階段B 5 箇所	(階段A・B) PH 2 箇所
仕上・見込	100 mm	100 mm	86 mm
ガラス	-	-	-
金物	オートハンジ、ケースハンドル、順位調整器、他標準金物一式	DC、フランス溝し、握玉シリンダー錠、他標準金物一式	DC、フランス溝し、握玉付空錠、戸当り、他標準金物一式
改修内容	【撤去(特共)】	【撤去(特共)】、外部シーリング【撤去】	【撤去(特共)】、(階段A) 外部シーリング【撤去】
記号・型式	SD 4 スチール製片開きフラッシュ戸 (特定防火設備)	SD 5 スチール製片開きフラッシュ戸	SD 6 スチール製片開きフラッシュ戸
姿図			
場所・数量	(1階) 階段A、(各階) 階段B 6 箇所	(階段A下) ポンプ室 1 箇所	(階段下) 緑化・清掃倉庫 1 箇所
仕上・見込	86 mm	86 mm	86 mm
ガラス	-	-	-
金物	DC (ストッパー無し)、握玉付空錠、戸当り、他標準金物一式	フランス溝し、握玉シリンダー錠、戸当り、他標準金物一式	握玉シリンダー錠、戸当り、他標準金物一式
改修内容	【撤去(特共)】、(階段A) 外部シーリング【撤去】	【既存下地調整】、錠前【撤去】	【既存下地調整】、錠前【撤去】
記号・型式	SD 7 スチール製片開きアングル戸	SD 8 スチール製開閉フラッシュ戸	SD 9 スチール製開閉フラッシュ戸
姿図			
場所・数量	廊下流しPS、玄関PS 10 箇所	塗装室(原材保管庫) 1 箇所	-
仕上・見込	60 mm	60 mm	60 mm
ガラス	-	-	-
金物	ハンドル錠、他標準金物一式	フランス溝し、握玉シリンダー錠、他標準金物一式	-
改修内容	【撤去(特共)】	【既存下地調整】、錠前【撤去】	-
記号・型式	SS 1 スチール製シャッター (特定防火設備)	SS 2 スチール製シャッター (特定防火設備)	SS 3 スチール製シャッター
姿図			
場所・数量	(1階) 階段A 1 箇所	(各階) 階段B 5 箇所	荷搬室 1 箇所
仕上・見込	86 mm	86 mm	86 mm
ガラス	-	-	-
金物	手動式、他標準金物一式	手動式、他標準金物一式	電動式、他標準金物一式
改修内容	【撤去(BOX共)】	【撤去(BOX共)】	(既存のまま)
記号・型式	AP 1 アルミ製パーテーション	AP 2 アルミ製パーテーション	AP 3 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)
姿図			
場所・数量	臨時教護室 1 箇所	用度倉庫 1 箇所	特別教室、記録室、給湯室PS 16 箇所
仕上・見込	50 mm	50 mm	60 mm
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	DC、サムターン付シリンダー錠、アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	SUS溝型レール、シリンダー錠錠、アルミ巾木 H=100、他標準金物一式
改修内容	【全て撤去(特共)】	【全て撤去(特共)】	【撤去(特共)】
記号・型式	AP 4 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 5 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 6 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)
姿図			
場所・数量	美術準備室 1 箇所	美術準備室 1 箇所	職員室、研修室・印刷室 3 箇所
仕上・見込	70 mm	70 mm	70 mm
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	SUS溝型レール、シリンダー錠錠、アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	SUS溝型レール、シリンダー錠錠、アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	アルミ巾木 H=100、他標準金物一式
改修内容	【撤去(BOX共)】	【撤去(BOX共)】	(既存のまま)
記号・型式	AP 7 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 8 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 9 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)
姿図			
場所・数量	職員室、研修室・印刷室 3 箇所	事務室 1 箇所	事務室 1 箇所
仕上・見込	70 mm	70 mm	70 mm
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	SUS溝型レール、シリンダー錠錠、アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	D.C.サムターン付シリンダー錠、アルミ巾木 H=100、カウンター：メラミン化粧板 W=500、他標準金物一式
改修内容	(別図：既耐震補強改修部分による)	【全て撤去(特共)】	【全て撤去(特共)】
記号・型式	AP 10 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 11 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 12 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)
姿図			
場所・数量	用度倉庫 1 箇所	校長室 1 箇所	普通教室、はやぶさ1・2棟、体育準備室、ふれあい相談室、保健室 35 箇所
仕上・見込	70 mm	70 mm	70 mm
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	DC、サムターン付シリンダー錠、アルミ巾木、他標準金物一式	SUS溝型レール、シリンダー錠錠、アルミ巾木 H=100、他標準金物一式
改修内容	【全て撤去(特共)】	【全て撤去(特共)】	【撤去(特共)】
記号・型式	AP 13 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 14 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 15 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)
姿図			
場所・数量	金工室、第1・第2理科室、読書室、調理室、第1・第2美術室 8 箇所	コンピュータ準備室、図書室 2 箇所	金工室、第2理科室、調理室、第2美術室 4 箇所
仕上・見込	70 mm	70 mm	70 mm
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	SUS溝型レール、シリンダー錠錠、アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	SUS溝型レール、シリンダー錠錠、アルミ巾木 H=100、他標準金物一式
改修内容	【撤去(特共)】	【撤去(特共)】	【撤去(特共)】
記号・型式	AP 16 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 17 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)	AP 18 アルミ製パーテーション (学校用開仕切)
姿図			
場所・数量	印刷室 1 箇所	印刷室 1 箇所	印刷室 1 箇所
仕上・見込	70 mm	70 mm	70 mm
ガラス	透明 t3.0	透明 t3.0	透明 t3.0
金物	アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	アルミ巾木 H=100、他標準金物一式	アルミ巾木 H=100、他標準金物一式
改修内容	(別図、既耐震補強改修部分による)	(別図、既耐震補強改修部分による)	(別図、既耐震補強改修部分による)
記号・型式	G 1 ガラスブロック	G 2 ガラスブロック	G 3 ガラスブロック
姿図			
場所・数量	階段B (2~5階) 3、(R階) 1 箇所	荷搬室 2 箇所	-
仕上・見込	-	-	-
ガラス	-	-	-
金物	ガラスブロック 190×190×85 (R階) 外側にアルミパネル張り 1,200×2,000	ガラスブロック 145×145×95	-
改修内容	【撤去(特共)】	外側シーリング【撤去・新設】	-

改修後 建具表 2 S=1/100 凡例: ○ は、既存改修建具を示す。 ⊖ は、撤去建具を示す。 ⊕ は、新設建具を示す。 ※カーバー工法部分の寸法は、既建具より(±50)とした寸法を示す

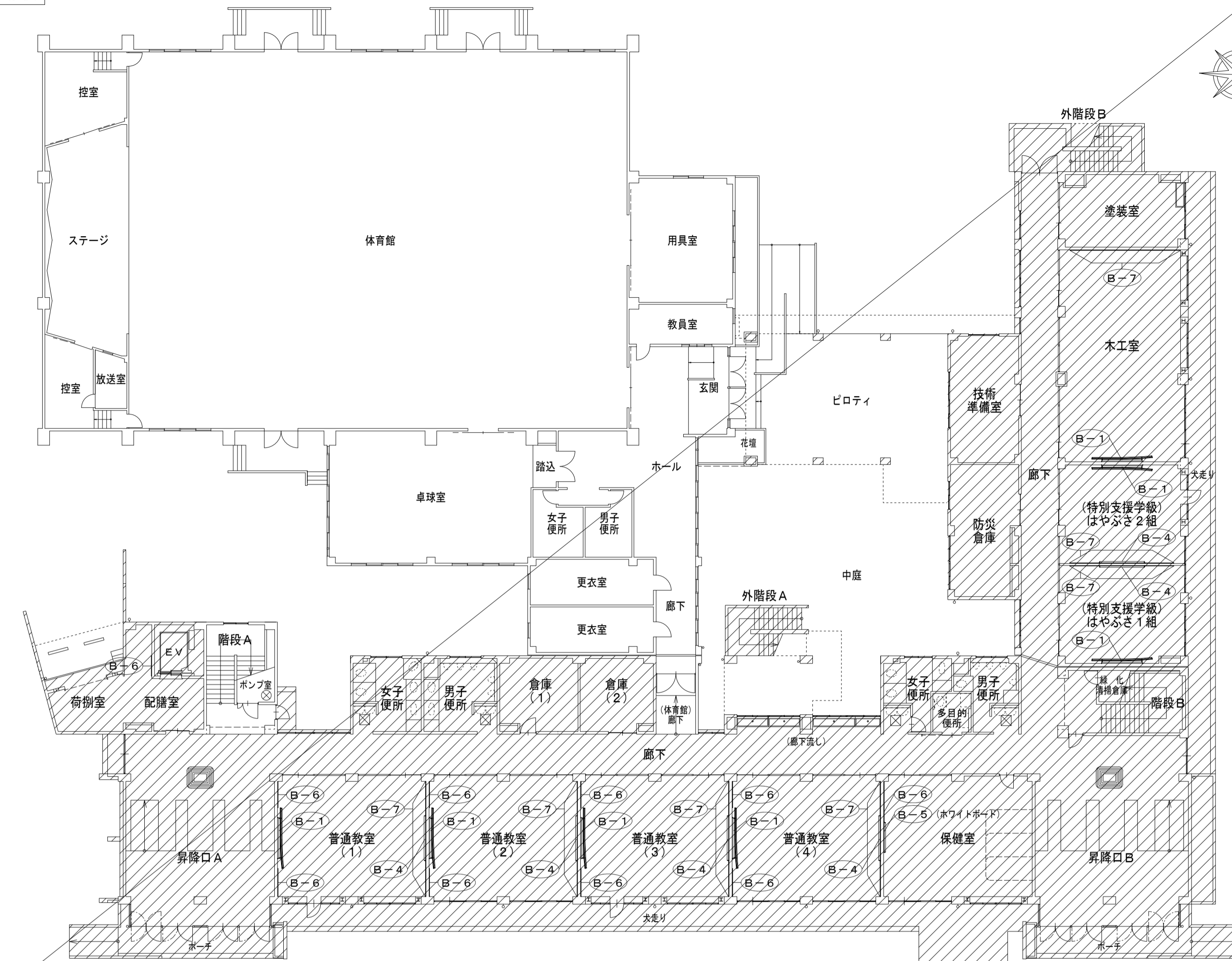
記号・型式	SD1	SD2	SD3	SD4	SD5	SD6	SD7	SD8
図								
場所・数量	(2~5階) 階段A 4箇所	外階段B 5箇所	(階段A・B) PH 2箇所	(1階) 階段A、(各階) 階段B 6箇所	(階段A下) ポンプ室 1箇所	(階段B下) 緑化・清掃倉庫 1箇所	廊下LPS、玄関PS 10箇所	塗装室(原形保留) 1箇所
仕上・見込	防錆・焼付塗装 100mm	防錆・焼付塗装 100mm	防錆・焼付塗装 86mm	防錆・焼付塗装 86mm	ステンール SOP塗 86mm	ステンール SOP塗 86mm	防錆・焼付塗装 60mm	ステンール SOP塗 86mm
ガラス	-	-	網入型 t6.8	-	-	-	-	-
金物	オートヒンジ、ケースハンドル、順位調整器、他標準金物一式	DC、フランス差し、握玉(内) シリンダー錠、他標準金物一式	DC、フランス差し、握玉(外) サムターン(内) シリンダー錠、他標準金物一式	DC(マスターキー無し)、(階段B) 握玉空錠、戸当り、他標準金物一式 階段A 握玉(内) サムターン	握玉(内) サムターン(外) シリンダー錠、他標準金物一式	握玉(内) サムターン(外) シリンダー錠、他標準金物一式	シリンダー一面付錠、他標準金物一式	フランス差し、握玉シリンダー錠、他標準金物一式
改修内容	【新設】	【新設】、外部シーリング共【新設】	【新設】、外部シーリング共【新設】	【新設】、(階段A) 外部シーリング共【新設】	下地調整の上、SOP塗【既存再塗装】 錠前【新設】(マスターキー合わせ)	下地調整の上、SOP塗【既存再塗装】 錠前【新設】(マスターキー合わせ)	【新設】	下地調整の上、SOP塗【既存再塗装】 錠前【新設】(マスターキー合わせ)
記号・型式	SD9	SD10	SD11	SD12	SS1	SS2	SS3	SD8
図	(改修前による)						(改修前による)	
場所・数量		SD-10 特別教室、配膳室、更衣室、給湯室、多目的室:PS 26箇所 SD-10A 防災倉庫、教員昇降室、生徒倉庫:PS 6箇所		(屋上) ETV機械室 1箇所	(1階) 階段A 1箇所	(各階) 階段B 5箇所		
仕上・見込		防錆・焼付塗装 60mm		防錆・焼付塗装 86mm	防錆塗装、焼付塗装	防錆塗装、焼付塗装		
ガラス		-		-	-	-		
金物		シリンダー一面付錠、他標準金物一式		DC、握玉(内) サムターン(外) シリンダー錠、戸当り、他標準金物一式	手動式、障害物感知装置付、急降下制動装置付、SUS音響、他標準金物一式	手動式、障害物感知装置付、急降下制動装置付、SUS音響、他標準金物一式		
改修内容	【撤去(特共)】	【新設】	【新設】	【新設(BOX共)】	【新設(BOX共)】	【新設(BOX共)】	(既存のまま)	
記号・型式	AP7	AP10	AP11	AP12	AP13	AP14	AP15	AP16
図	(改修前による)	(改修前による)				(改修前による)		
場所・数量			理科準備室 1箇所	家庭科準備室 1箇所	美術準備室 1箇所		AP-7 普通教室 18箇所 AP-7A 職員室、普通教室(5) 2箇所	事務室 1箇所
仕上・見込			アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm		アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	亜鉛メッキ鋼板 t0.6(焼付塗装: 木目鋼板) 70mm
ガラス			学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0		学校用強化透明 4.0, AP 1-1, 5 【(AP×7) AP×7【新設】	学校用強化透明 4.0
金物			SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式		SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	上吊り自閉式片引き戸(面付け)、引き棒、切窓、サムターン付シリンダー錠 機能部ガラス、他標準金物一式
改修内容	【全て撤去(特共)】	【全て撤去(特共)】	出入口フラッシュ戸・無目・欄間サッシ【新設(カバー工法)】 既存パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	出入口フラッシュ戸・無目・欄間サッシ【新設(カバー工法)】 既存パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	出入口フラッシュ戸・無目・欄間サッシ【新設(カバー工法)】 既存パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	(別図: 既耐震補修改修部分による)	出入口フラッシュ戸・無目・欄間サッシ【新設(カバー工法)】 既存パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	【新設】
記号・型式	AP7	AP10	AP11	AP12	AP13	AP14	AP15	AP16
図	(改修前による)					(改修前による)		(改修前による)
場所・数量			校長室 1箇所	普通教室、保健室、職員室 35箇所	後援室、木工室、はやぶさ2館、第1・第2理科室、調理室、多目的教室、第1・第2音楽室 14箇所	美術室、多目的教室、第1音楽室 8箇所	大研修室準備室 1箇所	はやぶさ2館、第2理科室、調理室、多目的教室 4箇所
仕上・見込			亜鉛メッキ鋼板 t0.6(焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	メラミン化粧合板 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm
ガラス			強化型 4.0	学校用強化透明 4.0, AP 1-1, 5 【(AP×1) ガラス×1【新設】、(AP×1) ガラス×1【新設】	学校用強化透明 4.0, AP 1-1, 5 【(AP×1) ガラス×2【新設】、(AP×1) ガラス×2【新設】】	透明 t3.0 遮断 【(AP×2) ガラス×2【新設】	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0, AP 1-1, 5 【(AP×1) ガラス×2【新設】、(AP×1) ガラス×2【新設】】
金物			上吊り自閉式片引き戸(面付け)、引き棒、切窓、サムターン付シリンダー錠 他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	アルミ枠 H=100、他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式
改修内容	【全て撤去(特共)】	【新設】	出入口フラッシュ戸・無目・欄間サッシ【新設(カバー工法)】 既存パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	出入口フラッシュ戸・無目・欄間サッシ【新設(カバー工法)】 既存パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	出入口フラッシュ戸・無目・欄間サッシ【新設(カバー工法)】 既存パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	既耐パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。 多目的教室(欄間): ガラス×2【新設】	出入口フラッシュ戸・無目・欄間サッシ【新設(カバー工法)】 既存パネル部分(両面): 下地処理の上、焼付板用合板 t5.5+提示クロス貼 側面アルミ押縁【新設】。既存部分は、【全面クリーニング】とする。	(別図: 既耐震補修改修部分による)
記号・型式	AP7	AP10	AP11	AP12	AP13	AP14	AP15	AP16
図	(改修前による)					(改修前による)		(改修前による)
場所・数量			AP-18 普通教室(4) AP-19a 普通教室(7)	図書室 1箇所	(共通部) アルミ製パーテーション 出入口の有効開口を出来る限り広くする為、 引違戸・戸先及び引違戸の取付位置、 機能部ガラスの取付位置及び引違戸の取付位置、 片引き戸、引違戸の取付位置の決定、 ※事前製作一式共取組、監修等に要する。	第1音楽室、第2音楽室 2箇所	音楽準備室 1箇所	美術室 1箇所
仕上・見込			アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	亜鉛メッキ鋼板 t0.6(焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	アルミフレーム学校用閉仕切 ドアパネル: 鋼板パネル(亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装: 木目鋼板) 70mm	亜鉛メッキ鋼板 t0.6(焼付塗装: 木目鋼板) 70mm
ガラス			学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0	学校用強化透明 4.0
金物			SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	上吊り自閉式片引き戸(面付け)、引き棒、切窓、サムターン付シリンダー錠 機能部ガラス、他標準金物一式	SUSレール、切窓、引違戸錠、他標準金物一式	上吊り自閉式片引き戸(面付け)、引き棒、切窓、サムターン付シリンダー錠 機能部ガラス、他標準金物一式
改修内容	【全て撤去(特共)】	【新設】	【新設】	【新設】	【新設】	【新設】	【新設】	【新設】

改修前



改修前 1階黒板・掲示版キープラン S=1/200

改修後



改修後 1階黒板・掲示版キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】黒板・掲示版を示す。詳細は、黒板・掲示版詳細図による。

【1階】 既存黒板・掲示版リスト 凡例：(○)は、【撤去】黒板・掲示版を示す(背面全面撤去、軽微なものは表・内装と共に撤去)。 (◎)は、既存改修黒板・掲示版【一時移動再設置(移設)】を示す。* (移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

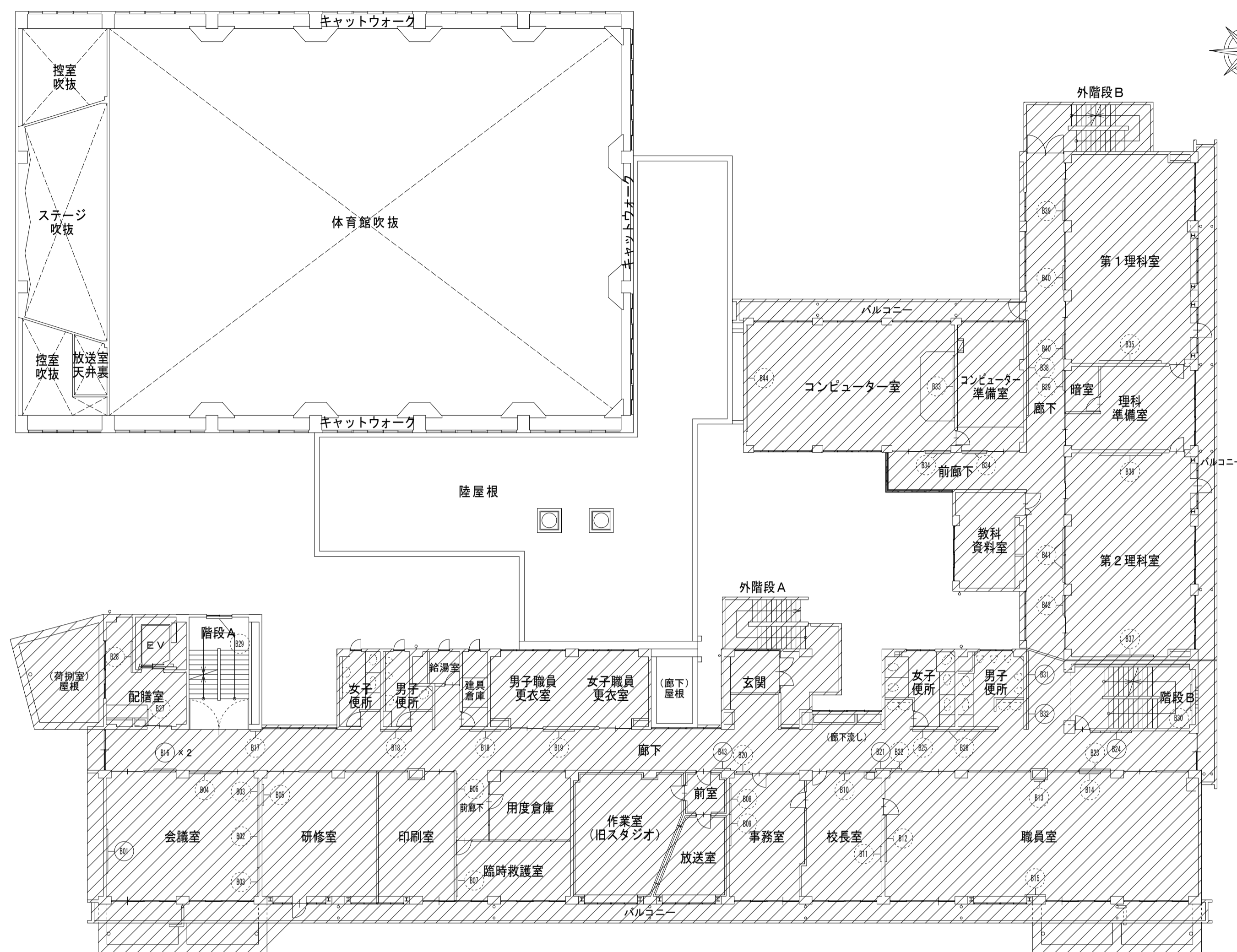
室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容
はやぶさ1組	◎B1	アルミ枠平面黒板	W3, 600×H1, 200	1	撤去	金工室	◎B4	アルミ枠掲示版	W4, 910×H1, 730	1	撤去
はやぶさ2組	◎	"	"	1	撤去	廊下	◎B3	アルミ枠掲示版	W1, 580×H900	1	撤去
体育準備室	◎	"	"	1	撤去	体育準備室	◎B2	アルミ枠掲示版	W1, 160×H900	1	撤去
はやぶさ1組	◎	アルミ枠掲示版	W1, 390×H900	1	撤去	はやぶさ2組	◎	アルミ枠平面黒板	W1, 300×H1, 200	1	撤去
はやぶさ2組	◎	"	"	1	撤去						
第2相談室	◎	"	"	1	撤去						
はやぶさ1組	◎	アルミ枠平面黒板	W2, 700×H900	1	撤去						
はやぶさ2組	◎	"	"	1	撤去						
第2相談室	◎	"	"	1	撤去						
はやぶさ1組	◎	アルミ枠掲示版	W2, 065×H900	1	撤去						
はやぶさ2組	◎	"	"	1	撤去						
第2相談室	◎	"	"	1	撤去						
はやぶさ2組	◎	アルミ枠掲示版	W1, 065×H1, 200	1	撤去						
体育準備室	◎	アルミ枠平面黒板	W1, 350×H1, 200	1	撤去						
保健室	◎	アルミ枠掲示版	W2, 370×H1, 100	1	撤去						
	◎	アルミ枠平面黒板	W1, 800×H1, 100	1	撤去						
廊下	◎	アルミ枠掲示版	W600×H900	1	撤去						
	◎	木枠掲示版	W1, 580×H900	2	撤去						
	◎	木枠掲示版	W1, 800×H1, 130	1	撤去						
	◎	ポスター額	W640×H800	4	一時移動再設置						
	◎	木製レリーフ(卒業記念)	W1, 400×H1, 700	1	一時移動再設置						
	◎	木製レリーフ(卒業記念)	W1, 600×H2, 100	1	一時移動再設置						
	◎	木製レリーフ(卒業記念)	W1, 400×H900	1	一時移動再設置						
階段A	◎	アルミ枠掲示版	W1, 200×H900	1	撤去						
階段B	◎	アルミ枠掲示版	W1, 200×H900	1	撤去						
技術準備室	◎	アルミ枠平面黒板	W1, 200×H600	1	撤去						
木工室	◎	アルミ枠掲示版	W6, 650×H2, 250	1	撤去						
	◎	アルミ枠掲示版	W1, 625×H1, 060	1	撤去						
	◎	アルミ枠上下黒板(2連)	W3, 600×H1, 800	1	撤去						
金工室	◎	アルミ枠掲示版	W1, 460×H1, 800	1	撤去						
	◎	アルミ枠上下黒板(2連)	W3, 600×H1, 800	1	撤去						

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榎引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 尚

承認 設計 担当
 縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日 2023.3.15

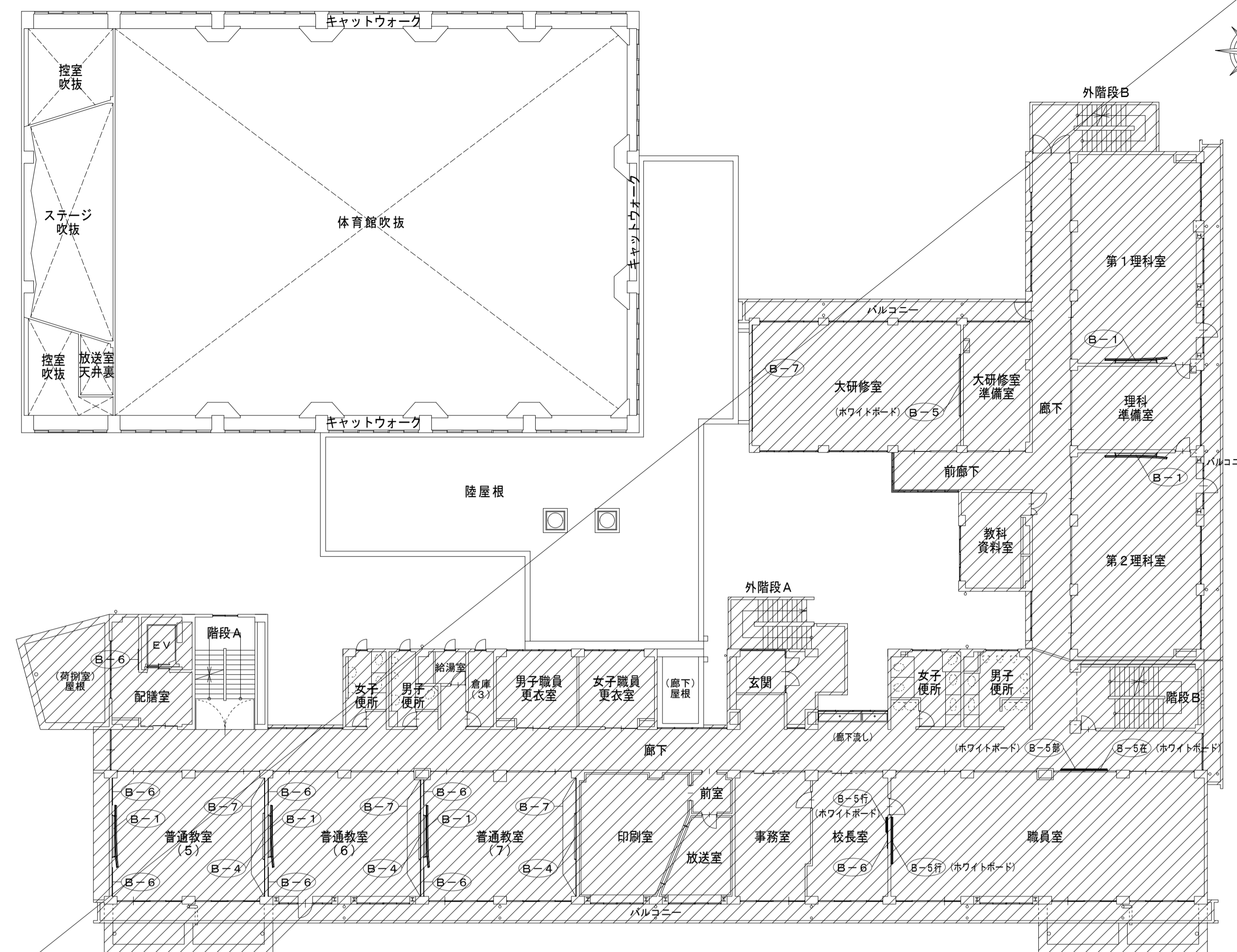
工事名称 市立勝瀬中学校長寿化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
 図面名称 改修前・後 1階黒板・掲示版キープラン、既存黒板・掲示版リスト

改修前



改修前 2階黒板・掲示版キープラン S=1/200

改修後



改修後 2階黒板・掲示版キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】黒板・掲示版を示す。詳細は、黒板・掲示版詳細図による。

【2階】 既存黒板・掲示版リスト 凡例：(●)は、【撤去】黒板・掲示版を示す(背面全面撤去、軽微なものを除く、内装と共に撤去)。 (○)は、既存改修黒板・掲示版【一時移動再設置・(移設)】を示す。*(移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容
会議室	(●)	木製卒業記念作品	W2, 550×H1, 820	1	(移設)	廊下	(○)	アルミ特ホワイトボード(連設板)	W1, 800×H900	1	一時移動再設置
	(○)	アルミ特平面黒板	W3, 600×H1, 200	1	撤去	コンピューター室	(○)	アルミ特ホワイトボード	W3, 600×H1, 200	1	撤去
	(○)	アルミ特掲示板	W1, 600×H1, 200	2	撤去	前廊下	(○)	木特掲示板	W1, 450×H900	2	撤去
	(○)	アルミ特ホワイトボード(行事予定入)	W1, 800×H900	1	撤去	第1理科室	(○)	アルミ特上下黒板	W3, 600×H1, 800	1	撤去
研修室	(○)	アルミ特掲示板	W1, 200×H900	1	撤去	第2理科室	(○)	アルミ特上下黒板	W3, 600×H1, 800	1	撤去
前廊下	(○)	アルミ特掲示板	W3, 650×H900	1	撤去	廊下	(○)	アルミ特平面黒板	W2, 700×H1, 100	1	撤去
臨時教護室	(○)	木特掲示板	W1, 800×H900	1	撤去	廊下	(○)	木特掲示板	W5, 510×H950	1	撤去
事務室	(○)	アルミ特平面黒板	W1, 800×H900	1	撤去		(○)	木特掲示板	W1, 140×H900	2	撤去
	(○)	アルミ特掲示板	W1, 800×H900	1	撤去		(○)	木特掲示板	W1, 400×H900	2	撤去
校長室	(○)	コルクボード	W900×H600	1	撤去		(○)	木特掲示板	W1, 580×H900	2	撤去
	(○)	アルミ特ホワイトボード(行事予定入)	W900×H600	1	撤去		(○)	木特掲示板	W1, 143×H900	1	撤去
職員室	(○)	アルミ特ホワイトボード(行事予定入)	W2, 700×H1, 200	1	撤去	廊下	(○)	木製レリフ(卒業記念)	W900×H1, 450	1	一時移動再設置
	(○)	アルミ特ホワイトボード	W600×H900	1	撤去	コンピューター室	(○)	アルミ特掲示板	W6, 150×H2, 065	1	撤去
	(○)	アルミ特ホワイトボード	W1, 200×H900	1	撤去						
	(○)	アルミ特ホワイトボード	W1, 200×H900	1	撤去						
廊下	(○)	ポスター類	W640×H880	2	移設						
	(○)	アルミ特掲示板	W600×H900	1	撤去						
	(○)	掲示板	W1, 820×H900	2	撤去						
	(○)	掲示板	W1, 820×H900	1	撤去						
	(○)	コルクボード	W770×H900	1	撤去						
	(○)	アルミ特ホワイトボード(行事予定入)	W900×H1, 100	1	一時移動再設置						
	(○)	コルクボード	W600×H900	1	撤去						
	(○)	アルミ特ホワイトボード(行事予定入)	W1, 800×H900	1	撤去						
	(○)	アルミ特ホワイトボード	W600×H900	4	一時移動再設置						
	(○)	木特掲示板	W1, 200×H900	1	撤去						
	(○)	アルミ特掲示板	W1, 800×H900	2	撤去						
配膳室	(○)	掲示板	W900×H600	1	撤去						
	(○)	アルミ特平面黒板	W1, 800×H600	1	撤去						
階段A	(○)	アルミ特掲示板	W1, 200×H900	1	撤去						
階段B	(○)	アルミ特掲示板	W1, 200×H900	1	撤去						
廊下	(○)	木特コルク掲示板	W2, 730×H1, 820	1	一時移動再設置						

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区船引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当

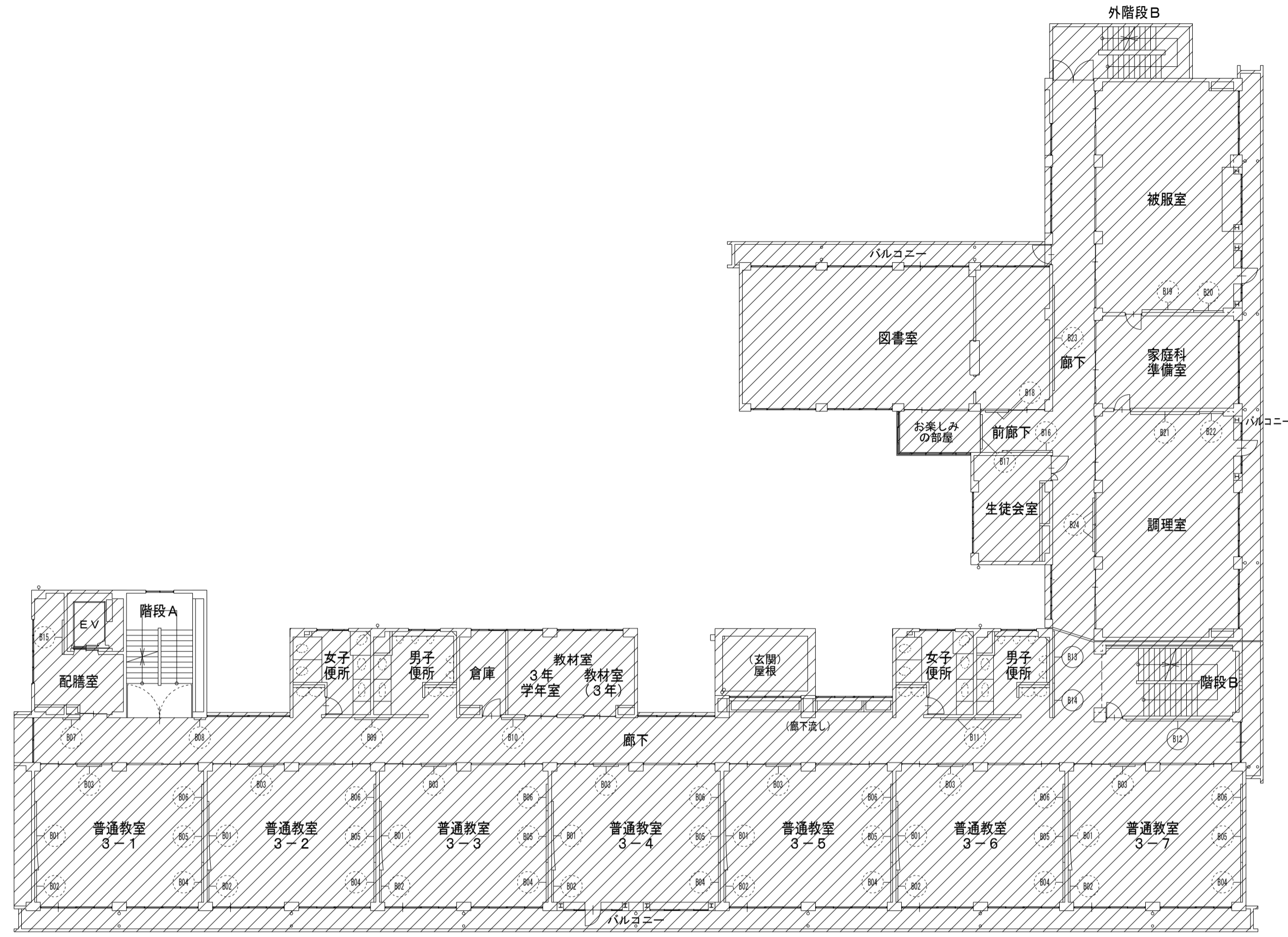
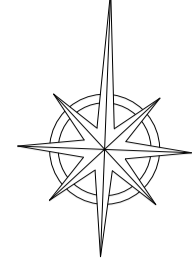
縮尺 A1:1/200
 A3:1/400
 設計年月日 2023.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)

図面名称 改修前・後 2階黒板・掲示版キープラン、既存黒板・掲示版リスト

改修前

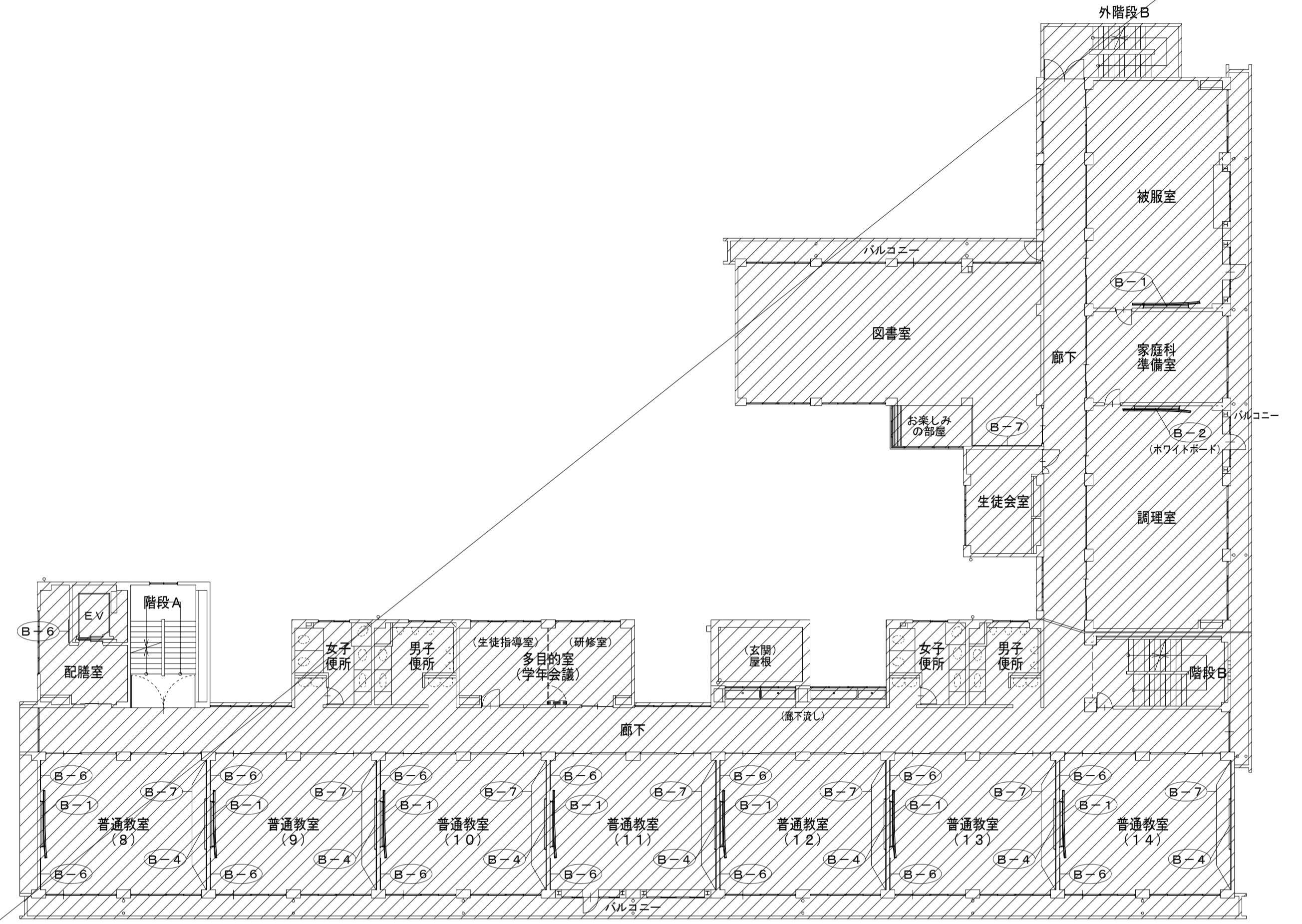
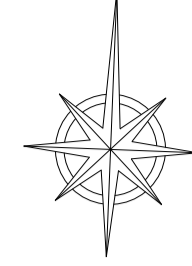
N



改修前 3階黒板・掲示版キープラン S=1/200

改修後

N



改修後 3階黒板・掲示版キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】黒板・掲示版を示す。詳細は、黒板・掲示版詳細による。

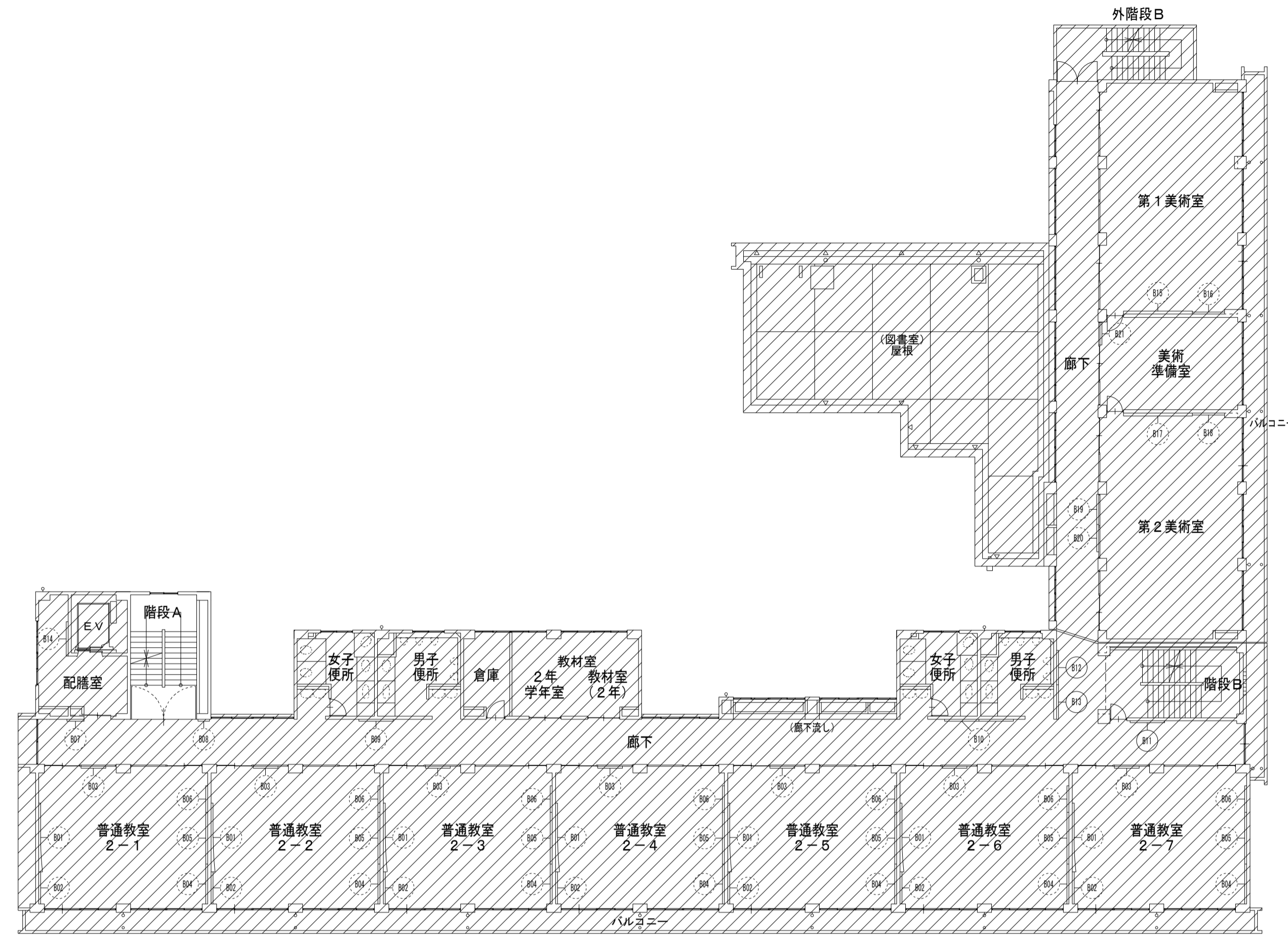
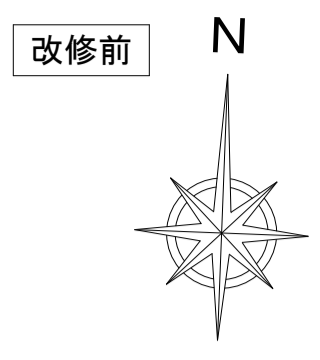
【3階】 既存黒板・掲示版リスト 凡例：(B)は、【撤去】黒板・掲示版を示す(背面全面撤去、軽微なものは除く、内装と共に撤去)。(R)は、既存改修黒板・掲示版【一時移動再設置・(移設)】を示す。*(移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容
普通教室	(B1)	アルミ枠半面黒板	W3,600×H1,200	7	撤去						
	(B2)	アルミ枠掲示版	W1,650×H1,200	7	撤去						
	(B3)	アルミ枠半面黒板 (行事予定入)	W1,300×H1,200	1	撤去						
	"	"	W1,200×H1,200	1	撤去						
	"	"	W1,100×H1,200	1	撤去						
	"	"	W1,200×H1,200	1	撤去						
	"	"	W1,200×H1,200	1	撤去						
廊下	(B7)	アルミ枠掲示版	W2,065×H900	7	撤去						
	(B8)	アルミ枠半面黒板	W2,700×H900	7	撤去						
	(B9)	アルミ枠掲示版	W1,390×H900	7	撤去						
	(B10)	コルクボード	W900×H600	1	撤去						
	(B11)	アルミ枠掲示版	W600×H900	1	撤去						
	(B12)	木枠掲示版	W1,800×H900	1	撤去						
	(B13)	アルミ枠掲示版	W1,200×H900	1	撤去						
廊下	(B14)	木枠掲示版	W1,800×H900	2	撤去						
	(B15)	アルミ枠掲示版	W1,800×H900	1	一時移動再設置						
	(B16)	木枠掲示版	W1,800×H900	1	一時移動再設置						
	(B17)	アルミ枠ホワイトボード	W1,800×H900	1	一時移動再設置						
	(B18)	アルミ枠半面黒板	W1,800×H600	1	撤去						
	(B19)	コルクボード	W3,600×H900	1	撤去						
	(B20)	アルミ枠ホワイトボード	W1,800×H900	1	撤去						
図書室	(B21)	アルミ枠ホワイトボード	W1,200×H900	1	撤去						
	(B22)	アルミ枠半面黒板	W2,700×H1,800	1	撤去						
	(B23)	アルミ枠上下黒板	W1,520×H1,800	1	撤去						
家庭科準備室	(B24)	アルミ枠上下黒板(2連)	W3,600×H1,800	1	撤去						
	(B25)	アルミ枠掲示版	W1,120×H1,800	1	撤去						
調理室	(B26)	木枠掲示版	W3,600×H950	1	撤去						
	(B27)	木枠掲示版	W1,400×H900	2	撤去						

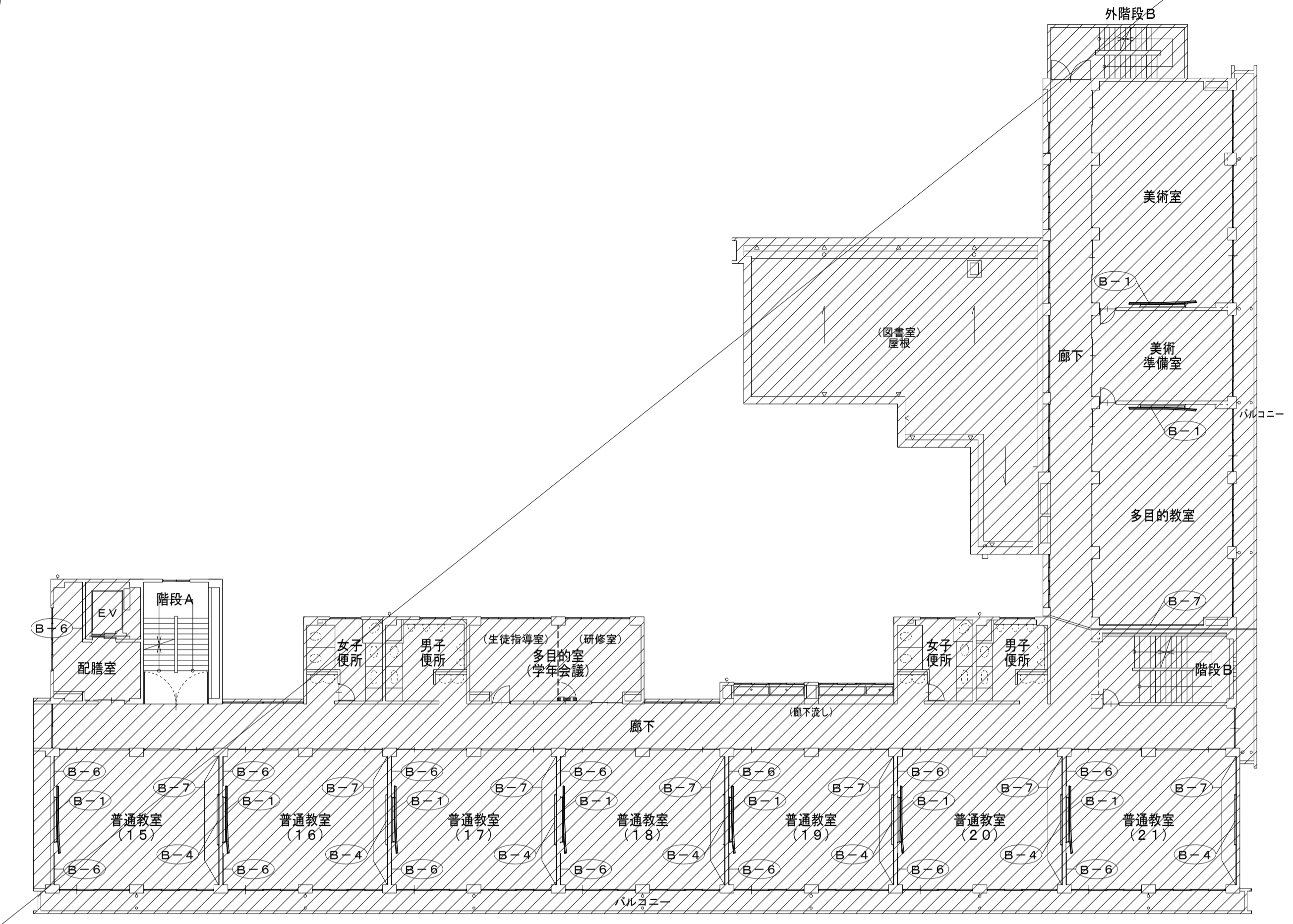
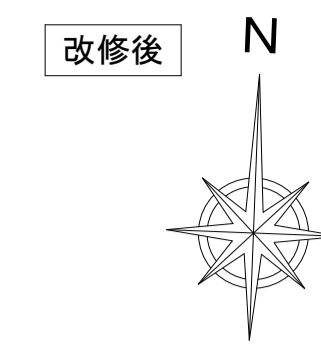
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
図面名称 改修前・後 3階黒板・掲示版キープラン、既存黒板・掲示版リスト



改修前 4階黒板・掲示版キープラン S=1/200



改修後 4階黒板・掲示版キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】黒板・掲示版を示す。詳細は、黒板・掲示版詳細図による。

【4階】 既存黒板・掲示版リスト 凡例：(800)は、【撤去】黒板・掲示版を示す(背面全面掲示板、軽微なものは除く、内装と共に撤去)。 (800)は、既存改修黒板・掲示版【一時移動再設置・(移設)】を示す。*(移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容
普通教室	(801)	アルミ枠平面黒板	W3, 600×H1, 200	7	撤去												
	(802)	アルミ枠掲示版	W1, 650×H1, 200	7	撤去												
	(803)	アルミ枠平面黒板 (行事予定入)	W1, 200×H1, 200	1	撤去												
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去												
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去												
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去												
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去												
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去												
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去												
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去												
廊下	(804)	アルミ枠掲示版	W2, 085×H900	7	撤去												
	(805)	アルミ枠平面黒板	W2, 700×H900	7	撤去												
	(806)	アルミ枠掲示版	W1, 390×H900	7	撤去												
	(807)	コルクボード	W900×H600	1	撤去												
廊下	(808)	アルミ枠掲示版	W600×H900	1	撤去												
	(809)	木枠掲示版	W1, 800×H900	1	撤去												
	(810)	木枠掲示版	W1, 800×H900	2	撤去												
	(811)	アルミ枠掲示版	W1, 800×H1, 200	1	一時移動再設置												
配膳室	(812)	木枠掲示版	W1, 800×H900	1	一時移動再設置												
	(813)	アルミ枠ホワイトボード	W1, 800×H900	1	一時移動再設置												
	(814)	アルミ枠平面黒板	W1, 800×H600	1	撤去												
第1美術室	(815)	アルミ枠上下黒板(2連)	W3, 600×H1, 800	1	撤去												
	(816)	アルミ枠掲示版	W1, 550×H1, 800	1	撤去												
第2美術室	(817)	アルミ枠上下黒板(2連)	W3, 600×H1, 800	1	撤去												
	(818)	アルミ枠掲示版	W1, 550×H1, 800	1	撤去												
廊下	(819)	木枠掲示版	W1, 580×H900	1	撤去												
	(820)	木枠掲示版	W1, 430×H900	1	撤去												
美術準備室	(821)	アルミ枠平面黒板	W1, 190×H600	1	撤去												

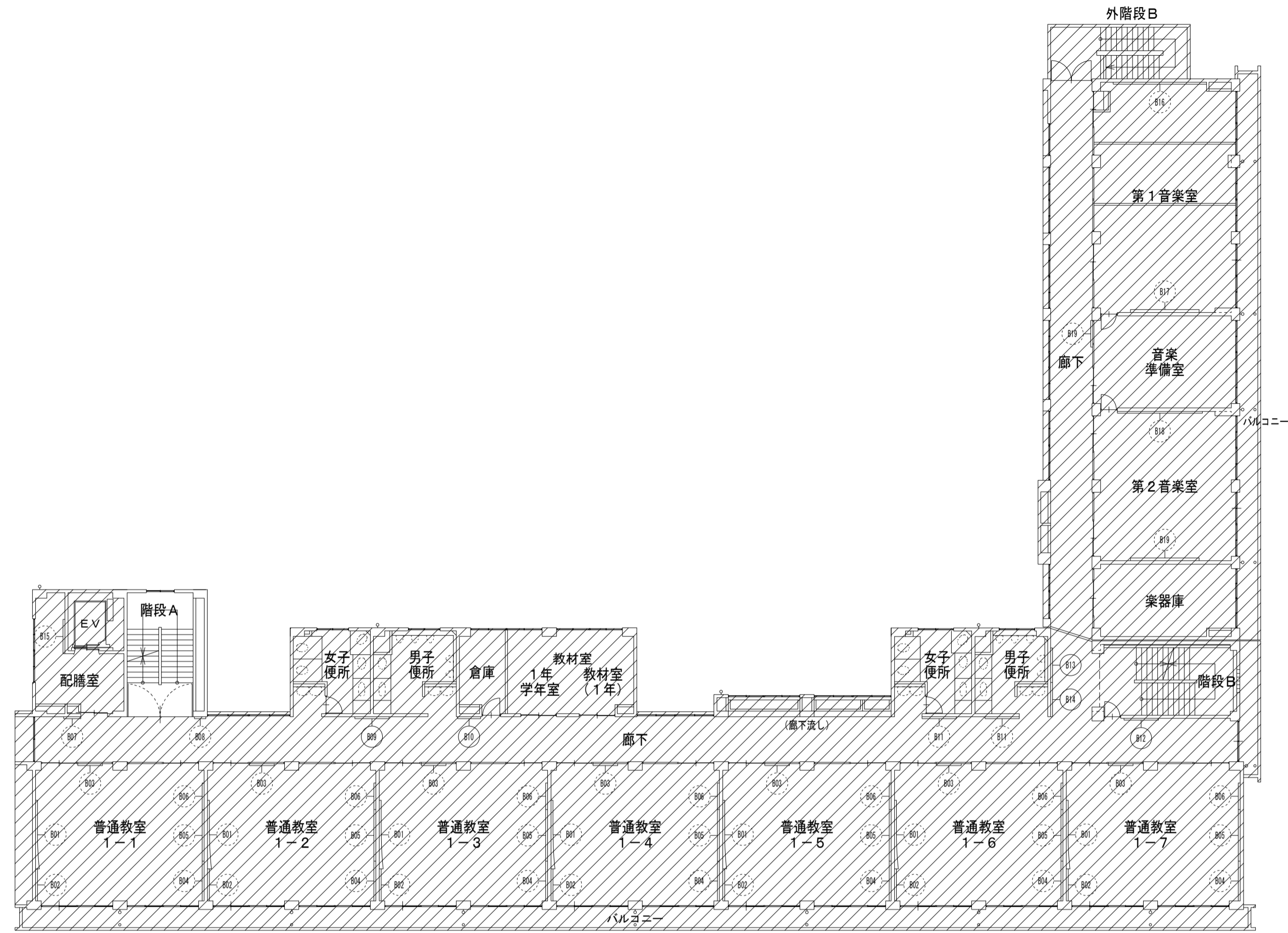
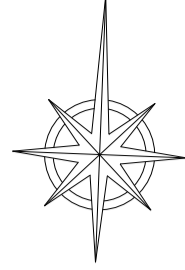
(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区柳引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債借)
図面名称 改修前・後 4階黒板・掲示版キープラン、既存黒板・掲示版リスト
No. A-36

改修前

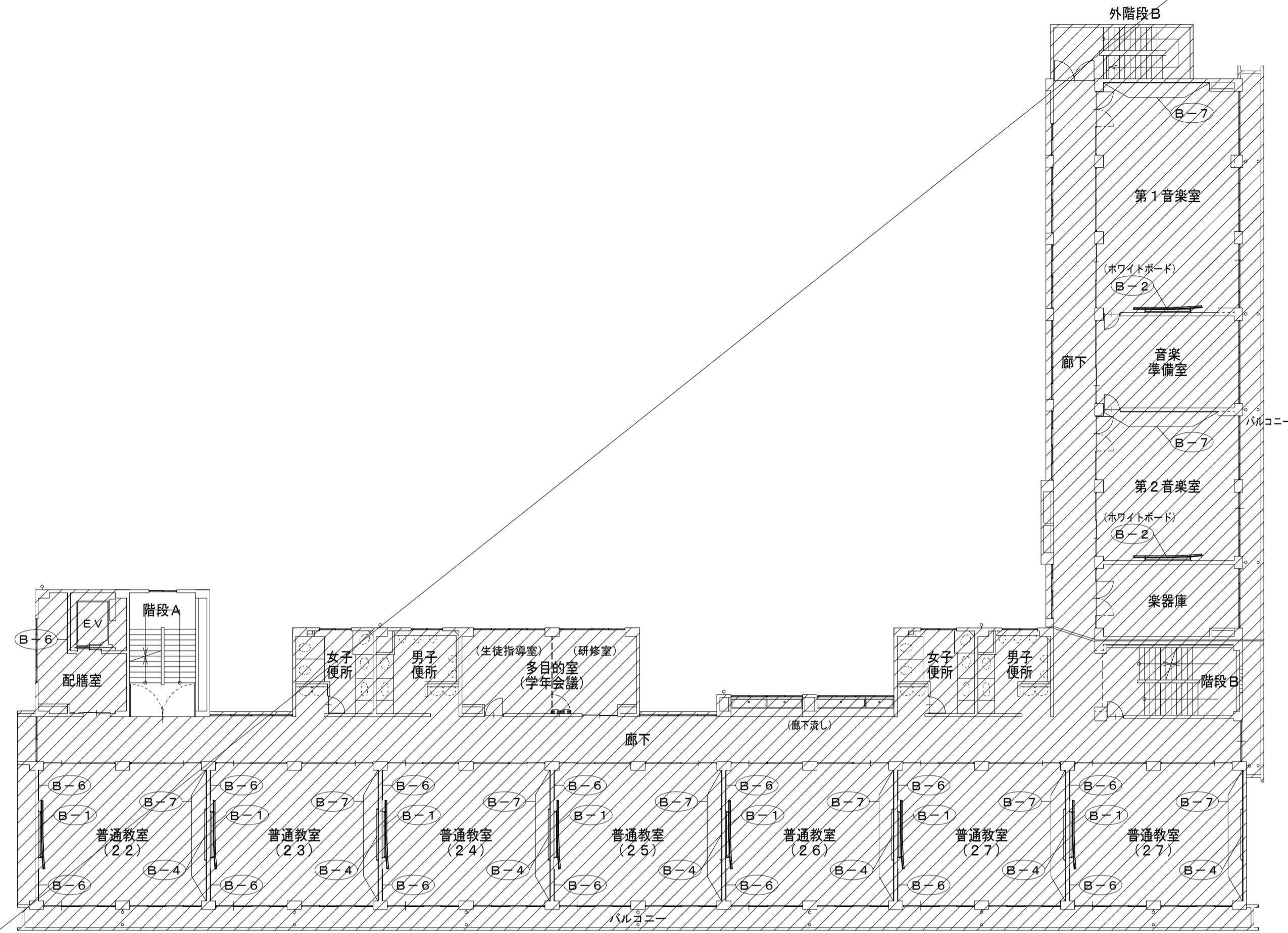
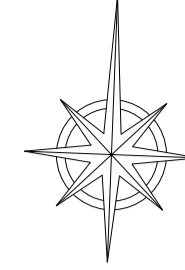
N



改修前 5階黒板・掲示版キープラン S=1/200

改修後

N



改修後 5階黒板・掲示版キープラン S=1/200 ※改修後の【新設】黒板・掲示版を示す。詳細は、黒板・掲示版詳細図による。

【5階】 既存黒板・掲示版リスト 凡例：(B0)は、【撤去】黒板・掲示版を示す(背面全面撤去、軽微なものは除く、内装と共に撤去)。 (B1)は、既存改修黒板・掲示版【一時移動再設置・(移設)】を示す。*(移設)は、改修後の教室へ移設とする(記載が無いものは学校の指示による)。

室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容	室名	記号	種類	サイズ(W×H)	数量	改修内容	
普通教室	(B1)	アルミ枠半面黒板	W3, 600×H1, 200	7	撤去													
	(B2)	アルミ枠掲示版	W1, 650×H1, 200	7	撤去													
	(B3)	アルミ枠半面黒板 (行事予定入)	W1, 200×H1, 200	1	撤去													
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去													
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去													
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去													
	"	"	W1, 200×H1, 200	1	撤去													
廊下	(B4)	アルミ枠掲示版	W2, 085×H900	7	撤去													
	(B5)	アルミ枠半面黒板	W2, 700×H900	7	撤去													
	(B6)	アルミ枠掲示版	W1, 390×H900	7	撤去													
	(B7)	コルクボード	W900×H600	1	撤去													
	(B8)	アルミ枠掲示版	W600×H900	1	撤去													
	(B9)	木枠掲示版	W1, 800×H900	1	一時移動再設置													
	(B10)	アルミ枠掲示版	W1, 200×H900	1	一時移動再設置													
配膳室	(B11)	木枠掲示版	W1, 200×H900	2	撤去													
	(B12)	アルミ枠掲示版	W1, 800×H1, 200	1	一時移動再設置													
	(B13)	木枠掲示版	W1, 800×H900	1	一時移動再設置													
	(B14)	アルミ枠ホワイトボード	W1, 800×H900	1	一時移動再設置													
	(B15)	アルミ枠半面黒板	W1, 800×H600	1	撤去													
	(B16)	アルミ枠掲示版	W4, 895×H1, 800	1	撤去													
	(B17)	アルミ枠引分け黒板	W3, 600×H1, 200	1	撤去													
第1音楽室	(B18)	アルミ枠掲示版	W4, 460×H1, 200	1	撤去													
	(B19)	アルミ枠引分け黒板	W3, 600×H1, 200	1	撤去													
廊下	(B20)	木枠掲示版	W1, 400×H900	1	撤去													

(有) 桑子建築設計事務所
さいたま市大宮区榑引町1-330-4
TEL 048-783-5566
一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認 設計 担当

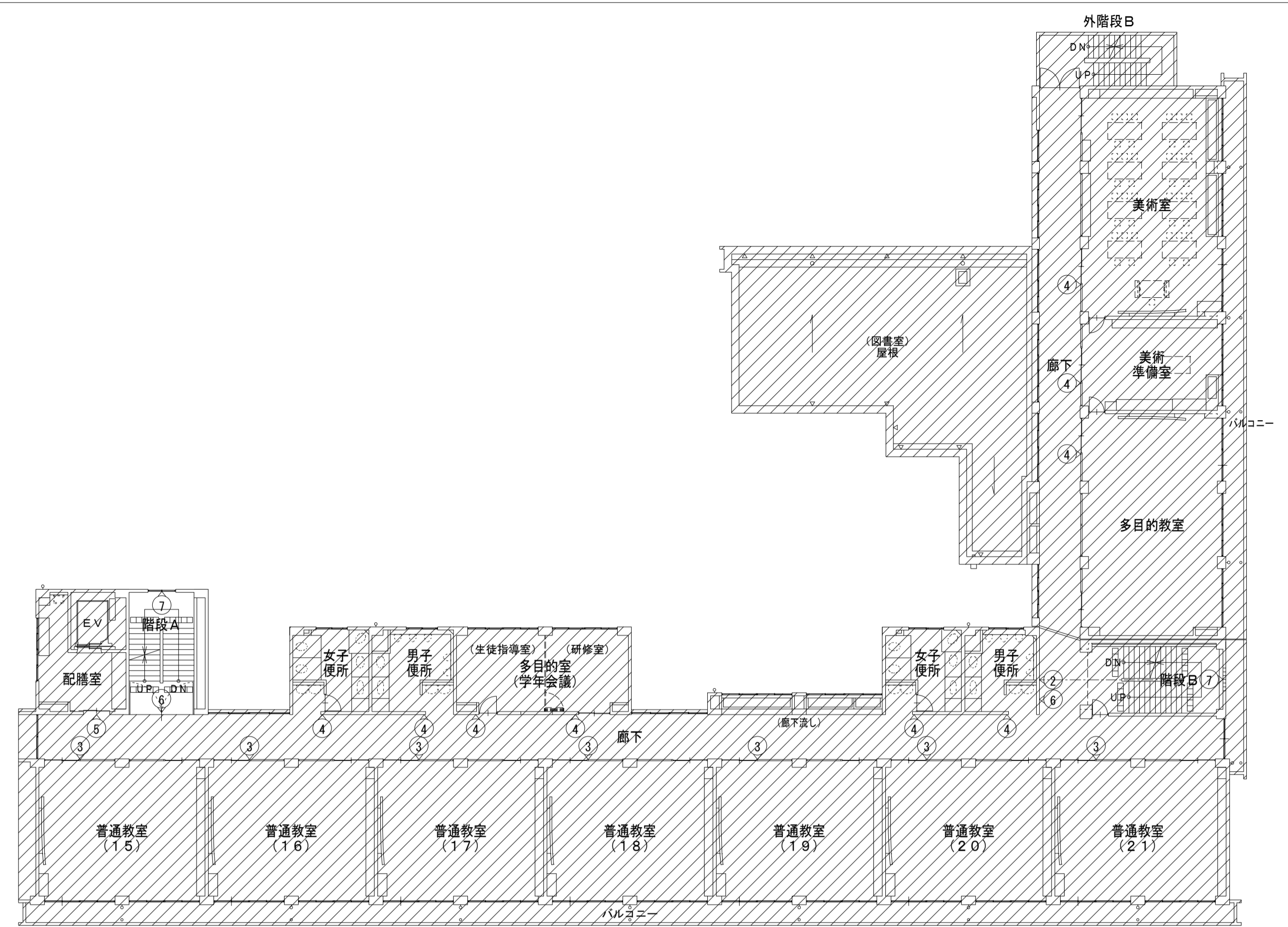
縮尺 A1:1/200
A3:1/400
設計年月日 2023.3.15

工事名称 市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)

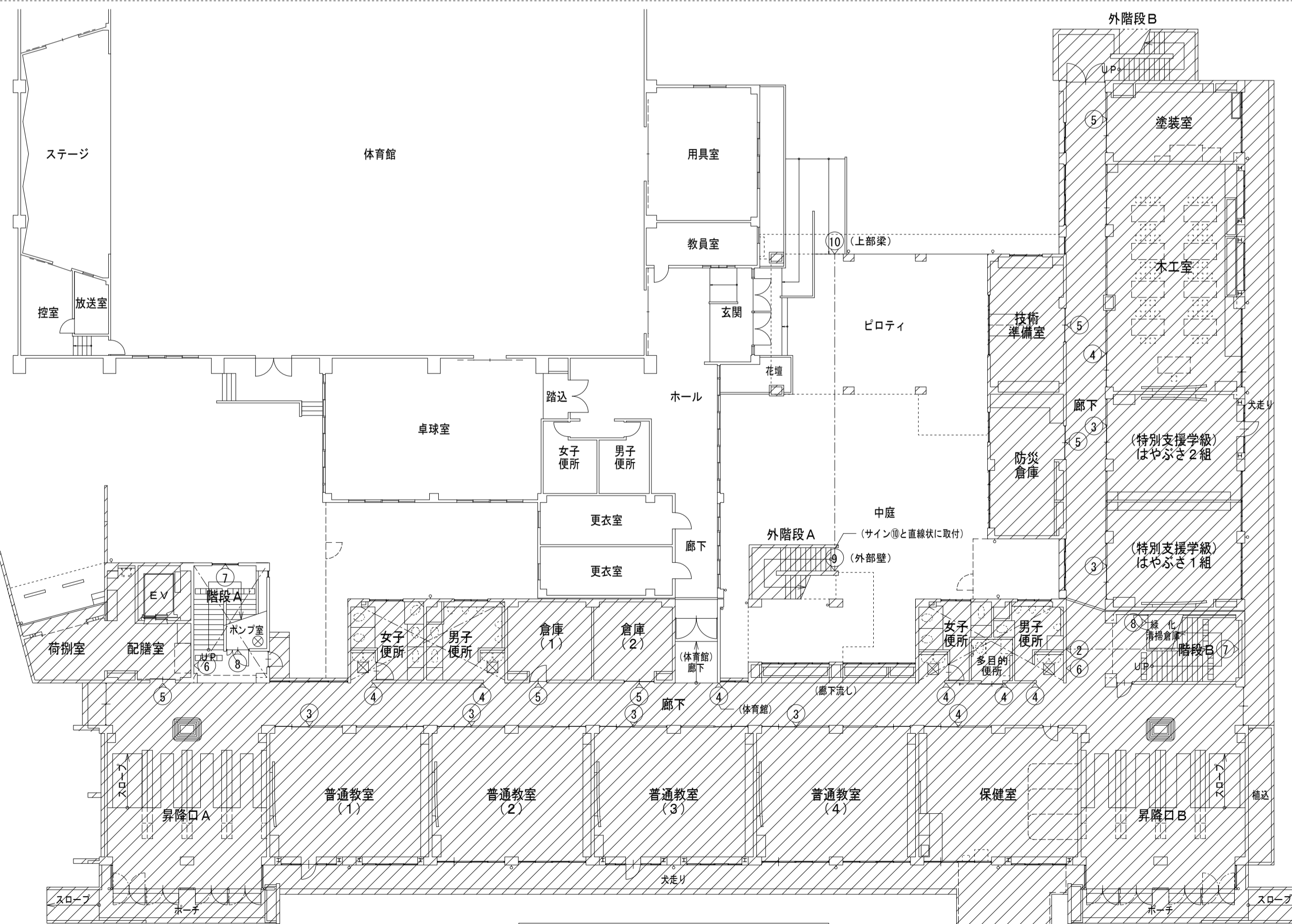
図面名称 改修前・後 5階黒板・掲示版キープラン、既存黒板・掲示版リスト



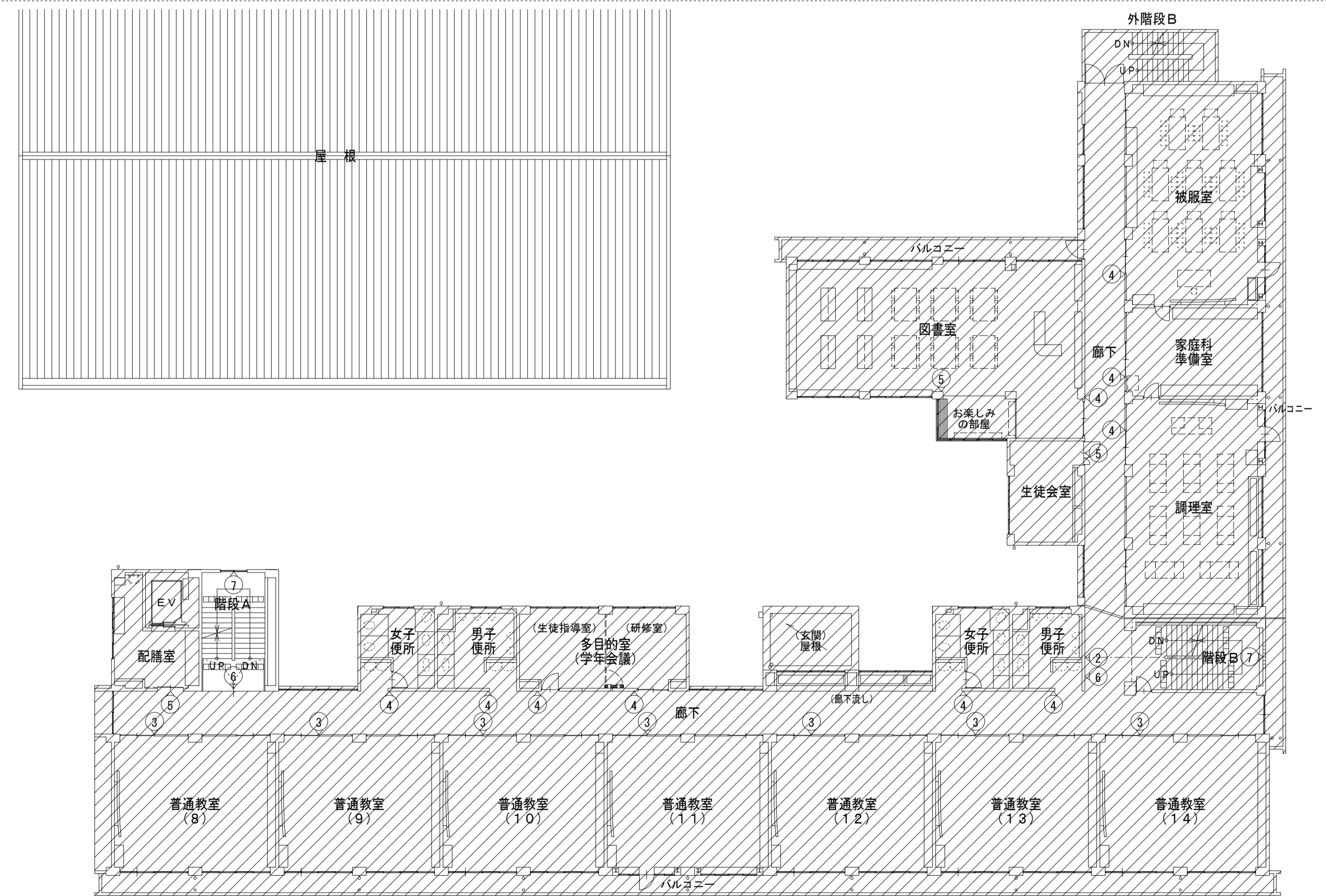
改修後 2階サインキープラン S=1/200



改修後 4階サインキープラン S=1/200

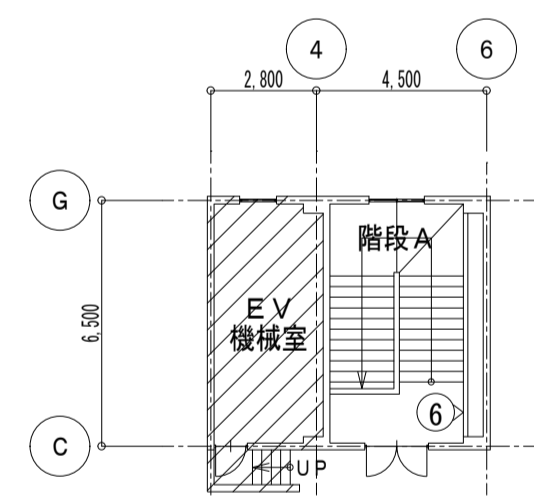


改修後 1階サインキープラン S=1/200

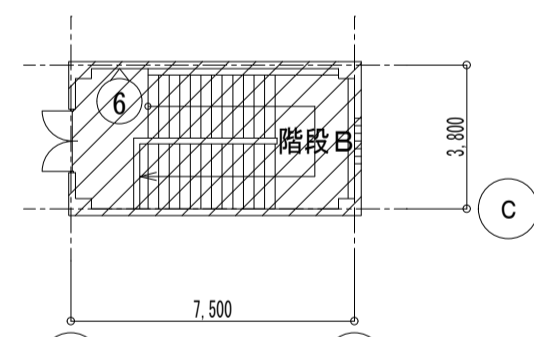


改修後 3階サインキープラン S=1/200

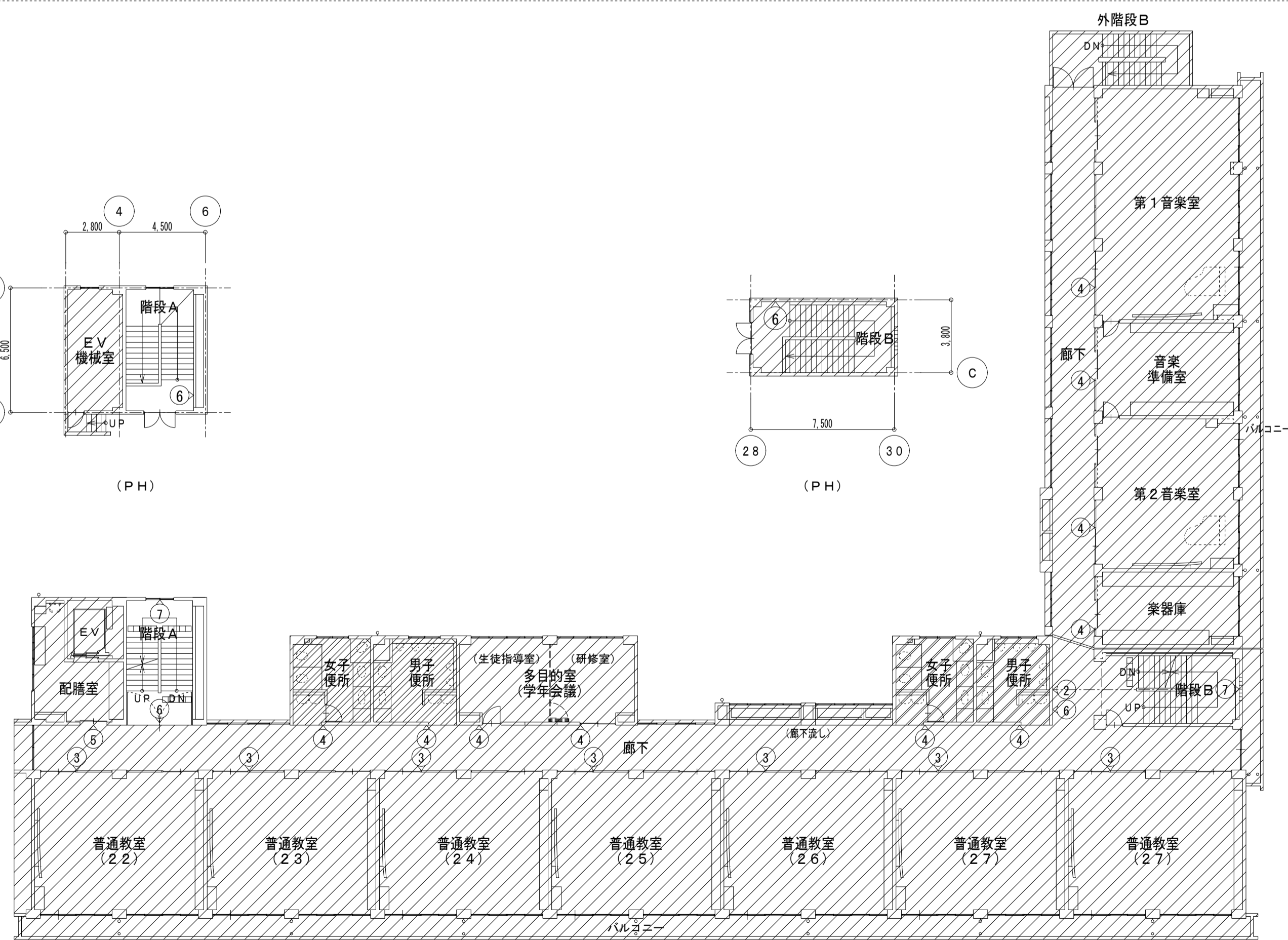
※1. 新設サインを示す。詳細は、サイン詳細図による。
 (既存室名・サインは、工期毎の内部改修に伴い全て撤去とする)
 ※2. 普通教室(*)：改修後のクラス名は、室名札の製作前に確認する事。



(PH)



(PH)



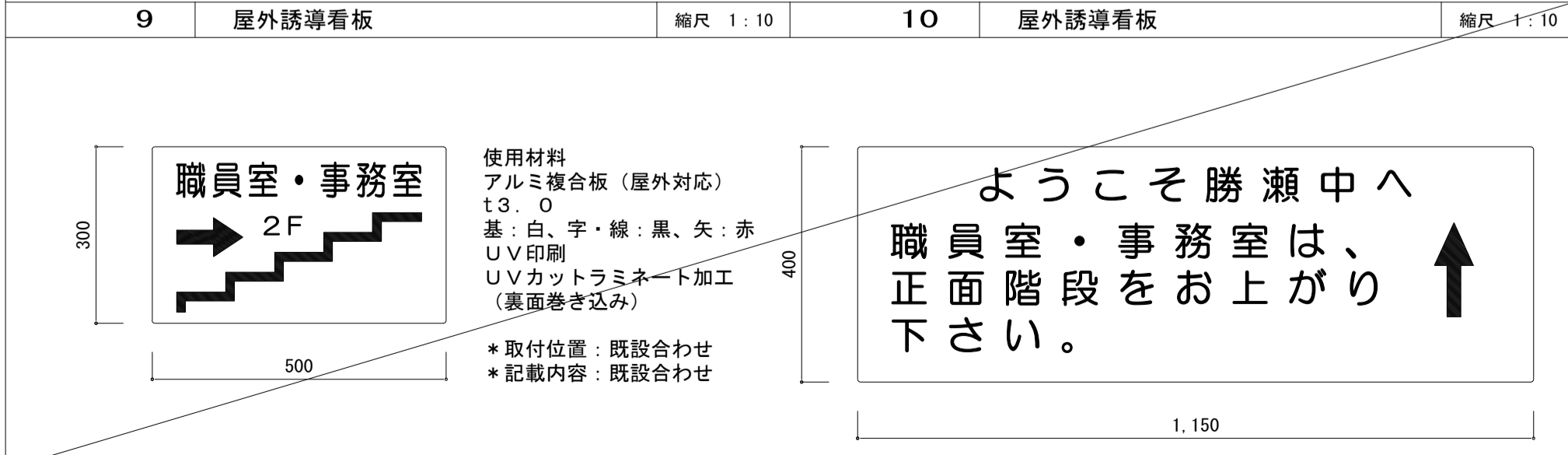
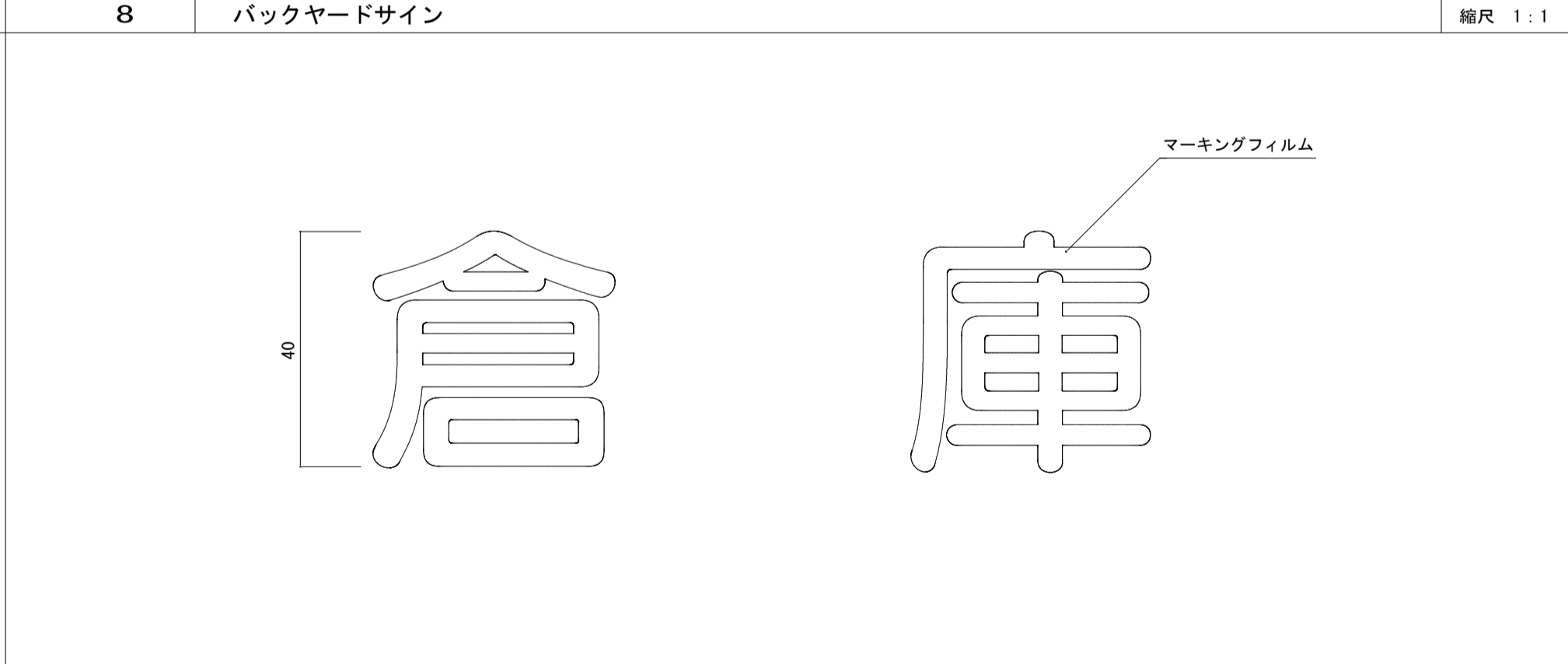
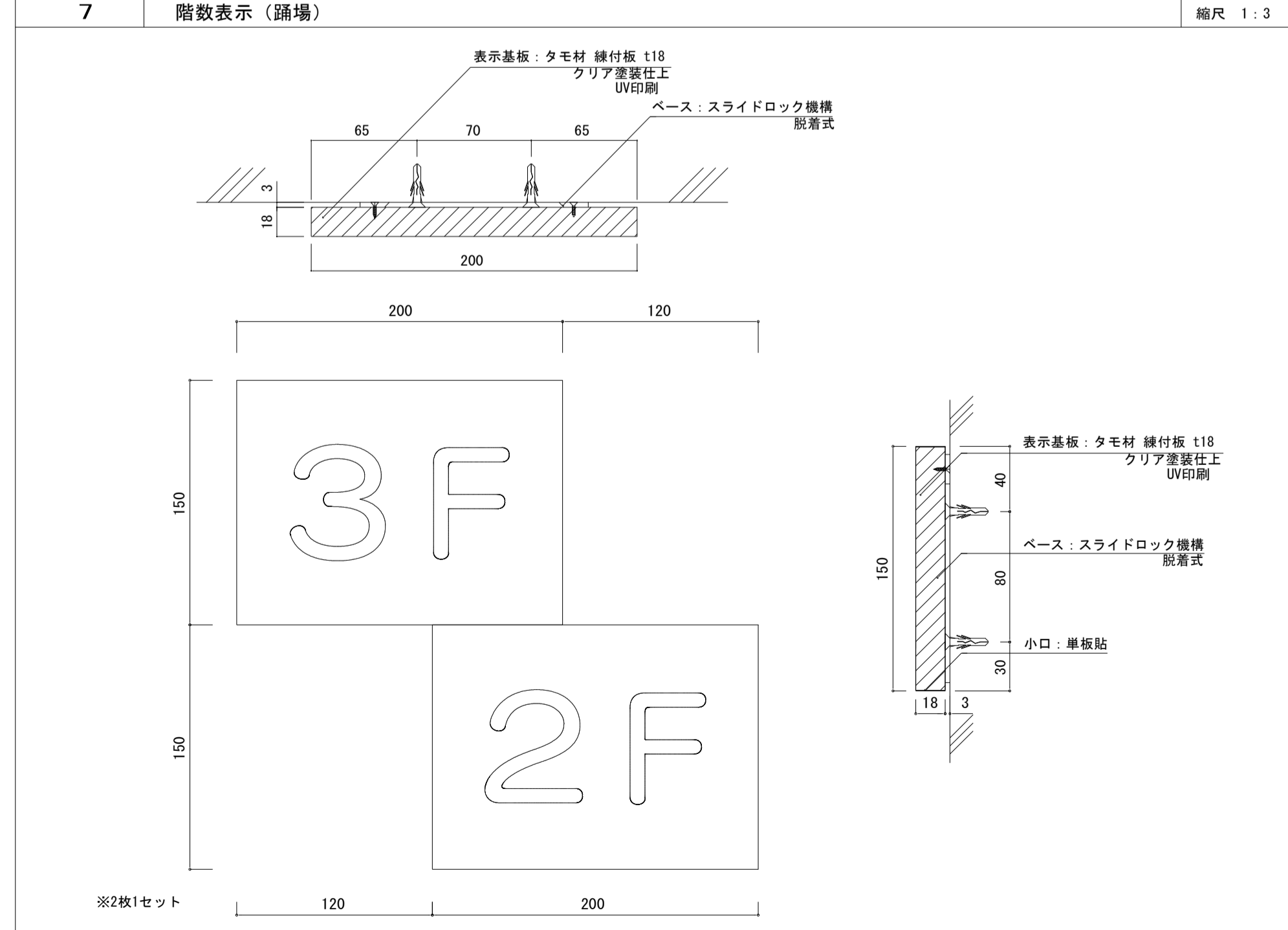
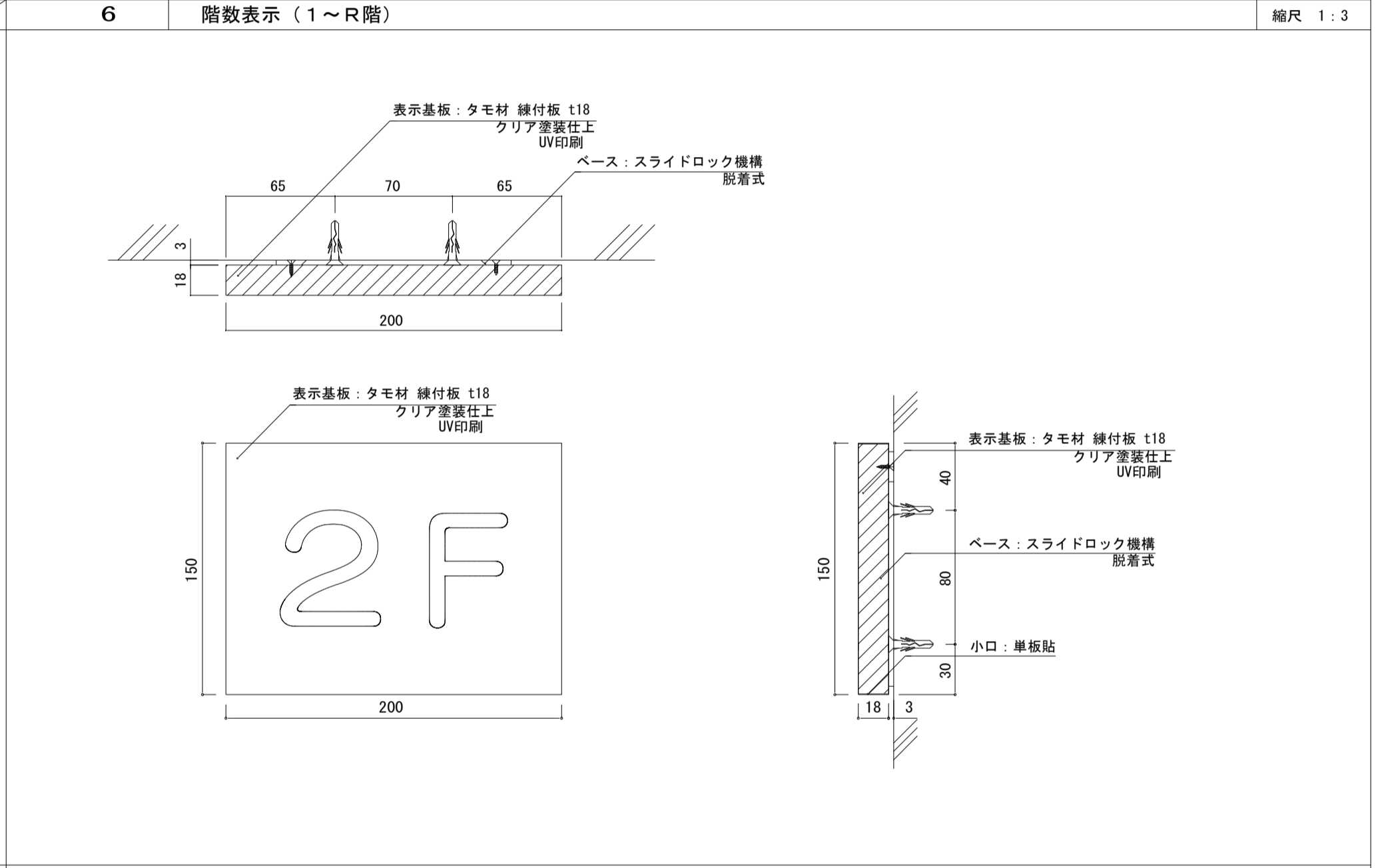
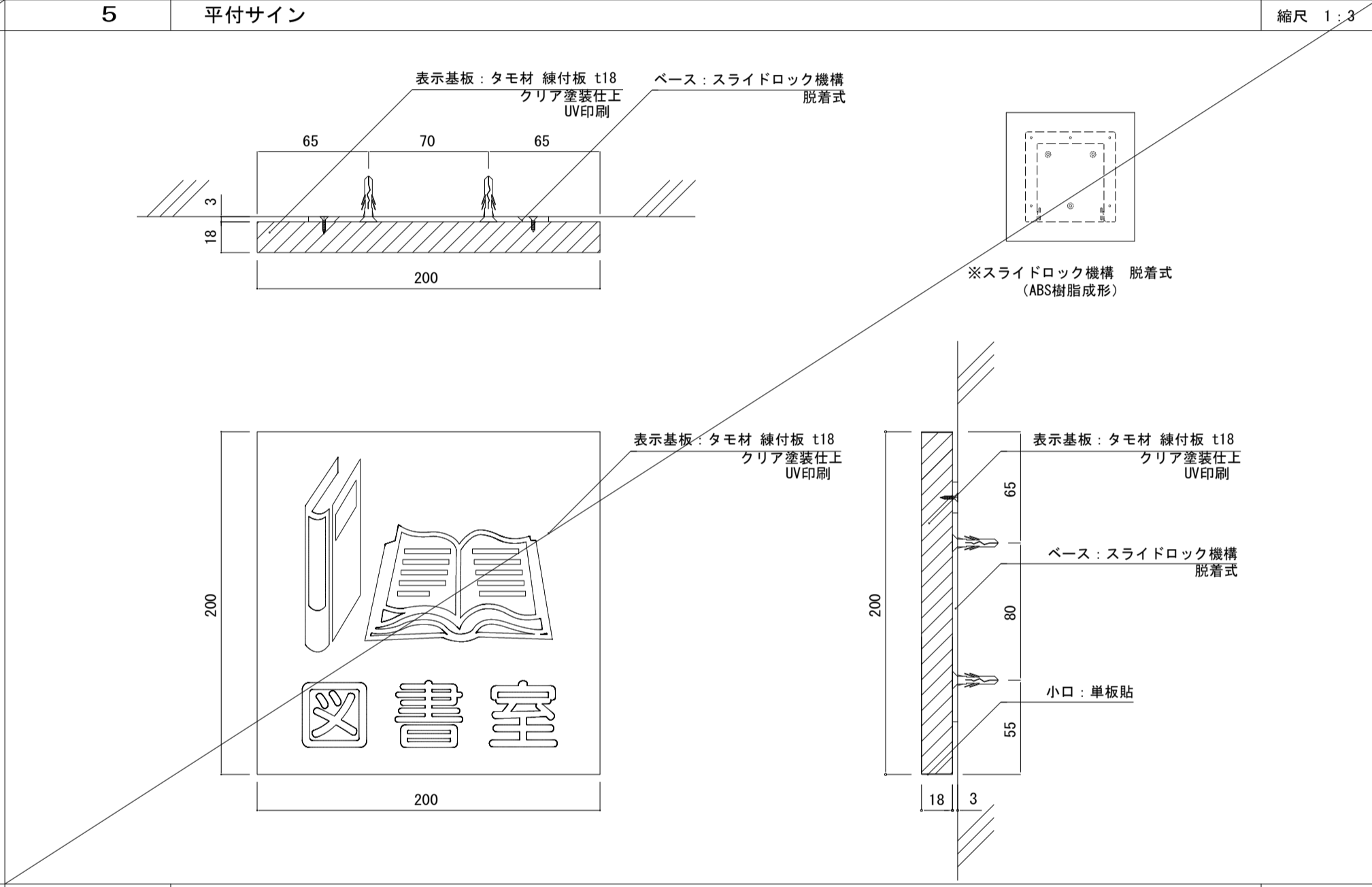
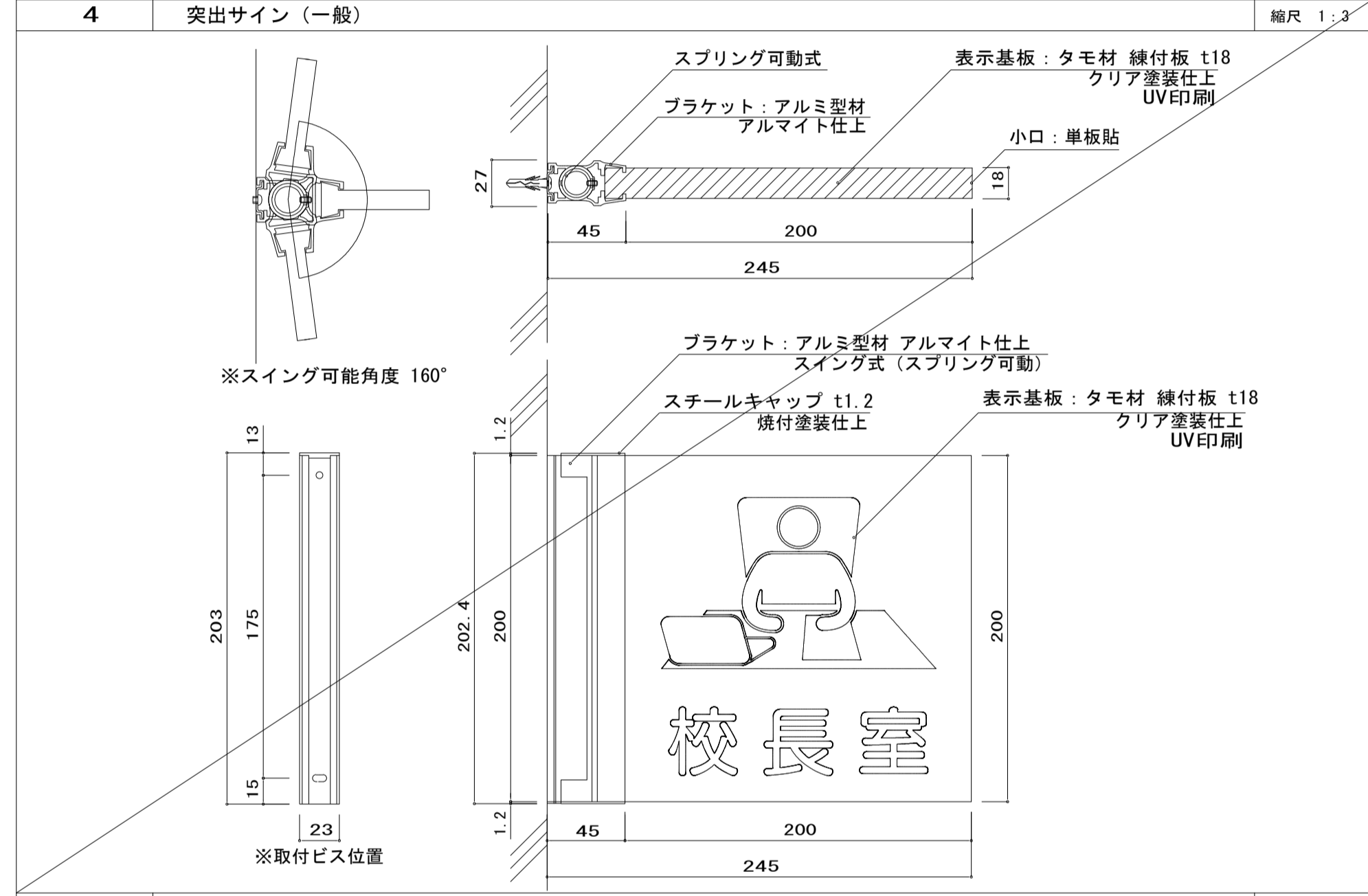
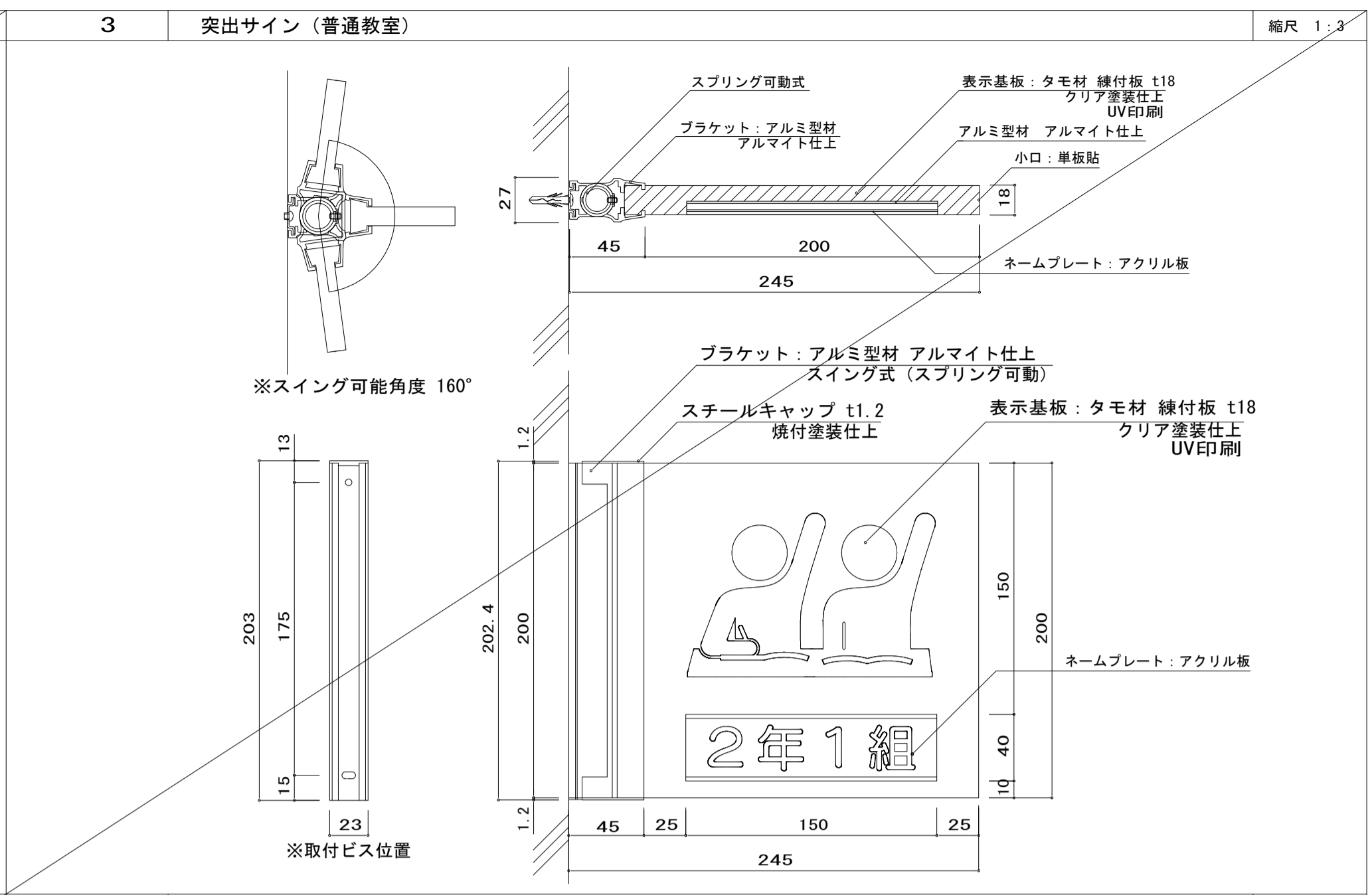
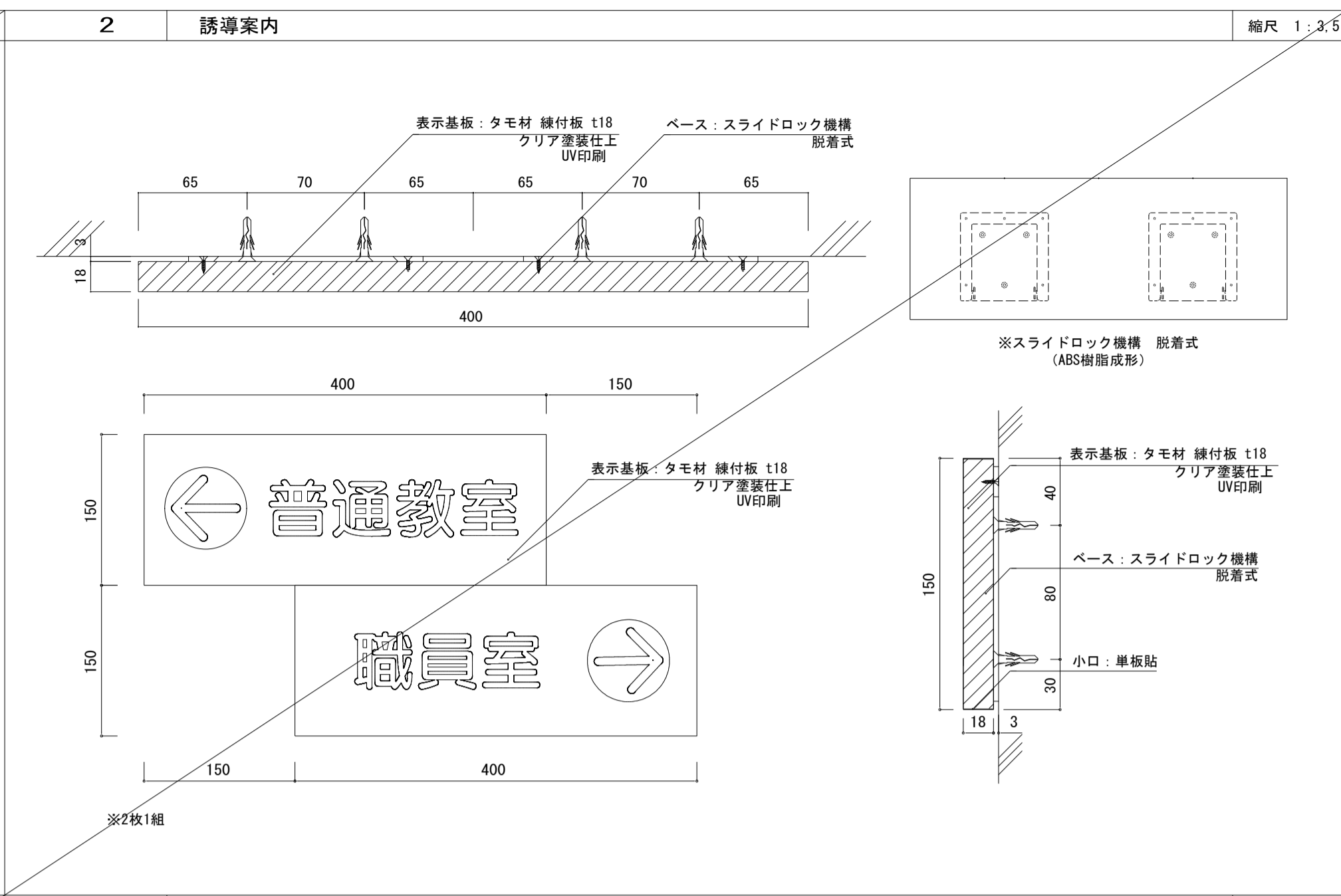
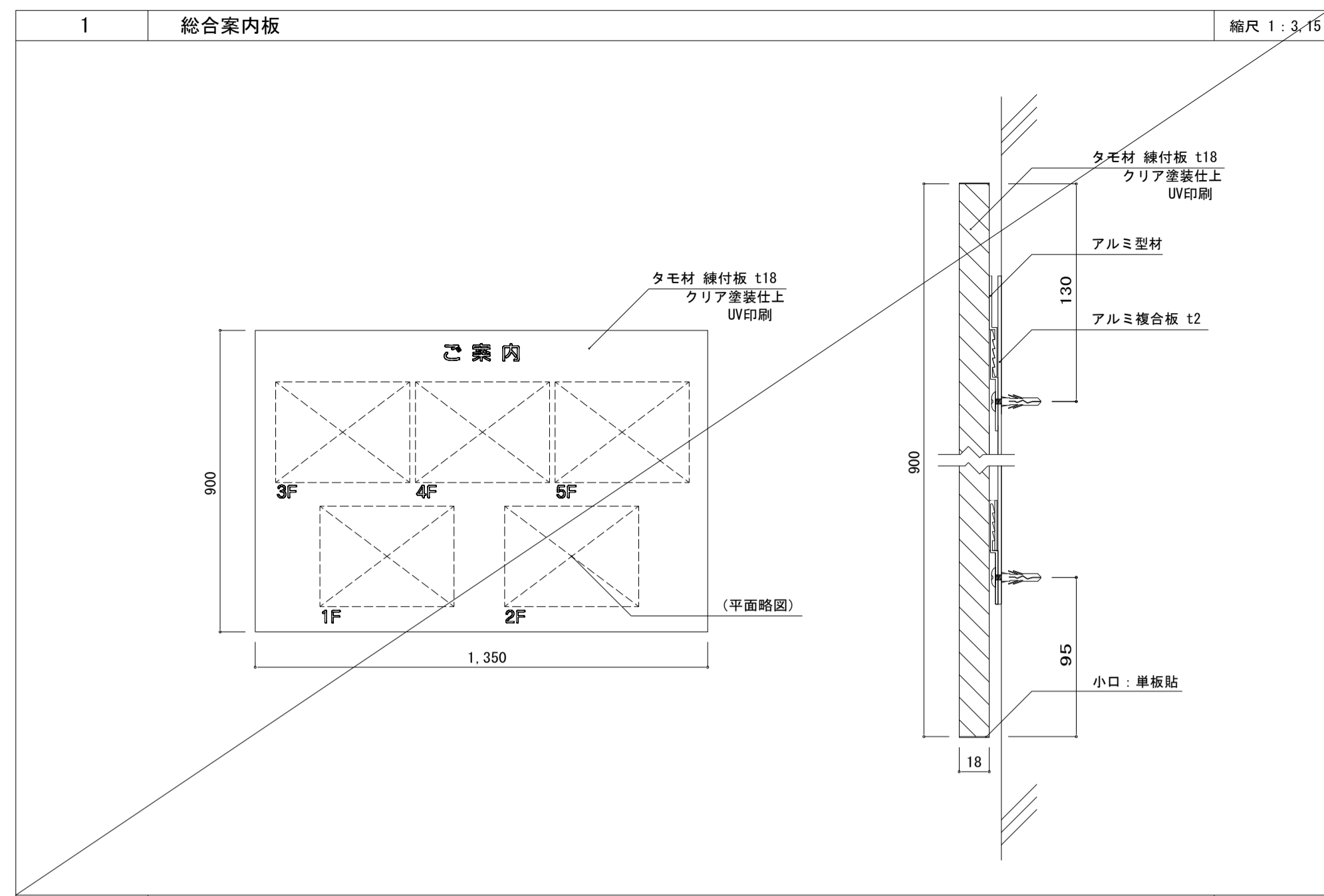
改修後 5階サインキープラン S=1/200

※1. 新設サインを示す。詳細は、サイン詳細図による。
 (既存室名札・サインは、工期毎の内部改修に伴い全て撤去とする)
 ※2. 普通教室(+): 改修後のクラス名は、室名札の製作前に確認する事。

(有) 桑子建築設計事務所
 さいたま市大宮区榑引町1-330-4
 TEL 048-783-5566
 一級建築士登録第67048号 桑子 喬

承認	設計	担当	縮尺	A1:1/200 A3:1/400
			設計年月日	2023.3.15

工事名称	市立勝瀬中学校長寿命化建築工事(第1期工事)(ゼロ債務)
図面名称	サインキープラン2



■サイン特記仕様 ※製作にあたり改修後の室名について確認する事。

[1]使用材料
a. 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応)
b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材)
c. アクリル : JIS-K-6718-1 (キャスト板), JIS-K-6718-2 (押出板)
d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL仕上

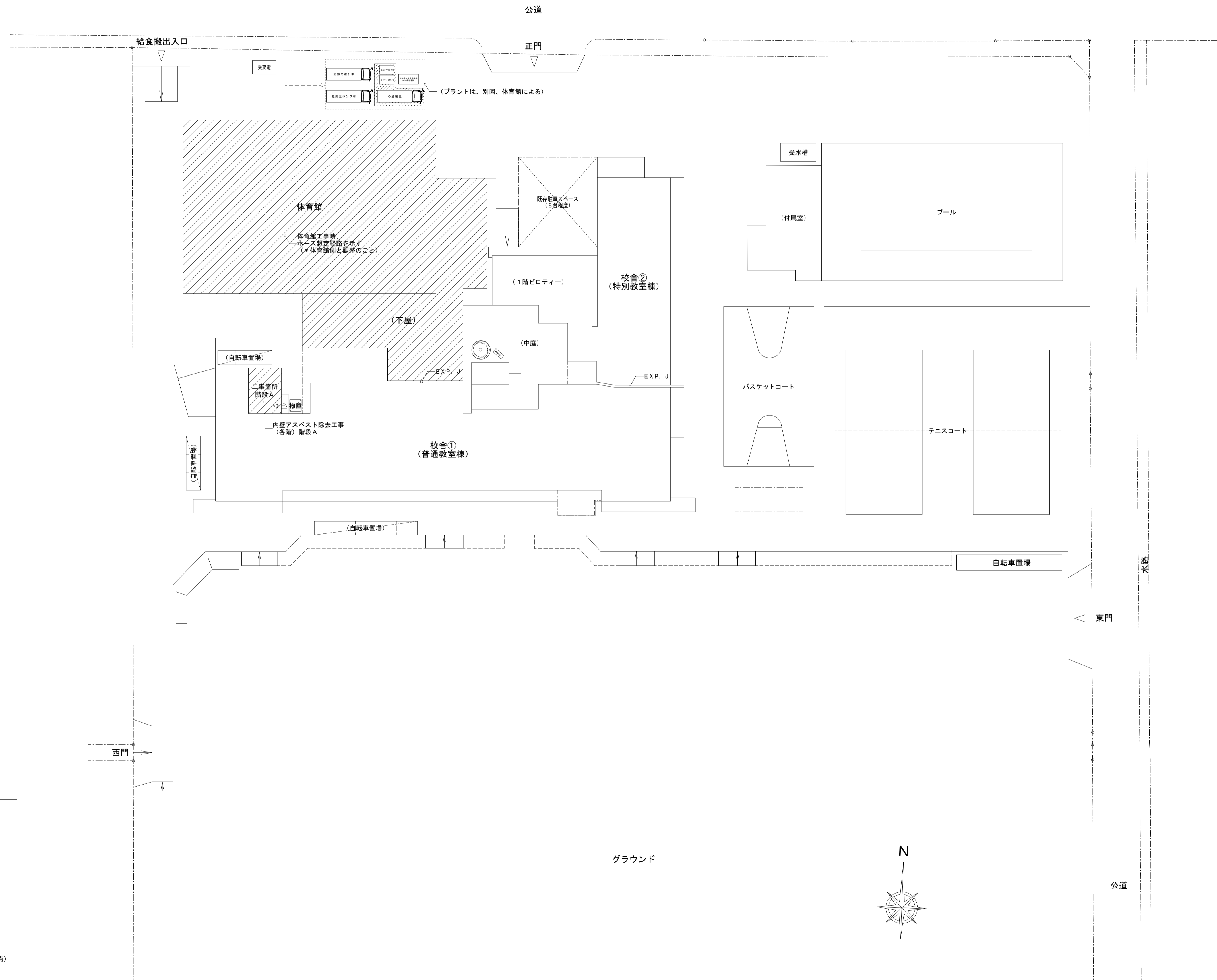
[2]フォント
a. 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。
※ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。

[3]ピクトグラム
a. 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。

[4]ユニバーサルデザイン
a. ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
b. 多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作を推奨する。

[5]取付位置・方法
a. 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
b. 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。

[6]その他
a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。
又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用吸盤などを利用し商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。
b. サイン計画については、当施設他工事と充分に調整協議をすること。



内壁アスベスト除去工事 特記仕様書 (参考)
 【石綿含有仕上塗材・下地調整材除去工事】
 (除去レベル3相当、隔離養生不要)
 ・オータークリーン 工法
 ・気密装置付き超高压水洗工法 (100Mpa以上)
 ・湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法
 (石綿含有仕上塗材・下地調整材除去工事)
 ・作業生 (シート2重)
 ・天井仕上材撤去
 ・試験施工 (隔離養生・責任なし) により粉塵濃度測定
 ・階段室内壁 仕上塗材・下地調整材除去
 ・同時吸引塵材・排水分別
 ・廃棄物梱包
 ・安全衛生設備機器 (真空掃除機・フィルター等一式)
 ・作業員 (保護マスク等一式)
 ・石綿含有廃棄物 運搬 (8t車×5)
 ・石綿含有廃棄物 処分 (養生材含む)
 (環境測定) 第3者機関
 ・作業前 (敷地境界4点)
 ・作業中 (敷地境界4点+作業付近1点+プラント付近1点)
 ・作業後 (敷地境界4点)
 ・取流水分析 (作業中1回、1L当たり50本以下)

仮設計画面図 S=1/300 ※詳しくは、別図、体育館による。

凡例: は、工事建物を示す。